

学生の確保の見通し等を記載した書類

目次

1	学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況	2
	(1) 学生確保の見通し	2
	1) 定員充足の見込み	2
	2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要	4
	3) 学生納付金設定の考え方	11
	(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況	11
2	人材需要の動向等社会の要請	11
	(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）	11
	(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠	12
	1) 医学及び薬学に関する国際的状況・動向	12
	2) 医学及び薬学に関するわが国における状況	13
	3) 医学及び薬学に関する社会的ニーズ	15
	4) 関係業界との連携体制	24

学生の確保の見通し等を記載した書類

1 学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

(1) 学生確保の見通し

1) 定員充足の見込み

総合医薬学研究科は、現在の医学薬学教育部修士課程及び博士前期課程からの改組により設置する研究科であり、入学者の属性についても基本的には改組前の組織とほぼ同じとなることを想定している。そのため、総合医薬学研究科の入学定員は、改組元となる医学薬学教育部修士課程及び博士前期課程の各専攻の入学定員の実績を踏まえて、66名（プログラムごとの募集人数は表1）に設定した。

なお、令和4年度4月に、本研究科と理工学研究科との関係により、研究科等連係課程実施基本組織「医薬理工学環」を設置予定であるが、研究科等連係課程実施基本組織の収容定員は、連係協力研究科等の収容定員の内数とする必要があることから、医薬理工学環に対しては、本研究科から8名の入学定員を拠出する。

表1 総合医薬学研究科総合医薬学専攻 プログラム別の募集人数

プログラム名	募集人数
先端医科学プログラム	6
看護科学プログラム	8
基礎薬学プログラム	44
医薬理工学環への拠出分	8
総計	66

①学内学生に対するアンケート結果、②学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果、③学外からの入学者の実績、④改組前の組織全体の入学者の実績・充足状況の4つの観点から総合的に判断すると、⑤総合医薬学研究科総合医薬学専攻の定員充足の見込みのとおり本研究科の入学定員66名（関係する研究科等連係課程実施基本組織への拠出する入学定員を含む）は、充足できる見込みである。

①学内学生に対するアンケート結果

本研究科が設置された際にストレートで入学することが見込まれる本学の4年制学士課程の3年次の学生（令和3年1月時点）を中心にアンケートを実施した結果、総合医薬学研究科の各プログラムに「ぜひ進学したい」と回答した人数は、先端医科学プログラム1名、看護科学プログラム2名、基礎薬学プログラム38名相当である。

②学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

本研究科の改組元である医学薬学教育部（医学領域）は、先端医科学プログラム及び看護科学プログラムの基盤となる組織であり、外部からの入学者が比較的多く、年によっても変動があるため、病院のコメディカルスタッフ、病院看護師、医療系専門学校生を対象にアンケートを実施した。アンケートの結果、「ぜひ入学したい」と回答した人数は、先端医科学プログラムで11名、看護科学プログラムで6名ある。

③学外からの入学者の実績

本研究科の改組元である医学薬学教育部(修士課程医科学専攻及び博士前期課程看護学専攻)の学外からの入学者の実績は、平成28年度から令和2年度の5年間の平均で9名となっている。このうち、社会人特別入試による入学者は平成28年度から令和2年度の5年間の平均で2名、外国人留学生は医科学専攻において平成28年度から令和2年度の5年間の平均で約1.2名である。

薬科学専攻においては、留学生7.8名を含む、8.2名（5年間平均）を受け入れている。

④改組前の組織全体の入学者の実績

本研究科の改組元である医学薬学教育部（修士課程、博士前期課程）の入学者については、平成28年度から令和2年度の5年間の平均で66名（入学定員66名）である。

⑤総合医薬学研究科総合医薬学専攻の定員充足の見込み

総合医薬学研究科総合医薬学専攻の定員充足の見込みに係る調査を踏まえ、定員確保の想定人数は以下のとおりである。看護科学プログラムは募集人員と確保予定数が同数ではあるが、別途「令和4～9年を目安に入学したい」と回答している者が9名いることを踏まえると、充足に問題はないと考えられる。また、総合医薬学研究科は、現在の医学薬学教育部修士課程及び博士前期課程からの改組により設置する研究科であり、入学者の属性についても基本的には改組前の組織とほぼ同じとなることを想定していることから、本研究科設置後の募集人員は、医学薬学教育部の入学者の実績からみても充足可能な水準で定員設定である考えられる。

先端医科学プログラム【募集人員：6名】は13名（AⅠ+BⅠ）

看護科学プログラム【募集人員：8名】は8名（AⅡ+BⅡ）

基礎薬学プログラム【募集人員：44名】は46.2名（AⅢ+BⅢ）

A学内学生に対するアンケート結果

先端医科学プログラム 1名・・・AⅠ

看護科学プログラム 2名・・・AⅡ

基礎薬学プログラム 38名・・・AⅢ

B学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

先端医科学プログラム 12名・・・BI

看護科学プログラム 6名(他9名が「令和4～9年を目安に入学したい」と回答)

・・・BII

B学外からの入学者の実績

基礎薬学プログラム 8.2名・・・BIII

2) 定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

①学内学生に対するアンケート結果

本研究科が設置された際にストレートで入学することが見込まれる本学の4年制学士課程の3年次の学生(令和3年1月時点)を中心に、オンラインによる説明会を実施の上、併せてアンケートを実施した(資料1)。

アンケートへの回答は、全部で1,575件あり、うち1,250件が4年制学部の3年次の学生である。さらに、3年次の学生のうち、「本学大学院(修士、博士前期)への進学を考えている」と回答した学生は360名であり、総合医薬学研究科の下に置く各プログラムに「ぜひ進学したい」と回答した者の数は、次のとおりである。

先端医科学プログラム 1名

看護科学プログラム 2名

基礎薬学プログラム 36名

合計 39名

なお、今回の全学的な大学院改組では、2つ以上の研究科の緊密な関係による研究科等関係課程実施基本組織を設置する構想としており、関係元の研究科と研究科等関係課程実施基本組織との間で、はっきりと決めきれない学生が出るのが想定されたため「②どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている」の選択肢を設け、具体的な組合せを回答させている。この回答を選択した場合は、組合せの内容を按分してそれぞれのプログラム等に加算した。按分したものを加算した結果は、次のとおりである。

先端医科学プログラム 1名

看護科学プログラム 2名

基礎薬学プログラム 38名

合計 41名

上記から、総合医薬学研究科における各プログラムの募集人員を踏まえると、先端医科学プログラムの16.7%(募集人員6名)、看護科学プログラムの25%(募集人員8名)、基礎薬学プログラムの86.4%(募集人員44名)を、本学学士課程からの進学者により充

足することが可能と考えられる。これに学外からの入学見込み者を加え、入学定員を確保できる見込みである。

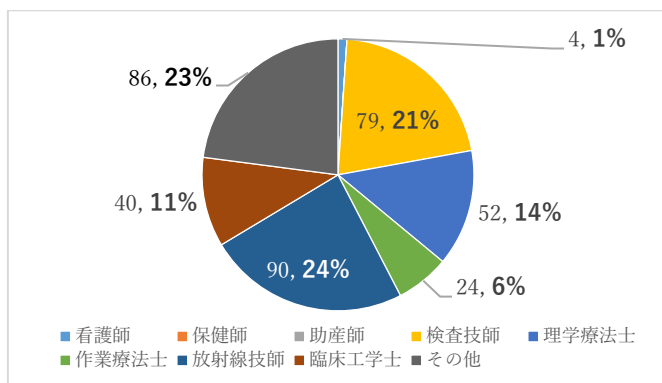
②学外の入学が見込まれる者へのアンケート結果

ア. コメディカルスタッフ（先端医科学プログラム）へのアンケート調査

先端医科学プログラムに関し、富山県内の公的病院 24 機関のコメディカルスタッフに対しアンケート調査を実施し、375 名（アンケート送付数 1,490 名 回答率 25.2%）から回答を得た（資料 2）。

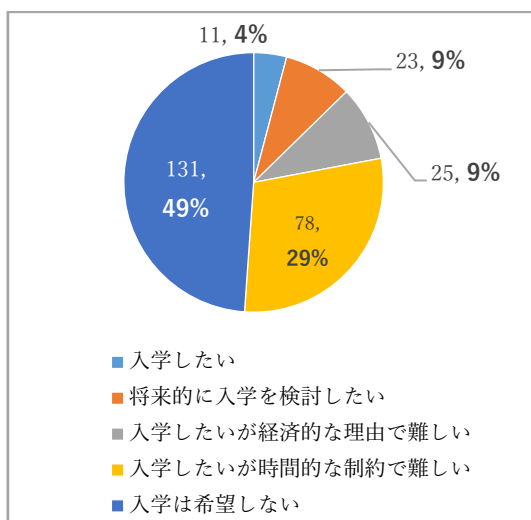
【調査結果(抄)】

問 3. あなたの職業について教えてください。



	回答数	割合
検査技師	79	21%
理学療法士	52	14%
作業療法士	24	6%
放射線技師	90	24%
臨床工学士	40	11%
その他	90	24%

問 8. 構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	11	4%
将来的に入学を検討したい	23	9%
入学したいが経済的な理由で難しい	25	9%
入学したいが時間的な制約で難しい	78	29%
入学は希望しない	131	49%

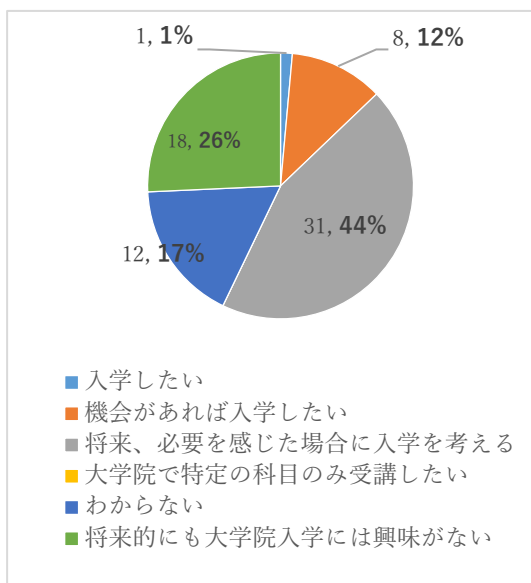
富山県内の公的病院 24 機関に対し実施した、コメディカルスタッフへのアンケート調査の結果、検査技師、理学療法士、作業療法士、放射線技師、臨床工学士など幅広い職種から回答を得た。回答のあった 375 名のうち、「先端医科学プログラムに入学したい」と回答した者は 11 名おり、また、将来的に入学を検討したいとする層や入学を希望するものの経済的理由で難しいとする層などが一定数存在しており、本学としての支援体制充実等により進学を促す余地があると考えている。

イ. リハビリテーション系専門学校生（先端医科学プログラム）へのアンケート調査

先端医科学プログラムに関し、富山県内のリハビリテーション系の専門学校の在學生（アンケート送付数 530）に対しアンケート調査を行い、70 名（アンケート送付数 530 名回答率 13.2%）から回答を得た（資料 3）。

【調査結果(抄)】

問 4. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から 1 つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	1	1%
機会があれば入学したい	8	12%
将来、必要を感じた場合に入学を考える	31	41%
大学院で特定の科目のみ受講したい	0	0%
わからない	12	17%
将来的にも大学院入学には興味がない	18	26%
その他	0	0%

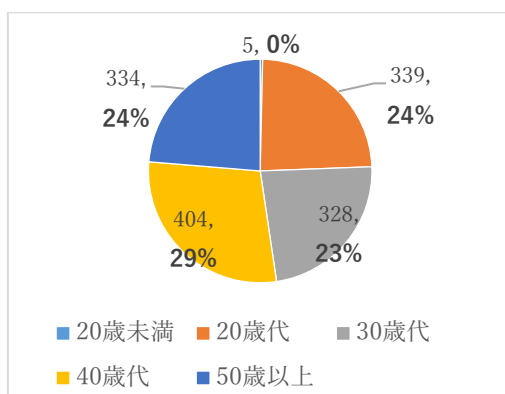
リハビリテーション系の専門学校の在學生に対して実施したアンケート調査においては、「先端医科学プログラムに入学したい」と回答した者は 1 名のみであるが、「機会があれば入学したい」とする層が一定数いる他、「将来、必要を感じた場合に入学を考える」と回答した者が、回答者全体の 41% にものぼっている状況にある。これらの層は、まずは就職して現場を支える理学療法士や作業療法士として従事した後、更なるスキルアップを図るために将来的に入学を検討する層であると考えられ、本学として学ぶことのできる内容等情報提供や支援体制充実等により進学を促す余地があると考えている。

ウ. 看護職員（看護科学プログラム）へのアンケート調査

看護科学プログラムに関し、富山県内の公的病院のうち看護職員数が100名以上の17の医療機関に勤務する看護師等の看護職（送付数5,960）及び富山県内の看護系の大学、専門学校に勤務する教員（送付数20）に対しアンケートを実施し、1,410名（送付数5,980名 回答率23.6%）から回答を得た（資料4）。

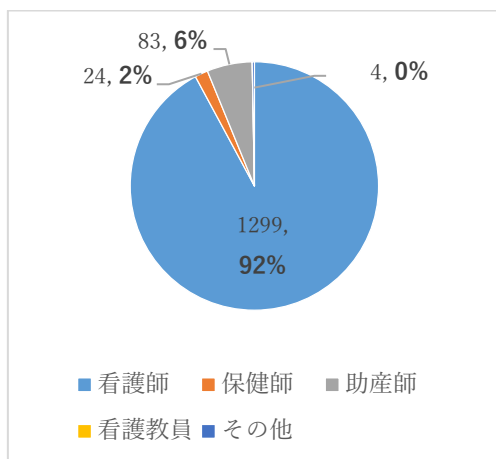
【調査結果(抄)】

問2. あなたの年齢について教えてください。



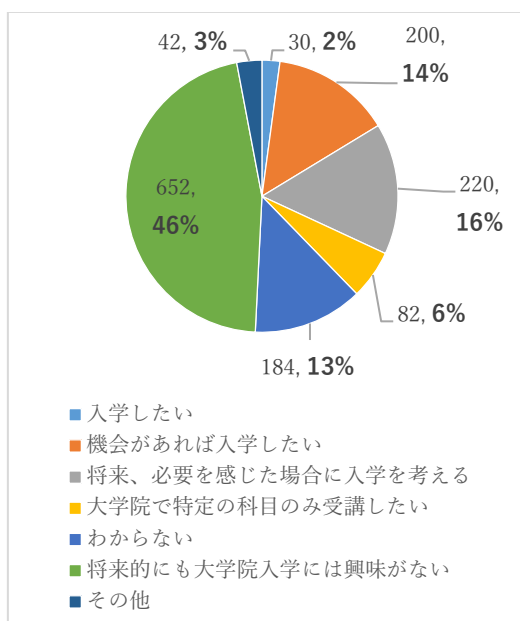
	回答数	割合
20歳未満	5	0%
20歳代	339	24%
30歳代	328	23%
40歳代	404	29%
50歳以上	334	24%

問3. あなたの職業について教えてください。



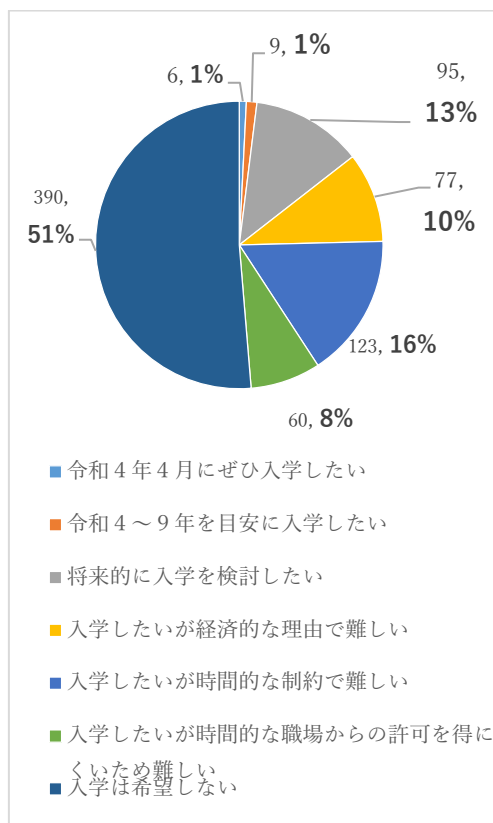
	回答数	割合
看護師	1,299	92%
保健師	24	2%
助産師	83	6%
看護教員	0	0%
その他	4	0%

問5. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	30	2%
機会があれば入学したい	200	14%
将来、必要を感じた場合に入学を考える	220	16%
大学院で特定の科目のみ受講したい	82	6%
わからない	184	13%
将来的にも大学院入学には興味がない	652	46%
その他	42	3%

問8. 構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。



	回答数	割合
令和4年4月にぜひ入学したい	6	1%
令和4～9年を目安に入学したい	9	1%
将来的に入学を検討したい	95	13%
入学したいが経済的な理由で難しい	77	10%
入学したいが時間的な制約で難しい	123	16%
入学したいが時間的な職場からの許可を得にくい	60	8%
入学は希望しない	388	51%

富山県内公的病院における看護師及び富山県内の看護系の大学、専門学校に勤務する教員に対し実施した、看護科学プログラムに係るアンケート調査の結果、看護師、保健師、助産師等から回答を得た。回答のあった1,410名のうち、「看護科学プログラムに入学したい」と回答した者は30名（うち、「令和4年4月にぜひ入学したい」と回答した者は6名、「令和4～9年を目安に入学したい」と回答した者は9名）おり、また、将来的に入学を検討したいとする層や入学を希望するものの経済的理由で難しいとする層などが一定数存在しており、本学としての支援体制充実等により進学を促す余地があると考えている。

③学外からの入学者の実績

本研究科の改組元である医学薬学教育部の学外からの入学者数については、平成28年度から令和2年度の5年間の内訳は表2のとおりである。隔年でばらつきが生じるなど、必ずしも受け入れ人数は一定ではないが、医科学専攻においては、学外出身者は5.2名（有職者：2名、留学生：1.2名、専門学校・短大出身：1.4名を含む）【5年間平均】、看護学専攻においては、学外出身者は3.8名（有職者：3.2名、専門学校・短大出身：2.2名を含む）【5年間平均】、薬科学専攻においては、学外出身者は8.2名（留学生：7.8名を含む）【5年間平均】となっている。

表2 医学薬学教育部における過去5年間の学外からの入学状況

専攻名	種別	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	平均
医科学専攻	学外出身者	11	2	8	4	1	5.2
	うち有職者	4	0	4	2	0	2
	うち留学生	3	0	1	1	1	1.2
	うち専門学校・短大出身	2	1	3	1	0	1.4
看護学専攻	学外出身者	4	5	5	2	3	3.8
	うち有職者	3	5	5	2	1	3.2
	うち留学生	0	0	0	0	0	0
	うち専門学校・短大出身	3	1	2	2	3	2.2
薬科学専攻	学外出身者	14	8	9	10	0	8.2
	うち有職者	0	0	0	0	0	0
	うち留学生	14	8	9	8	0	7.8
	うち専門学校・短大出身	0	0	0	0	0	0

合計	学外出身者	29	15	22	16	4	17.2
	うち有職者	7	5	9	4	1	5.2
	うち留学生	17	8	10	9	1	9.0
	うち専門学校・ 短大出身	5	2	5	3	3	3.6

※「うち〇〇」は「専門学校卒で有職」のように複数で計上の場合有

④改組前の組織全体の入学者の実績

本研究科の改組元である医学薬学教育部の入学者について、平成28年度から令和2年度の5年間の内訳は表3のとおりである。医学薬学教育部全体においては、入学者数は66名【5年間平均】となっており、予定する入学定員と同数を確保している状態にある。

また、本研究科設置後の募集人員は、医学薬学教育部の入学者の実績からみても充足可能な水準にて設定がなされている。

先端医科学プログラム：6名（医学薬学教育部 医科学専攻 6名【5年間平均】）

看護科学プログラム：8名（医学薬学教育部 看護学専攻 8名【5年間平均】）

基礎薬学プログラム：44名（医学薬学教育部 薬科学専攻 52名【5年間平均】）

表3 医学薬学教育部（修士課程、博士前期課程）の過去5年間の入学志願状況

専攻名		平成28 年度	平成29 年度	平成30 年度	令和元 年度	令和2 年度	平均
医科学 専攻	志願者数	11	3	10	6	5	7
	受験者数	11	3	10	6	4	7
	合格者数	11	3	10	6	3	7
	入学者数	11	3	9	6	2	6
	入学定員	15	15	15	15	15	15
	入学定員充足率	0.73	0.20	0.60	0.40	0.13	0.41
看護学 専攻	志願者数	11	11	8	8	8	9
	受験者数	11	11	8	8	7	9
	合格者数	11	10	8	8	7	9
	入学者数	9	8	8	7	7	8
	入学定員	16	16	16	16	16	16
	入学定員充足率	0.56	0.50	0.50	0.44	0.44	0.49
薬科学 専攻	志願者数	71	51	60	69	55	61
	受験者数	71	48	56	69	54	60
	合格者数	61	44	52	62	50	54
	入学者数	59	43	50	59	47	52
	入学定員	35	35	35	35	35	35
	入学定員充足率	1.69	1.23	1.43	1.69	1.34	1.47

医学薬 学教育 部全体	志願者数	93	65	78	83	68	77
	受験者数	93	62	74	83	65	75
	合格者数	83	57	70	76	60	69
	入学者数	79	54	67	72	56	66
	入学定員	66	66	66	66	66	66
	入学定員充足率	1.20	0.82	1.02	1.09	0.85	1.00

3) 学生納付金設定の考え方

「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」に基づき、本学が定める「富山大学における授業料その他の費用に関する規則」(資料5)のとおり、入学料282,000円、授業料年額535,800円を設定する。

(2) 学生確保に向けた具体的な取組状況

本研究科は、学生確保に向け、養成する人材像や当該人材を育成するための特徴的なカリキュラム等を紹介すべく、研究科としての公式ウェブサイトを開設するほか、パンフレットを作成し、学内外に配布する。また、本学が大学院進学・入学説明会を、会場形式・オンライン形式の両方で開催し、積極的に広報するとともに、本研究科の魅力を積極的にアピールする。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的(概要)

総合医薬学研究科は、医学、薬学及び看護学を総合した特色ある教育と研究を礎とし、幅広い知識を基盤とする高い専門性と人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力を培い、学術研究の進歩や社会に積極的に貢献できる総合的な判断力を有する高度医療専門職業人又は教育研究者としての人材を育成することを目的とする。

先端医科学プログラムは医科学の専門知識を習得して医科学研究を実践し、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、専門職医療人としてのスキルアップ、専門職企業人として活躍、大学院博士課程へ進学する者を養成する。

看護科学プログラムは看護学専門領域における研究や学際的な動向について多角的に情報収集し、普遍性の高い看護実践・教育を導く看護理論の構築に寄与できる人材を育成する。また看護の対象となる個人・家族・集団・コミュニティの尊厳を重視した全人的・包括的な医療を理解し、学際的知見を総合的に取り入れ、国際的にも信頼・通用する確かな看護実践能力と指導力を身に付ける。さらに保健医療福祉に携わる専門職としてのマネジメント能力を体系的に修得した看護学の教育研究者、看護実践者・指導者・管理者を養成する。

基礎薬学プログラムは薬科学分野の幅広い知識や高い専門性ととともに、病気を深く理解し患者に寄り添うことのできる医学的素養を教授することで、人間尊重の精神を基本

とする高い倫理観と、人々の健康と学術研究の進歩という、高度な社会的要請に応える創造力、判断力を兼ね備えて薬科学関連領域で活躍する研究者・教育者・技術者・専門家を養成する。

(2) 社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

1) 医学及び薬学に関する国際的状況・動向

①先端医科学プログラム

医学教育の国際的状況・動向として、世界標準的な医学教育を実施するための臨床教育を重視した国際認証制度が進められている。特に臨床医学分野ではエビデンスに基づいた診断と治療が求められ、最新の医学情報を取得理解し、臨床現場で使用する必要がある。また疫学等に基づく予防医学の重要性が明らかとなっており、さらに疾患に対する早期診断と早期介入が治療効果を高めるために有効である。従って、これらの動向に対応して先端的な医学知識を理解し、臨床現場で活かす人材育成が求められているとともに、エビデンスに基づく新たな診断治療法を開発し、トランスレーショナルリサーチを進める能力を持つ人材を養成することが医科学研究に求められている。

②看護科学プログラム

日本を含めた先進国では人々の往来が活発化して、その国境という垣根がなくなりつつあり、これからの国際的なニーズとしては海外で医療貢献する看護師育成に加えて、在留外国人あるいは訪日外国人への医療提供も必須であり、その人材を輩出していかなければならない。すなわち、海外での視点のみならず、足元の国際化が急速に進んでおり、看護職は国内においても日常生活の中のグローバル共生社会における多様な場面に対応する力が必要である。このような緊急事態には、学士レベルの看護師人材の集まりでは対応できず、看護のリーダー的な役割を演ずるためには、より深い知識と技術をもつ看護師人材が必要であり、その育成が急務である。

また、ICN（国際看護師協会）では、戦略計画（2019年～2023年）の中で、戦略的リーダーシップの目標として「市民、保健医療システム（保健・社会福祉など）及び看護師の現在と将来のニーズを充足できるよう、看護専門職を発展させ戦略的リーダーシップを発揮する。」ことを目指すなど、人材の高度化に力を入れている。ICNでは、高度実践看護師について「専門的な知識ベース、複雑な意志決定能力、実践の拡大に対応出来る臨床上の能力、実践の資格を与えた国や背景が示す特性を有する登録（正）看護師のことである。働き始める時点で修士号を持つことが望まれる」と述べており、米国やオーストラリアなどでは高度実践看護師は修士レベルの教育を受け、条件付きながら検査、処置、診断、薬剤の処方等を自律的判断のもとに行うなど、活躍の場を広げている。

グローバル社会における看護職の人数不足ということだけでなく、世界中で活躍している高度実践看護師のような、質的な意味で指導的な看護師が必要であり、すなわち高度な看護実践に加えて、異文化を理解し、指導的な立場で活躍できる看護師人材育成が急務で

ある。ここに大学院での看護教育の推進が社会的に求められている。

③基礎薬学プログラム

医薬品産業の発展は人類の健康を支えており、多くの疾患の治療法、治療満足度がこの数十年で劇的に改善したが、医薬品開発の進展がそれに果たした役割は大きい(図1)。2019年において世界の医薬品市場は1兆2千5百億ドルを超え、市場規模は年々拡大しているが、現在は従来の低分子医薬品に加え、抗体医薬品や核酸医薬品などのバイオ医薬品の開発が進展し、加えて細胞医薬、再生治療など、モダリティの多様化が進んでいる。また、未だ治療法が確立されていない疾病に対する医薬品開発のニーズも高まっている。さらに、新型コロナウイルスの世界規模での蔓延は世界経済への打撃と社会不安をもたらしており、世界の製薬業界は治療薬とワクチンの開発に注力している。

このような国際的状況・動向に対応する上で、保健医療全般に渡る知識と柔軟な対応力を有し、創薬科学に関する学識を基盤として、医薬品創出を目指した研究・開発を進める能力を有する人材を養成することが薬科学研究に求められている。

2019年度

治療満足度(1分満足+ある程度満足)の割合と薬剤貢献度(1分に貢献+ある程度貢献)の割合

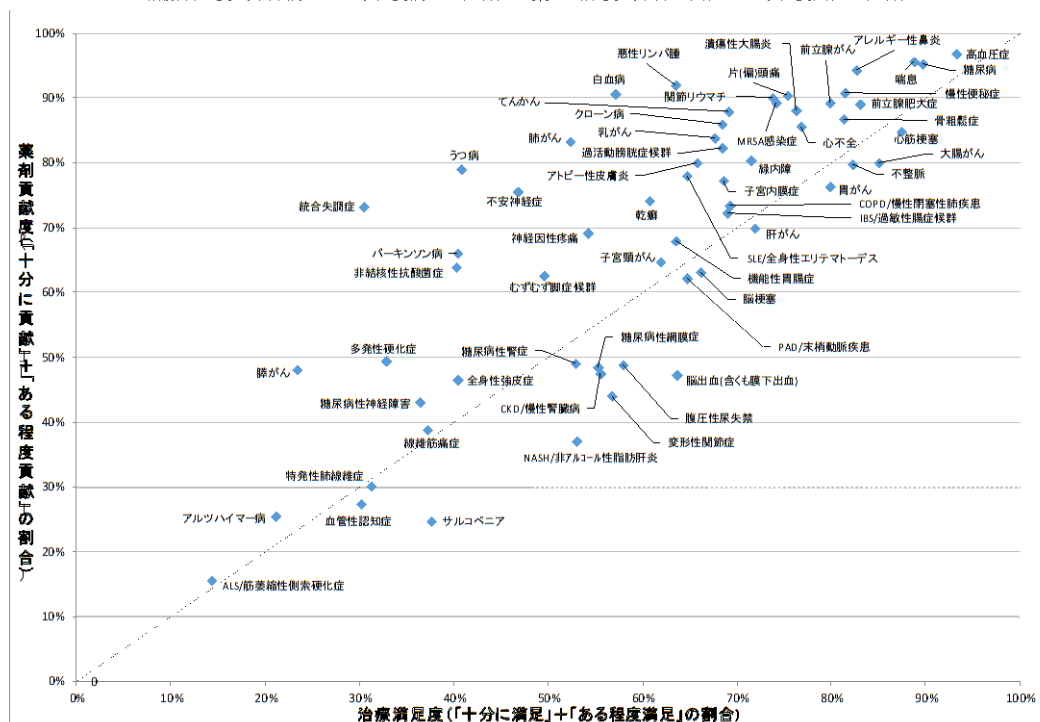


図1 疾患の治療満足度に対する薬剤の貢献度(ヒューマンサイエンス振興財団令和2年度国内基盤技術調査報告書より)

2) 医学及び薬学に関するわが国における状況

①先端医科学プログラム

医学の国際的状況・動向に対応して国内でも医学教育の国際認証制度が進められてい

る。また、エビデンスに基づいた診断と治療、予防医学、早期診断と早期介入の重要性は、我が国でも重視され進められている。一方、医学科出身者は、国家試験合格後に初期および後期の臨床研修や専門医の資格取得などに進むことが多く、特に地域医療を担う地方大学では、医科学研究に取り組む余裕が、以前ほど無くなっている。したがって、医学科出身者以外のコメディカルスタッフや医療関係学部以外の薬理工学部の出身者が、それまで学んだ学問体系を基盤として、新たに医科学研究に参入することが期待されている。

②看護科学プログラム

厚生労働省は、2025年推計において、看護職6～27万人が不足することを発表した(2019年)。需要と供給のバランスを考慮して推計されているが、その後のCOVID-19によるパンデミックで、その育成が急務であることが示された。

さらに看護職を含めた医療職のニーズは、数だけではなく、質の向上が求められている。地域医療を支える切り札として、2015年に厚生労働省は看護師の特定行為研修を設定したが、未だ目標の2%程度の達成度でしかない(2020年)。円滑に進まない理由として、看護師個人の経済的、時間的負担あるいは病院側に機運がないことも指摘されている。また、専門看護師(CNS)においては、複雑で解決困難な看護問題を持つ個人、家族及び集団に対して水準の高い看護ケアを効率よく提供するための、特定の専門看護分野の知識・技術を深めた専門看護師を社会に送り出すことにより、保健医療福祉の発展に貢献し併せて看護学の向上をはかることを目的とし制度化されたが、2020年12月現在において、全国で2,733人の登録があるものの、富山県においては19名と下位10県のレベルにあり、特定研修者同様、その需要が高い医療過疎地域で進んでおらず、質の高い看護師を、富山を中心とした首都圏以外においても積極的に輩出していくことが求められている。

また、医師の指示の下、特定行為として認められている医行為に加えて新たな診療補助も行うことができる診療看護師(NP:ナースプラクティショナー)の育成についても「新たな医療の在り方を踏まえた医師・看護師等の働き方ビジョン検討会報告書(平成29年4月6日)」にて検討を進めることとされているなど、より特定行為(医行為)の提供を推進する動きにあるが、看護師が医師と対等な立場にて患者の医療ケアを提供していくためには、修士課程以上の教育課程において、理論、研究法、倫理などの教科目を通して、看護哲学を学び、看護の視点で健康や病気にアプローチすることができ、医師とは違った側面で役割を担うことのできる高度な人材を輩出していくことが求められている。

③基礎薬学プログラム

国内でも医薬品開発の領域は多岐に渡っており(図2)、この分野の企業からは、病態、薬効薬理、薬物動態から分子論的な相互作用までを含む幅広い知識と高い専門性を身に付け、それらを応用して実践できる人材が求められている。加えて、医薬品に関連する法令を十分に理解し遵守できる人材育成が必須であり、大学院でのきめ細やかな教育・研究指導を通して、学生に高い倫理観を醸成させることが重要である。

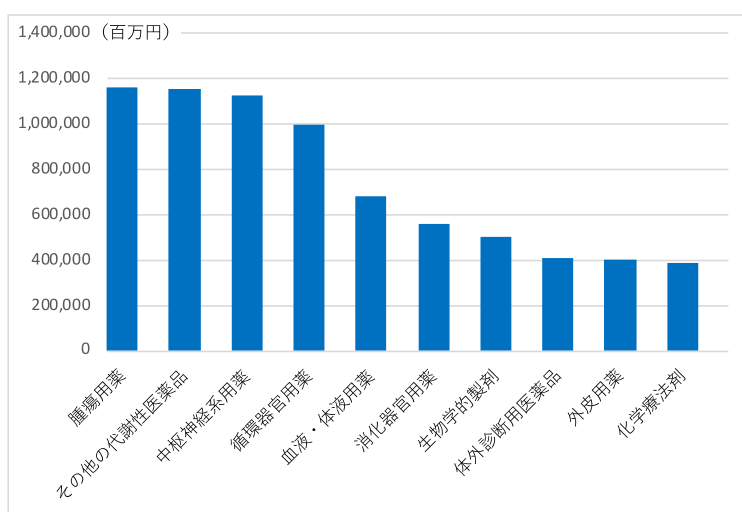


図2 医薬品の薬効大分類別生産金額（上位10位）（厚生労働省 令和元年薬事工業生産動態統計年報より）

3) 医学及び薬学に関する社会的ニーズ

①先端医科学プログラム、②看護科学プログラム、③基礎薬学プログラム

企業・機関や医療機関等を対象に、本学の大学院改組構想に関する資料とそれに関する質問を送付し、インターネットを通じて回答を得た。

なお総合医薬学研究科に係るものは「企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート」と「医療機関等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に医療系大学院）に関するアンケート」の2種類がある。

ここでは先端医科学プログラム、看護科学プログラム及び基礎薬学プログラムに係るアンケート調査の結果について示す。

大学院修士課程修了者に求める能力としては、企業対象アンケートでは、「自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力」「チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力」などが、選択肢のうち「期待する」を選択した割合が多く見られた。一方医療機関対象アンケートでは、ほぼ数的な差はないものの「医学・医療分野における高度な専門知識と技術」「最先端の知を幅広く理解し、常にアップロードする能力」などが選ばれている。

また総合医薬学研究科の改革構想について、企業対象アンケートでは医学系・薬学系を統合し1専攻化による連携強化を目指す取り組みについては69.4%が、改革構想については72.2%が客観的に評価できると判断（「とても評価できる」「少し評価できる」を選択した者の割合を示す）しており、本構想が大学院修士課程として魅力があると肯定的に受け止められていることが伺える。医療機関対象アンケートにおいても、多職種連携や学際的な対応能力を有する専門職医療人等の育成というコンセプトについて、100%の肯定的な評価を得ている。

さらに、総合医薬学研究科修了生の採用に関しては、企業対象アンケートでは37.5%が、

医療機関対象アンケートにおける看護科学プログラム修了者の採用に関しては94%が、肯定的な評価を得ている。なお、富山県内製薬企業を対象に実施したアンケートにおいては、総合医薬学研究科及び医薬理工学環修了者の採用について、72.7%が採用に興味があると回答している。

以上を踏まえ、総合医薬学研究科の改革構想及び修了後の採用について、企業・医療機関双方から肯定的な評価を得られていると判断される。

企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート結果（抄）

企業等における大学院修士課程（主に理系大学院）の大学院進学や修了者の採用に対する考え方を把握することを目的に、アンケート調査を行い、73社（アンケート送付数428社 回答率17.0%）から回答を得た（資料6）。

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(2) 貴社・貴機関が理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
対象分野における高度な専門知識と運用能力	37	29	6	0	72
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	34	35	3	0	72
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	35	29	8	0	72
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	54	16	2	0	72
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	46	23	3	0	72
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	12	34	21	5	72
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	49	22	1	0	72
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	31	34	7	0	72
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	21	33	18	0	72
データ処理、分析、活用能力	36	29	7	0	72
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	29	31	11	1	72

問3. 本学大学院の改革構想

- (3) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	17
どちらともいえない	14
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

- (4) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	19
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

問4. 社会人に対するリカレント教育

- (1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	43
特定の分野について、深く追求し研究する内容	46
幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容	41
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	28
合計	158

- (2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員等のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	3
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	2
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	13
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	41
必要性を感じない	7
わからない	1
その他	5
合計	72

- (3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	96
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	16
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	13
その他	4
合計	129

問5. 大学院修士課程修了者の採用

- (2) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	13
どちらかといえば採用したい	14
採用したいとは思わない	15
分からない	30
合計	72

医療機関等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に医療系大学院）に関するアンケート結果（資料7，8，9）

大学院修士課程（主に医療系大学院）への大学院進学や修了者の採用に対する考え方を把握することを目的に、医療機関等に対しアンケート調査を行い、8機関（アンケート送付数32機関 回答率25.0%）から回答を得た（資料7）。

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

- (1) 貴機関において医療系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

修士採用実績	回答数
採用実績あり	6
採用実績なし	2
合計	8

- (2) 貴機関が医療系の大学院修士課程を修了した職員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
医学・医療分野における高度な専門知識と技術	8	0	0	0	8
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	6	2	0	0	8
専門職医療人（臨床検査技師，理学療法士など）や高度専門職業人（専門看護師，特定行為のできる看護師など）として必要な能力	3	5	0	0	8
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	4	3	1	0	8
自ら課題を発見し，解決案を構築・検証する能力	4	3	1	0	8
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	4	3	1	0	8
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	3	4	1	0	8
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	5	3	0	0	8

リーダーとしてチームをマネジメントする能力	5	3	0	0	8
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	4	3	1	0	8
データ処理, 分析, 活用能力	4	4	0	0	8
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	5	3	0	0	8

問3. 本学大学院の改革構想

- (1) 大学院総合医薬学研究科では、高度に専門化した医療現場において活躍できる多職種連携と相互理解、包括的かつ学際的な対応能力を持つ専門職医療人や高度専門職業人を育成するという目的を掲げています。そのような人材を養成することは評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	7
少し評価できる	1
どちらともいえない	0
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	8

問4. 社会人に対するリカレント教育

- (1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	6
特定の分野について、深く追求し研究する内容	2
幅広く仕事に活用できる技能(データ分析など)を習得できる内容	4
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	3
合計	15

- (2) リカレント教育の一環として、貴機関の職員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	0
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	0
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	1
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	7
必要性を感じない	0
わからない	0
合計	8

- (3) 貴機関にとって、職員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

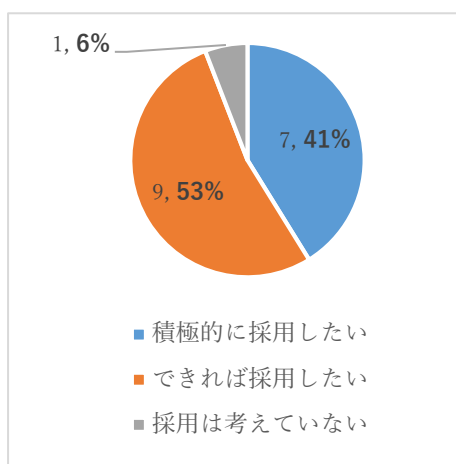
リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	7
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	2
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	1
その他	1
合計	11

②看護科学プログラム

医療機関等における大学院総合医薬学研究科看護科学プログラムへの看護職者の大学院進学や修了者の採用に対する考え方を把握することを目的に、・富山県内の公的病院の看護部長宛て 24機関、・既存の看護学専攻における社会人進学者が勤務する医療・教育機関 4機関に対しアンケート調査を行い、17機関（アンケート送付数28機関 回答率60.7%）から回答を得た（資料8）。

【調査結果(抄)】

4. 修士課程(研究者 or 専門看護師コース)修了者の採用希望についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。



	回答数	割合
積極的に採用したい	7	41%
できれば採用したい	9	53%
採用は考えていない	1	6%

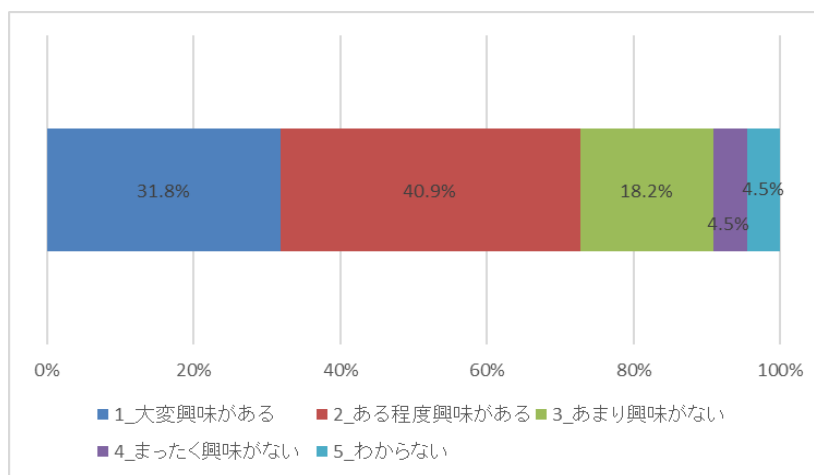
③基礎薬学プログラム

富山県内の製薬企業における薬学系大学院修了者の採用に対する考え方を把握することを目的に、アンケート調査を実施した。アンケート実施に際しては、業界の健全な発展と国民の保健衛生の向上を目的とした富山県薬業界の中核団体である、一般社団法人富山県薬業連合会（会員：医薬品製造業者 62社，医薬品卸売業者・医薬品関連企業等 88社，組合，団体 6団体）の協力を得て，会員企業のうち医薬品製造業者を対象とし，44社から回答を得た（資料9）。

【調査結果(抄)】

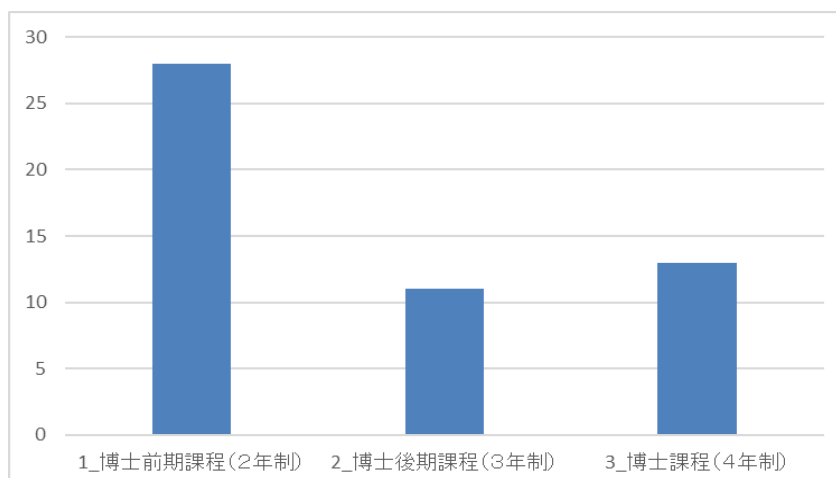
⑤ 貴社は，大学院修了生の採用に興味がありますか。（あてはまる番号1つに○）

回答	
【1】	14
【2】	18
【3】	8
【4】	2
【5】	2
計	44



「大変興味がある」「ある程度興味がある」を選択した場合は，どの課程に関心がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

回答	
【1】	28
【2】	11
【3】	13
計	52



4) 関係業界との連携体制

①先端医科学プログラム

先端医科学プログラムは、コメディカル関係者や薬学・理工学出身者に医科学の研究指導を行い、医療専門職のスキルアップ、医薬看連携の構築、医科学研究開発者の育成を目的としている。本学には大学附属病院があり、本プログラムに参加するとともに、関連教育病院等との医薬看の連携体制が構築されている。また県内の医療系専門学校や医療機関と、教育研究指導等で人材交流や連携体制が構築されている。さらに、地域医薬品産業とも共同研究を通じた連携体制が構築できている。今後、今回の入学希望者アンケート調査の対象となった県内医療系機関に継続的な情報提供を行い、連携体制の一層の強化に努める。

②看護科学プログラム

学部看護教育のための実習を通じて、地域の関連教育病院をはじめ保健所などとは連携が取れており、富山県看護協会を通じて全県下の医療施設との連携体制は構築されている。大学院教育ではすでに地域病院などからのリカレント教育を中心に実施してきた。

新たな大学院看護科学プログラムは1) 看護研究者コース、2) 専門看護師(CNS)コース、3) ナースプラクティショナー(NP)コースの3つを整えることになる。看護研究者コースを修了した学生は、看護のニーズに対する解決策の案出を経験した看護師として、将来の看護教育者・研究者、保健所などの行政機関、あるいは基幹・地域病院で活躍することを目標に社会に貢献する。専門看護師(CNS)コースを修了した学生は基幹病院で、その領域の指導者として活躍することが期待される。またナースプラクティショナー(NP)コースを修了した学生は、医療行為のできる看護師として、地域医療、急性期医療の現場で活躍することが期待される。

③基礎薬学プログラム

本プログラムの基盤組織となる既設専攻の大学院医学薬学教育部薬科学専攻では、修了生の多くが製薬企業の研究、開発、技術、MR職に就いており(図3)、今後も本プログラムから同職種への人材の輩出が期待できる。

富山県は医薬品の生産金額が国内4位(2019年薬事工業生産動態統計年報)にあり、薬都として知られているが、県の薬業界と本学との結びつきは長い実績がある。実際、一般社団法人富山県薬業連合会に加盟する製薬関連企業のアンケート(前ページ参照)においても、基礎薬学プログラムの博士前期課程、後期課程に対する関心が高く、大学院生の採用についても多くの前向きな回答が得られている。

2000年に設立されたフォーラム富山「創薬」では、研究会の開催がすでに50回を超え、産学官の研究の情報交換や交流の促進を進めている。2018年6月には、医薬品産業の振興とそれを担う専門人材の育成・確保を図るために、産学官連携により、「くすりのシリコンバレーTOYAMA」創造コンソーシアムが設置され、内閣府の地域大学・地域産業

創生地方創生事業に採択された。これらの事業を通じ、富山県や富山県薬業連合会などとの連携が、より一層強化されている。

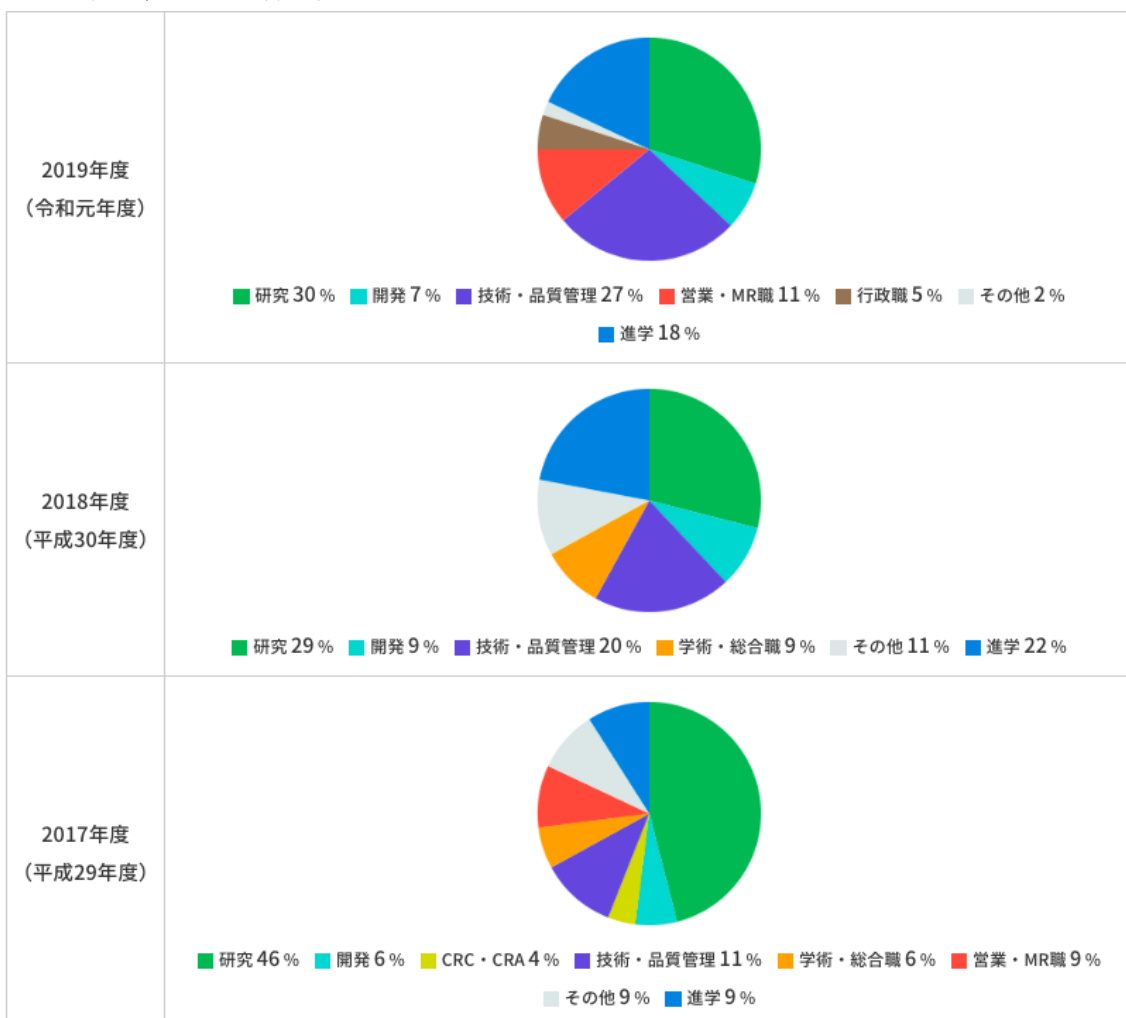


図3 大学院医学薬学教育部薬科学専攻修了生就職先分野（本学作成）

資料目次

(学生の確保の見通し等を記載した書類)

資料 1	在学生を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート調査 ……	27
資料 2	富山大学大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラムに関する アンケート調査（コメディカルスタッフ対象） ……	64
資料 3	富山大学大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラムに関する アンケート調査（専門学生対象） ……	78
資料 4	富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラムに関する アンケート調査（看護職員等対象） ……	90
資料 5	富山大学における授業料その他の費用に関する規則 ……	105
資料 6	富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート調査 （企業対象） ……	112
資料 7	医療機関等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に医療系大学院） に関するアンケート調査 ……	147
資料 8	富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラムに関する アンケート調査（看護部長等対象） ……	163
資料 9	薬学系大学院修了者の採用ニーズに関するアンケート調査 （製薬企業対象） ……	180

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

人社会術総合研究科	→ 人文社会芸術総合研究科	医薬理工連係課程群	→ 医薬理工学環
持続可能社会連係課程群	→ 持続可能社会創成学環	創薬・製剤工学研究科連係課程	→ 創薬・製剤工学プログラム
文理融合型データサイエンス研究科連係課程	→ 社会データサイエンスプログラム	応用和漢医薬学研究科連係課程	→ 応用和漢医薬学プログラム
グローバルSDGs研究科連係課程	→ グローバルSDGsプログラム	認知・情動脳科学研究科連係課程	→ 認知・情動脳科学プログラム
		メディカルデザイン研究科連係課程	→ メディカルデザインプログラム

在学生を対象とした富山大学大学院修士課程に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

富山大学に在籍する全学生

(2) 調査の方法

上記対象学生等に、ウェブ上で説明資料の提示・説明動画の上映を行った上で、アンケートへの回答を依頼した。

なお、都合によりウェブ閲覧できなかった学生に対しては、必要に応じて紙媒体による説明・アンケート回答を行った。

(3) 回答数

回答数：1,575名（うち学部3年生 1,250名）

(4) 調査期間

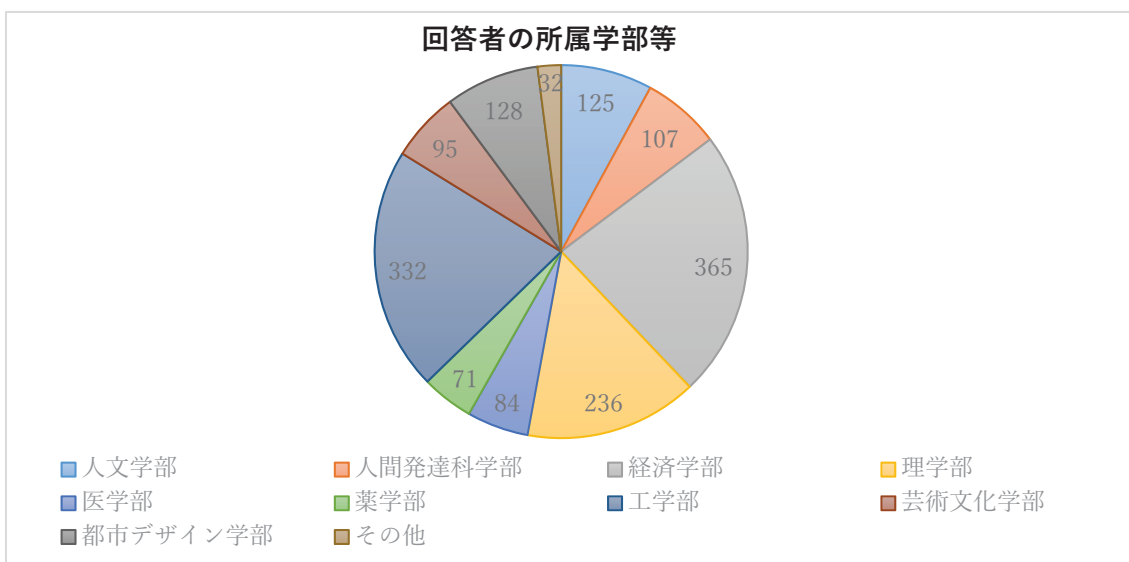
令和3年1月19日～3月1日

2. 調査結果

問1. あなたの所属を選択してください。

所属	回答数
人文学部人文学科	125
人間発達科学部発達教育学科	59
人間発達科学部人間環境システム学科	48
経済学部経済学科	119
経済学部経営学科	151
経済学部経営法学科	95
理学部数学科	38
理学部物理学科	46
理学部化学科	49
理学部生物学科	59
理学部生物圏環境科学科	44
医学部医学科	14
医学部看護学科	70
薬学部薬学科	18
薬学部創薬科学科	53

工学部工学科電気電子工学コース	77
工学部工学科知能情報工学コース	75
工学部工学科機械工学コース	84
工学部工学科生命工学コース	52
工学部工学科応用化学コース	44
芸術文化学部芸術文化学科	95
都市デザイン学部地球システム科学科	33
都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	39
都市デザイン学部材料デザイン工学科	56
その他	32
合計	1,575



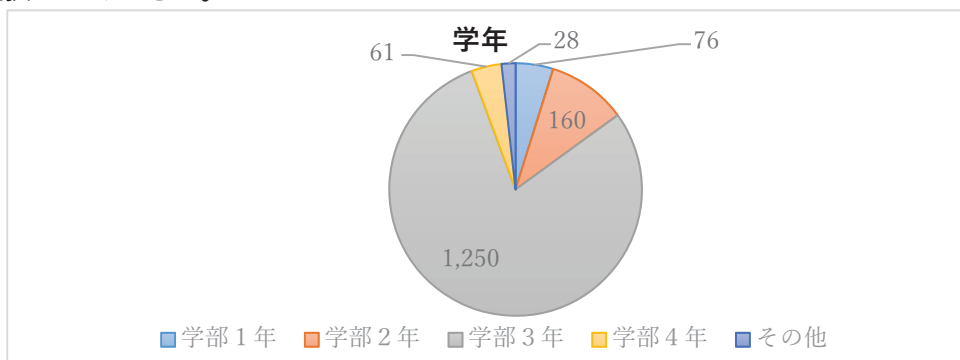
問1. その他の内訳

組織名等	回答
理学部地球科学科	4
工学部知能情報工学科	3
工学部機械知能システム工学科	4
工学部材料機能工学科	3
人間発達科学研究科	1
医学薬学教育部	1
医薬薬学教育部薬科学専攻	1
理工学教育部	2

理工学教育部数学専攻	1
理工学教育部生物圏環境科学専攻	2
理工学教育部電気電子システム工学専攻	1
理工学教育部生命工学専攻	3
理工学教育部環境応用化学専攻	1
理工学教育部材料機能工学専攻	2
生命融合科学教育部	1
教職実践開発研究科	1
無回答	1
合計	32

問2. あなたの学年を選択してください。

学年	回答数
学部1年	76
学部2年	160
学部3年	1,250
学部4年	61
その他	28
合計	1,575

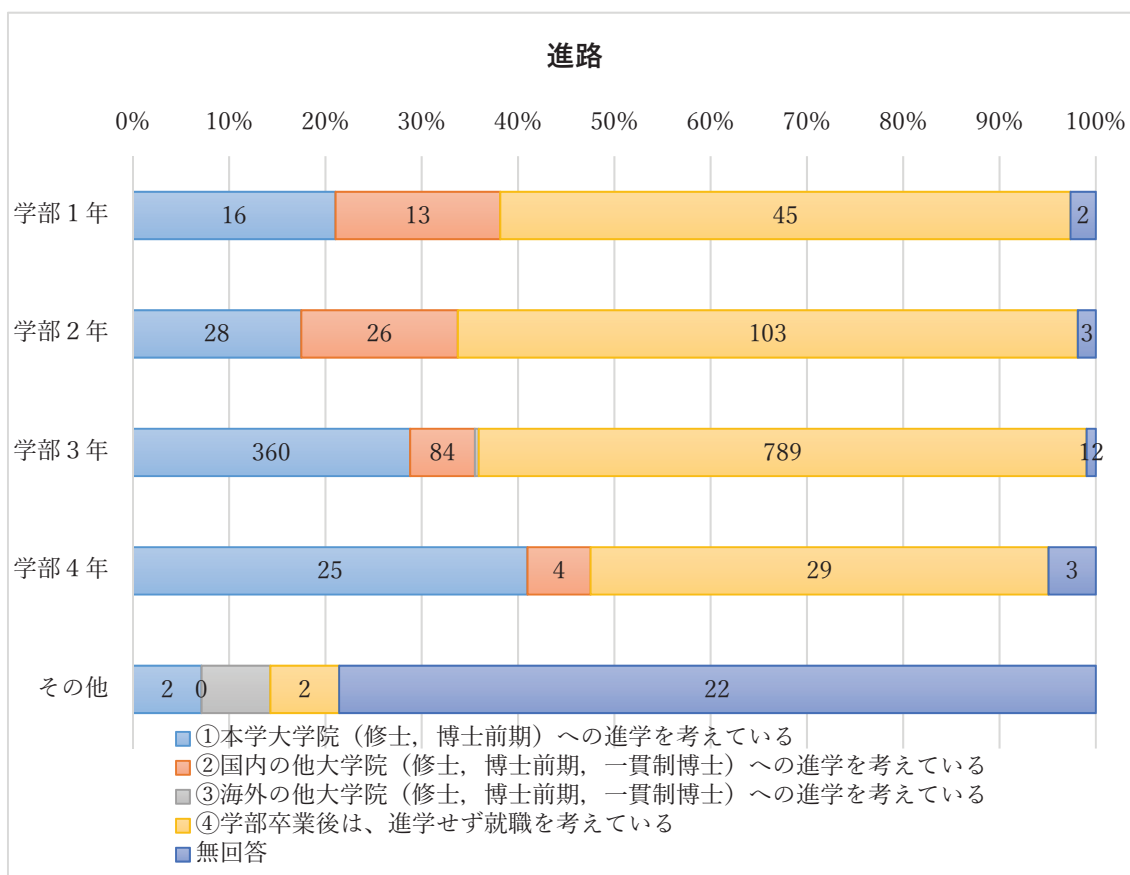


問2. その他の内訳

その他内訳	回答数
学部5年	1
学部6年	1
修士課程・博士前期課程1年	15
修士課程・博士前期課程2年	5
博士課程3年	1
博士課程4年	1
休学中	1
無回答	3
合計	28

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

進路	学部 1年	学部 2年	学部 3年	学部 4年	その 他	合計
①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている	16	28	360	25	2	431
②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている	13	26	84	4	0	127
③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている	0	0	5	0	2	7
④学部卒業後は、進学せず就職を考えている	45	103	789	29	2	968
無回答	2	3	12	3	22	42
合計	76	160	1,250	61	28	1,575



【問4～7は、学部3年のみを集計対象とする】

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科連係課程を1つ選択してください。

学内進学希望先		回答数	
① 人社芸術総合研究科心理学プログラム		4	
② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム		5	
③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム		1	
④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム		2	
⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム		1	
⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム		36	
⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム		23	
⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム		24	
⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム		33	
⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム		30	
⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム		67	
⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム		24	
⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム		15	
⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム		6	
⑮ 創薬・製剤工学研究科連係課程	医薬系	2	8
	理工系	6	
	小計	8	
⑯ 応用和漢医薬学研究科連係課程	医薬系	1	4
	理工系	3	
	小計	4	
⑰ 認知・情動脳科学研究科連係課程	医薬系	0	9
	理工系	9	
	小計	9	
⑱ メディカルデザイン研究科連係課程	医薬系	0	7
	理工系	7	
	小計	7	
⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	人社芸術系	1	5
	理工系	4	
	小計	5	
⑳ グローバル SDGs 研究科連係課程	人社芸術系	3	12
	理工系	9	

	小計	12	
⑳どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている			33
無回答			11
合計			360

㉑の組合せ

- ・②人文・芸術プログラムと③共創経済プログラム…3名
- ・②人文・芸術プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程…1名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑯応用和漢医薬学研究科関係課程…3名
- ・⑥基礎薬学プログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程…1名
- ・⑨生命・物質化学プログラムと⑮創薬・製剤工学研究科関係課程…1名
- ・⑦数理情報学プログラム（単独記載）…1名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程…2名
- ・⑦数理情報学プログラムと⑧物理学・応用物理学プログラムと⑪メカトロニクスプログラムと⑰認知・情動脳科学研究科関係課程と⑳グローバル SDGs 研究科関係課程…1名
- ・⑩地球生命環境科学プログラム（単独記載）…1名
- ・⑪メカトロニクスプログラムと⑱メディカルデザイン研究科関係課程…2名
- ・⑫マテリアル科学工学プログラム（単独記載）…1名
- ・⑮創薬・製剤工学研究科関係課程と⑯応用和漢医薬学研究科関係課程…3名
- ・⑱メディカルデザイン研究科関係課程と⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程…1名
- ・具体的な組合せの回答なし12

㉑の組合せを按分してポイント化したもの

学内進学希望先	ポイント
①人社芸術総合研究科心理学プログラム	0
②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	2
③人社芸術総合研究科共創経済プログラム	1.5
④総合医薬学研究科看護科学プログラム	0
⑤総合医薬学研究科先端医科学プログラム	0
⑥総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	2
⑦理工学研究科数理情報学プログラム	2.2
⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム	0.2
⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム	0.5
⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム	1

⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム			1.2
⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム			1
⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム			0
⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム			0
⑮創薬・製剤工学研究科連係課程	医薬系	0	2
	理工系	2	
	小計	2	
⑯応用和漢医薬学研究科連係課程	医薬系	1.5	3
	理工系	1.5	
	小計	3	
⑰認知・情動脳科学研究科連係課程	医薬系	0.5	0.7
	理工系	0.2	
	小計	0.7	
⑱メディカルデザイン研究科連係課程	医薬系	0	3
	理工系	2.5	
	人社芸術系	0.5	
	小計	3	
⑲文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	人社芸術系	0	0.5
	理工系	0.5	
	小計	0.5	
⑳グローバル SDGs 研究科連係課程	人社芸術系	0	0.2
	理工系	0.2	
	小計	0	
無効			12
合計			33

㉑のポイントを回答数に加算したもの

学内進学希望先	ポイント
①人社芸術総合研究科心理学プログラム	4
②人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	7
③人社芸術総合研究科共創経済プログラム	2.5
④総合医薬学研究科看護科学プログラム	2
⑤総合医薬学研究科先端医科学プログラム	1
⑥総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	38
⑦理工学研究科数理情報学プログラム	25.2

⑧理工学研究科物理学・応用物理学プログラム			24.2
⑨理工学研究科生命・物質化学プログラム			33.5
⑩理工学研究科地球生命環境科学プログラム			31
⑪理工学研究科メカトロニクスプログラム			68.2
⑫理工学研究科マテリアル科学工学プログラム			25
⑬理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム			15
⑭理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム			6
⑮創薬・製剤工学研究科連係課程	医薬系	2	10
	理工系	8	
	小計	10	
⑯応用和漢医薬学研究科連係課程	医薬系	2.5	7
	理工系	4.5	
	小計	7	
⑰認知・情動脳科学研究科連係課程	医薬系	0.5	9.7
	理工系	9.2	
	小計	9.7	
⑱メディカルデザイン研究科連係課程	医薬系	0	10
	理工系	9.5	
	人社芸術系	0.5	
	小計	10	
⑲文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	人社芸術系	1	5.5
	理工系	4.5	
	小計	5.5	
⑳グローバル SDGs 研究科連係課程	人社芸術系	3	12.2
	理工系	9.2	
	小計	12.2	
合計			337

問5. 問3で「④学部卒業後は、進学せず就職」と回答した方についてお答えください。就職後、働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として入学したいプログラム・研究科連係課程がありましたら回答してください（複数選択可）。

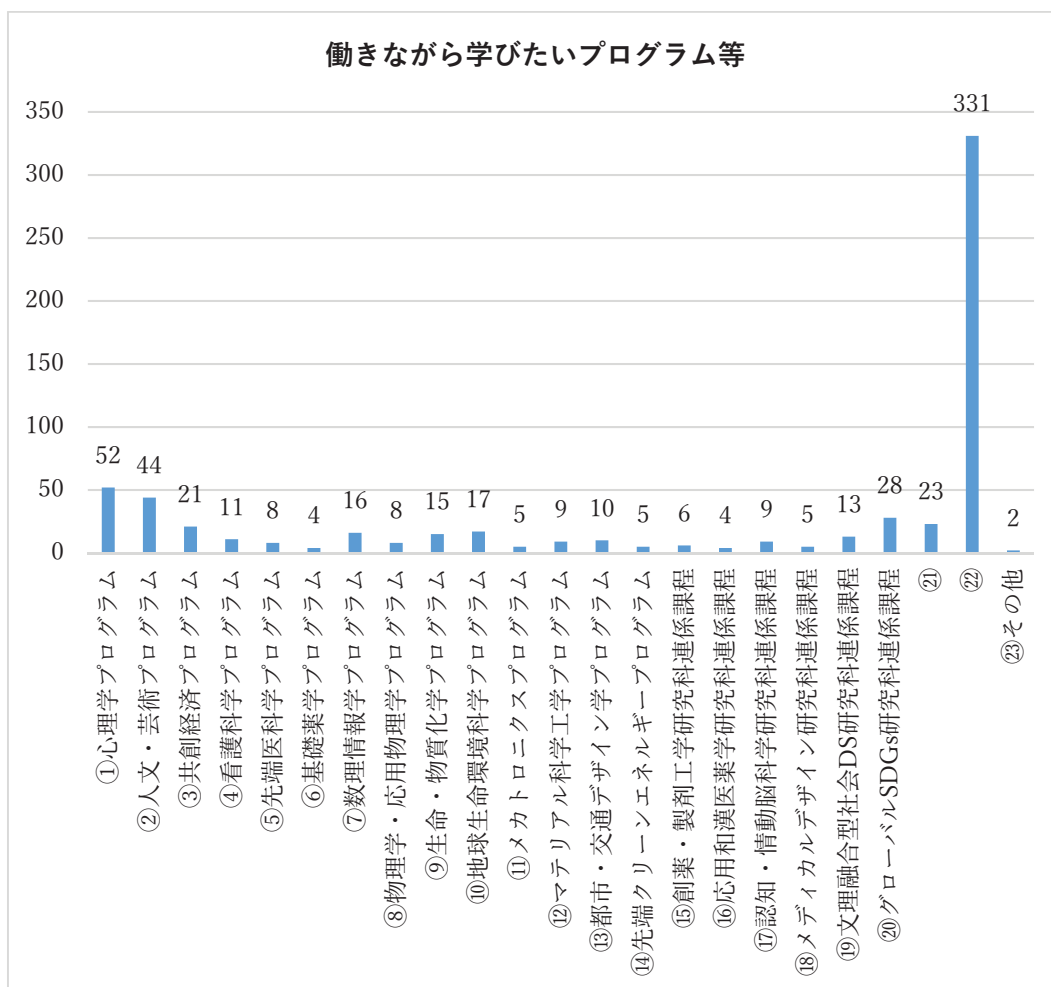
回答有無	回答数
回答あり	519
回答なし	270

【回答があった519名の回答の内訳、複数回答可】

プログラム名等	回答数
① 人社芸術総合研究科心理学プログラム	52
② 人社芸術総合研究科人文・芸術プログラム	44
③ 人社芸術総合研究科共創経済プログラム	21
④ 総合医薬学研究科看護科学プログラム	11
⑤ 総合医薬学研究科先端医科学プログラム	8
⑥ 総合医薬学研究科基礎薬学プログラム	4
⑦ 理工学研究科数理情報学プログラム	16
⑧ 理工学研究科物理学・応用物理学プログラム	8
⑨ 理工学研究科生命・物質化学プログラム	15
⑩ 理工学研究科地球生命環境科学プログラム	17
⑪ 理工学研究科メカトロニクスプログラム	5
⑫ 理工学研究科マテリアル科学工学プログラム	9
⑬ 理工学研究科都市・交通デザイン学プログラム	10
⑭ 理工学研究科先端クリーンエネルギープログラム	5
⑮ 創薬・製剤工学研究科連係課程	6
⑯ 応用和漢医薬学研究科連係課程	4
⑰ 認知・情動脳科学研究科連係課程	9
⑱ メディカルデザイン研究科連係課程	5
⑲ 文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程	13
⑳ グローバル SDGs 研究科連係課程	28
㉑ 働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として 大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない。	23
㉒ 働きながら大学院に行きたいとは思わない	331
㉓ その他	2
合計	646

問5. その他内訳

- ・教職大学院
- ・教育に関すること

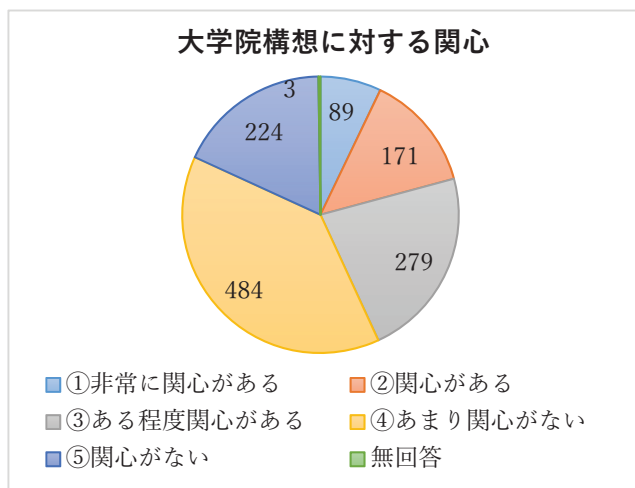


㉑…働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない

㉒…働きながら大学院に行きたいとは思わない

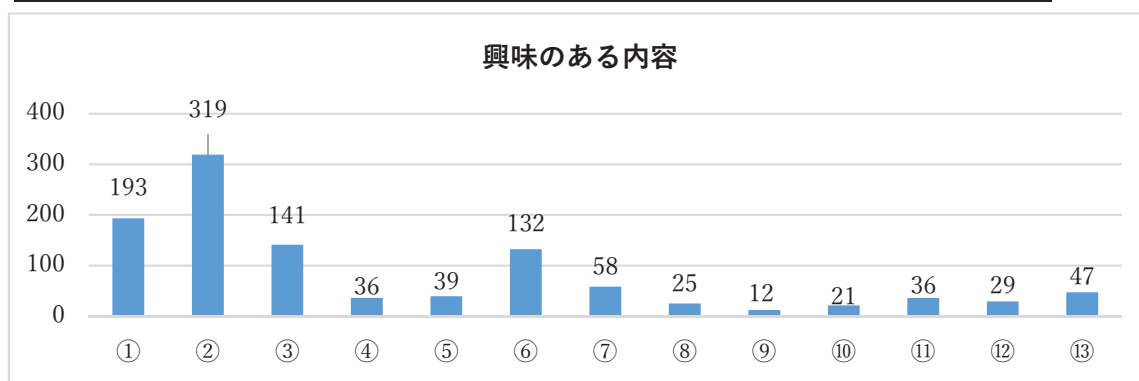
問6. 富山大学の新しい大学院構想について伺います。令和4年4月からの新しい大学院構想について、説明を聞いて（読んで）あてはまるものを選択してください。

大学院構想関心	回答数
①非常に関心がある	89
②関心がある	171
③ある程度関心がある	279
④あまり関心がない	484
⑤関心がない	224
無回答	3
合計	1,250



問7. 問6で「①非常に興味がある、②興味がある、③ある程度興味がある」のいずれかを選択した方のみお答えください。本学の大学院構想の中で、あなたが興味を持った項目にチェックしてください（複数回答可）。

興味を持った内容	回答数
①大学院共通科目が設定され、高度なスキル・リテラシーが学べること	193
②現在の学部の枠組みを超えた、分野の連携と融合が進んでいること	319
③分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること	141
④公認心理師養成課程が整備されること	36
⑤人社芸術系の大学院が実践的能力を育成することを目的とする大学院へと変わること	39
⑥理工系の大学院が理学と工学を融合させ、各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する大学院へと変わること	132
⑦医薬系の大学院が医療に関する実践的な多職種連携・協働とイノベーションにつながる包括的な医療的素養を学ぶ大学院へと変わること	58
⑧富山県の地域産業である薬業について、創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成する研究科連係課程ができること	25
⑨富山県の地域産業である薬業について、和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成する研究科連係課程ができること	12
⑩富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成する研究科連係課程ができること	21
⑪医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成する研究科連係課程ができること	36
⑫データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること	29
⑬持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステイナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること	47
合計	1,088



問8. その他意見等があれば記載してください。

【本設問については全学生のものであり、原文のまま掲載】

- ・大学も生き残るために様々なことをしなければならず大変だと思う。
- ・わかんかった
- ・早めに入学要項を提示していただきたい。
- ・大学院共通の内容項目があることは分野が広がるため興味深かった。大学生の大学院進学率が理系学部の学生の方が高いため、理解はできるが理系学部の選択肢は非常に多い中、文系学部の選択肢はそれほど広がっていないように感じた。"
- ・学部生は学部の研究室と大学院構想における各コースの繋がりによっては研究室の選び方も変わってくるので、お教えいただけると幸いです。
- ・経済学部卒業者でも数理情報プログラムに進学できるか興味があります。私は、データサイエンスを通してデータサイエンスのスキルは応用対象が経済のみならず、制御工学やコンピューターなど様々な学問に応用できると思いますしそうしたいです。なので経済学部でも数学や情報の教育を強化したほうが良いと思います。そして数理情報には経済・数学・情報工学たその他で様々な学部から募集できるようにしたほうが良いと思います。現在では、東京大学や筑波大学などではそういった経済学部出身・もしくは他学部からでも情報理工系の院進学を実現している人がいます。参考にさせていただけるとありがたいです。
- ・税理士の科目免除が可能な大学院(夜間)を設けることで、北陸の優秀な社会人が集まり、互いに切磋琢磨する相乗効果が期待される。
- ・創薬科学科に入ったのは、薬学部だからこそできる研究をするためであったのに、他学部と編成されることに納得できない。
- ・心理学プログラムに臨床心理士の養成課程は設置されないのか。
- ・ぜひ大学院に行きたいです！
- ・まず富山大学の大学院には関心がない。その上でこのようなアンケートを強制的に回答させられることについても正直理解ができない。しっかりと説明をしてからアンケートは取るべきであると思う。
- ・大学院構想によって、富山大学の将来はどうなりますか。
- ・試験期間中に行って回答が集まるわけがない。興味あるが回答に時間を割けない。是非試験期間前か試験期間後に行うべきだった。
- ・名称がもっと短いとわかりやすいと思います。(書類や宣伝)内容は、詳細を記したパンフレットやHPで知らせたり、コース名でアピールするだけでも充分だと思います。
- ・早く大学院入試の要項を公開してほしい(特にGPA入試の基準GPA)
- ・学部の卒業研究での学部間の連携は考えられていますか。例えば、理学部生物学科では研究内容が医学部の基礎研究と似通った部分があり、卒業研究であっても他学部の研究室に配属できるようになれば研究の幅が広がると考えます。また、五福キャンパスと杉谷キャンパス

ンパスでは閲覧できる論文や資料に差があることから、五福キャンパスの生命系の学科と杉谷キャンパスの学部との連携が深まり自由な研究ができることを期待します。

- ・現在、富山大学(人間発達科学部)は公認心理師養成に対応していないのに、人間発達科学部を卒業した学生が本学の大学院で公認心理師を目指すことができるようになると捉えられるような表記の仕方は適当ではないと思った。
- ・問7にある項目は組織再編がなければできないものなのか、とは思いますが。
- ・人社芸術総合研究科人文・芸術プログラムだけ、説明資料が他に比べて詳細が記載されておらず、進学の後補としているので、どんな授業が行われるかも記載してほしい。
- ・幅広い分野について学び、身につけることが出来るのは良いことだと思いますが、以前より専門性が浅くならないか少し気がかりです。
- ・学生は期末試験を目前に控えているのだからこんな時にアンケートをしてほしくないと思いました。
- ・SDGsの研究に理工学部と経済学部との合同での取り組みには他学部ですが興味を持ちました。
- ・ただでさえ、総合大学となり肩身狭い思いをして芸術文化について学んでいるのに、更に狭い枠の中で学ぶ環境はとて息がし辛くともではないが入りたいとは思わない。芸術文化が社会貢献できるように他分野とも絡めて学ぶシステムにしたいのだろうが、学部自体も一般教養の多さに圧倒され専門分野に手がつかず一年無駄にした気持ちで、残りの3年間では技術が理想に追いつかない。一年からもっと専門的なことができるかつてのシステムの方が断然よかった。なぜカリキュラムを変えたのか未だにわからない。この状態のまま、新体制の大学院に進んだとしても技術の向上が思い通りに行く気がしない。
- ・分野の融合を意識するのは良いが、学部の教養一元化のように内容の薄い改革にならないか懸念がある。また改革自体は良い取り組みだと思うが、同時に大学院に進学しやすい環境を整える事も重要であるとあると感じる。特に奨学金を借りてる立場からすると、大学院進学はいくら能力があろうと経済的・時間的なリスクが大きいので、大学側としても出来ることは限られるだろうが、可能な限り補助が無いと進学の選択肢は選びにくいままであると感じる。最後に繰り返すことになるが、改革自体には期待しているので、是非富山大学の強みを押し出して欲しい。
- ・新大学院構想につきまして、大変興味を持ちました。本事案から少し逸れた意見となり大変恐縮なのですが、次回の大学院入試に関しまして、TOEICが必要になりますでしょうか。現在、TOEICの会場内の人数制限のため、受けたくても受けられない状況が続いております。そのため、TOEICが入試必須条件になりますと、大学院に行こうに行けない状況になってしまいますので、大学院を目指している身として、TOEIC免除か、もしくは他の資格(英検等)の代替可能といった措置を取って頂けると幸いです。
- ・現3年生が富山大学に入学する際にも、工学部の学科名称変更があったのと同様の違い程度なのだろう、と思いました。そもそも大学に3年間在籍していても、大学院で具体的

に何をしているのか、何を研究しているのかは未だに理解していません。

- ・現状まだよく分からない。(新大学院制度に関して)
- ・TOEICのテストが抽選なので、申し込んでも未だに当選していません。推薦以外で大学院に行くためにはTOEICの点数が今年の4月までに必要だと聞きました。3月21日にあるテストの結果発送予定が4月20日で、恐らく最後のチャンスだと思います。これも落選したら推薦以外で大学院に行けないのでしょうか。
- ・都市デザイン学部の1期生が卒業するタイミングに合わせた改組で、非常に良い転機であるにもかかわらず、やはり地球システム科学科と材料デザイン工学科は旧過程とおよそ変化のない進路選択となりそうで残念でした。学部としても、3学科がうまく連携しているとは言えない現状で、学部共通科目と称して、他学科の専門科目を必修で学ばなければならないにも関わらず、結局大学院でも都市を考えるような想定がなされないのは、やはり都市交通デザイン学科のための学部新設であったと思われるのも仕方ない。「いつかどこかで役に立つ」「本当に興味があれば選ぶこと自体は可能」ではなく、目指す方向性を学部で統一してほしい。学部学生の進学に対する見通しの悪さを認識してもらいたい。
- ・入試制度はできる限り早く連絡して欲しい。
- ・データサイエンスを推し進めるにあたりスパコンなどを導入することで学外へのアピールにつながりより良いものにできるのではないかと思う。
- ・個人的に、英語で学ぶというスタイルや富山大学の強みを活かすこと、文理融合型の学びが魅力的だと思った。先進的な学習ができれば良いと思う。
- ・都市デザイン学部で行った学部共通科目の必修にデータサイエンスやPBL系の科目があるにもかかわらず、文理融合系研究科の想定進学ルートに都市デザイン学部3学科すべてが入っていないのはなぜなのか。選抜方法等の早期の情報開示に期待しています。
- ・決まっているようなものにアンケートを書かせる意図がわからない。
- ・せっかく和漢薬を大学で推しているのにも関わらず蓋を開けてみれば学ぶ機会も少ないし和漢薬に関する研究室の枠も少ないのはいかがなものかと思いました。和漢薬に力を入れていると聞いて本学を選んだのに正直がっかりしました。大学院についてこのように真剣に考えることができるのならもう少し和漢薬に関する枠を増やす努力もしてほしいです。
- ・さまざま大学院の構想がありますが、何をするのかパッとわからないので、アンケートに回答しにくいも思いました。
- ・和漢医学を本格的に学べるのは国内で富山大学だけなので、医学に対する一つのアプローチ方法として理解を深めたいと強く感じました。
- ・学部時の教養科目を学ぶ期間が長かったため、専門科目について学び始める期間が始まるのが遅く感じた。大学院共通科目の内容、実施方法によっては、専門的な知識を他分野と統合し、より有益な結果を得るという目的を達成するばかりか、前提となる専門的な知識を得る場すら損なわれる可能性があると思われる。特に私自身が現在学芸員科目で高岡か

ら五福に移動する時間等不都合が生じている。人文、社会学系の学問との共通点も多く、統合については悪くないと思うが、立地上時間的な制約が増え、結果的に高岡キャンパスで活動する学生に負担が集中している現状を鑑みて大学院共通科目を実施してほしい。オンライン化が浸透した現状であれば、土地、時間的制約は乗り越えられるものであり、対面授業を強行する等不合理なことはしないでいただきたいと思う。

- ・入学時にも五福での教養や今回の件など、私たちの代は実験台なのかなと感じました。こういう大事なことは1年以上前に伝えてください。私は”第1期”というのが嫌なので、このカリキュラムが進行するなら本学での修士への進学は考えさせていただきます。
- ・急に大学院構想の話を出されても困る。もっと早めに話して欲しかった
- ・大学院の制度が変更になることを知ったのが、去年(2020)の秋で、いきなり、自分たちの代から大学院が変わると分かったので正直とまどいがあった。もう少し改変があることを事前に知りたいと思ったので、少なくとも2年前期ぐらいには知らせてほしかった。また、大学院の説明動画も難しく、理解できないところも多かったので、もっとわかりやすく単純な形にしてほしい。
- ・youtube配信だと見る気が失せるので、やっぱり説明会は対面ですべきだと思いました。よく理解できました。
- ・選んだ研究科によって何が大きく変わるのかよく分からなかった。(授業が変わるのか、研究室での活動に変化はあるのか・・・)「基礎薬学プログラム」という名前は他の研究科に比べて第一印象があまりよくないのかなとおもいました。何も知らない企業の人から見たら他の研究科の方がすごそうに思います。
- ・創薬科学科の定員数が減少することですが、その際長らく残っている悪しき慣習である研究所の最低卒廃止をしないと学生の自主性を更に損なわれて大学院の構造も変化してしまいます。カリキュラム改革をするのであれば、最低卒を含めた弊大に残っている自主性を阻むような制度も見直すべきだと考えております。

在学生対象 調査票

問1. あなたの所属を選択してください。

- 人文学部人文学科
- 人間発達科学部発達教育学科
- 人間発達科学部人間環境システム学科
- 経済学部経済学科
- 経済学部経営学科
- 経済学部経営法学科
- 理学部数学科
- 理学部物理学科
- 理学部化学科
- 理学部生物学科
- 理学部生物圏環境科学科
- 医学部医学科
- 医学部看護学科
- 薬学部薬学科
- 薬学部創薬科学科
- 工学部工学科電気電子工学コース
- 工学部工学科知能情報工学コース
- 工学部工学科機械工学コース
- 工学部工学科生命工学コース
- 工学部工学科応用化学コース
- 芸術文化学部芸術文化学科
- 都市デザイン学部地球システム科学科
- 都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
- 都市デザイン学部材料デザイン工学科
- 上記以外の所属 ()

問2. あなたの学年を選択してください。

- 学部1年
- ...
- 学部4年
- その他 ()

問3. 学部の学生のみお答えください。あなたは、卒業後（令和4年4月以降）に、大学院への進学を考えていますか。

- ①本学大学院（修士，博士前期）への進学を考えている
- ②国内の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ③海外の他大学院（修士，博士前期，一貫制博士）への進学を考えている
- ④学部卒業後は、進学せず就職を考えている

問4. 問3で「① 本学大学院へ進学」と回答した方についてお答えください。ぜひ進学したいと考えるプログラム・研究科関係課程を1つ選択してください。

人社芸術総合研究科

- ①心理学プログラム
- ②人文・芸術プログラム
- ③共創経済プログラム

総合医薬学研究科

- ④看護科学プログラム
- ⑤先端医科学プログラム
- ⑥基礎薬学プログラム

※6年制学科に対応した博士課程は、令和6年4月設置に向けて構想中です。

理工学研究科

- ⑦数理情報学プログラム
- ⑧物理学・応用物理学プログラム
- ⑨生命・物質化学プログラム
- ⑩地球生命環境科学プログラム
- ⑪メカトロニクスプログラム
- ⑫マテリアル科学工学プログラム
- ⑬都市・交通デザイン学プログラム
- ⑭先端クリーンエネルギープログラム

医薬理工関係課程群

- ⑮創薬・製剤工学研究科関係課程
- ⑯応用和漢医薬学研究科関係課程
- ⑰認知・情動脳科学研究科関係課程
- ⑱メディカルデザイン研究科関係課程

持続可能社会関係課程群

- ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程
- ⑳グローバルSDGs研究科関係課程
- ㉑どのプログラム・研究科関係課程にするか迷っている
迷っている組み合わせ

()

問5. 問3で「④学部卒業後は、進学せず就職」と回答した方についてお答えください。就職後、働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として入学したいプログラム・研究科関係課程がありましたら回答してください（複数選択可）。

人社芸術総合研究科

- ①心理学プログラム
- ②人文・芸術プログラム
- ③共創経済プログラム

総合医薬学研究科

- ④看護科学プログラム
- ⑤先端医科学プログラム
- ⑥基礎薬学プログラム

※6年制学科に対応した博士課程は、令和6年4月設置に向けて構想中です。

理工学研究科

- ⑦数理情報学プログラム
- ⑧物理学・応用物理学プログラム
- ⑨生命・物質化学プログラム
- ⑩地球生命環境科学プログラム
- ⑪メカトロニクスプログラム
- ⑫マテリアル科学工学プログラム
- ⑬都市・交通デザイン学プログラム
- ⑭先端クリーンエネルギープログラム

医薬理工関係課程群

- ⑮創薬・製剤工学研究科関係課程
- ⑯応用和漢医薬学研究科関係課程
- ⑰認知・情動脳科学研究科関係課程
- ⑱メディカルデザイン研究科関係課程

持続可能社会関係課程群

- ⑲文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程
- ⑳グローバルSDGs研究科関係課程
- ㉑働きながらスキルアップ・キャリアアップを目的として大学院で学びたいが、学びたい内容が上記にはない。
- ㉒働きながら大学院に行きたいとは思わない
- ㉓その他（）

問6. 富山大学の新しい大学院構想について伺います。令和4年4月からの新しい大学院構想について、説明を聞いて（読んで）あてはまるものを選択してください。

- ①非常に興味がある

- ②関心がある
- ③ある程度関心がある
- ④あまり関心がない
- ⑤関心がない

問7. 問6で「①非常に関心がある、②関心がある、③ある程度関心がある」のいずれかを選択した方のみお答えください。本学の大学院構想の中で、あなたが関心を持った項目にチェックしてください（複数回答可）。

- ①大学院共通科目が設定され、高度なスキル・リテラシーが学べること
- ②現在の学部の枠組みを超えた、分野の連携と融合が進んでいること
- ③分野の異なる副指導教員から、研究指導を受けることができること
- ④公認心理師養成課程が整備されること
- ⑤人社芸術系の大学院が実践的能力を育成することを目的とする大学院へと変わること
- ⑥理工系の大学院が理学と工学を融合させ、各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する大学院へと変わること
- ⑦医薬系の大学院が医療に関する実践的な多職種連携・協働とイノベーションにつながる包括的な医療的素養を学ぶ大学院へと変わること
- ⑧富山県の地域産業である薬業について、創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑨富山県の地域産業である薬業について、和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑩富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑪医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑫データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成する研究科連係課程ができること
- ⑬持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステナビリティ学”を英語で学び、SDGsの達成に貢献できる研究科連係課程ができること
- ⑭その他（）

問8. その他意見等があれば記載してください。

富山大学大学院 改革・再編の構想

富山大学 理事（改革担当）・副学長
井上 将彦

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下

広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化科学研究科

大学院生命融合科学教育部

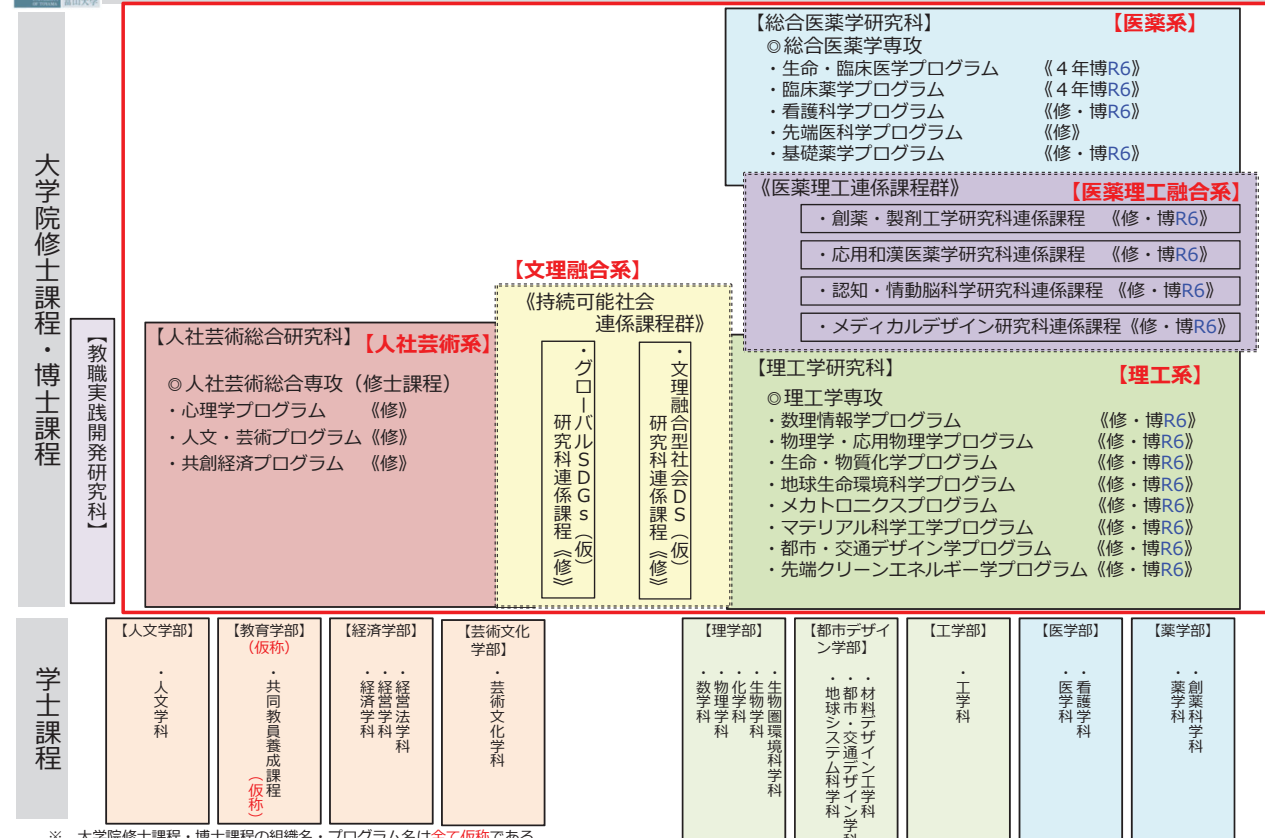
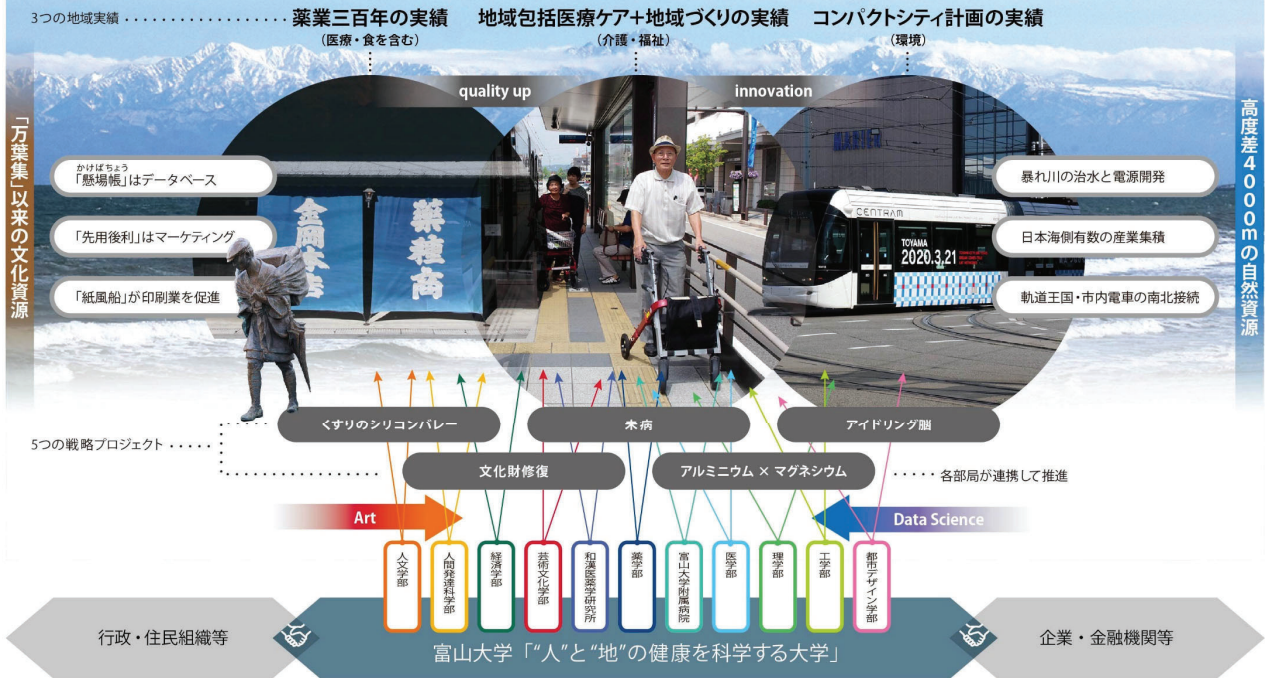
大学院医学薬学教育部

大学院理工学教育部

富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

〔大目標〕 **“人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”**

〔具体的戦略〕 **“地域医療包括ケアと環境都市との相乗”**



○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供。

【授業科目】

研究倫理 **必修**

科学技術と社会 **必修** (グローバルSDGs研究科関係課程を除く)

地域共生社会特論

研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用

アート・デザイン思考

英語論文作成Ⅰ

英語論文作成Ⅱ

データサイエンス特論

キャリア教育

知的財産法

※名称は、全て仮称

○生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入。

客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

○**人社会術総合研究科**

人文科学，社会科学，芸術を融合させた学びを提供しつつ，現実の課題をテーマとし，課題解決を通じて，実践的能力を養う教育システムを構築。心理学プログラムは，公認心理師養成に対応。

○**総合医薬学研究科**

大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システムを構築。

○**理工学研究科**

理工系の大学院が理学と工学を融合させ，各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する教育システムを構築。

○**創薬・製剤工学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成。

○**応用和漢医薬学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成。

○**認知・情動脳科学研究科関係課程**

富山大学の強みの1つである最先端の脳科学研究人材を育成。

○**メディカルデザイン研究科関係課程**

医学と工学を同時に学びヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成。

○**文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程**

データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成。

○**グローバルSDGs研究科関係課程**

持続可能社会の構築に必要な課題解決型学際専門分野“サステイナビリティ学”を英語で学び，SDGsの達成に貢献できる人材を育成。



想定進学ルート

想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程	想定される進学元
人社芸術総合研究科 心理学プログラム	人文学部、教育学部（仮称）
人文・芸術プログラム	人文学部、芸術文化学部、教育学部（仮称）
共創経済プログラム	経済学部、芸術文化学部
総合医薬学研究科 生命・臨床医学プログラム（R6設置予定）	医学部医学科、現役社会人・留学生・他大学
臨床薬学プログラム（R6設置予定）	薬学部薬学科
看護科学プログラム	医学部看護学科、現役社会人・留学生・他大学
先端医科学プログラム	現役社会人・留学生・他大学
基礎薬学プログラム	薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
理工学研究科 数理情報学プログラム	理学部数学科、工学部知能情報工学コース
物理学・応用物理学プログラム	理学部物理学科、工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
生命・物質化学プログラム	理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
地球生命環境科学プログラム	理学部生物学科・生物圏環境科学科、都市デザイン学部地球システム科学科
メカトロニクスプログラム	工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
マテリアル科学工学プログラム	都市デザイン学部材料デザイン工学科、工学部機械工学コース
都市・交通デザイン学プログラム	都市デザイン学部都市・交通デザイン学科
先端クリーンエネルギー学プログラム	理学部化学科、工学部応用化学コース、都市デザイン学部材料デザイン工学科
医薬理工連携課程群 創薬・製剤工学研究科関係課程	薬学部創薬科学科、理学部化学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
応用和漢医薬学研究科関係課程	薬学部創薬科学科、理学部化学科・生物学科、工学部生命工学コース・応用化学コース
メディカルデザイン研究科関係課程	工学部電気電子工学コース・知能情報工学コース・機械工学コース
認知・情動脳科学研究科関係課程	理系全般、現役社会人・留学生・他大学
持続可能社会関係課程群 文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程	理学部数学科、工学部知能情報工学コース、都市デザイン学部都市・交通デザイン学科、 経済学部、現役社会人・留学生・他大学
グローバルSDGs 研究科関係課程	理学部生物圏環境科学科、現役社会人・留学生・他大学

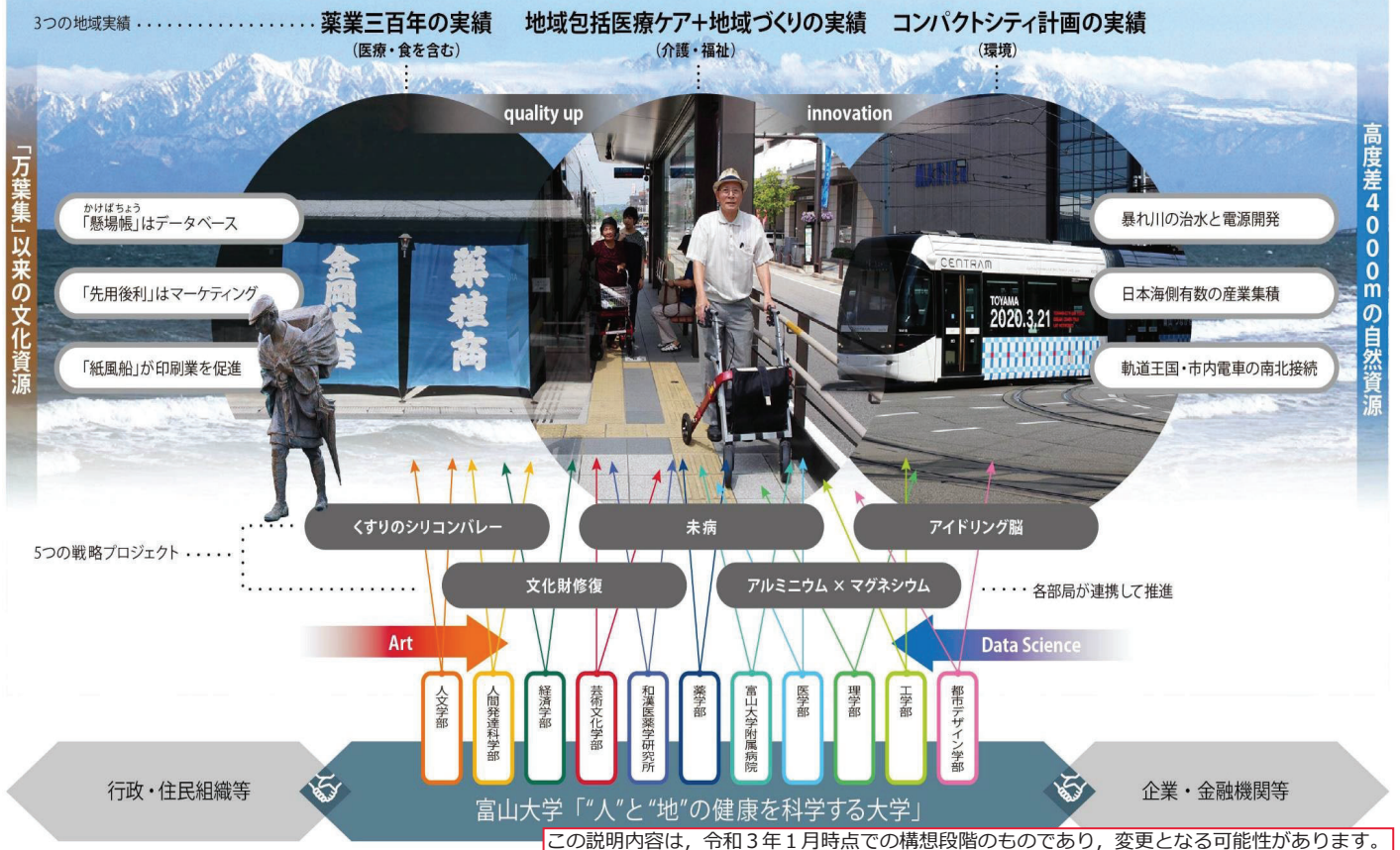


想定進学ルート

想定される進学元	想定される進学先となるプログラム・研究科関係課程
人文学部	人文・芸術プログラム、心理学プログラム
経済学部	文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程、共創経済プログラム
理学部数学科	数理情報学プログラム、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程
理学部物理学科	物理学・応用物理学プログラム
理学部化学科	生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム
理学部生物学科	地球生命環境科学プログラム、和漢医薬学研究科関係課程
理学部生物圏環境科学科	地球生命環境科学プログラム、グローバルSDGs 研究科関係課程
医学部医学科	生命・臨床医学プログラム（R6設置予定）
医学部看護学科	看護科学プログラム
薬学部薬学科	臨床薬学プログラム（R6設置予定）
薬学部創薬科学科	基礎薬学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、 認知・情動脳科学研究科関係課程
工学部工学科電気電子工学コース	物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程
工学部工学科知能情報工学コース	数理情報学プログラム、物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、 メディカルデザイン研究科関係課程、文理融合型社会データサイエンス 研究科関係課程
工学部工学科機械工学コース	物理学・応用物理学プログラム、メカトロニクスプログラム、マテリアル科学工学プロ グラム、メディカルデザイン研究科関係課程
工学部工学科生命工学コース	生命・物質化学プログラム、創薬・製剤工学研究科関係課程、和漢医薬学研究科関係課程 基礎薬学プログラム
工学部工学科応用化学コース	生命・物質化学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム、 創薬・製剤工学研究科関係課程、応用和漢医薬学研究科関係課程、基礎薬学プログラム
芸術文化学部	人文・芸術プログラム、共創経済プログラム
都市デザイン学部地球システム科学科	地球生命環境科学プログラム
都市デザイン学部都市・交通デザイン学科	都市・交通デザイン学プログラム、文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程、
都市デザイン学部材料デザイン工学科	マテリアル科学工学プログラム、先端クリーンエネルギー学プログラム
教育学部（仮称）	教職実践開発研究科、心理学プログラム、人文・芸術プログラム

〔大目標〕 “人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”

〔具体的戦略〕 “地域医療包括ケアと環境都市との相乗”



大学院修士課程・博士課程

〔教職実践開発研究科〕

【**人社芸術総合研究科**】 **【人社芸術系】**
 ◎人社芸術総合専攻 (修士課程)
 ・心理学プログラム 《修》
 ・人文・芸術プログラム 《修》
 ・共創経済プログラム 《修》

【**文理融合系**】
 【持続可能社会
 関係課程群】

・グローバルSDGs (仮) 研究科連係課程 《修》
 ・文理融合型社会DS (仮) 研究科連係課程 《修》

【**総合医薬学研究科**】

【**医薬系**】

◎**総合医薬学専攻**

- ・生命・臨床医学プログラム 《4年博R6》
- ・臨床薬学プログラム 《4年博R6》
- ・看護科学プログラム 《修・博R6》
- ・先端医科学プログラム 《修》
- ・基礎薬学プログラム 《修・博R6》

【**医薬理工連係課程群**】

【**医薬理工融合系**】

- ・創薬・製剤工学研究科連係課程 《修・博R6》
- ・応用和漢医薬学研究科連係課程 《修・博R6》
- ・認知・情動脳科学研究科連係課程 《修・博R6》
- ・メディカルデザイン研究科連係課程 《修・博R6》

【**理工学研究科**】

【**理工系**】

- ◎**理工学専攻**
- ・数理情報学プログラム 《修・博R6》
 - ・物理学・応用物理学プログラム 《修・博R6》
 - ・生命・物質化学プログラム 《修・博R6》
 - ・地球生命環境科学プログラム 《修・博R6》
 - ・メカトロニクスプログラム 《修・博R6》
 - ・マテリアル科学工学プログラム 《修・博R6》
 - ・都市・交通デザイン学プログラム 《修・博R6》
 - ・先端クリーンエネルギー学プログラム 《修・博R6》

学士課程

【**人文学部**】
 ・人文学科

【**教育学部**】
 (仮称)
 ・共同教員養成課程 (仮称)

【**経済学部**】
 ・経済学科
 ・経営法学科

【**芸術文化学部**】
 ・芸術文化学科

【**理学部**】
 ・数学科
 ・物理学
 ・生物圏環境科学科

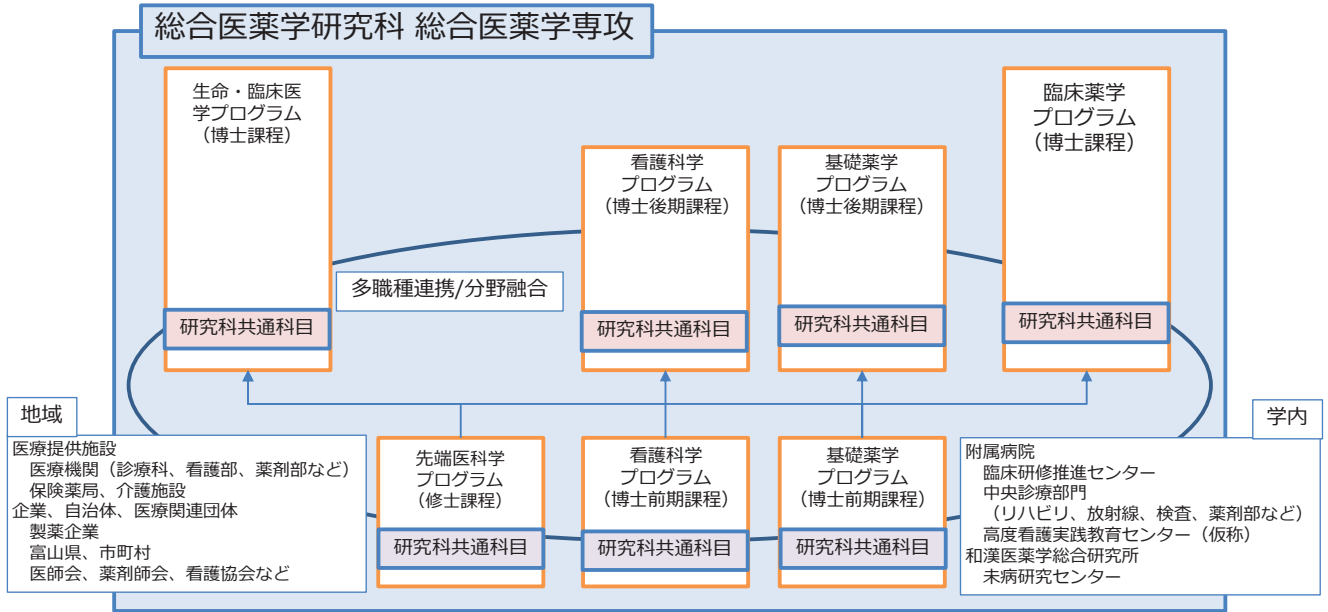
【**都市デザイン学部**】
 ・都市・材料デザイン工学科
 ・地球システム科学科

【**工学部**】
 ・工学科

【**医学部**】
 ・看護学科
 ・医学科

【**薬学部**】
 ・創薬科学科
 ・薬学科

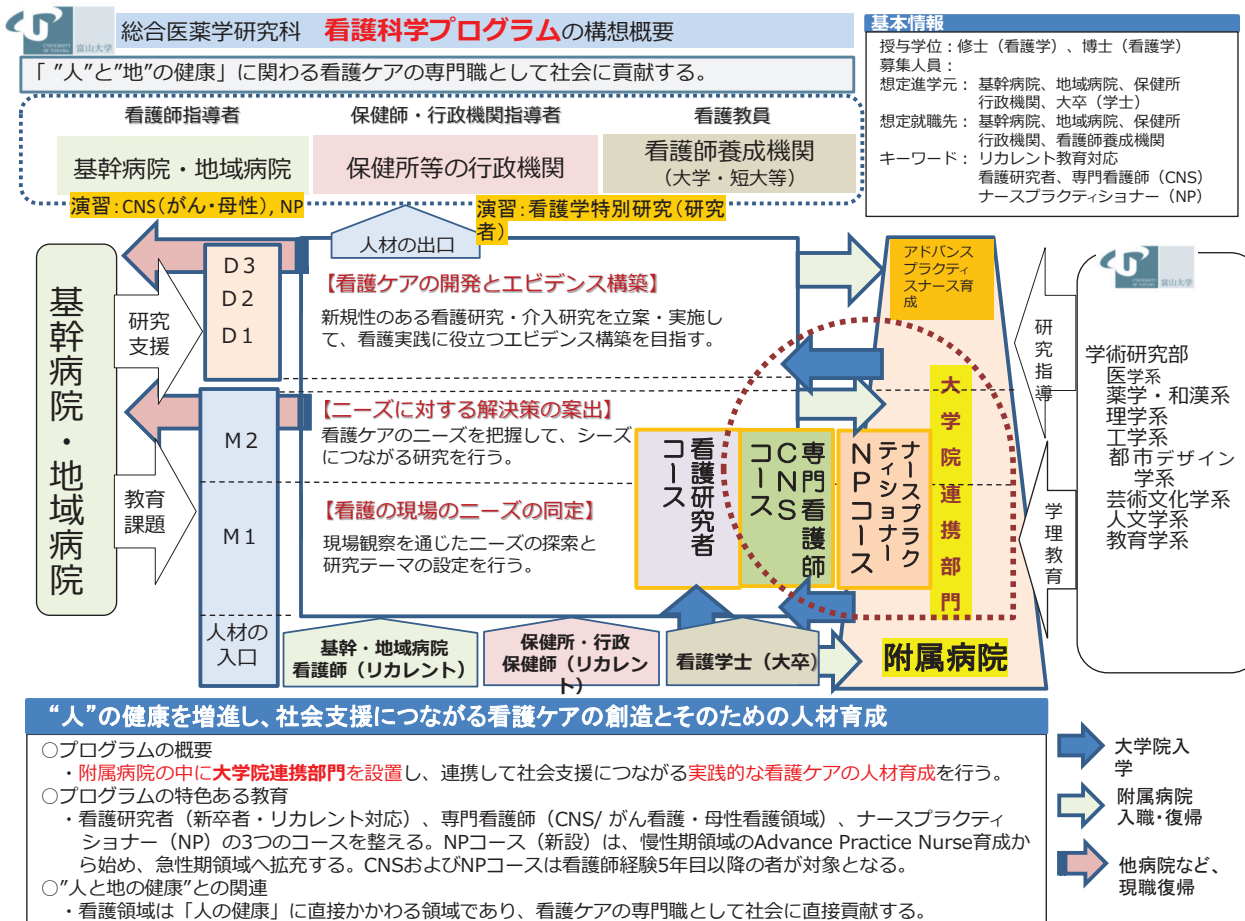
※ 大学院修士課程・博士課程の組織名・プログラム名は全て仮称である。



他職種連携/分野融合を促進する共通科目

研究科共通科目 (博士課程) : 先端医薬学特論、創薬研究特論、腫瘍医薬学特論、和漢医薬学特論、エンドオブライフ学、統合医療ケア学
研究科共通科目 (修士課程) : 臨床統計学基礎、臨床薬理学、病態生理学、心身健康科学、臨床研究計画法、公衆衛生学特論、研究倫理・研究方法論
 *上記科目を含む講義形式の授業は、社会人入学 (リカレント) を考慮して、e-learningとウェブによる双方向性クラス形式で行う

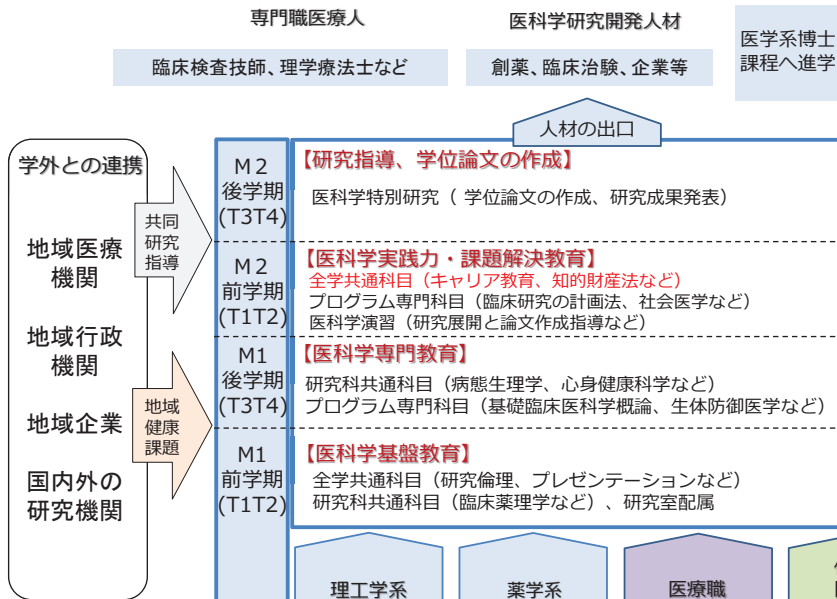
総合医薬学研究科は各プログラムの出口が比較的明瞭であるため、多職種連携並びに分野融合を目的とした共通プログラムや教育体制、さらに学内並びに学外との連携を深めることで、医療に関する実践的な多職種連携とイノベーションに繋がる包括的な医療的素養を身につけた医療人の輩出を目指す。





総合医薬学研究所 先端医科学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に医科学専門職人材として貢献する



基本情報

授与学位：修士 (医科学)
 募集人員：
 想定進学元：医療系、臨床検査技師、理学療法士、
 想定就職先：国 (医療系) 地方自治体 (医療系)、医療職、介護職等
 キーワード：スキルアップ、リカレント

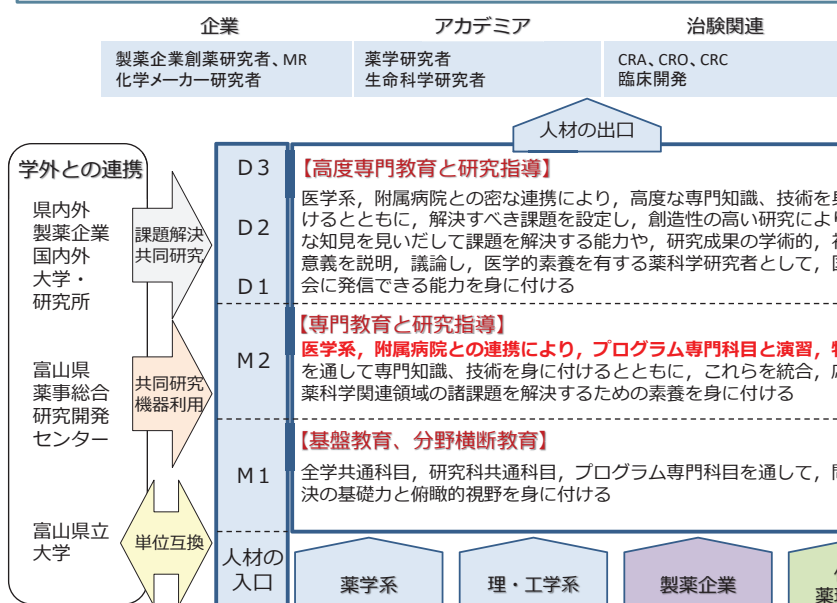
先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

- プログラムの概要
 - ・地域の医療関係職のキャリアアップのニーズに応えるための幅広い医科学の専門知識の学修
 - ・専門的な医科学研究の実践
- プログラムの特色ある教育
 - ・研究基盤力となる全学共通科目の履修
 - ・**臨床現場 (附属病院、臨床研究管理センターなど) からの実践的な講義、実習**
- 人と地の健康との関連
 - ・地域で活躍する医療専門職、コメディカル、医科学研究者として人と地の健康に貢献する。



総合医薬学研究所 基礎薬学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に最先端の薬科学研究を遂行できる人材の育成により貢献する



基本情報

授与学位：修士 (薬科学)
 博士 (薬科学)
 募集人員：
 想定進学元：薬学系、理学系、工学系、製薬企業
 想定就職先：製薬、化学関連、治験関連、アカデミア等
 キーワード：創薬富山

創薬科学、生命科学から人々の健康と将来を支える

- プログラムの概要
 - ・薬科学分野の幅広い知識、高い専門性と、人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力、総合的な判断力を養成
 - ・医学的素養を有する薬科学研究のスペシャリストとして高度な社会的要請に応える人材を育成
- プログラムの特色ある教育
 - ・**医学系、附属病院との連携を活かしたプログラム専門科目、薬科学関連領域の諸課題に対する柔軟な対応力の養成、臨床医薬学的視点の涵養**
 - ・博士後期課程では海外留学 (ダブルディグリープログラム) や国際学会発表を推進
- 人と地の健康との関連
 - ・薬科学及び学際的領域の最先端研究を遂行する研究者・教育者・技術者を育成して人々の健康に貢献

先端医科学プログラム 修士(医科学)

説明者

プログラム副責任者 医学部 森 寿
hmori@med.u-toyama.ac.jp

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。

先端医科学プログラム

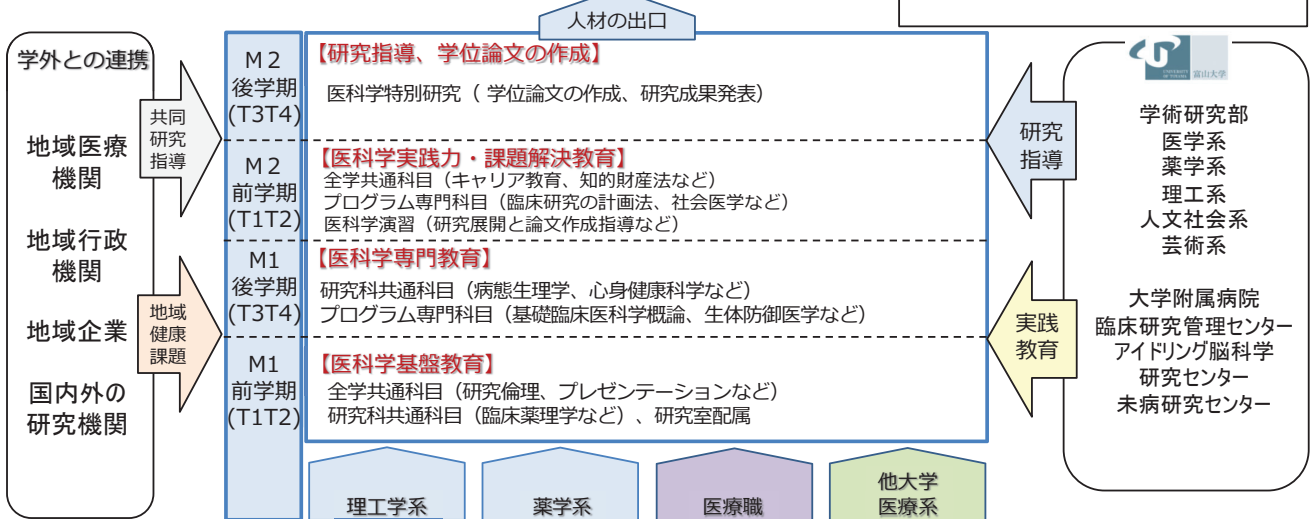
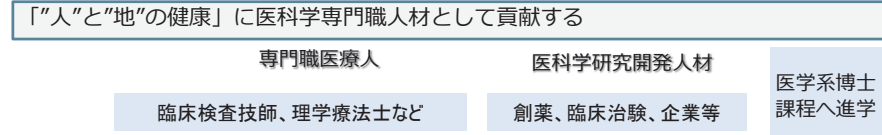
先端医科学プログラムの特徴

先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

- 1) 医学科以外の理学、工学、薬学、保健学などの出身者を対象とし、幅広い医科学教育を行います。
- 2) コメディカルなどの医療専門職や社会人のスキルアップのための実践的な教育を行います。
- 3) 臨床現場や学内外施設の協力により、実践的な知識が学べる教育を行います。
- 4) 修士学位論文を作成し発表するための、実験研究や文献調査、学会発表などのプレゼンテーション能力を身につける教育を行います。

基本情報 Ver. R2.11.14

授与学位：修士（医科学）
 募集人員：修士8人
 想定進学元：医療系、臨床検査技師、理学療法士、
 想定就職先：国（医療系）地方自治体（医療系）、医療職、介護職等
 キーワード：スキルアップ、リカレント



先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

- プログラムの概要
 - ・地域の医療関係職のキャリアアップのニーズに応えるための幅広い医科学の専門知識の学修
 - ・専門的な医科学研究の実践
- プログラムの特色ある教育
 - ・研究基盤力となる全学共通科目の履修
 - ・臨床現場（附属病院、臨床研究管理センターなど）からの実践的な講義、実習
- 人と地の健康との関連
 - ・地域で活躍する医療専門職、コメディカル、医科学研究者として人と地の健康に貢献する。

履修時期	科目区分	授業科目名（すべて仮）	履修目的と学修内容
M1前学期	全学共通科目	プレゼンテーション	プレゼンテーション方法を学び、研究での質疑、発表などを学修する。
	研究科共通科目	臨床薬理学 臨床統計学の基礎	薬物の作用機序、体内動態、投与方法などについて学修する。 診断や治療の有効性を判断する臨床統計学の基礎について学修する。
	プログラム専門科目	基礎臨床医科学概論	幅広い分野の基礎医学ならびに臨床医学研究について学修する。
M1後学期	全学共通科目	データサイエンス	医科学分野でのデータ解析について学修する。
	研究科共通科目	病態生理学 心身健康科学	疾患が生体に与える変化とその機序、治療法について学修する。 人間の心理と行動についてからだ、こころ、くらしの観点から理解する方法を学修する。
	プログラム専門科目	社会医学	健康に影響を与える社会的要因、環境的要因および健康政策について学修する。
M2前学期	全学共通科目	キャリア教育	医科学分野でのキャリアパス、スキルアップについて学修する。
	研究科共通科目	臨床研究の計画法	臨床研究を計画する上で留意すべき倫理的側面、科学的側面、統計学的解析方法について学修する。
	プログラム専門科目	生体防御医学 医療課題解決アイデアコンテスト	微生物に対する生体防御機構について学修する。 グループワーク等のアクティブラーニングにより医療課題解決策について提案発表する。
M2後学期	全学共通科目	コミュニケーション	医科学研究や臨床現場での連携のためのコミュニケーション法について学修する。
	プログラム専門科目	医科学演習、医科学特別研究	学位論文を作成し、研究成果の発表を行う。

専門職医療人
 専門職企業人
 博士課程進学

医科学の専門知識を習得して医科学研究を実践し、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、専門職医療人としてのスキルアップ、専門職企業人として活躍、大学院博士課程への進学が可能となる。

※隣接分野からの入学者に対し、通常の大学院におけるカリキュラムに加えて、接続関係にある学士課程の授業科目を履修させることで、知識等を補充する。
 ※上記のカリキュラム・授業科目は構想段階のものであり、最終的に変更となる可能性がある。

どのような学生を求めるか？

- 1) 医科学分野に興味を持ち、英語論文読解力があり、論理的に議論することに関心がある人。
- 2) 能動的に学修を行い、関連分野の専門知識に関心を持つ人。
- 3) 一般的な倫理観や道德観を身に付けている人。
- 4) 幅広い知的興味をもち、創造性に関心を持つ人。

プログラムではどのようなことが学べるのか？

- 1) 全学共通科目、研究科共通科目、幅広い必修と選択科目を履修し、医学・医療の基盤的能力や高度な専門的知識および倫理観が修得できる。
- 2) 所属研究室での個別指導により医学研究の基礎専門知識と技術を修得できる。
- 3) 新たな発見と学術的重要性を含む学位論文の作成と発表方法を修得できる。

修了時にどのような能力が身につくのか？

医学・医療分野の高度専門職業人としての、

- 1) 基盤となる豊かな学識や俯瞰的・大局的視野。
- 2) 専攻分野における研究能力および高度の専門性を要する職業に必要な能力。
- 3) 研究倫理に関する規範意識。
- 4) 自らが新たな知を創造し、その知からさらなる価値を生み出す能力。

主な進路：医療専門職、製薬企業、博士課程進学

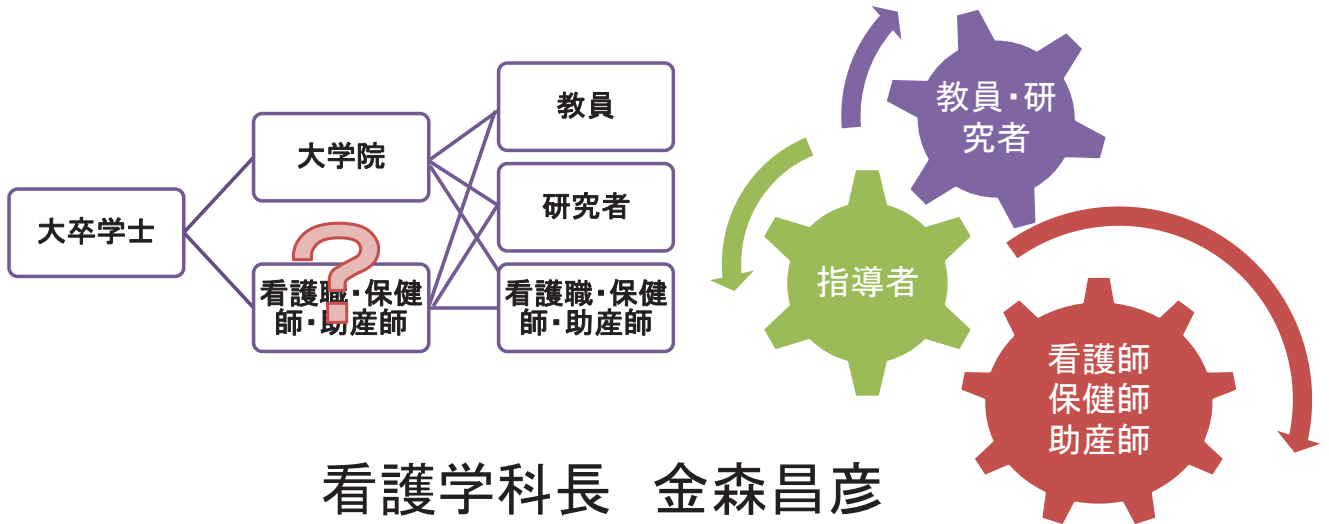
最後に

学部で学んだ知識を医科学分野の研究に
発展させたい人

医療専門職でスキルアップを目指す人

進学を期待しています。

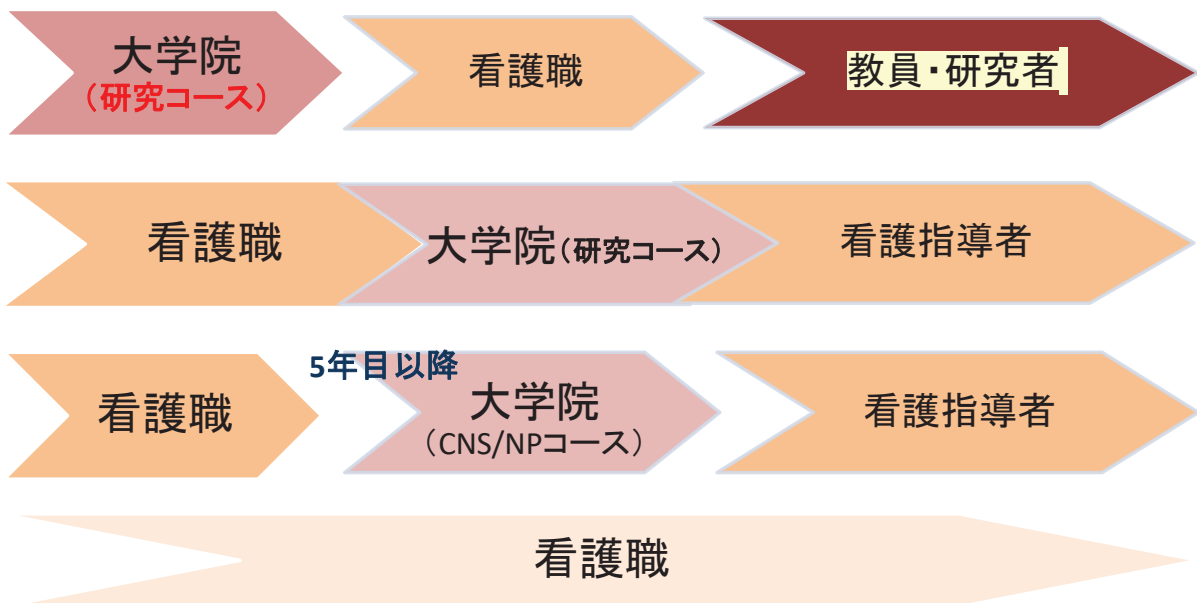
新たな大学院看護科学プログラム
 博士前期課程
 (卒業後のロードマップを考えてみましょう)



看護学科長 金森昌彦

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。

卒業後に多くの道の選択肢がある
 (教員・研究者・看護師・保健師・助産師ほか)



看護科学プログラム 博士前期課程

これまでと何が違うか？
学部学科を超えた融合

- 1) 全学共通科目を設定
- 2) 研究科共通科目を設定
- 3) 他学部との横断的研究の機会

看護学科のイメージ: *Lovers*
制作者: 吉野美奈子氏



看護科学プログラムの特徴

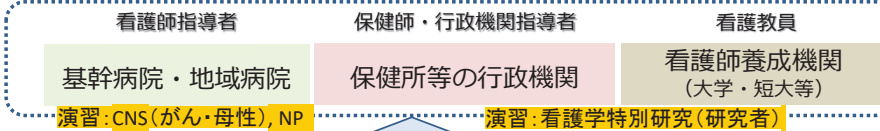
学際的な看護学研究者、高度な看護実践者の人材育成のため3つのコースを設定します。

1) **看護研究者コース**: 看護学とその学際領域における幅広く深い学識を持ち、一連の研究プロセスを網羅的に立案・展開できる研究能力を身に付けます (新卒者・既卒者対象)。

2) **専門看護師(CNS)コース**: がん看護・母性看護の2領域に対し、高度で専門的な職業人として信頼・通用する卓越した知識・能力を身に付けます (看護師経験5年以上対象)。

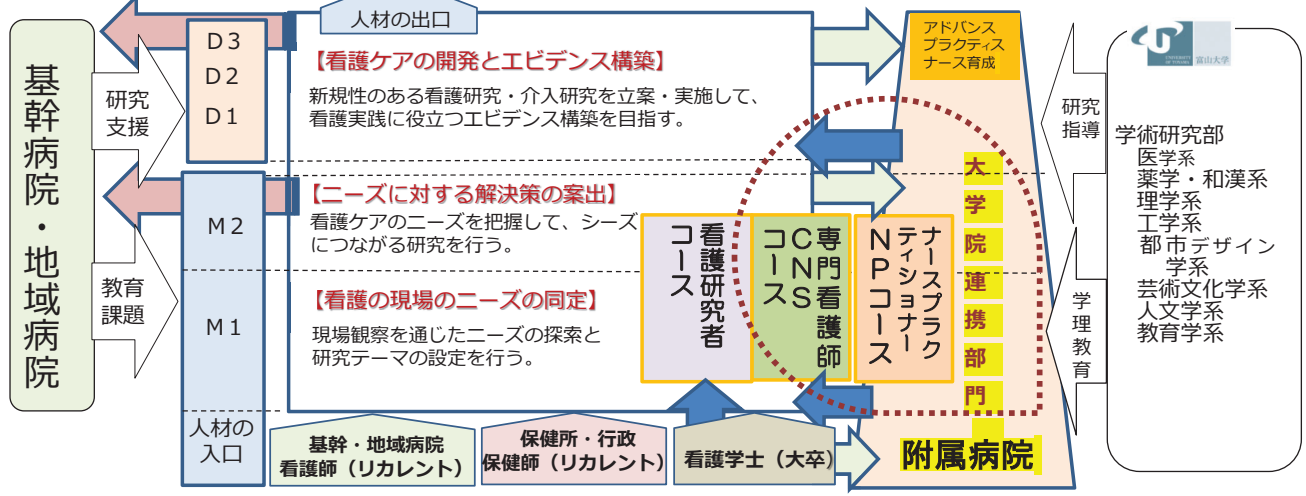
3) **ナースプラクティショナー(NP)コース**: 看護師特定行為を実施できる高度で専門的な職業人を育成します (看護師経験5年以上対象)。

「人」と「地」の健康に関わる看護ケアの専門職として社会に貢献する。



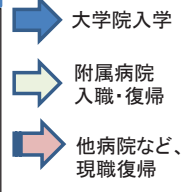
基本情報

授与学位：修士（看護学）、博士（看護学）
 募集人員：修士8人、博士4人
 想定進学元：基幹病院、地域病院、保健所
 行政機関、大卒（学士）
 想定就職先：基幹病院、地域病院、保健所
 行政機関、看護師養成機関
 キーワード：リカレント教育対応
 看護研究者、専門看護師（CNS）
 ナースプラクティショナー（NP）



“人”の健康を増進し、社会支援につながる看護ケアの創造とそのための人材育成

- プログラムの概要
 - ・附属病院の中に**大学院連携部門**を設置し、連携して社会支援につながる実践的な看護ケアの人材育成を行う。
- プログラムの特色ある教育
 - ・看護研究者（新卒者・リカレント対応）、専門看護師（CNS/がん看護・母性看護領域）、ナースプラクティショナー（NP）の3つのコースを整える。NPコース（新設）は、慢性期領域のAdvance Practice Nurse育成から始め、急性期領域へ拡充する。CNSおよびNPコースは看護師経験5年目以降の者が対象となる。
- “人と地の健康”との関連
 - ・看護領域は「人の健康」に直接かかわる領域であり、看護ケアの専門職として社会に直接貢献する。



看護科学プログラム

修了時にどのような能力が身につくのか？

看護専門職・研究者として、知識基盤社会を多様に支える高度な知的能力を身に付けている。

- 1) 基盤となる豊かな学識や俯瞰的、大局的視野。
- 2) 専攻分野における研究能力および高度専門分野に必要な能力。
- 3) 研究倫理に関する規範意識。
- 4) 自らが新たなる知を創造し、その知からさらなる価値を生み出す能力。

どのような学生を求めるか？

1) 高度な先端医療に対応できる技術、心理や生命倫理など全人的な理解、人々のQOLや自己回復を引き出す能力、保健医療福祉の課題などの熟達した対応が求められる分野で活躍したいと考えている者。

2) 看護の現状認識と将来の展望にたつて、保健医療福祉の課題を総合的・組織的に把握し、課題に対応できることを目指す優れた看護実践のためのキャリア形成を求めている者。



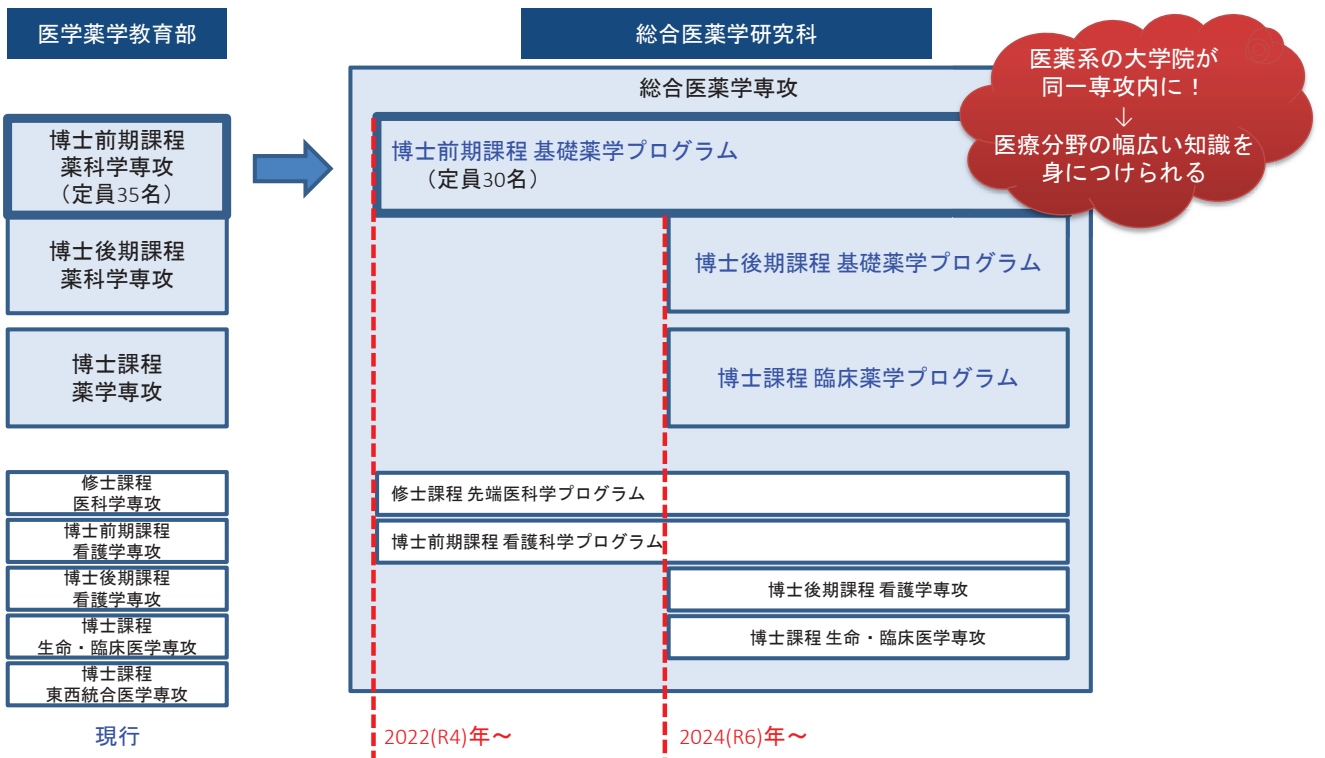
大学院へのご入学をお待ちしております

新大学院構想説明

総合医薬学研究科 総合医薬学専攻

基礎薬学プログラム

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



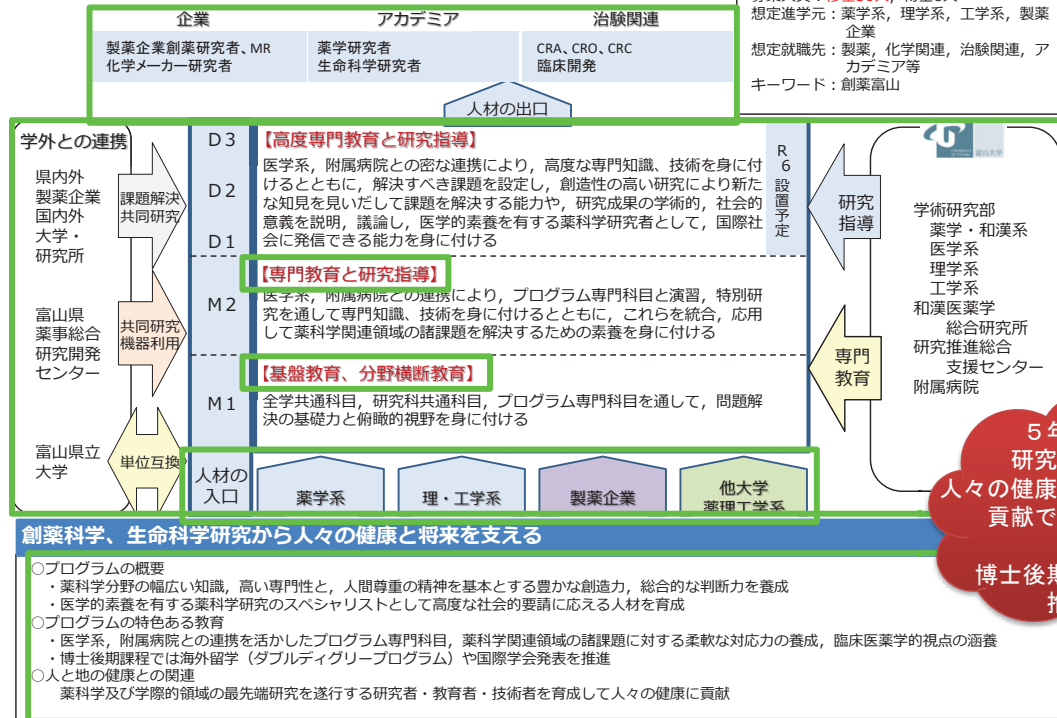


総合医薬学研究科 基礎薬学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に最先端の薬科学研究を遂行できる人材の育成により貢献する

基本情報

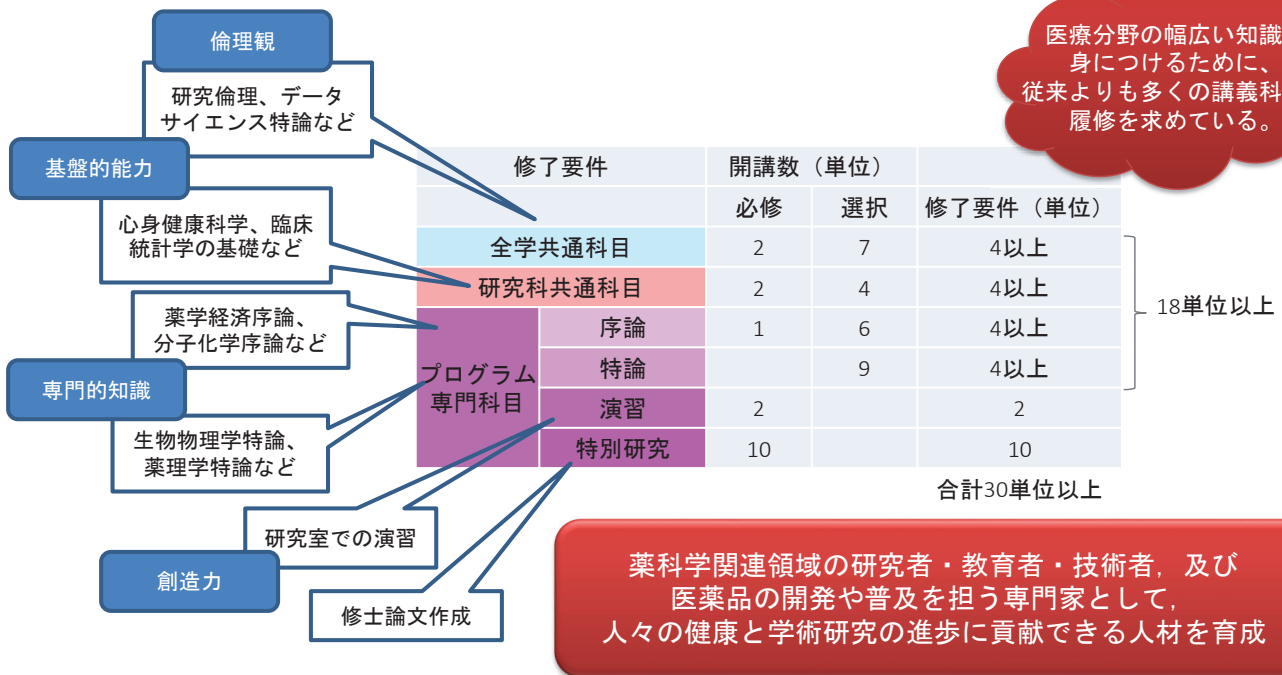
授与学位：修士（薬科学）
博士（薬科学）
募集人員：修士30人，博士8人
想定進学元：薬学系，理学系，工学系，製薬企業
想定就職先：製薬，化学関連，治験関連，アカデミア等
キーワード：創薬富山



創薬科学、生命科学から人々の健康と将来を支える

- プログラムの概要
 - ・薬科学分野の幅広い知識，高い専門性と，人間尊重の精神を基本とする豊かな創造力，総合的な判断力を養成
 - ・医学的素養を有する薬科学研究のスペシャリストとして高度な社会的要請に応える人材を育成
- プログラムの特色ある教育
 - ・医学系，附属病院との連携を活かしたプログラム専門科目，薬科学関連領域の諸課題に対する柔軟な対応力の養成，臨床医薬学の視点の涵養
 - ・博士後期課程では海外留学（ダブルディグリープログラム）や国際学会発表を推進
- 人と地の健康との関連
 - ・薬科学及び学際的領域の最先端研究を遂行する研究者・教育者・技術者を育成して人々の健康に貢献

カリキュラムのイメージ



基礎薬学プログラム アドミッション・ポリシー（入学者受入れの方針）

博士前期課程基礎薬学プログラムでは、**将来、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成することを目的としている。**

そのためには、**人間尊重の精神を基本とする高い倫理観の下で、薬科学に関する幅広い学識と高い専門性を備え、それらを統合、応用して創造性の高い研究を遂行する能力を身に付けることが必要である。**

この目的に基づき、本プログラムでは以下のような学生を求める。

- ・ **薬科学及び学際的領域で活躍する研究者・教育者・技術者を志す者。**
- ・ **創薬科学、生命科学に関する専門知識を有する者。**
- ・ **研究を通じて、薬科学関連領域の諸課題を解決し、人々の健康と学術研究の進歩に貢献したいという意欲を持つ者。**
- ・ **国内外の研究者に対して研究の内容やその価値を説明、議論できるコミュニケーション力、表現力を持つ者。**

入学者選抜方法については追って公表します。

富山大学大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラム(改組構想中)に関するアンケート調査

【調査の概要】

1. 調査目的

本アンケート調査は、大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラムへの進学ニーズを把握することを目的に実施するものである。

2. 調査方法

Web による調査

3. 調査対象

・ 富山県内の公的病院 24 機関のコメディカルスタッフ

4. 回答者数

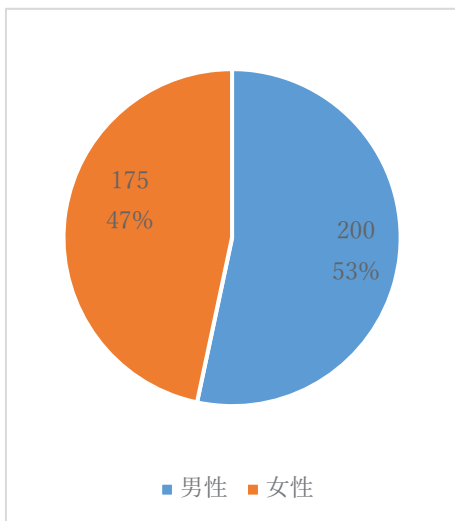
375 名（アンケート送付数 1,490 名 回答率 25.2%）

5. 調査期間

令和 3 年 2 月 8 日～2 月 19 日

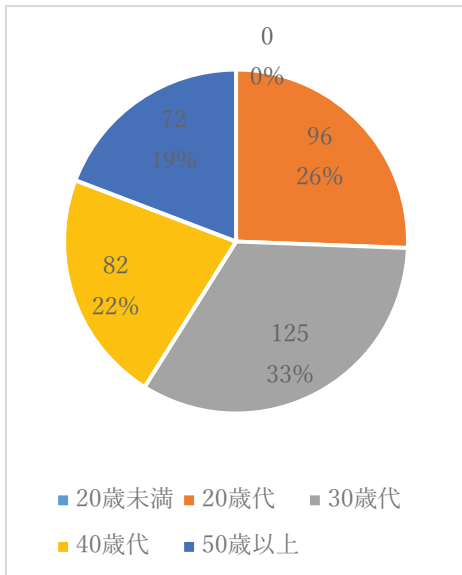
【調査結果】

問1. あなたの性別について教えてください。



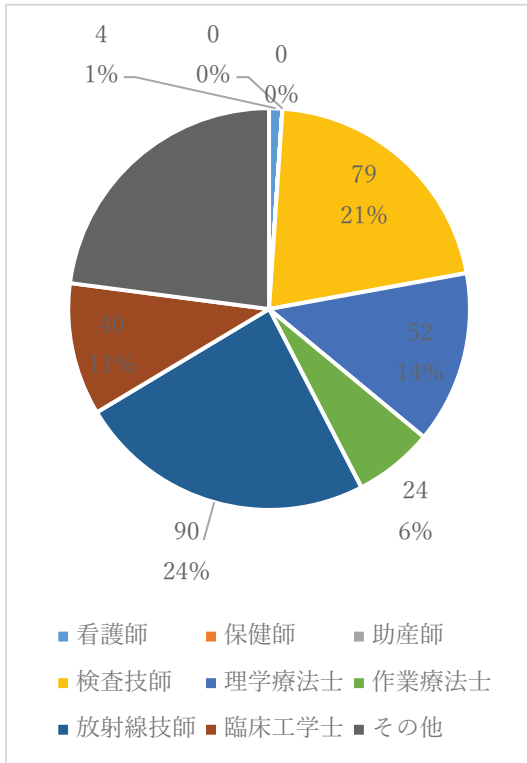
	回答数	割合
男性	200	53%
女性	175	47%

問2. あなたの年齢について教えてください。



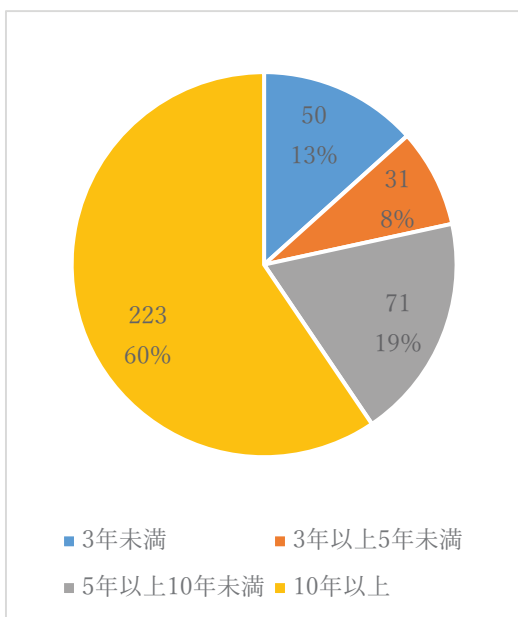
	回答数	割合
20歳未満	0	0%
20歳代	96	26%
30歳代	125	33%
40歳代	82	22%
50歳以上	72	19%

問3. あなたの職業について教えてください。



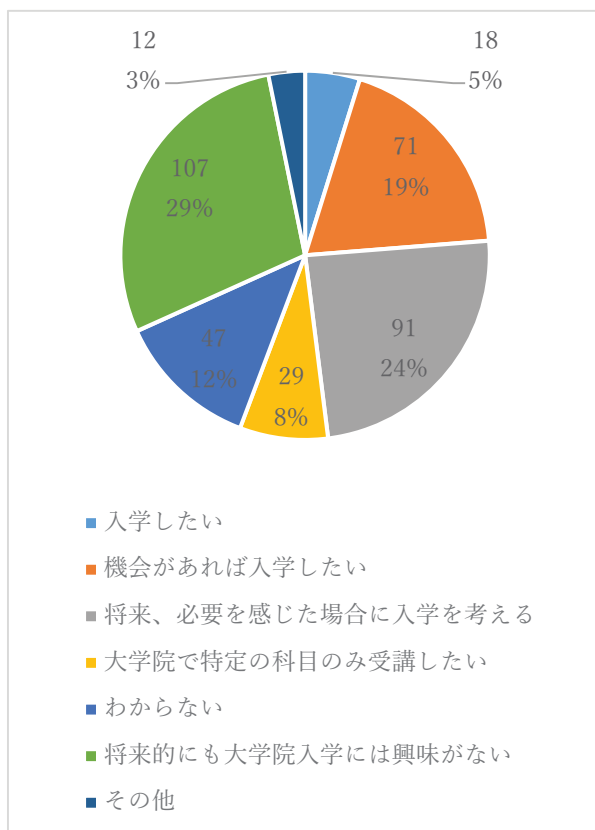
	回答数	割合
看護師	4	1%
保健師	0	0%
助産師	0	0%
検査技師	79	21%
理学療法士	52	14%
作業療法士	24	6%
放射線技師	90	24%
臨床工学士	40	11%
その他	86	23%

問4. あなたの医療従事者として実務経験年数について教えてください。



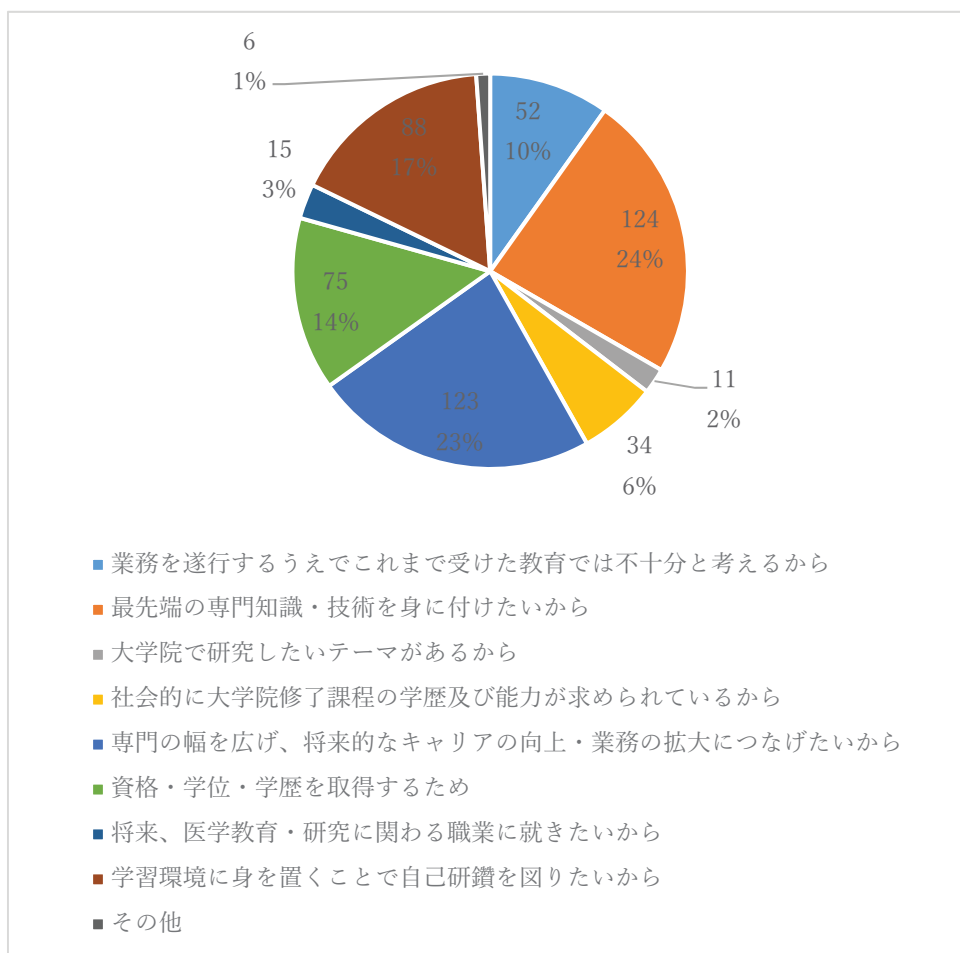
	回答数	割合
3年未満	50	13%
3年以上5年未満	31	8%
5年以上10年未満	71	19%
10年以上	223	60%

問5. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。



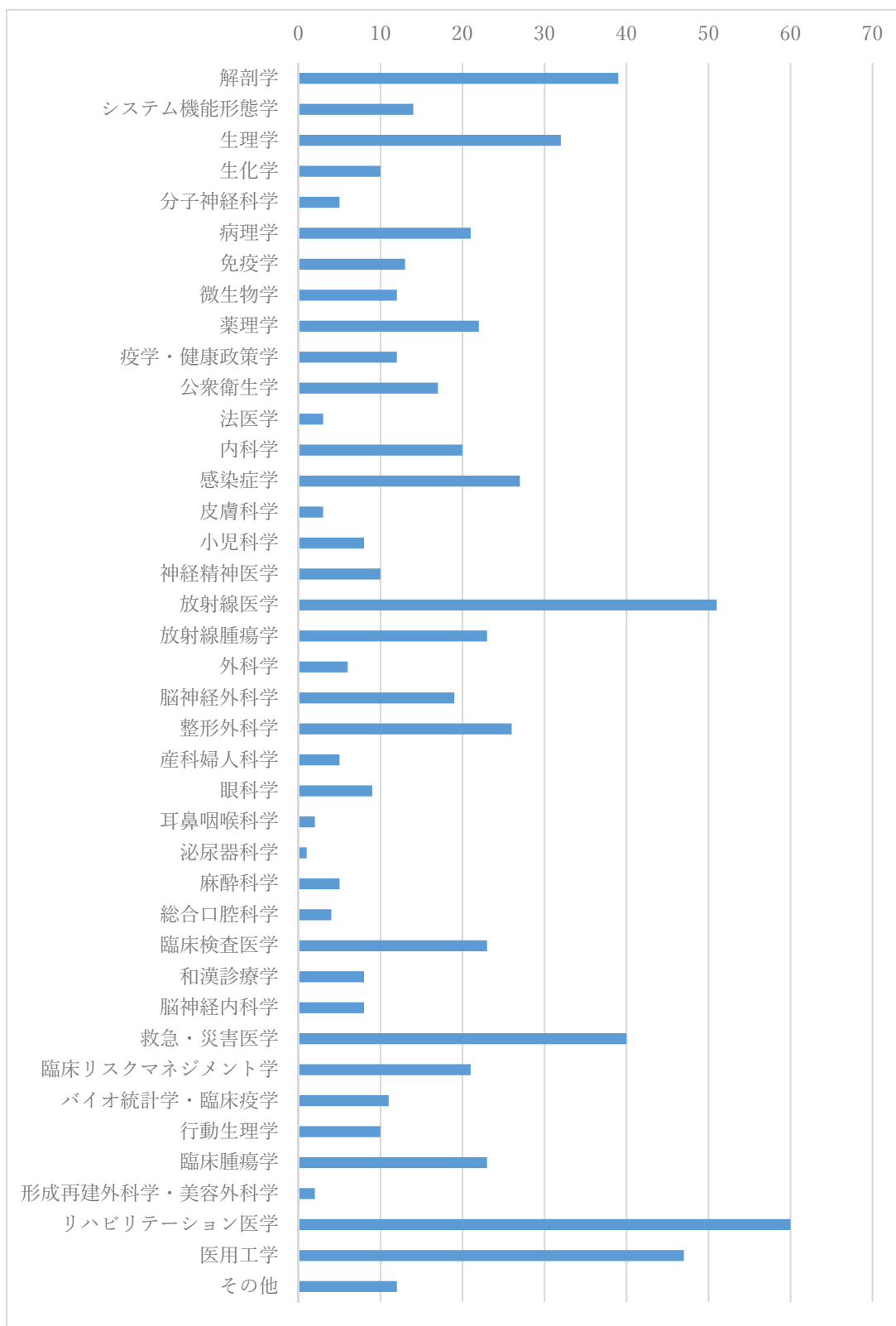
	回答数	割合
入学したい	18	5%
機会があれば入学したい	71	19%
将来、必要を感じた場合に入学を考える	91	24%
大学院で特定の科目のみ受講したい	29	8%
わからない	47	12%
将来的にも大学院入学には興味がない	107	29%
その他	12	3%

問6. それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。



	回答数	割合
業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから	52	10%
最先端の専門知識・技術を身に付けたいから	124	24%
大学院で研究したいテーマがあるから	11	2%
社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから	34	6%
専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	123	23%
資格・学位・学歴を取得するため	75	14%
将来、医学教育・研究に関わる職業に就きたいから	15	3%
学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから	88	17%
その他	6	1%

問7. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。



解剖学	39
システム機能形態学	14
生理学	32
生化学	10
分子神経科学	5
病理学	21
免疫学	13
微生物学	12
薬理学	22
疫学・健康政策学	12
公衆衛生学	17
法医学	3
内科学	20
感染症学	27
皮膚科学	3
小児科学	8
神経精神医学	10
放射線医学	51
放射線腫瘍学	23
外科学	6
脳神経外科学	19
整形外科	26
産科婦人科学	5
眼科学	9
耳鼻咽喉科学	2
泌尿器科学	1
麻酔科学	5
総合口腔科学	4
臨床検査医学	23
和漢診療学	8
脳神経内科学	8
救急・災害医学	40
臨床リスクマネジメント学	21

バイオ統計学・臨床疫学	11
行動生理学	10
臨床腫瘍学	23
形成再建外科学・美容外科学	2
リハビリテーション医学	60
医用工学	47
その他	12

その他の回答

栄養学

画像処理

医療 AI (人工知能)

わからない

不整脈関連

社会福祉

臨床栄養

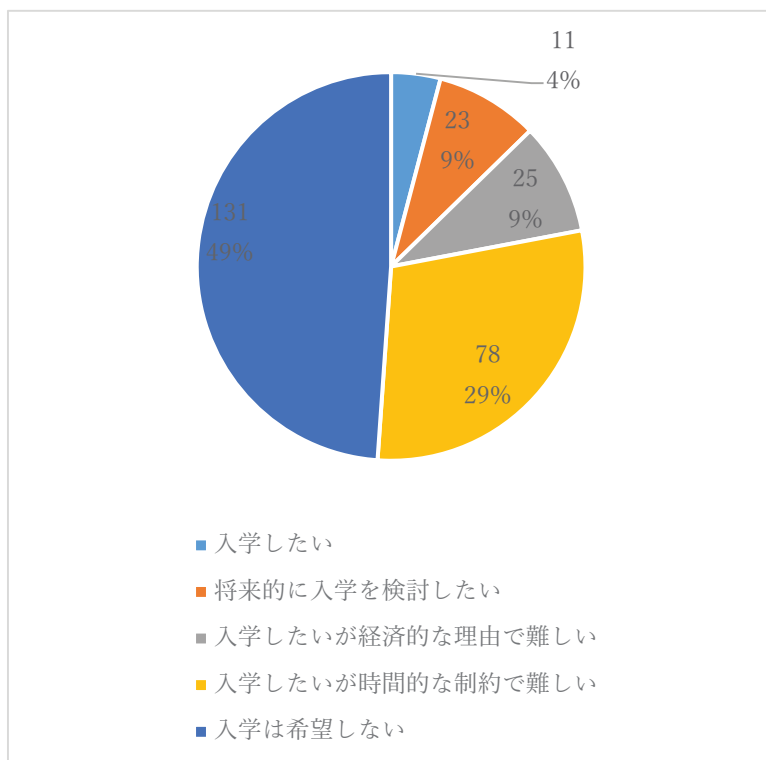
マネジメント

AI

精神保健福祉分野

視能矯正学

問8. 構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	11	4%
将来的に入学を検討したい	23	9%
入学したいが経済的な理由で難しい	25	9%
入学したいが時間的な制約で難しい	78	29%
入学は希望しない	131	49%

問9. その他、構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

- ・既に博士を取得しているので答えにくい設問が多いです
- ・そもそもこのプログラムの目的は何なのでしょう？ここでの学びが何につながるのか？
- ・説明不足のため回答しかねます。
- ・病院で業務を行いながら学位が取得できる体制や、学費の優遇などにより積極的な人材育成に繋がる体制を希望したい
- ・学費を抑える、または補助がほしいです。
- ・学習の機会を得たいが、年齢的な限界も感じている。
- ・何を学べるのか、どのような環境なのかわからないので、もっと情報がほしい
- ・どんな大学院かよくわかりません
- ・特になし
- ・以前より大学院進学は検討していたが、県内になかった。また、近県では勤務後の通勤に支障があった。等の理由により断念していた。県内にできることは、大変嬉しい。
- ・機会があればぜひ
- ・アンケート時に、もう少し詳細な資料があると良かったと思います。
- ・社会人でも、仕事をしながら大学院に行けるようなカリキュラムが必要かと。
- ・年齢的に他の大学で修士課程（博士前期）を修了している場合の入学可否について知りたいと思った。
- ・言語聴覚士を対象にした分野も作っていただきです。
- ・現在の職場に所属したまま社会人院生として学位を取得できるシステムを構築してほしい。
- ・特にありません。
- ・まず、修士・博士をもっているかの質問をした上で、アンケートを進めた方がいいのではないかと。

- 6 その他（具体的に ）
- 7 将来的にも大学院入学には興味がない

1～6を選ばれた方は問6へお進みください。
7を選ばれた方は問9へお進みください。

問6. 問5で1～6を選ばれた方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。

- 1 業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから
- 2 最先端の専門知識・技術を身に付けたいから
- 3 大学院で研究したいテーマがあるから
- 4 社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから
- 5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから
- 6 資格・学位・学歴を取得するため
- 7 将来、医学教育・研究に関わる職業に就きたいから
- 8 学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから
- 9 その他（具体的に ）

問7. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

- | | | |
|----------------|-----------------|---|
| 1 解剖学 | 2 システム機能形態学 | 第一希望 <input style="float: right;" type="checkbox"/> |
| 3 生理学 | 4 生化学 | 5 分子神経科学 |
| 6 病理学 | 7 免疫学 | 8 微生物学 |
| 9 薬理学 | 10 疫学・健康政策学 | 第二希望 <input style="float: right;" type="checkbox"/> |
| 11 公衆衛生学 | 12 法医学 | 13 内科学 |
| 14 感染症学 | 15 皮膚科学 | 16 小児科学 |
| 17 神経精神医学 | 18 放射線医学 | 19 放射線腫瘍学 |
| 20 外科学 | 21 脳神経外科学 | 22 整形外科学 |
| 23 産科婦人科学 | 24 眼科学 | 25 耳鼻咽喉科学 |
| 26 泌尿器科学 | 27 麻酔科学 | 28 総合口腔科学 |
| 29 臨床検査医学 | 30 和漢診療学 | 31 脳神経内科学 |
| 32 救急・災害医学 | 33 臨床リスクマネジメント学 | 第三希望 <input style="float: right;" type="checkbox"/> |
| 34 バイオ統計学・臨床疫学 | 35 行動生理学 | |

- 36 臨床腫瘍学 37 形成再建外科学・美容外科学
38 リハビリテーション医学 39 医用工学
40 その他（具体的に ）

問8. 構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 入学したい
2 将来的に入学を検討したい
3 入学したいが経済的な理由で難しい
4 入学したいが時間的な制約で難しい
5 入学は希望しない

問9. その他、構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

富山大学大学院 総合医薬学研究科 先端医科学プログラム（R4年4月改組）

基本情報

開設時期 : 令和4年4月（予定）
 修業年限 : 2年
 募集人員 : 6名（予定）
 学 位 : 修士（医科学）

先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

教育の特色

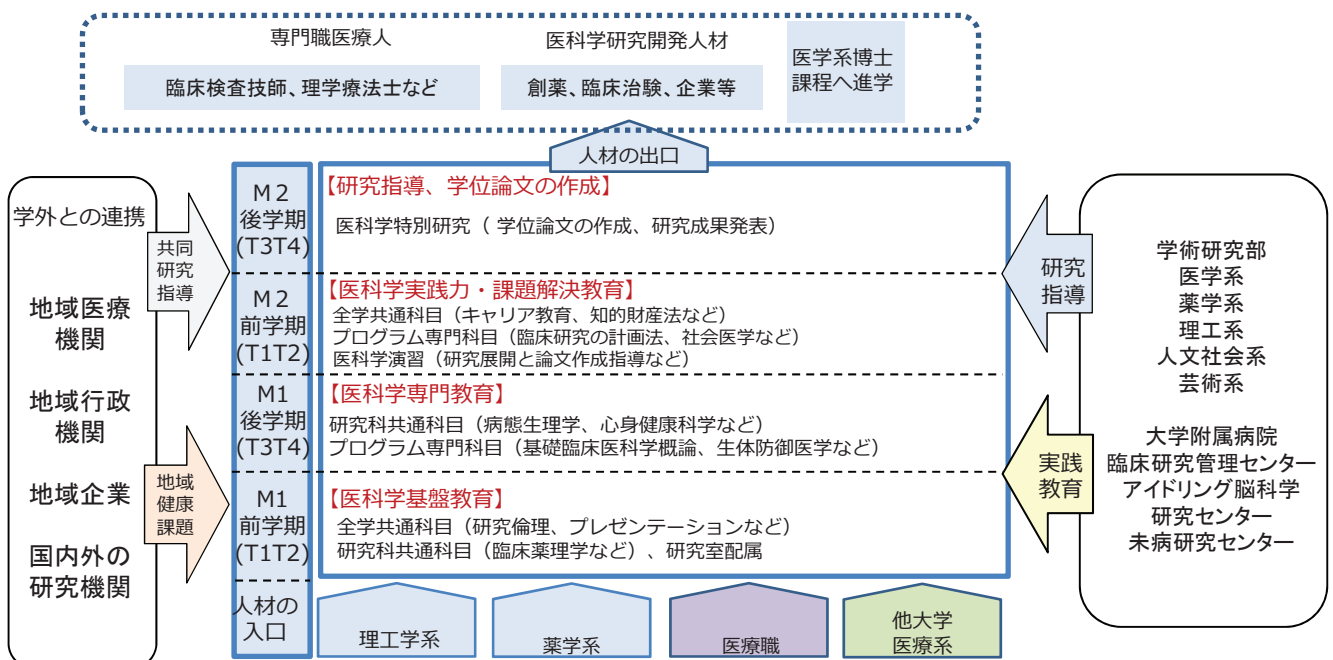
- プログラムの概要
 - ・地域の医療関係職のキャリアアップのニーズに応えるための幅広い医科学の専門知識の学修
 - ・専門的な医科学研究の実践
- プログラムの特色ある教育
 - ・研究基盤力となる全学共通科目の履修
 - ・臨床現場（附属病院、臨床研究管理センターなど）からの実践的な講義、実習

修了後の進路

医科学の専門知識を習得して、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、専門職医療人としてのスキルアップ、専門職企業人としての活躍、大学院博士家庭への進学が可能となる。

想定就職先：国（医療系）、地方自治体（医療系）、医療職、介護職等

構想のイメージ



先端医科学プログラムで学べる研究テーマ例

分野	研究テーマ
救急・災害医学	チーム医療の視点から見た神経救急研修の現状と課題
救急・災害医学・医療安全学	病院前救護における気道管理器具が胸骨圧迫の質に与える影響
公衆衛生学	Fenvalerate ameliorates cadmium-induced apoptosis in human myeloid leukemia cells (低濃度フェンバレートの曝露によるアポトーシス感受性の変化とその分子メカニズム)
システム情動科学	頸部トリガーポイントへの高電圧電気刺激療法が脳血行動態に及ぼす影響
心理学	MRIによる前頭葉脳回化の発達の検討
病態・病理学	PDGF-receptor dimers differentially regulate random versus directional migration of the mouse fibroblast (PDGF受容体によるマウス線維芽細胞の運動方向性の制御機構)
病理学	尿路上皮癌細胞における免疫組織化学染色によるSTAT3, 糖タンパク質ムチンファミリーの発現
分子神経科学	シナプスオーガナイザーPtprd遺伝子の微小エクソン選択調節の生理的意義の解明
放射線医学	CRISPR-Cas9を用いたEMTモニター細胞の樹立と放射線によるEMTの解析
臨床検査医学	脊柱靭帯骨化症の病態を反映するバイオマーカーの研究

(過去の修了生のテーマから抜粋)

富山大学大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラム(改組構想中)に関するアンケート調査

【調査の概要】

1. 調査目的

本アンケート調査は、大学院総合医薬学研究科先端医科学プログラムへの進学ニーズを把握することを目的に実施するものである。

2. 調査方法

Web による調査

3. 調査対象

富山県内のリハビリテーション系の専門学校の在学生（アンケート送付数 530）

4. 回答者数

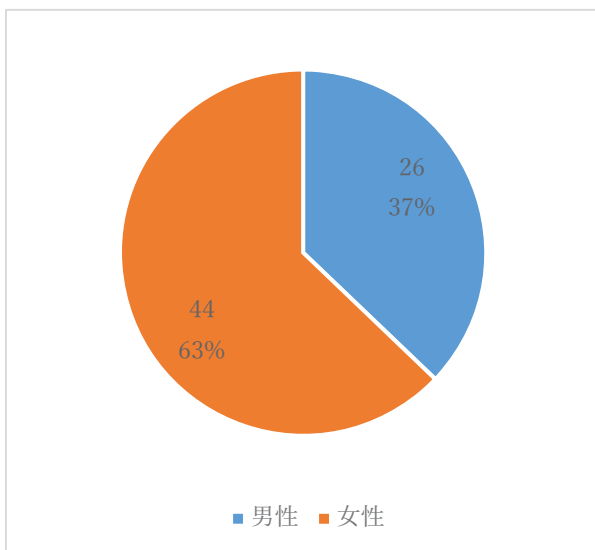
70 名（アンケート送付数 530 名 回答率 13.2%）

5. 調査期間

令和 3 年 2 月 8 日～2 月 19 日

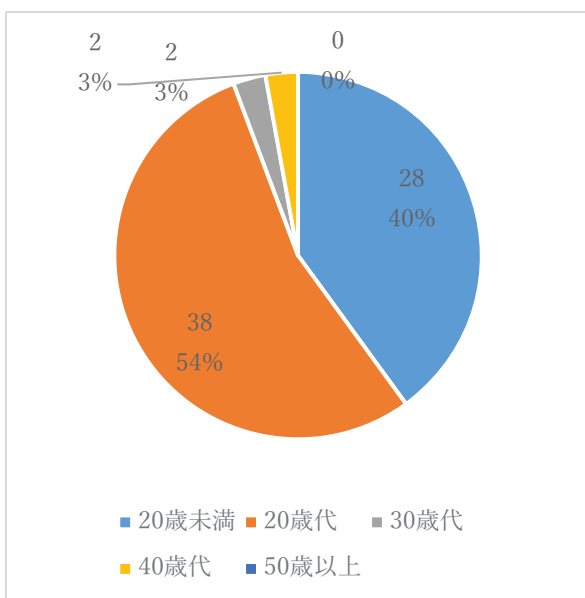
【調査結果】

問1. あなたの性別について教えてください。



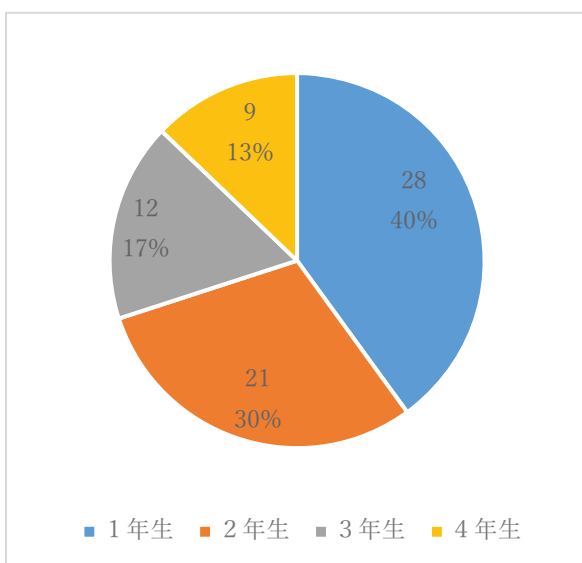
	回答数	割合
男性	26	37%
女性	44	63%

問2. あなたの年齢について教えてください。



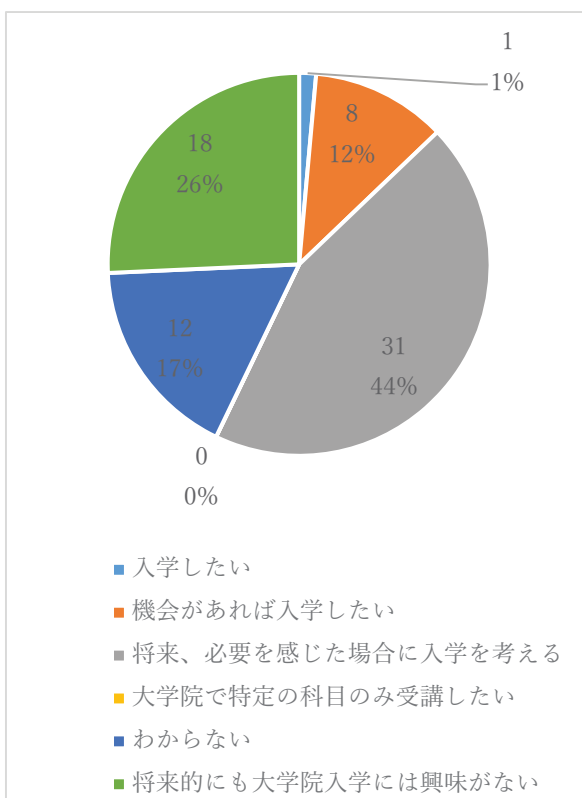
	回答数	割合
20歳未満	28	40%
20歳代	38	54%
30歳代	2	3%
40歳代	2	3%
50歳以上	0	0%

問3. あなたの学年について教えてください。



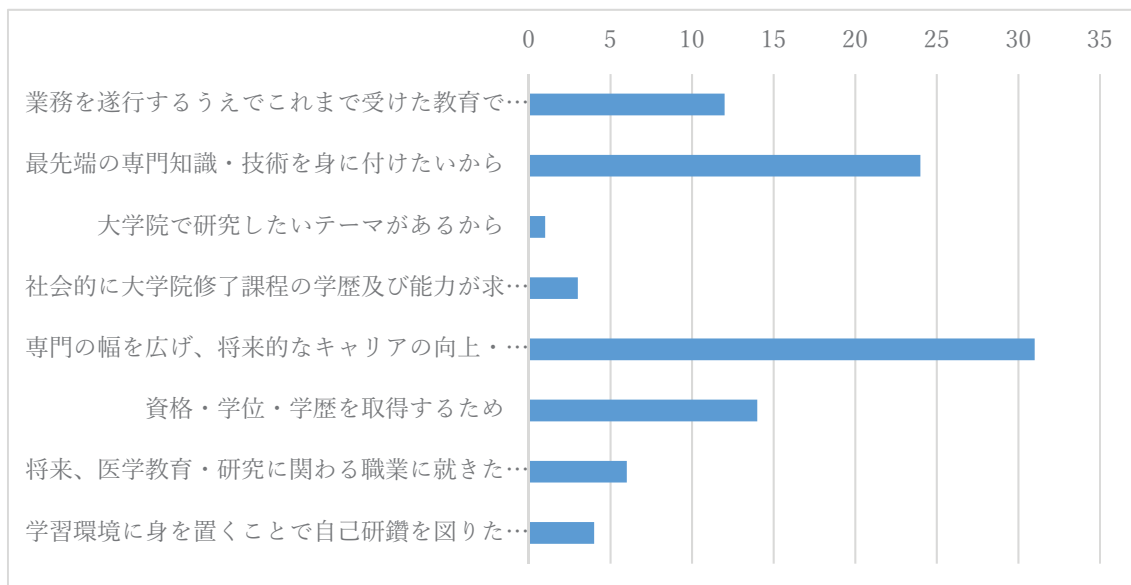
	回答数	割合
1年生	28	40%
2年生	21	30%
3年生	12	17%
4年生	9	13%

問4. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。



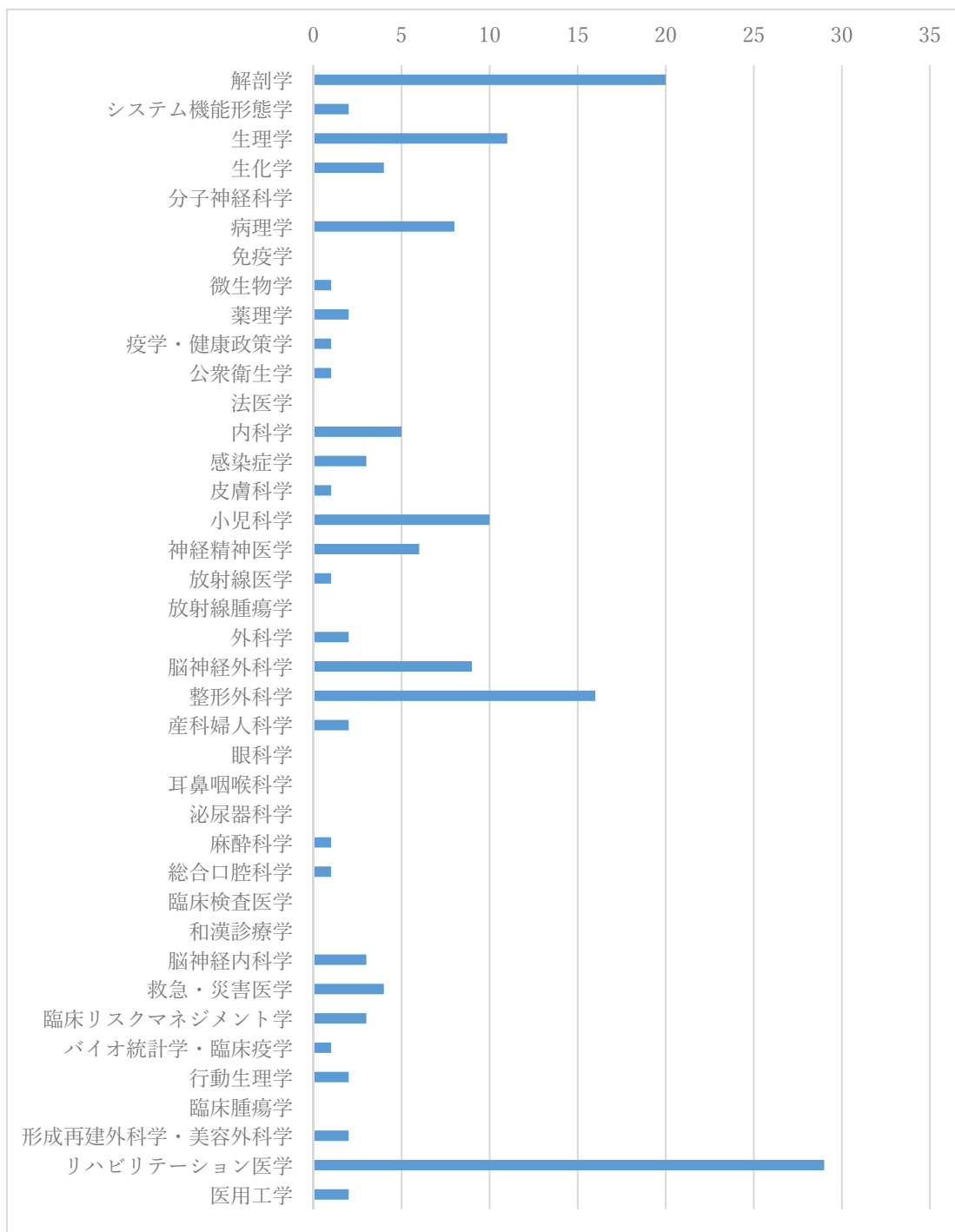
	回答数	割合
入学したい	1	1%
機会があれば入学したい	8	12%
将来、必要を感じた場合に入学を考える	31	41%
大学院で特定の科目のみ受講したい	0	0%
わからない	12	17%
将来的にも大学院入学には興味がない	18	26%
その他	0	0%

問5. それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。



	回答数
業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから	12
最先端の専門知識・技術を身に付けたいから	24
大学院で研究したいテーマがあるから	1
社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから	3
専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	31
資格・学位・学歴を取得するため	14
将来、医学教育・研究に関わる職業に就きたいから	6
学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから	4
その他	0

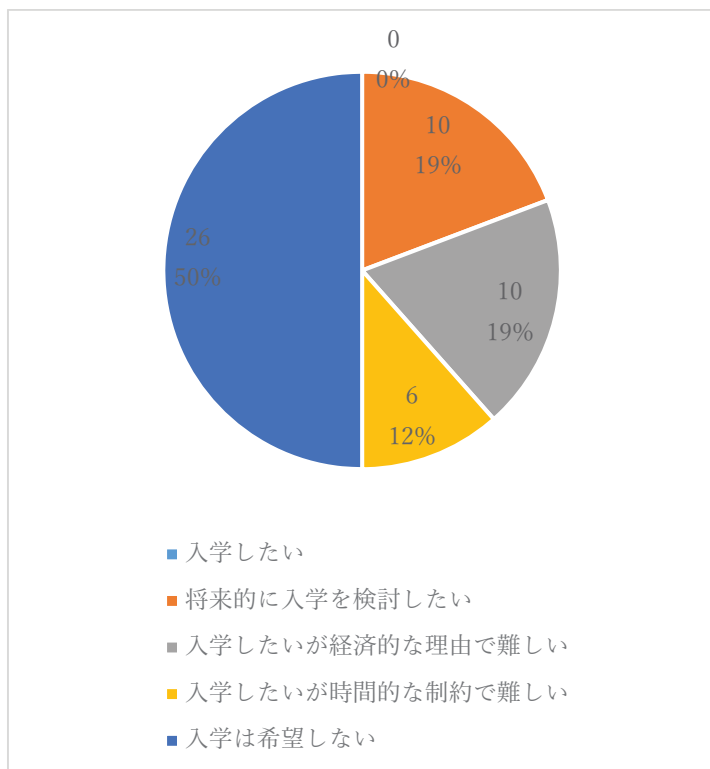
問6. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。



解剖学	20
システム機能形態学	2
生理学	11
生化学	4
分子神経科学	0
病理学	8
免疫学	0
微生物学	1
薬理学	2
疫学・健康政策学	1
公衆衛生学	1
法医学	0
内科学	5
感染症学	3
皮膚科学	1
小児科学	10
神経精神医学	6
放射線医学	1
放射線腫瘍学	0
外科学	2
脳神経外科学	9
整形外科	16
産科婦人科学	2
眼科学	0
耳鼻咽喉科学	0
泌尿器科学	0
麻酔科学	1
総合口腔科学	1
臨床検査医学	0
和漢診療学	0
脳神経内科学	3
救急・災害医学	4
臨床リスクマネジメント学	3
バイオ統計学・臨床疫学	1

行動生理学	2
臨床腫瘍学	0
形成再建外科学・美容外科	2
リハビリテーション医学	29
医用工学	2
その他	0

問7. 構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	0	0%
将来的に入学を検討したい	10	19%
入学したいが経済的な理由で難しい	10	19%
入学したいが時間的な制約で難しい	6	12%
入学は希望しない	26	50%

問8. その他、構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

- ・機会があればという感じです
- ・入学試験等の要項，学費次第で検討したい。
- ・機会があればという感じです
- ・仕事との両立が可能な夜間や通信などの院であれば，ぜひ入学を検討したい。
- ・今までの大学院とどのように異なるのか，ちょっとイメージが難しかったです。

問5. 問4で1～6を選ばれた方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。

- | | |
|-------------------------------------|--------------------------|
| 1 業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから | <input type="checkbox"/> |
| 2 最先端の専門知識・技術を身に付けたいから | |
| 3 大学院で研究したいテーマがあるから | <input type="checkbox"/> |
| 4 社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから | |
| 5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから | |
| 6 資格・学位・学歴を取得するため | |
| 7 将来、医学教育・研究に関わる職業に就きたいから | |
| 8 学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから | |
| 9 その他（具体的に _____) | |

問7. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

- | | | | | |
|---------------------|------------------|-----------|--------------------------|------|
| 1 解剖学 | 2 システム機能形態学 | 第一希望 | <input type="checkbox"/> | |
| 3 生理学 | 4 生化学 | 5 分子神経科学 | | |
| 6 病理学 | 7 免疫学 | 8 微生物学 | <input type="checkbox"/> | |
| 9 薬理学 | 10 疫学・健康政策学 | 第二希望 | | |
| 11 公衆衛生学 | 12 法医学 | 13 内科学 | <input type="checkbox"/> | |
| 14 感染症学 | 15 皮膚科学 | 16 小児科学 | | |
| 17 神経精神医学 | 18 放射線医学 | 19 放射線腫瘍学 | | 第三希望 |
| 20 外科学 | 21 脳神経外科学 | 22 整形外科学 | | |
| 23 産科婦人科学 | 24 眼科学 | 25 耳鼻咽喉科学 | | |
| 26 泌尿器科学 | 27 麻酔科学 | 28 総合口腔科学 | | |
| 29 臨床検査医学 | 30 和漢診療学 | 31 脳神経内科学 | | |
| 32 救急・災害医学 | 33 臨床リスクマネジメント学 | | | |
| 34 バイオ統計学・臨床疫学 | 35 行動生理学 | | | |
| 36 臨床腫瘍学 | 37 形成再建外科学・美容外科学 | | | |
| 38 リハビリテーション医学 | 39 医用工学 | | | |
| 40 その他（具体的に _____) | | | | |

問 8. 構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 入学したい
- 2 将来的に入学を検討したい
- 3 入学したいが経済的な理由で難しい
- 4 入学したいが時間的な制約で難しい
- 5 入学は希望しない

問 9. その他、構想中の「総合医薬学研究科先端医科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

富山大学大学院 総合医薬学研究科 先端医科学プログラム（R4年4月改組）

基本情報

開設時期 : 令和4年4月（予定）
 修業年限 : 2年
 募集人員 : 6名（予定）
 学 位 : 修士（医科学）

先端的な医科学研究者、高度専門医療人材の育成プログラム

教育の特色

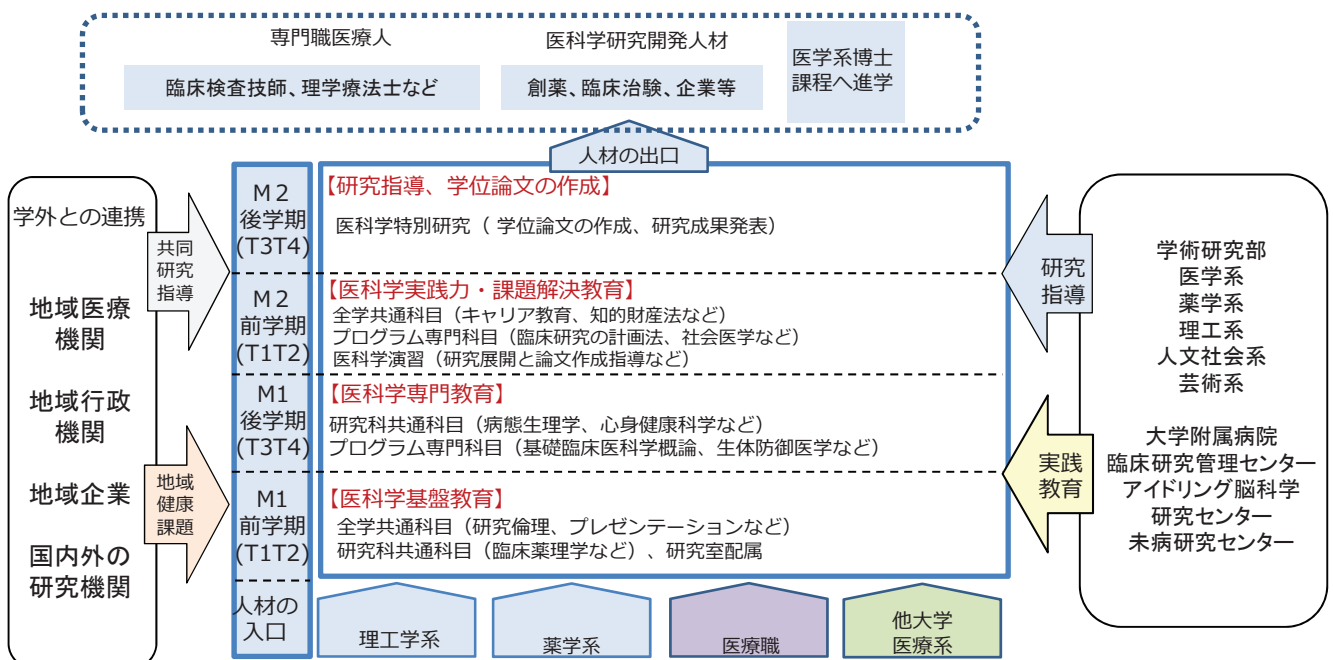
- プログラムの概要
 - ・地域の医療関係職のキャリアアップのニーズに応えるための幅広い医科学の専門知識の学修
 - ・専門的な医科学研究の実践
- プログラムの特色ある教育
 - ・研究基盤力となる全学共通科目の履修
 - ・臨床現場（附属病院、臨床研究管理センターなど）からの実践的な講義、実習

修了後の進路

医科学の専門知識を習得して、研究成果の発表、研究論文の作成を行った経験を活かし、専門職医療人としてのスキルアップ、専門職企業人としての活躍、大学院博士家庭への進学が可能となる。

想定就職先：国（医療系）、地方自治体（医療系）、医療職、介護職等

構想のイメージ



先端医科学プログラムで学べる研究テーマ例

分野	研究テーマ
救急・災害医学	チーム医療の視点から見た神経救急研修の現状と課題
救急・災害医学・医療安全学	病院前救護における気道管理器具が胸骨圧迫の質に与える影響
公衆衛生学	Fenvalerate ameliorates cadmium-induced apoptosis in human myeloid leukemia cells (低濃度フェンバレートの曝露によるアポトーシス感受性の変化とその分子メカニズム)
システム情動科学	頸部トリガーポイントへの高電圧電気刺激療法が脳血行動態に及ぼす影響
心理学	MRIによる前頭葉脳回化の発達の検討
病態・病理学	PDGF-receptor dimers differentially regulate random versus directional migration of the mouse fibroblast (PDGF受容体によるマウス線維芽細胞の運動方向性の制御機構)
病理学	尿路上皮癌細胞における免疫組織化学染色によるSTAT3, 糖タンパク質ムチンファミリーの発現
分子神経科学	シナプスオーガナイザーPtprd遺伝子の微小エクソン選択調節の生理的意義の解明
放射線医学	CRISPR-Cas9を用いたEMTモニター細胞の樹立と放射線によるEMTの解析
臨床検査医学	脊柱靭帯骨化症の病態を反映するバイオマーカーの研究

(過去の修了生のテーマから抜粋)

富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラム(改組構想中)に関する アンケート調査

【調査の概要】

1) 調査目的

本アンケート調査は、大学院総合医薬学研究科看護科学プログラムへの進学ニーズを把握することを目的に実施するものである。

2) 調査方法

Web による調査

3) 調査対象

- ・ 富山県内の公的病院のうち看護職員数が 100 名以上の 17 医療機関に勤務する看護師等の看護職（アンケート送付数 5,960）
- ・ 富山県内の看護系の大学，専門学校に勤務する教員（アンケート送付数 20）

4) 回答者数

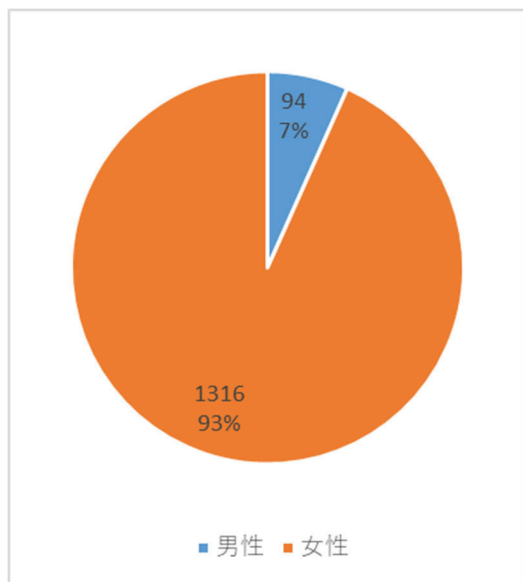
1,410 名（アンケート送付数 5,980 名 回答率 23.6%）

5) 調査期間

令和 3 年 2 月 8 日～2 月 19 日

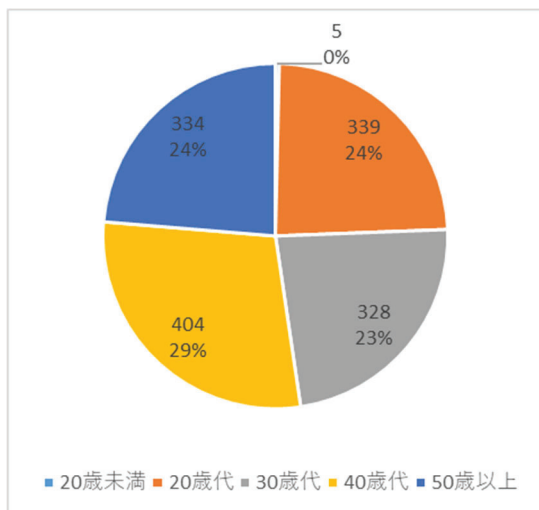
【調査結果】

問1. あなたの性別について教えてください。



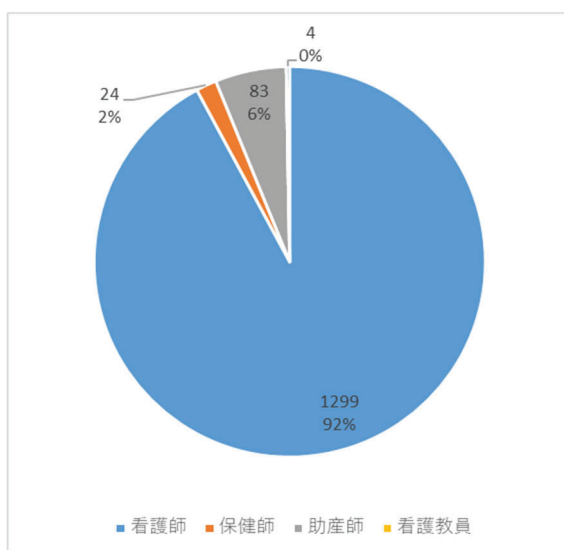
	回答数	割合
男性	94	7%
女性	1,316	93%

問2. あなたの年齢について教えてください。



	回答数	割合
20歳未満	5	0%
20歳代	339	24%
30歳代	328	23%
40歳代	404	29%
50歳以上	334	24%

問3. あなたの職業について教えてください。

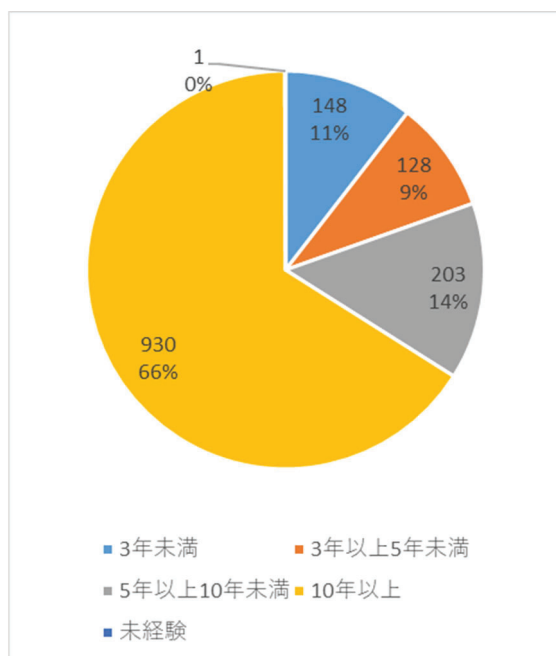


	回答数	割合
看護師	1,299	92%
保健師	24	2%
助産師	83	6%
看護教員	0	0%
その他	4	0%

※その他の回答

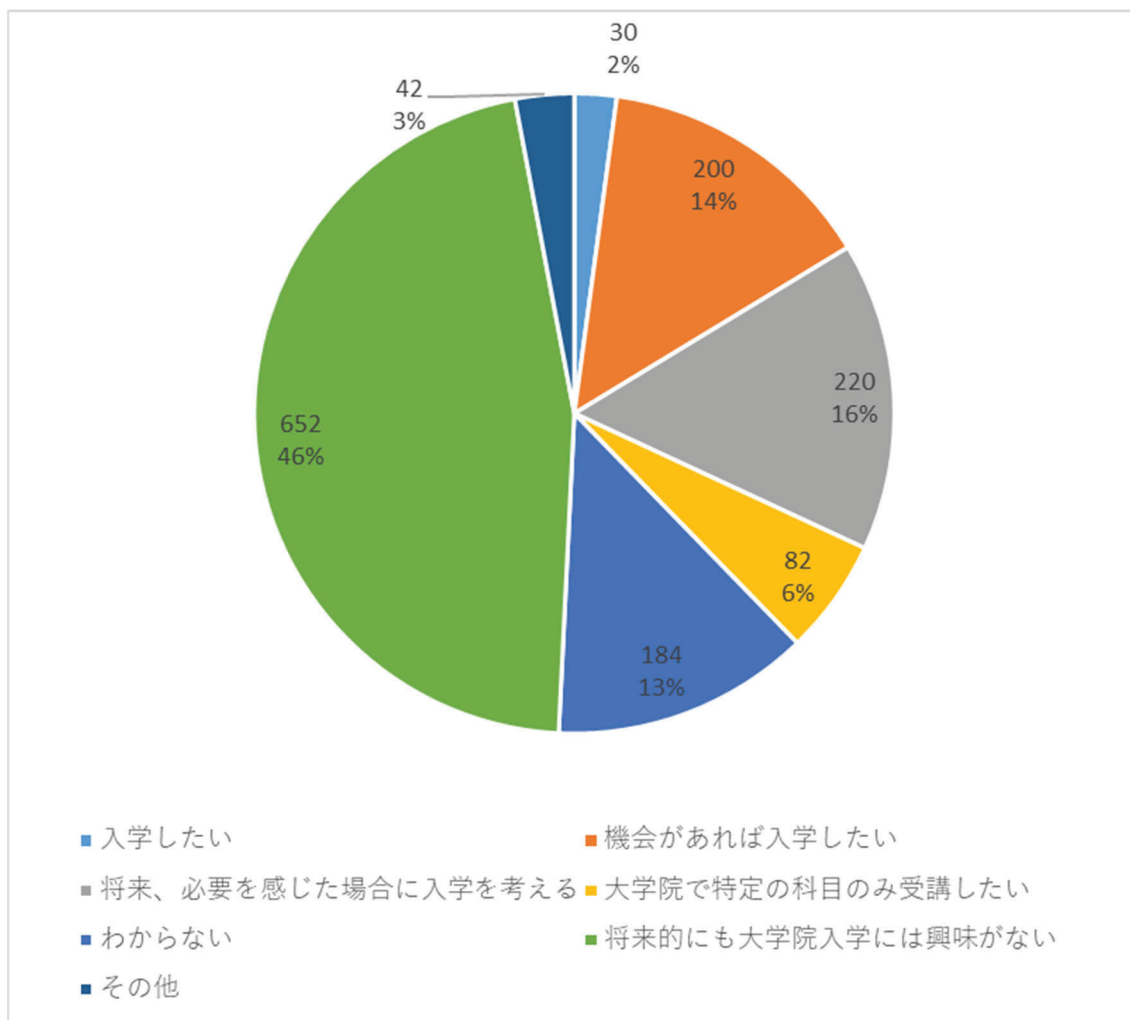
看護助手	3
准看護師	1

問4. あなたの看護職として実務経験年数について教えてください。



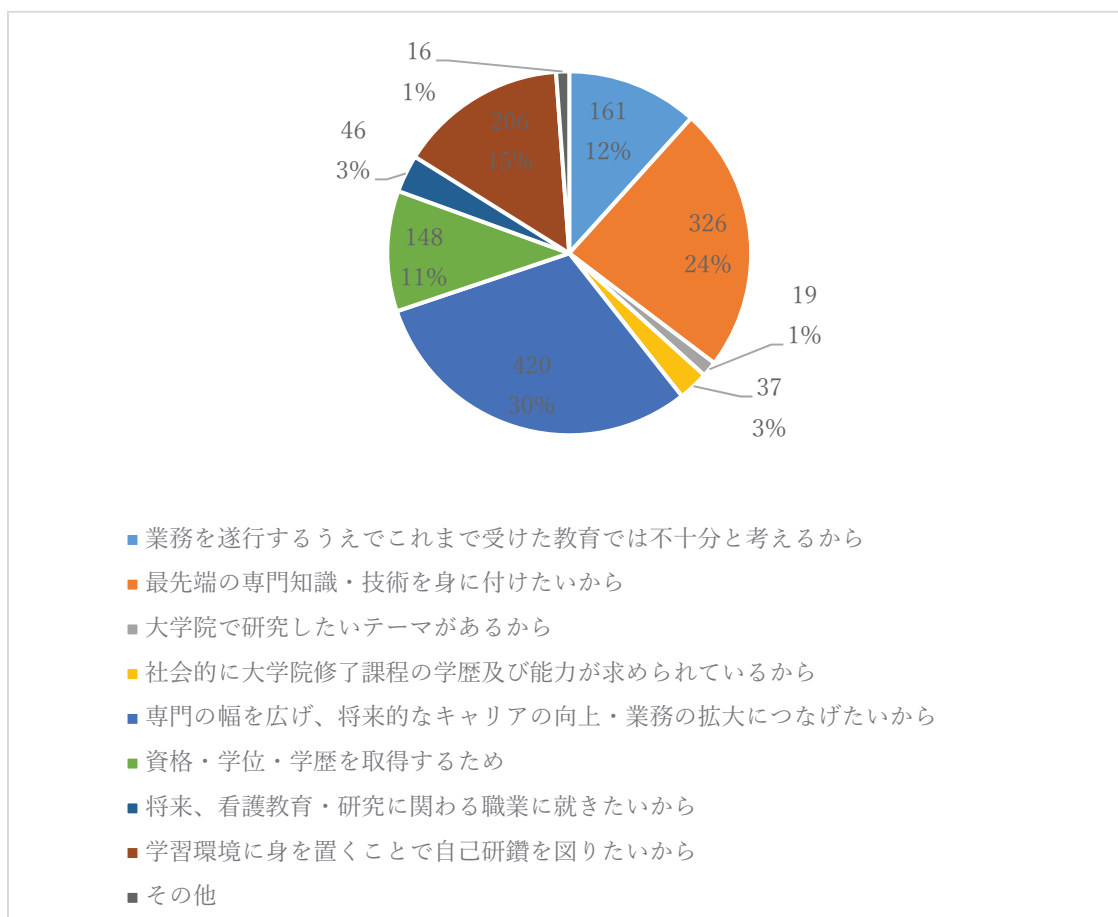
	回答数	割合
3年未満	148	10%
3年以上5年未満	128	9%
5年以上10年未満	203	14%
10年以上	930	66%
未経験	1	0%

問5. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から1つ選んでください。



	回答数	割合
入学したい	30	2%
機会があれば入学したい	200	14%
将来、必要を感じた場合に入学を考える	220	16%
大学院で特定の科目のみ受講したい	82	6%
わからない	184	13%
将来的にも大学院入学には興味がない	652	46%
その他	42	3%

問6. それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。

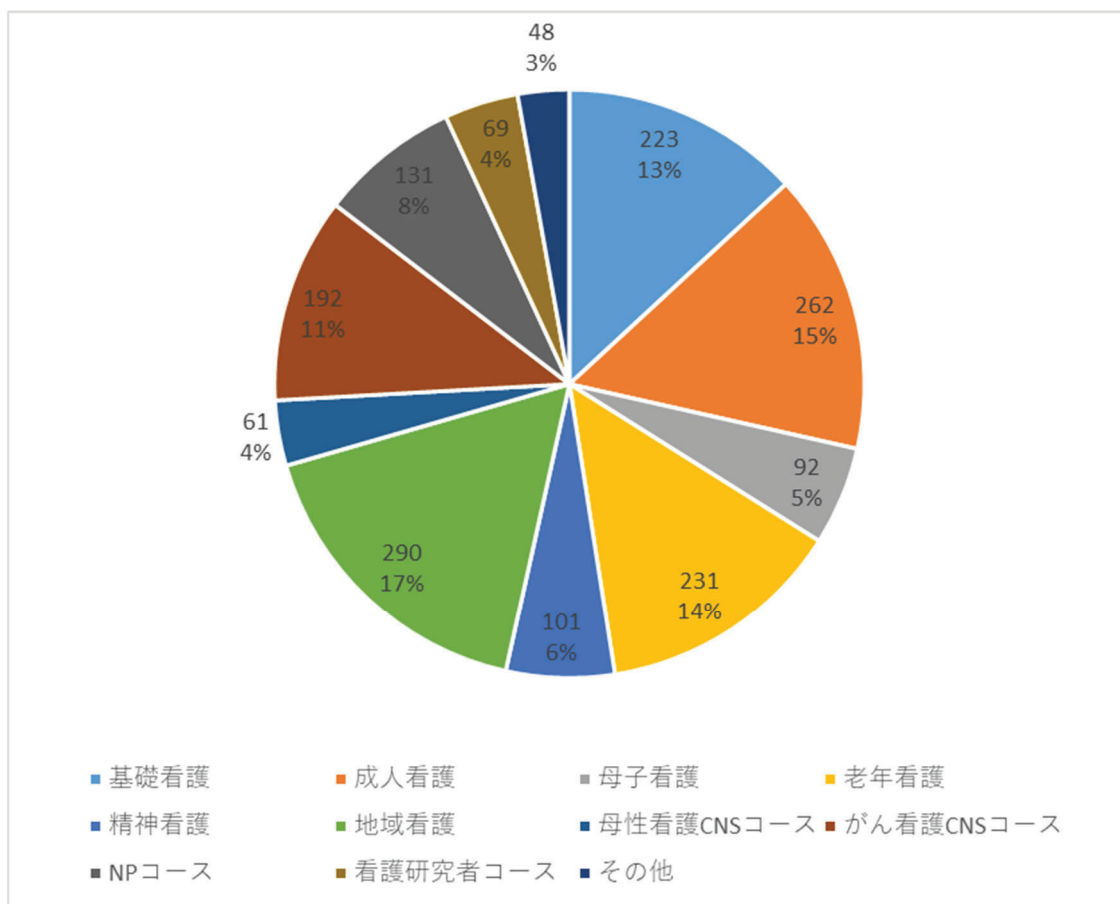


	回答数	割合
業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから	161	12%
最先端の専門知識・技術を身に付けたいから	326	24%
大学院で研究したいテーマがあるから	19	1%
社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから	37	3%
専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから	420	30%
資格・学位・学歴を取得するため	148	11%
将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから	46	3%
学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから	206	15%
その他※	16	1%

※その他の回答

- ・ チーム医療をしていくうえで他職種との関りから、幅広い専門的知識が必要である。
- ・ すでに大学院を修了しているため
- ・ 年齢のため
- ・ 年齢的に十分な還元が出来そうに思えない為
- ・ 学習が必要と考えた場合に
- ・ 年齢的に厳しい
- ・ 年齢が…
- ・ 年齢的に難しい 健康不安があるため
- ・ 年齢が高いから
- ・ 学びたいと思った時には大学院に限らず手段は考える。大学院はそのうちの1つ。
- ・ また看護とは考えていない。
- ・ もう退職を考えてる年齢
- ・ 問5で別の選択肢を選択
- ・ 育児のため自分の将来を考える余裕がない
- ・ 看護師を辞めたいので、他の資格が欲しい。
- ・ 現場から学ぶことが全てなので、色々まなんでも空想論になるので必要ない。机上の上で学んでいる間に現場で患者さんを通して学ぶ時間のほうがよっぽど大切だと考えます。
- ・ 人員不足で所属病院からの許可が得にくく、今はCOVID-19への対応が優先される。また、意志が明確になっていないから。

問7. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

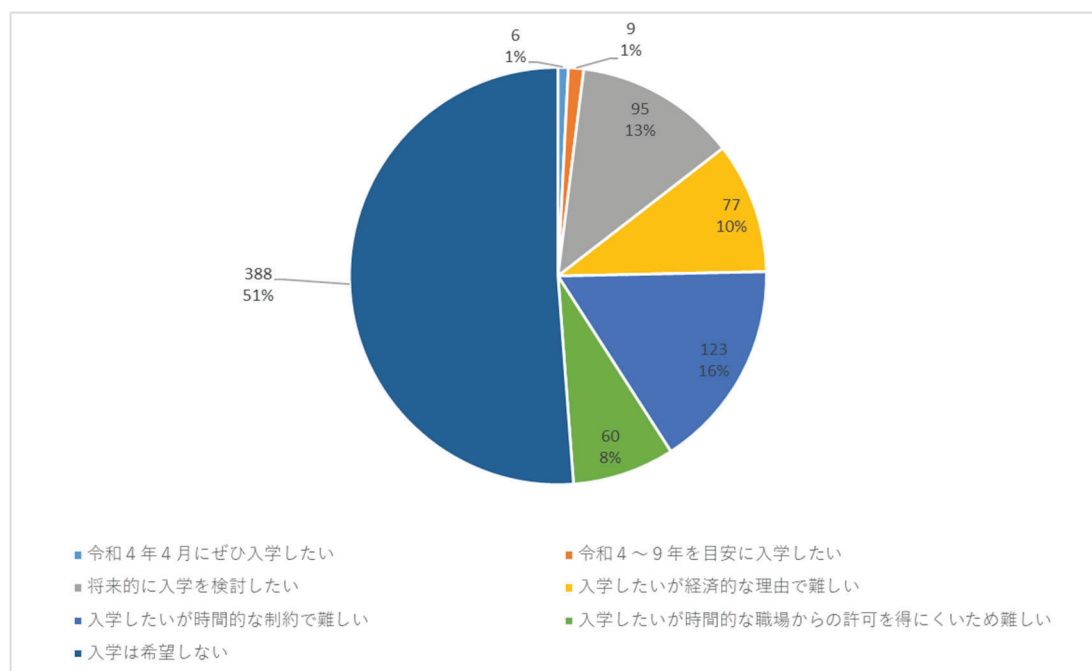


	回答数	割合
基礎看護	223	13%
成人看護	262	15%
母子看護	92	5%
老年看護	231	14%
精神看護	101	6%
地域看護	290	17%
母性看護 CNS コース	61	4%
がん看護 CNS コース	192	11%
NP コース	131	8%
看護研究者コース	69	4%
その他	48	3%

※CNS：専門看護師（Certified Nurse Specialist の略）

NP：診療看護師（Nurse Practitioner の略）

問8. 構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。



	回答数	割合
令和4年4月にぜひ入学したい	6	1%
令和4～9年を目安に入学したい	9	1%
将来的に入学を検討したい	95	13%
入学したいが経済的な理由で難しい	77	10%
入学したいが時間的な制約で難しい	123	16%
入学したいが時間的な職場からの許可を得にくいため難しい	60	8%
入学は希望しない	388	51%

※問5で「将来的にも大学院入学には興味がない」を選択した者は、問8回答せず

問9. その他、構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

- ・富山で専門的な教育が受けられることは地域の医療・看護の質向上につながるので素晴らしいことだと思います。
- ・定年退職後の看護師の活躍できる場も考えてほしい。
- ・経済的なものは大きい。休学できるとしても休学中のお金がない。
- ・NP コースを受講した場合、大学院で学ぶ NP には富山県内でどのような活動ができるか、記して欲しいです。認定看護師が受講すると一部できるようになるものとの違いも明確に。
- ・大学院のシステム、授業時間などわからないので、仕事と両立できるのかなど、わかりませんでした。
- ・費用がいくらか？また、救急など医師の指示の下できる専門？認定？などの資格があれば、現場で1番使えるので
- ・オンライン講義、オンデマンド配信
- ・経験のある看護師が学びを深められるように門戸を広くして対応してほしい
- ・看護師として有意義な学びとなれることを望みますが、看護師不足に対しての解決が出来ない日本のシステムを変えないまま進めていくことへの不安を感じます。
- ・薬学の事も学びたい
- ・自分は年齢的にも学歴的にも、大学院で学習ということを考えてありません。意欲のある方々には頑張ってもらいたいです。
- ・どんなことが学べるのか、大学院の名称からイメージできず分かりにくい。
- ・大学病院で勤務する看護師のモチベーションアップに繋がると思うが現場の看護師の現状としては出産、育児と勤務で学びたくても時間が足りない。学べる環境づくりが必要だと思う。
- ・どんな内容か学部か分からず知識不足です、すみません
- ・内容がイメージつかないです
- ・よくわからない。
- ・総合医薬看護学研究科プログラムでよいのではないかと思いました。
- ・大学院のシステム、授業時間などわからないので、仕事と両立できるのかなど、わかりませんでした。
- ・経験のある看護師が学びを深められるように門戸を広くして対応してほしい
- ・人材育成は必要と思っていたので、プログラムを遂行していただきたい。
- ・〃県外の大学4年で卒業しました。助産師になりたいと考えているのですが富山県に助産専攻の大学院が今のところなく令和4年入学できるところを探していると県外に行かなければいけないのが現実です。

- ・ 県外で入学すると実習先も県外になり就職も県外で行おうと考えています。いいです。是非 育てて下さい。
- ・ 年齢的に制限があると思うこと。
- ・ 入学するために一旦休職しなければならないのであれば、その間の収入は途絶える。生活できなくなる。家庭があれば尚更である。
- ・ 現場に繋げることができる内容があればよい。
- ・ 非常に興味がありますが、現職場的に難しい点も多いです。職場は自己研鑽のための進学は認めてくれません。病院に直接還元しなさいと。なので認定や専門以外の進学は望まれません。私は修士を取りましたがほぼ無視でした。残念です。
- ・ 自分が若い時にそのプログラムがあれば興味を持ったと思う さまざまな知識を学べるようなのでよいのではないかと思う
 - ・ 年齢的に無理
 - ・ 子供の進路としてはとても興味がある
 - ・ 特にありません
 - ・ 近隣の大学にない学科の設立を期待する
 - ・ 年齢的に厳しいと感じているため
 - ・ 特になし
 - ・ 入学を入試方式ではなく、経験の年数、経験歴、所属病院の推薦などで入学できるなどにして入学の幅を広げてもらえるのなら、入れそうな気がする。入試だと受かる自信がない。
 - ・ どんなことが学べるのか不明確なので、教えて欲しい。学び方や学費、いまの職場で働きながら可能なのかなど、知りたい。
 - ・ 特定行為を1つ単位から、習得できる科目履修制度があるとありがたい
 - ・ 特に無し
 - ・ 今からの人には専門性を持って続けられる仕事に従事するためにはいいと思います
- ・ 家庭を持ち子育てしてるから。
- ・ NP コース設立とのことですが、臨床のスペシャリストであり講師陣は準備できるのでしょうか。
- ・ 50 歳以上でも学習の場があればいい
- ・ 看護の社会的ニーズも高まっていると思うので、ニーズに応えられる教育課程にしてください。
- ・ 今の時代、知識や技術だけでは補えない臨床実践を、若い年代からでも看護管理の切り口で学ぶことはできないかと考えている。例えば、看護マネジメントやメンバーシップ、リーダーシップやノンテクニカルスキルなど、社会人基礎力を高めていける能力強化プログラムがあればいいと考えます。

- ・通信でも入学できればいいなと思います。
 - ・まだ不明瞭な点が多い為分からない
 - ・大学院前期課程(新領域保健看護)を修了しているので、博士課程や興味がある分野(糖尿病)の認定看護師・専門看護師教育課程があれば入学検討したいです。
- いつまでも学びが得られる環境は重要だと思う
- ・大学院に入学するには大卒資格が必要であり、自分には縁のない話だと思っている。臨牀的に興味があっても、過去の学歴で資格が取得できないのは、つらい。
 - ・よくわからないので、詳細を教えていただきたかった。
 - ・遺伝看護専門看護師について興味があるので、その分野に関するカリキュラムもあるとぜひ履修したいと思います。
 - ・近くで数多くのコースが開催されることはよいことだと思います
 - ・学生が集まるのか 集まらないとモチベーションも上がらない
 - ・今年度で定年退職予定にて大学院入学の予定はありません。
 - ・このアンケートの回答まで、このような構想があることをしりませんでした。
- 進捗状況など、開設に向けて情報発信をお願いしたいです。
- ・この卒業した方々が病院での看護師の教育においても、看護のレベルアップ、名実伴う「師」としての地位の向上に力を発揮してくださることを願います
 - ・どのようなプログラムなのか全く知らない、分からない。

看護職、看護教員、看護学生の方へ

富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）に関する アンケート調査

【あなた本人について】

問 1. あなたの性別について教えてください。

- 1 男性 2 女性

【回答欄】

問 2. あなたの年齢について教えてください。

- 1 20歳未満 2 20歳代 3 30歳代
4 40歳代 5 50歳以上

問 3. あなたの職業について教えてください。

- 1 看護師 2 保健師
3 助産師 4 看護教員
5 学生
6 その他（具体的に ）

問 4. あなたの看護職として実務経験年数について教えてください。

- 1 3年未満 2 3年以上5年未満
3 5年以上10年未満 4 10年以上
5 未経験（学生など）

【大学院への入学について】

問 5. あなたは自らの知識や技術・能力を高めるために大学院に入学することについてどのように考えていますか。次の中から 1つ選んでください。

- 1 入学したい
2 機会があれば入学したい
3 将来、必要を感じた場合に入学を考える
4 大学院で特定の科目のみ受講したい
5 わからない

- 6 その他（具体的に ）
- 7 将来的にも大学院入学には興味がない

1～6を選ばれた方は問6へお進みください。
7を選ばれた方は問9へお進みください。

問6. 問5で1～6を選ばれた方にお尋ねします。それはどのような理由からですか。次の中から当てはまるものを2つ選んでください。

- 1 業務を遂行するうえでこれまで受けた教育では不十分と考えるから
- 2 最先端の専門知識・技術を身に付けたいから
- 3 大学院で研究したいテーマがあるから
- 4 社会的に大学院修了課程の学歴及び能力が求められているから
- 5 専門の幅を広げ、将来的なキャリアの向上・業務の拡大につなげたいから
- 6 資格・学位・学歴を取得するため
- 7 将来、看護教育・研究に関わる職業に就きたいから
- 8 学習環境に身を置くことで自己研鑽を図りたいから
- 9 その他（具体的に ）

問7. あなたが将来入学・受講したいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

- | | | | | | |
|---------------|--------------|--------|--|------|--------------------------|
| 1 基礎看護 | 2 成人看護 | 3 母子看護 | | 第一希望 | <input type="checkbox"/> |
| 4 老年看護 | 5 精神看護 | 6 地域看護 | | | |
| 6 母性看護CNSコース | 7 がん看護CNSコース | | | | |
| 8 NPコース | 9 看護研究者コース | | | 第二希望 | <input type="checkbox"/> |
| 10 その他（具体的に ） | | | | | |

※CNS：専門看護師（Certified Nurse Specialist の略）
NP：診療看護師（Nurse Practitioner の略）

第三希望

問 8. 構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」への入学についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

- 1 令和 4 年 4 月にぜひ入学したい
- 2 令和 4 ～ 9 年を目安に入学したい
- 3 将来的に入学を検討したい
- 4 入学したいが経済的な理由で難しい
- 5 入学したいが時間的な制約で難しい
- 6 入学したいが時間的な職場からの許可を得にくいとため難しい
- 7 入学は希望しない

問 9. その他、構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

「人」と「地」の健康に関わる看護ケアの専門職として社会に貢献する

富山大学大学院 総合医薬学研究科 看護科学プログラム (R4年4月改組)

基本情報

開設時期 : 令和4年4月(予定)
 修業年限 : 2年
 募集人員 : 8名(予定)
 学位 : 修士(看護学)

教育の特色

“人”の健康を増進し、社会支援につながる看護ケアの創造とそのための人材育成

○プログラム概要

附属病院の中に大学院連携部門を設置し、連携して社会支援につながる実践的な看護ケアの人材育成を行います。

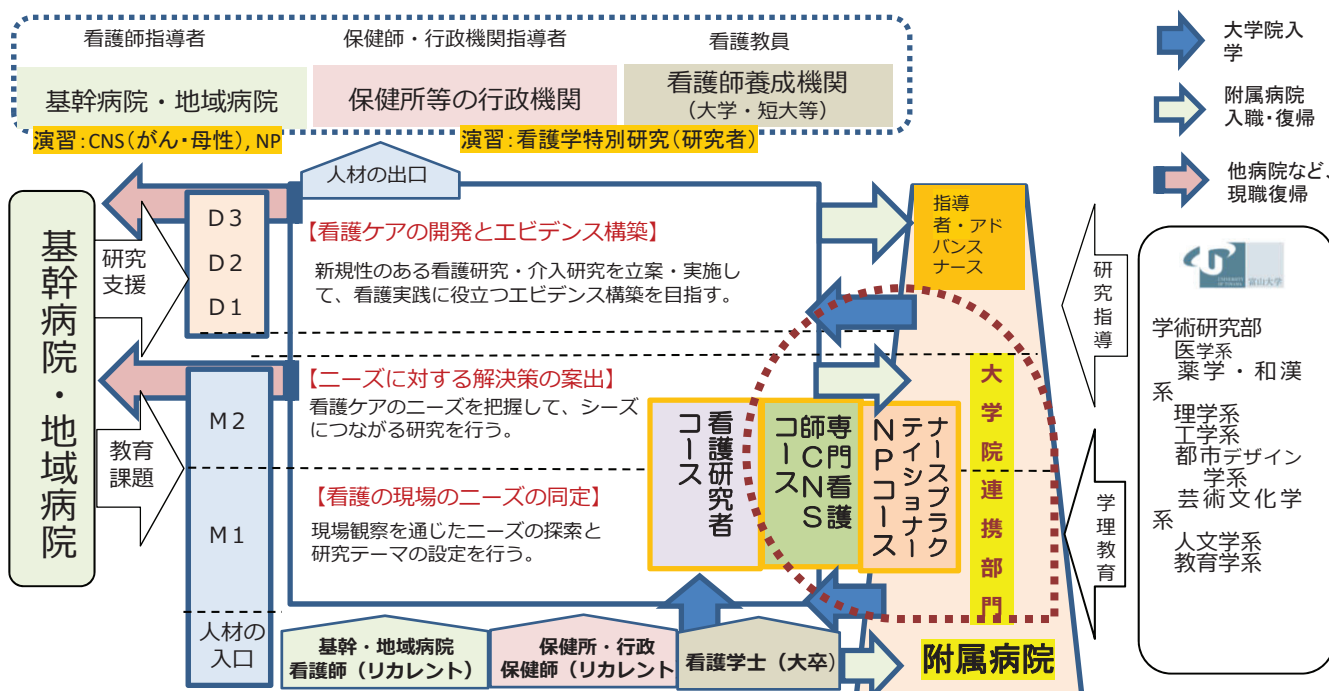
○プログラムの特色ある教育

従来から設置されている看護研究者コース、専門看護師(CNS 2領域/がん看護・母性看護)コースに加えて、新たに「医師の手順書により特定行為が実施できる看護師のコース(ナースプラクティショナー NPコース)」を設置(準備中)し、あわせて3つのコースを用意します。

修了後の進路

想定就職先 : 基幹病院、地域病院
 保健所等の行政機関
 看護師養成機関

構想のイメージ



富山大学における授業料その他の費用に関する規則

平成17年10月1日制定 平成18年4月1日改正
 平成18年9月21日改正 平成19年4月1日改正
 平成20年4月1日改正 平成21年4月1日改正
 平成22年4月1日改正 平成27年4月1日改正
 平成29年7月11日改正 令和元年9月24日改正
 令和2年3月24日改正 令和2年7月1日改正

(趣旨)

第1条 この規則は、国立大学法人富山大学（以下「本学」という。）における授業料その他の費用に関し、他の規則に別段の定めのあるもののほか、必要な事項を定めるものとする。

(授業料，入学料及び検定料の額)

第2条 本学において徴収する授業料（幼稚園にあつては，保育料。以下同じ。）の年額，入学料（幼稚園にあつては，入園料。以下同じ。）及び入学等に係る検定料は，次の表のとおりとする。

区分		授業料（年額）	入学料	検定料
大学の学部		535,800円	282,000円	17,000円
大学の夜間において授業を行う学部		267,900円	141,000円	10,000円
大学院の研究科及び教育部		535,800円	282,000円	30,000円
転入学 編入学 再入学	大学の学部	535,800円	282,000円	30,000円
	大学院の研究科及び教育部			
	大学の夜間において授業を行う学部	267,900円	141,000円	18,000円
研究生		(月額) 29,700円	84,600円	9,800円
科目等履修生		(1単位) 14,800円	28,200円	9,800円
特別聴講学生		(1単位) 14,800円	—	—
特別研究学生		(月額) 29,700円	—	—
幼稚園		73,200円	31,300円	1,600円
特別支援学校の高等部		4,800円	2,000円	2,500円

2 本学に附属して設置される小学校，中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部の入学料は，これを徴収しないものとする。

3 小学校及び中学校並びに特別支援学校の小学部及び中学部において，入学を許可するための試験，健康診断，書面その他による選考等を行った場合に徴収する検定料の額は，次の表のとおりとする。

区分	検定料
小学校	3,300円
中学校	5,000円
特別支援学校の小学部	1,000円
特別支援学校の中学部	1,500円

- 4 大学の学部において、出願書類等による選抜（学校推薦型選抜及び総合型選抜等において第1次選考として書類審査等を行う場合を含む。以下「第1段階選抜」という。）を行い、その合格者に限り学力検査その他による選抜（以下「第2段階選抜」という。）を行う場合及び個別学力検査出願受付後に大学入学共通テスト受験科目の不足等による出願資格のない者（以下「個別学力検査出願無資格者」という。）であることが判明した場合の検定料は、第1項の規定にかかわらず、次の表の学部等の区分に応じ、第1段階選抜及び個別学力検査出願無資格者にあつては同表の中欄に掲げる額を、第2段階選抜にあつては同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	第1段階選抜	第2段階選抜
	個別学力検査出願無資格者	
大学の学部	4,000円	13,000円
大学の夜間において授業を行う学部	2,200円	7,800円

- 5 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校において、抽選による選考等を行い、その合格者に限り試験、健康診断、書面その他による選考等（以下この項において「試験等」という。）を行う場合に係る検定料は、第1項及び第3項の規定にかかわらず、次の表の学校等の区分に応じ、抽選による選考等にあつては、同表の中欄に掲げる額を、試験等にあつては、同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分	抽選による選考等	試験等
幼稚園	700円	900円
小学校	1,100円	2,200円
中学校	1,300円	3,700円
特別支援学校の小学部	500円	500円
特別支援学校の中学部	600円	900円
特別支援学校の高等部	700円	1,800円

- 6 幼稚園、小学校、中学校及び特別支援学校の転入学に係る入学料及び検定料は、次の表のとおりとする。

区分	入学料	検定料
幼稚園	31,300円	1,600円
小学校	—	3,300円
中学校	—	5,000円
特別支援学校の小学部	—	1,000円
特別支援学校の中学部	—	1,500円
特別支援学校の高等部	2,000円	2,500円

（長期履修に係る授業料）

第3条 学則第62条に規定する修業年限及び大学院学則第25条に規定する標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修して卒業又は修了することを認められた者から徴収する授業料の年額は、当該在学を認められた期間（以下「長期履修期間」という。）に限り、前条第1項に規定する授業料の年額に修業年限又は標準修業年限に相当する年数を乗じて得た額を長期履修期間の年数で除した額（その額に十円未満の端数があるときは、これを切り上げるものとする。）とする。

2 学部及び大学院研究科（教育部を含む。以下同じ。）において長期履修期間を短縮する変更が認められた場合の授業料の額は、初年度から変更後の長期履修期間により前項の規定に従い算出した額とし、変更前の授業料の額との差額については、長期履修期間を変更した最初の学期にそれを徴収する。

3 学部及び大学院研究科において長期履修期間の延長が認められた場合の授業料の額は、変更後の長期履修期間により第1項の規定に従い算出した額とし、既に履修した期間の授業料の額との差額については、その調整は行わない。

4 長期履修期間を超えてなお在学する者の授業料の額は、前条第1項に定める額とする。
（授業料の徴収方法等）

第4条 各年度に係る授業料の徴収は、当該年度において、学期その他の期間に区分して行うことを原則とする。ただし、学生又は生徒等の申出があったときは、一括して徴収することができる。

2 前項の規定にかかわらず、入学年度に係る授業料について、入学を許可される者の申出があったときは、入学年度の前年度において入学を許可するときにその一部又は全部を徴収することができる。

第5条 当該年度における在学期間が12月に満たない者の授業料は、授業料の年額の12分の1に相当する額に在学する月数（1月未満の端数があるときは、これを1月とする。）を乗じて得た額を徴収することを原則とする。

（入学料の徴収方法）

第6条 入学料は、入学を許可するときに徴収することを原則とする。

（検定料の徴収方法）

第7条 検定料は、入学、転入学、編入学又は再入学の出願（第2条第3項、第4項及び第5項に規定する場合を含む。）を受理するときに徴収することを原則とする。

（寄宿料の額等）

第8条 寄宿料の月額は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額のとおりとする。

区分		寄宿料（月額）
新樹寮	S I	13,000円
	S II	18,000円
	D I	23,000円
五福国際交流会館	単身室	5,900円
	夫婦室	9,500円
	家族室	14,200円
杉谷国際交流会館	A室 世帯用（60㎡以上）	14,200円

	B室 世帯用 (50~60㎡)	11,900円
	C室 単身用 (25㎡以上)	5,900円

備考：新樹寮は、上記寄宿料のほか、維持管理費（共益費）月額2,000円を徴収する。

2 寄宿料は、寄宿舎に入居した日の属する月から退居する日の属する月まで、毎月その月の分を徴収することを原則とする。ただし、休業期間中の分は、休業期間前に徴収するものとする。

3 前項の規定にかかわらず、学生の申出又は承諾があったときは、その申出又は承諾があった月分の寄宿料を併せて徴収することができる。

第8条の2 前条の規定にかかわらず、寄宿料は、次の表の区分に応じ、それぞれ同表の右欄に掲げる額に、入居した日から退去する日までの日数を乗じた額とすることができる。

	区分	寄宿料（日額）
新樹寮	S I	900円
	S II	1,000円

2 寄宿料は、入居する日までに徴収することを原則とする。

（経済的負担の軽減のための措置）

第9条 本学は、学部及び大学院研究科の学生で経済的理由によって納付が困難であると認められる者その他のやむを得ない事情があると認められる者に対し、授業料、入学料又は寄宿料の全部若しくは一部の免除又は徴収の猶予その他の経済的負担の軽減を図るために必要な措置を講ずるものとする。

（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生の授業料の徴収方法）

第10条 研究生及び科目等履修生に係る授業料の徴収方法は、別に定める。

2 特別研究学生又は特別聴講学生に係る授業料の徴収方法は、研究生又は科目等履修生と同様とする。

（免許状更新講習に係る受講料の額及び徴収方法）

第11条 教育職員免許法（昭和24年法律第147号）第9条の3の規定に基づき、本学が開設する免許状更新講習に係る受講料は、1時間につき1,000円とし、受講申請を受理するときに徴収するものとする。

（学位論文審査手数料の額及び徴収方法）

第12条 学位論文審査手数料は1件について58,055円とし、学位授与の申請を受理するときに徴収するものとする。

2 本学大学院の博士課程に所定の修業年限以上在学し、所定の単位を修得して退学した者が、退学後1年以内に博士論文を提出した場合は、学位論文審査手数料を免除する。

（授業料免除等の取扱い）

第13条 授業料の免除の許可を受けた者について、免除の理由が消滅したことによりその免除を取り消した場合は、免除した前期及び後期の授業料の額を当該前期及び後期の月数で除して得た額に取り消しの日の属する月からその期の終わりの月までの月数を乗じて得た額を、取り消しの日の属する月に徴収するものとする。ただし、不正の事実の発見により取り消した場合にあっては、取り消しの日の属する月に、免除した前期又は後期の授業料の全額を徴収するものとする。

2 授業料の徴収猶予の許可を受けた者から授業料を徴収する時期は、徴収猶予の期間が満了する日の属する月とする。ただし、徴収猶予の理由が消滅したときは、その消滅した日の属する月に徴収するものとする。

- 3 月割分納による授業料の徴収猶予の許可を受けた者からは、毎月その月の分を徴収するものとする。ただし、休業期間中の分は、休業期間の開始前に徴収するものとする。
- 4 授業料の徴収猶予（月割分納による徴収猶予を含む。）の許可を受けた者が退学をする場合は、その期において徴収するものとしている額を、退学の許可をするときに徴収するものとする。
- 5 前4項に規定するもののほか、授業料等の免除又は徴収猶予の実施について必要な事項は、別に定める。

（授業料等の不徴収）

第14条 本学大学院研究科の修士課程を修了し、引き続き本学大学院教育部の博士課程に進学する者については、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 大学設置基準（昭和31年文部省令第28号）第28条並びに大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第13条及び第15条の規定に基づく措置により、本学において授業科目を履修する者（以下「特別聴講学生」という。）又は研究指導を受ける者（以下「特別研究学生」という。）に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、授業料については、特別聴講学生又は特別研究学生が公立大学又は私立大学の学生であるときは、第2条で定める額を徴収し、国立大学法人法（平成15年法律第112号）に定める国立大学の学生であるときは徴収しないものとする。

- 3 大学間相互単位互換協定に基づく特別聴講学生に係る入学料及び検定料は、徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の学生が、相互にそれぞれ相手大学の授業科目を履修し、単位を修得することを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること。

- (3) 締結する協定又はその付属書において、有効期間が記載されていること。

- 4 大学間特別研究学生交流協定に基づく特別研究学生に係る、入学料及び検定料は徴収しないものとする。また、次の基準を満たす場合は授業料を徴収しないものとする。

- (1) 協定を締結する大学の大学院学生が、相互に当該他の大学院等において研究指導を受けることを認める協定であること。

- (2) 締結する協定又はその付属書において、授業料が相互に不徴収とされていること及び有効期間が記載されていること。

- 5 相互に検定料及び入学料を不徴収とする大学間協定を締結した国立大学法人が設置する大学の大学院から本学の大学院に転入学を志願する者にあつては、検定料及び入学料を徴収しないものとする。

- 6 産業教育振興法に基づく内地留学生及び科学教育研究室の研究生等別途実施要項等による者については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

（外国人留学生）

第15条 大学間交流協定、学部間交流協定及びこれらに準ずるものに基づき受け入れる外国人留学生については、締結する協定書又はその付属書において、授業料、入学料及び検定料が相互に不徴収とされている場合は、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 2 国費外国人留学生については、授業料、入学料及び検定料を徴収しないものとする。

- 3 前2項に掲げるもののほか、外国人留学生については、第2条から第10条まで、第12

条から第 14 条までの規定を適用する。

(証明書の発行手数料の額及び徴収方法)

第16条 本学を卒業した者、修了した者、退学した者、除籍された者又は研究生、科目等履修生、特別聴講学生若しくは特別研究学生であった者が、本学が指定した証明書交付願により交付申請する場合は、証明書 1 通当り 500 円の手数料を徴収するものとする。

2 前項の手数料は、交付申請を受理するときに徴収するものとする。

3 第 1 項の規定にかかわらず、次のいずれかに該当する場合は、手数料を徴収しないものとする。

(1) 本学の学生（研究生、科目等履修生、特別聴講学生及び特別研究学生を含む。）が申請する場合

(2) 附属学校に係る証明書を申請する場合

(3) 卒業、修了、退学又は除籍の日の属する月に申請する場合

(4) 外国に居住又は滞在している者が外国から直接申請する場合

(納付した授業料等)

第17条 納付した検定料、入学料、授業料、寄宿料、受講料及び証明書の発行手数料（以下「授業料等」という。）は還付しない。ただし、次の各号の一に該当する場合には、納付した者の申出により当該各号に定める額を還付する。

(1) 本学の入学者選抜において、出願書類等による第 1 段階目の選抜を行い、その合格者に限り学力検査その他による第 2 段階目の選抜を行う場合に、検定料を納付した者が、第 1 段階目の選抜で不合格となったとき及び個別学力検査出願無資格者であることが判明した場合 第 2 条第 4 項の選抜に係る検定料相当額

(2) 入学を許可されるときに授業料を納付した者が、入学年度の前年度の 3 月 31 日までに入学を辞退した場合 当該授業料相当額

(3) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、9 月末までに退学を許可された場合 後期分の授業料相当額

(4) 前期分授業料徴収の際、後期分授業料を併せて納付した者が、10 月末までに休学を許可され、又は命じられた場合 後期分の授業料から後期の在籍月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(5) 研究生が、在学期間の中で退学した場合 納付された授業料から在学月数分を差引いた残月数分の授業料相当額

(6) 免許状更新講習の開講を本学の事由により取りやめた場合 当該免許状更新講習の受講料

(7) その他学長が、授業料等を返還するのが相当であると認めた場合 当該授業料等相当額

附 則

1 この規則は、平成 17 年 10 月 1 日から施行する。

2 平成 10 年度以前入学生の授業料の額については、第 2 条の規定にかかわらず、次の表のとおりとする。

区分	入学年度	授業料（年額）
----	------	---------

大学の学部	平成7・8年度入学生	447,600円
	平成9・10年度入学生	469,200円
大学の夜間において授業を行う学部	平成9・10年度入学生	234,600円
大学院学生	平成9・10年度入学生	469,200円

- 3 第10条の規定にかかわらず、高岡キャンパスにおいて平成18年3月31日まで実施する公開講座の講習料及び公開授業の受講料については、1時間につき420円とする。

附 則

- 1 この規則は、平成18年4月1日から施行する。ただし、第14条第5項の規定は、平成18年度の転入学者から適用する。
- 2 この規則の施行前に認められた長期履修にかかる授業料の算出については、第3条の規定にかかわらず、なお従前の例による。

附 則

この規則は、平成18年9月21日から施行し、平成18年9月1日から適用する。

附 則

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成21年4月1日から施行する。

附 則

- 1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。
- 2 この規則の施行の日前に、新樹寮に入寮している者で、この規則の施行後に引き続き新樹寮に入寮する者の寄宿料の額は、改正後の第8条第1項の規定にかかわらず、平成24年3月31日までの間、月額700円とする。ただし、当該期間中に入寮生の申請により、改修後の居室に移動した場合は、改正後の第8条第1項の規定による。

附 則

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成29年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、令和2年7月1日から施行し、令和2年4月1日から適用する。

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

人文社会芸術総合研究科 持続可能社会連係課程群 文理融合型データサイエンス研究科連係課程 グローバルSDGs研究科連係課程	→ 人文社会芸術総合研究科 → 持続可能社会創成学環 → 社会データサイエンスプログラム → グローバルSDGsプログラム	医薬理工連係課程群 → 医薬理工学環 創薬・製剤工学研究科連係課程 → 創薬・製剤工学プログラム 応用和漢医薬学研究科連係課程 → 応用和漢医薬学プログラム 認知・情動脳科学研究科連係課程 → 認知・情動脳科学プログラム メディカルデザイン研究科連係課程 → メディカルデザインプログラム
--	--	--

企業等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

理工系学部・大学院，創薬科学科・創薬科学専攻を卒業・修了した者を2名以上採用した企業等，又は1名採用で富山県，石川県，愛知県に本社又は事業所等がある企業等
428社・機関

(2) 調査の方法

上記対象企業等に，質問及び構想に関する資料を送付し，インターネットを通じて回答を得た。

(3) 回答数・回答率

回答数：73社・機関 回答率：17.0%

(4) 調査期間

令和3年1月29日～2月17日

2. 調査結果

問1. 会社等の概要

(1) 貴社・貴機関の属する業種について，次の中から該当するものを選択してください(主たるものを1つ)。

業種	回答数
製造業	32
卸売業，小売業	7
情報通信業	5
公務（他に分類されるものを除く）	5
学術研究，専門・技術サービス業	5
電気・ガス・熱供給・水道業	4
建設業	4
教育，学習支援業	3
サービス業（他に分類されないもの）	3
金融業，保険業	2
複合サービス事業	1
医療，福祉	1

合計	72
----	----

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当するものを選択してください。

従業員数	回答数
5,000人以上	7
2,000～5,000人未満	5
1,000～2,000人未満	8
300～1,000人未満	25
100～300人未満	20
50～100人未満	1
50人未満	6
合計	72

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

所在地	回答数
富山県	35
石川県	17
愛知県	11
東京都	3
福井県	2
兵庫県	1
大阪府	1
新潟県	1
岐阜県	1
合計	72

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

修士採用実績	回答数
採用実績あり	63
採用実績なし	9

合計	72
----	----

(2) 貴社・貴機関が理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
対象分野における高度な専門知識と運用能力	37	29	6	0	72
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	34	35	3	0	72
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	35	29	8	0	72
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	54	16	2	0	72
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	46	23	3	0	72
高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	12	34	21	5	72
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	49	22	1	0	72
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	31	34	7	0	72
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	21	33	18	0	72
データ処理, 分析, 活用能力	36	29	7	0	72
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	29	31	11	1	72

その他の回答

- ・ 専門分野以外の基礎学力（高3レベル）
- ・ 自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力
- ・ 課題解決能力
- ・ 協調性、主体性、コミュニケーション能力
- ・ 基礎知識はある程度期待を持っておりますが、技術やスキルは仕事で培うことが可能なため、気遣いや積極性などの人間性を重視しております。
- ・ コミュニケーション能力
- ・ 専門性だけでなく一般教養も大切だと思います。

問3. 本学大学院の改革構想

- (1) 大学院理工学研究科における幅広い分野が融合した教育を受けた人材を、これまでの単一の分野の専門的教育を受けた人材と比べて、より必要と考えますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
極めて必要である	17
どちらかという必要である	40
どちらともいえない	12
あまり必要でない	3
まったく必要でない	0
分からない	0
合計	72

- (2) 大学院理工学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	25
どちらともいえない	13
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	72

- (3) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	17
どちらともいえない	14
あまり評価できない	0

まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

(4) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	19
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	8
合計	72

(5) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程において、医薬学系と理工学系との関係により医薬品研究開発プロセスを学び実践できる教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	15
どちらともいえない	12
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

(6) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	16
どちらともいえない	12
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0

分からない	10
合計	72

- (7) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程において、和漢医薬学に関する専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、生命現象や創薬工学を深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	15
どちらともいえない	13
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

- (8) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	32
少し評価できる	14
どちらともいえない	16
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	10
合計	72

- (9) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程において、神経科学での専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、認知科学や人工知能、さらに中枢神経作用薬開発などを深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	33
少し評価できる	18
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	1

分からない	8
合計	72

- (10) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	32
少し評価できる	13
どちらともいえない	18
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	9
合計	72

- (11) 大学院メディカルデザイン研究科連係課程において、医療・福祉機器・サービス開発に関する工学系の知識に加えて、医療・福祉に関する基礎知識を、医学・病院関係者の協力に基づく正規の教育課程として体系的に身に付けさせる教育について評価しますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	20
どちらともいえない	14
あまり評価できない	0
まったく評価できない	1
分からない	10
合計	72

- (12) 大学院メディカルデザイン研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	25
少し評価できる	21
どちらともいえない	16
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0

分からない	10
合計	72

- (13) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	32
どちらともいえない	7
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	6
合計	72

- (14) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	27
少し評価できる	28
どちらともいえない	13
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	4
合計	72

- (15) 大学院グローバル SDGs 研究科連係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	36
少し評価できる	24
どちらともいえない	7
あまり評価できない	3
まったく評価できない	0

分からない	2
合計	72

(16) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	37
少し評価できる	23
どちらともいえない	10
あまり評価できない	1
まったく評価できない	0
分からない	1
合計	72

(17) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	34
少し評価できる	22
どちらともいえない	12
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	4
合計	72

問4. 社会人に対するリカレント教育

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	43
特定の分野について、深く追求し研究する内容	46
幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容	41
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	28

合計	158
----	-----

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員等のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	3
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	2
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	13
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	41
必要性を感じない	7
わからない	1
その他	5
合計	72

その他の回答

- ・大学院の魅力は感じておりますが、会社側から大学院への入学を推奨する予定はございません。
- ・特定の大学と連携をとっているため。他大学は現状未定。
- ・本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部を本人が負担）
- ・会社や現場の理解が得られれば、入学させるのもやぶさかではない
- ・人事制度の整備が必要

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	96
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	16
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	13
その他	4
合計	96

その他の回答

- ・現場に直結する研究に投資が偏ることは大きなリスクと考えます
- ・特定の大学と連携をとっているため。他大学は現状未定。

- ・ 大学との距離 オンライン学習が望ましい
- ・ 社業との関連性

問5. 大学院修士課程修了者の採用

- (1) 大学院理工学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	32
どちらかといえば採用したい	29
採用したいとは思わない	3
分からない	8
合計	72

- (2) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	13
どちらかといえば採用したい	14
採用したいとは思わない	15
分からない	30
合計	72

- (3) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	11
どちらかといえば採用したい	12
採用したいとは思わない	19
分からない	30
合計	72

- (4) 大学院応用和漢医薬学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	7

どちらかといえば採用したい	12
採用したいとは思わない	20
分からない	33
合計	72

- (5) 大学院認知・情動脳科学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	5
どちらかといえば採用したい	23
採用したいとは思わない	17
分からない	27
合計	72

- (6) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	3
どちらかといえば採用したい	20
採用したいとは思わない	17
分からない	32
合計	72

- (7) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	17
どちらかといえば採用したい	29
採用したいとは思わない	6
分からない	20
合計	72

- (8) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
----------	-----

積極的に採用したい	15
どちらかといえば採用したい	25
採用したいとは思わない	5
分からない	27
合計	72

その他

(1) 差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

富山日産自動車株式会社

株式会社富山育英センター

株式会社広貫堂

株式会社サンコー

名古屋製酪株式会社

ディーピーティー株式会社

株式会社リョーシン

NOK 株式会社

株式会社ホクリクコム

富山県農業共済組合

株式会社ハイテックス

金森産業株式会社

Labore 株式会社

旭メタルズ株式会社

JAPAN TESTING LABORATORIES 株式会社

北陸コカ・コーラボトリング株式会社

株式会社バッファロー

中村留精密工業株式会社

ダイト株式会社

新東工業株式会社

シロウマサイエンス株式会社

株式会社アルトナー

株式会社アテック

三和工機株式会社

富山高等専門学校

東振グループ（株式会社 東振精機／株式会社 東振テクニカル）

株式会社メイテツコム

北陸電力株式会社

竹田設計工業株式会社
株式会社クスリのアオキ
株式会社日本オープンシステムズ
富山労働局
福井県教育委員会
三谷産業イー・シー株式会社
興和株式会社
国土交通省北陸地方整備局
澁谷工業株式会社
富山市

(2) 最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

- ・薬都富山と環境をアピールでき、多様多様な人材が集まり、賑わいの創出に繋がるよう期待します。
- ・今後とも宜しく願います。
- ・弊社はモノづくり業界を中心とした『設計開発職』での募集をしておりますので、工学系（情報、機械、電気電子）以外の分野につきましては『採用したいとは思わない』を選択させていただいております。ご了承いただけますと幸いです。
- ・採用をわからないとしましたが、本組合に一般採用に大学院の基準がなく魅力を感じないのではと思い、わからないとさせていただきました。
- ・積極的貢献のできる修了者輩出に期待いたします。
- ・この度はアンケート回答の機会をいただきありがとうございます。社会環境の変化に伴う教育現場の構造改革について勉強させていただきました。今後ともよろしく願います。
- ・社会的背景を意識しつつ、富山大学の強みを残そうとする行動は非常に素晴らしいと感じました。
- ・すばらしい取り組みだと思います。これからの時代に活躍される人材を多く輩出されることを期待しています。
- ・壮大な構想は素晴らしいと思うが、絵に描いた餅に終わらせず、改組による劇的な変化・改革を期待したい。
- ・今回の改組のように新しいことへの取組は、時代の変化に応じて進めていくべきだと思います。
- ・引き続き質の高い教育をしていただき、優秀な学生を社会に送り出していただきましたら幸いです。

富山大学大学院修士課程（主に理系大学院）に関するアンケート

このアンケートは、改組予定の富山大学大学院の修了者に関する社会的ニーズを把握し、今後の改組準備に役立てるために実施するものです。調査結果は、本学の大学院教育の改革に活用していくものになりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴社（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

問1. 会社等の概要

貴社の概要について教えてください。

(1) 貴社・貴機関の属する業種について、該当する番号を記載してください。（主たるものを1つ）。

回答番号：()

1. 農業，林業
2. 漁業
3. 鉱業，採石業，砂利採取業
4. 建設業
5. 製造業
6. 電気・ガス・熱供給・水道業
7. 情報通信業
8. 運輸業，郵便業
9. 卸売業，小売業
10. 金融業，保険業
11. 不動産業，物品賃貸業
12. 学術研究，専門・技術サービス業
13. 宿泊業，飲食サービス業
14. 生活関連サービス業，娯楽業
15. 教育，学習支援業
16. 医療，福祉
17. 複合サービス事業
18. サービス業（他に分類されないもの）
19. 公務（他に分類されるものを除く）
20. 上記以外 ()

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

(2) 貴社・貴機関の従業員数について、該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 50 人未満
2. 50～100 人未満
3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満
5. 1,000～2,000 人未満
6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

(3) 貴社・貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴社・貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

回答欄：()

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴社・貴機関において理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 採用実績あり
2. 採用実績なし

(2) 貴社・貴機関が理系又は文理融合系の大学院修士課程を修了した社員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する番号を記載してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

【知識】

- ・対象分野における高度な専門知識と運用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【思考】

- ・論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【コミュニケーション】

- ・自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・リーダーとしてチームをマネジメントする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【創造力】

- ・社会的・経済的・文化的価値を創出する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【高度スキル】

- ・データ処理, 分析, 活用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【倫理】

- ・研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【その他, 貴社がとくに重視したい能力がありましたら記載願います】

{ }

問3. 本学大学院の改革構想

大変お手数ですが、本設問は、別途添付している「富山大学大学院の改組構想」をご覧になった上で、ご回答ください。

(1) 大学院理工学研究科における幅広い分野が融合した教育を受けた人材を、これまでの単一の分野の専門的教育を受けた人材と比べて、より必要と考えますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 極めて必要である
2. どちらかという必要である
3. どちらともいえない
4. あまり必要でない
5. まったく必要でない
6. 分からない

(2) 大学院理工学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(3) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(4) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(5) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程において、医薬学系と理工学系との関係により医薬品研究開発プロセスを学び実践できる教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(6) 大学院創薬・製剤工学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(7) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程において、和漢医薬学に関する専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、生命現象や創薬工学を深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(8) 大学院応用和漢医薬学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(9) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程において、神経科学での専門的知識だけでなく、理工学系と医薬学系との関係により、認知科学や人工知能、さらに中枢神経作用薬開発などを深く多面的に学ぶ教育を評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(10) 大学院認知・情動脳科学研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(11) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程において、医療・福祉機器・サービス開発に関する工学系の知識に加えて、医療・福祉に関する基礎知識を、医学・病院関係者の協力に基づく正規の教育課程として体系的に身に付けさせる教育について評価しますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(12) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(13) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程において、地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し、発見した地域課題を修士論文のテーマとして問題解決を行うことについて、評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(14) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(15) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程において、国際的な広い観点から SDGs を学び、研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身につけた人材の育成を目的とする教育について評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(16) 大学院グローバル SDGs 研究科連係課程の設置構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(17) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

問4 社会人に対するリカレント教育

用語説明：リカレント教育について

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えており、人生 100 年時代を見据え、転職や起業を行う「人生の再設計」や技術革新に対応したスキル修得のための「学び直し」の重要性が、内閣府の経済財政報告など複数の政府・行政機関の報告等で指摘されています。

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、理念が生まれた欧州における本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返して「学び直す」ことです。しかし、日本においては、長期雇用の慣行があることから、働きながら学び直すこともリカレント教育に含みます。

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 5)

1. 特定の分野について、最新の知識を学修する内容
2. 特定の分野について、深く追求し研究する内容
3. 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容
4. 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容
5. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(2) リカレント教育の一環として、貴社・貴機関の社員等を大学院に入学させたいですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
2. ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）
3. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
4. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）
5. 必要性を感じない
6. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(3) 貴社・貴機関にとって、社員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 4)

1. 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難
2. 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない
3. 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない
4. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院理工学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(2) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(3) 大学院創薬・製剤工学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(4) 大学院応用和漢医薬学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(5) 大学院認知・情動脳科学研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(6) 大学院メディカルデザイン研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(7) 大学院文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

(8) 大学院グローバル SDGs 研究科関係課程が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

()

最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

()

以上

富山大学大学院の 改革・再編の構想 (主に理系大学院)

令和3年1月

この説明内容は、令和3年1月時点での構想段階のものであり、変更となる可能性があります。



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により、社会構造が変化し、超スマート社会（Society 5.0）が到来し、産業における価値の源泉が、“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題、気候変動、感染症といった課題が世界全体に連鎖する中、「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下、高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには、これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化学研究科

大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

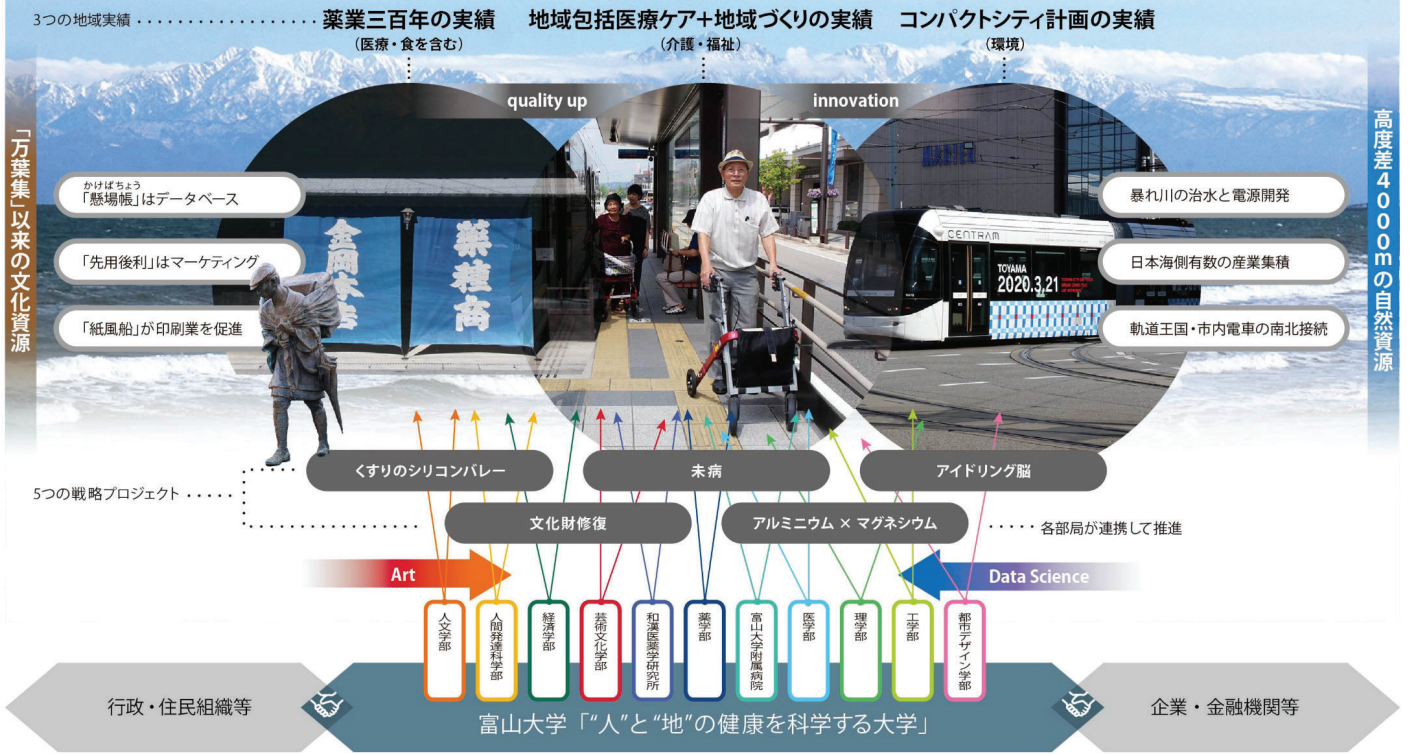
大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

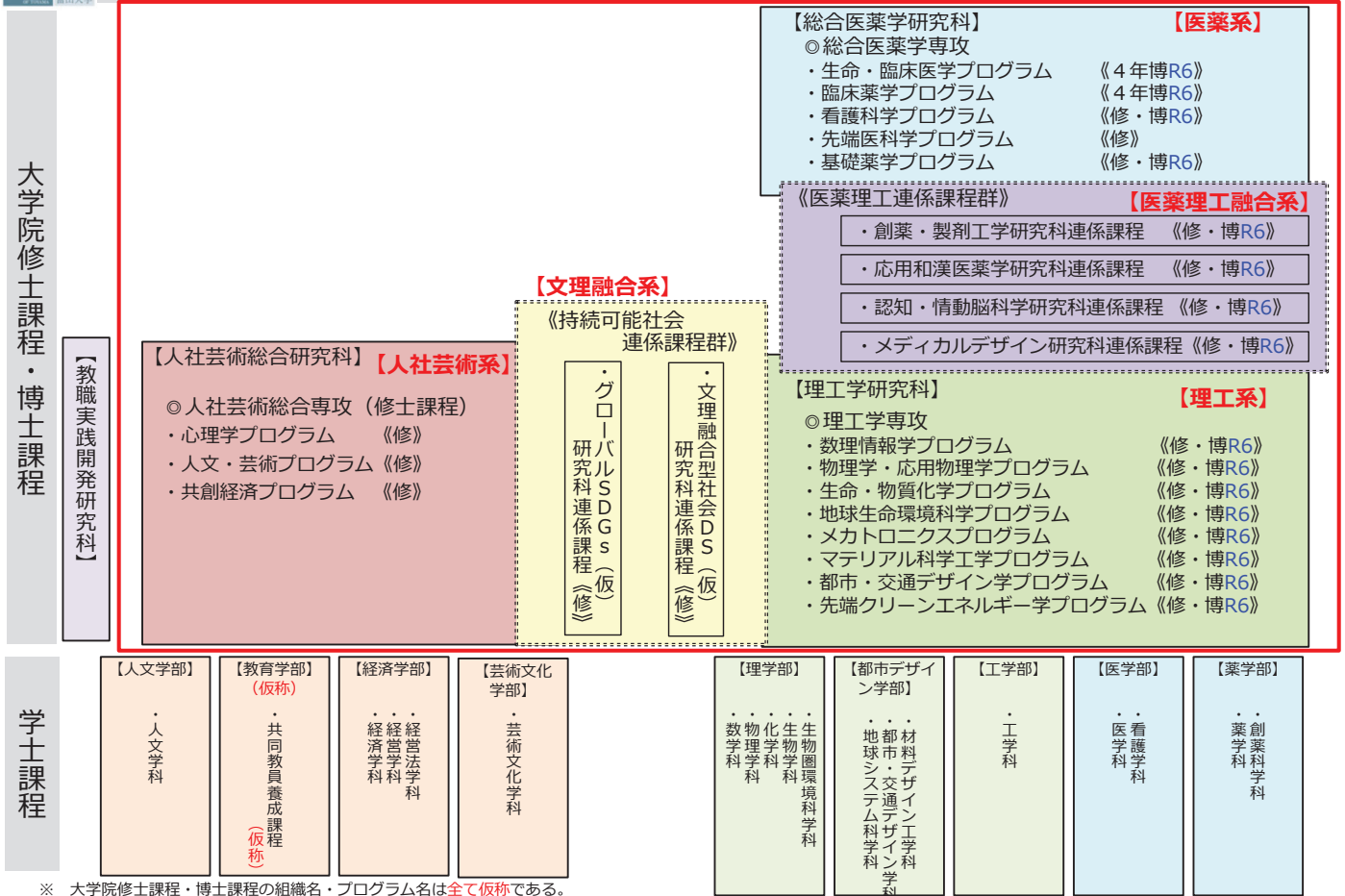
〔大目標〕 **“人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”**

〔具体的戦略〕 **“地域医療包括ケアと環境都市との相乗”**



高度差4000mの自然資源

令和4年度の新たな大学院組織のイメージ



※ 大学院修士課程・博士課程の組織名・プログラム名は全て仮称である。

○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供

【授業科目】

- 研究倫理 **必修**
- 科学技術と持続可能社会 **必修**
- 地域共生社会特論
- 研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
- アート・デザイン思考
- 英語論文作成Ⅰ
- 英語論文作成Ⅱ
- データサイエンス特論
- キャリア教育
- 知的財産法

※名称は、全て仮称

○専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築

生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入する。客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

・ **理学・工学の学問領域の相補的・相乗的な連携を強化した多様なプログラム**と、さらに、2つの学問領域の枠を超えた、新しい学問領域に対応するプログラムを組織し、教員が複数のプログラムに跨って学生を指導する。

・ **理学系の学生が工学系の教員から、自然科学分野の成果を社会実装することの意義と必要性を習得することができ、工学系の学生が理学系の教員から、技術の社会実装における原理原則の重要性と必要性を修得する。**

・ 理学及び工学の分野の特徴を活かした理工学研究科共通科目により、それぞれの**学問分野を理学的視点と工学的視点の両面から理解する理工一体化した教育が可能となり、両学問の特徴を十分理解した上で専門分野の能力を社会で発揮できる人材を育成**する。

・ 本改組により

- ①自然科学の深い理解を基礎力として、先端的な自然科学の成果を社会実装できる高度理学系人材を育成する。
- ②技術の社会実装において、自然科学の原理・原則を十分理解し、社会的な説明責任が果たせる高度工学系技術者を育成する。
- ③新しい融合学問領域におけるイノベーションに貢献できる高度理工系人材を育成する。
- ④上記①～③により、「人」と「地」の健康を科学する大学」という富山大学のビジョンに適合し、地域の人々の健康や地域の産業振興を通じた地域社会の健全な発展（「人」と「地」の健康）を理工学分野から支える人材を育成する。

世界を見据え、地域の“人”と“地”の健康に貢献できる人材を育成する理工学研究科



理学と工学の各分野の連携により、従来あった理学と工学の各専攻を、新たに以下の8プログラムに再編する。各プログラムは、それぞれ理学、工学、理工学、数理情報学の学位を授与するが、理学・工学の枠にとらわれずに連携を図る。また、研究科共通科目によって、理工学共通の基盤を修得できるようにする。

数理情報学プログラム（学位：数理情報学）

数学の基礎的素養と情報学の素養を身に付け、幅広い数理情報学の知識、思考力、問題解決能力を持ち、これからの高度情報化社会を担うことができる人材を養成するプログラムで、数理情報学を基盤としたコンピューターサイエンスや量子情報及び情報処理分野の技術革新や教育普及活動を通じて、医療から製造業などの幅広い地域関連産業の振興や教育水準の向上を達成し、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、IT産業における高度情報系技術者、各種産業におけるDX（デジタルトランスフォーメーション）の担い手、数理情報学系研究者などの高度理工系技術者などSociety 5.0の根幹を支える人材や、中学校・高等学校の数学教員を社会に送り出す。

物理学・応用物理学プログラム（学位：理工学）

物質の本質を探究する物理学を理解し、実社会に実装された物質に対する洞察力、思考能力を身に付け、問題提起・問題解決に向けて行動できる高度専門職業人を養成するプログラムで、物理学的思考とその応用を基盤として課題の解決に取り組める人材を育成し、関連産業の技術革新及び教育普及活動により地域の産業振興や教育水準の向上を達成し、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、製造業、運輸インフラ業の研究開発技術者などの高度理工系技術者や中学・高等学校の理科教員などの人材を社会に送り出す。

生命・物質化学プログラム（学位：理工学）

生命科学と、化学の基礎から応用を包括する物質化学における幅広い知識、思考力、問題解決能力を有する高度理工系人材を養成するプログラムで、生命科学と物質化学を基盤とした創薬、製薬、バイオセンシング技術、健康の維持・増進、化学関連産業の活性化、地域環境問題の解決等に関する技術革新を通して「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、化学産業、製薬産業、化学分析および生命関連産業に貢献できる高度理工系技術者や研究者を社会に送り出す。

地球生命環境科学プログラム（学位：理学）

地球科学、生物科学、環境科学について、高度で幅広い知識と思考力を有する高度理工系人材を養成するプログラムで、地球科学、生物科学、環境科学を基盤として、医薬、農業、環境関連産業などに関する技術革新や地域環境問題の解決を通して、地域における人々の健康や産業振興および環境の保全・改善を支えることにより「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、地図、地質、気象、医薬品、食品、農業、環境、分析の各分野の高度理工系技術者や中学校・高等学校の理科教員などの人材を社会に送り出す。

6

メカトロニクスプログラム（学位：工学）

機械工学や電気・電子工学とその関連分野である有機デバイスや情報工学分野の幅広い知識と問題解決能力を持つ人材を養成するプログラムで、電気・電子工学と機械工学を基盤とした技術革新と、それらの関連分野を融合することにより社会的に新しい価値を創出することによって「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、機械、電気・電子産業や関連する情報工学やデバイス関連産業に広く貢献できる高度工学系技術者や研究者を社会に輩出する。

マテリアル科学工学プログラム（学位：工学）

材料科学とその関連分野において、安全・安心社会を構築する材料研究者・エンジニア、マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーを育成することにより、「人」と「地」の健康に貢献する。本プログラムの教育により、金属系素材産業や輸送機械製造メーカーにおいて新規材料の創製・技術開発が可能な高度理工系技術者や、国際的視点を持ち安全・安心で持続可能社会を創成できる人材を社会に送り出す。

都市・交通デザイン学プログラム（学位：工学）

都市・交通デザイン学のスペシャリストを養成するプログラムであり、これらの人材が人口減少・高齢化の時代に求められる「持続可能な地域づくり」を担い、都市・地域創生をリードすることで、「人」と「地」の健康の実現に貢献する。本プログラムの教育により、総合建設業や橋梁メーカーなどで社会インフラを支える高度技術者や、都市・交通計画、防災・環境計画を担うスペシャリストを社会に送り出す。

先端クリーンエネルギープログラム（学位：理工学）

先端的なクリーンエネルギーに関する即戦力人材を育成するプログラムであり、環境に配慮したクリーンエネルギーの開発・活用を通じて「人」と「地」の健康のうち特に「地」の健康の実現に貢献する。本プログラムの教育により、電力等のインフラ、プラント等の製造業の高度理工系技術者を社会に送り出す。



理工学研究科 数理情報学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、数学と情報学の融合による**コンピューターサイエンスや情報処理技術関連分野**で貢献できる人材を育成する

情報科学技術者

IT産業系技術者、システムエンジニア、
アクチュアリー、データサイエンティスト、
数学教材開発者、イノベーター

理工系研究者

公的研究機関研究者、理工系
民間企業研究者

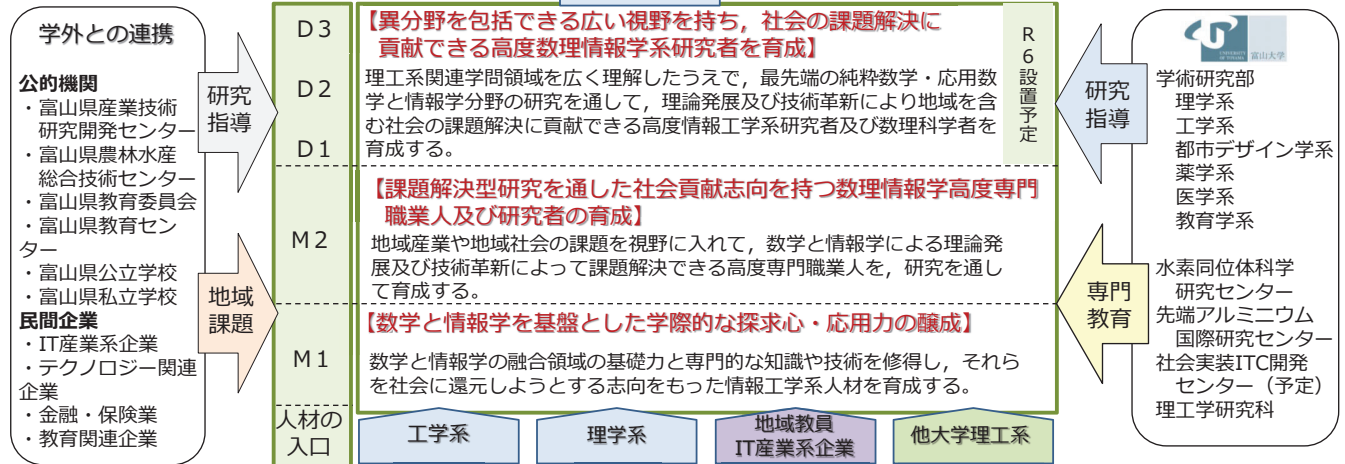
公務員・アドバイザー・教員

官公庁公務員、情報系ア
ドバイザ、中学校・高等学校教員

人材の出口

基本情報

授与学位：修士（数理情報学）
博士（数理情報学）
想定進学元：理工系、IT産業、教育・学習支援
業
想定就職先：IT企業、国・地方自治体（理工
系）、教員、教育業
キーワード：地域産業活性化、イノベーション



地域の諸課題に数理情報学の立場から貢献出来る高度専門職業人を養成

○プログラムの概要

- ・ Society 5.0を見据えた技術の社会実装へ、地域産業の活性化に**情報処理技術**により貢献できる情報学系技術者・数理情報学系研究者を輩出
- ・ 人生百年時代を見据え、イノベーションを通じて地域の人々の幸福度を向上させる数理情報学系人材を輩出

○プログラムの特色ある教育

- ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
- ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
- ・ 教育現場を含む実社会との積極的交流による課題把握と実践力の育成
- ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連 数学と情報学の融合によるイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム



理工学研究科 物理学・応用物理学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、**物理学・応用物理学**的思考により物質の本質的な理解とその**応用**に実践的に取り組む人材を育成する

製造業技術研究者

製造業・インフラ業研究開発技術者(半導
体・プロセス、真空技術、企画受注製造分野、
これらの技術営業分野等)

理工系研究者

公的研究機関研究者、
理工系民間企業研究者

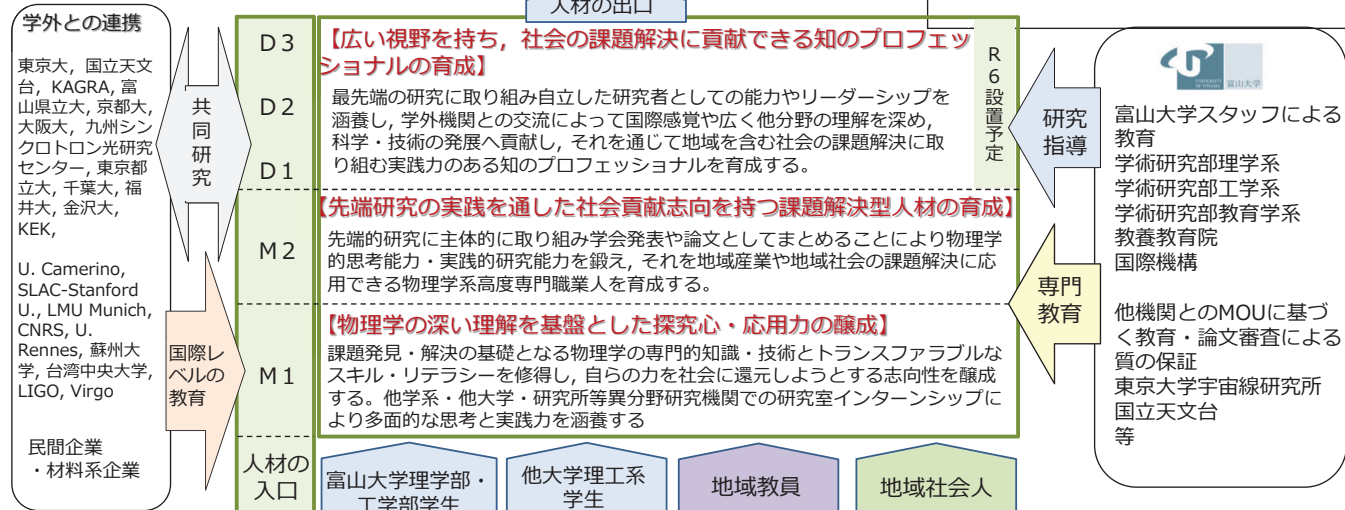
教員・公務員

中学・高校教育職員、教育産業、高
等教育機関の研究・教育職、国・地
方自治体公務員

人材の出口

基本情報

授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
想定進学元：理工学系学部、教員
想定就職先：製造業、運輸業、
教育職員、国・地方自治体
キーワード：思考力と実践力の教育、
研究室インターンシップ、
教育の質の保証



物理学的思考能力を身に付け多様な問題提起・問題解決に向けて行動できる高度専門職業人を養成

○プログラムの概要

- ・ 人生100年時代を見据えマルチステージで普遍的に通用する物理学的思考能力を身につけ、問題解決や教育研究に貢献できるロジカルで実践的行動力のある高度専門職業人として、半導体・プロセス、真空技術、企画受注製造など幅広い物理学・応用物理学の活用が必要となる製造業分野、これらの技術営業分野、理科教育分野等で活躍する人材を育成

○プログラムの特色ある教育

- ・ 研究室インターンシップによる多面的な思考と実践力を涵養する教育
- ・ 国内外の大学、研究所、企業等との活発な連携を活かした広い視野と筋道立った物理学的思考能力・国際感覚・実践力を修得させる教育
- ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連

- ・ 人と地の健康を含めた社会の諸問題に挑む思考力と実践力のある物理学・応用物理学プロフェッショナルの育成



理工学研究科 生命・物質化学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、生命工学と物質化学を基盤として、**化学と工業化学、さらには物理学や生物学との境界領域**で活躍する人材を育成する

高度理工系技術者
化学系製造業・製薬企業技術者、生命工学系企業技術者

理工系研究者
公的研究機関研究者、理工系民間企業研究者

公務員、高等教育従事者
官公庁公務員、中学・高校・大学教員

基本情報

授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
 想定進学元：理工系、化学系・生命工学系企業
 想定就職先：化学系企業、製薬企業、国・地方自治体（理工系）
 キーワード：分子技術、製薬、ナノテクノロジー、ケモインフォマティクス

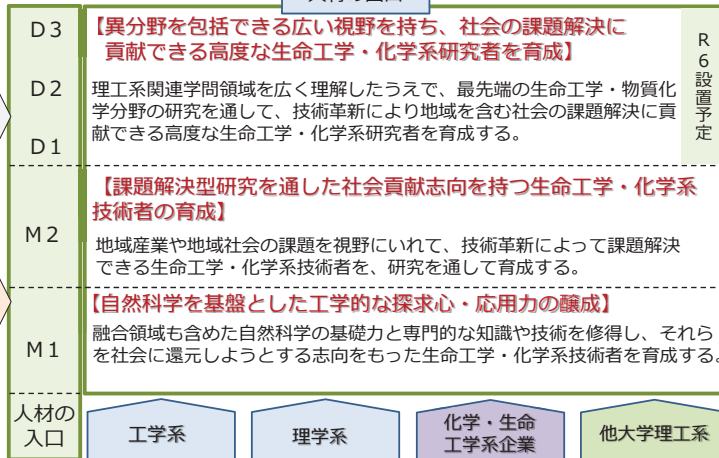
学外との連携

公的機関
・ 富山県産業技術研究開発センター
・ 富山県農林水産総合技術センター（食品研究所、水産研究所）

民間企業
・ 地域製造業系企業
・ 地域製薬企業

研究指導

地域課題



学術研究部
理学系
工学系
都市デザイン学系
薬学系
医学系

水素同位体科学
研究センター
先端アルミニウム
国際研究センター
理工学研究科
医薬理工連携課程群

生命工学と化学を基盤とした教育研究により産業の発展と人々の幸福度を向上させるプログラム

- プログラムの概要
 - ・ Society5.0を見据え、ケモインフォマティクスを活用して地域産業の活性化に貢献できる生命工学・化学系技術者・研究者を輩出
 - ・ 人生百年時代を見据え、イノベーションを通して地域の人々の幸福度を向上させる生命工学・応用化学系人材を輩出
 - ・ 自然科学の基礎と化学に関する専門的な知識をベースに地域の問題解決や高等教育に貢献できる高度理工系人材を輩出
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
 - ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
 - ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 生命工学と物質科学を基盤としたイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム



理工学研究科 地球生命環境科学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、**地域から地球レベルの自然環境問題の解決**に貢献できる人材を育成する

高度理工系技術者
製造技術者（環境、分析、食品、医薬、建築、地質コンサルタント、エネルギー等）

理工系研究者
公的研究機関研究者、理工系民間企業研究者

公務員、高等教育従事者
官公庁公務員、中学・高校教育職員、アカデミアの教育職

基本情報

授与学位：修士（理学）
博士（理学）
 想定進学元：理工系、行政職員、企業、学芸員
 想定就職先：国・地方自治体、教育、医薬品、健康、食品、環境、分析、製薬、IT産業、コンサルト、IT、旅行
 キーワード：環境科学、自然、自然災害、バイオ、グリーン/エコ/バリュー

学外との連携

教育機関
・ 国内外の大学
・ 高等学校
・ 高等専門学校

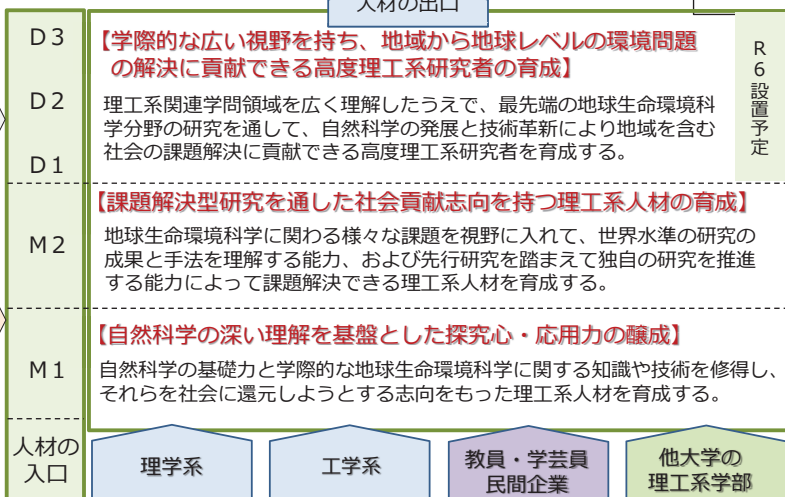
公的機関
・ 省庁
・ 国立研究機関
・ 県立研究機関

民間企業
・ 製薬業
・ 医療機関
・ 食品産業
・ コンサルタント
・ 観光業
・ 保険業

市民団体
・ 環境系NPO、NGO

共同研究

地域課題



学術研究部
理学系
工学系
都市デザイン学系
薬学系
医学系

極東地域研究センター
和漢医薬学総合研究所
グローバルSDGs研究科
連携課程

地球生命環境科学に関する最先端で学際的な知識と思考力を持つ、高度理工系人材を育成

- プログラムの概要
 - ・ 自然科学に関する基礎力や地球生命環境科学に関する高度な学際的な知識と思考力を身に付け、社会に貢献できる高度理工系人材の育成
 - ・ Society 5.0を見据えて、研究で身に着けた高度な分析技術・知識を、産業や社会生活に結び付けてイノベーションを創出する人材の育成
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 立山から富山湾に至る高低差4,000mの自然環境を生かしたフィールド教育および研究
 - ・ 生物学から環境科学、地球システム科学まで含めた学際的な地球生命環境科学の研究・教育を展開
 - ・ 学外（行政、民間、学校や公共団体等）と連携しながら、学際的な地球生命環境科学の視点から様々な社会問題を考える講義の実施
 - ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 地域から地球レベルの自然環境問題を認識・解決する人材を育成

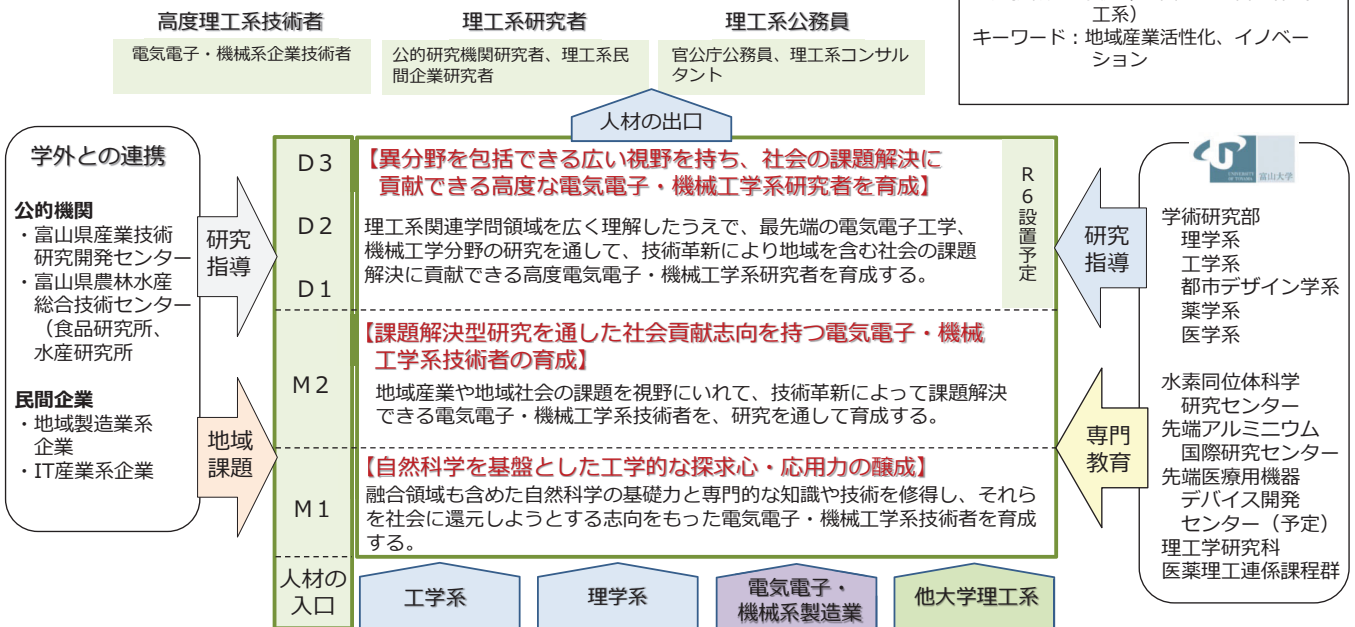


理工学研究科 メカトロニクスプログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、電気電子工学と機械工学を基盤として、機械要素設計、エネルギー機器、メカトロニクス・エレクトロニクス・ロボティクス等の分野で活躍できる人材を育成する

基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：理工系、製造業
想定就職先：製造業、国・地方自治体（理工系）
キーワード：地域産業活性化、イノベーション



イノベーションを通して地域産業の活性化と地域の人々の幸福度を向上させる人材を輩出するプログラム

- プログラムの概要
 - ・ Society 5.0を見据えた技術の社会実装により、地域産業の活性化に貢献できる電気電子・機械工学系技術者・研究者を輩出
 - ・ 人生百年時代を見据え、イノベーションを通して地域の人々の幸福度を向上させる電気電子・機械工学系人材を輩出
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 全学の次世代スーパーエンジニア養成コースとの連携による社会人入学および学位取得制度の構築
 - ・ 医薬理工連携融合教育プログラムであるファーマメディカルエンジニア養成プログラムの実施と修了証明証の授与
 - ・ 地域産業界や行政からの講師による地域産業を理解し地域の将来を考える講義を実施
 - ・ 分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導
- 人と地の健康との関連 電気電子工学と機械工学を基盤としたイノベーションを通して人と地の健康に貢献するプログラム

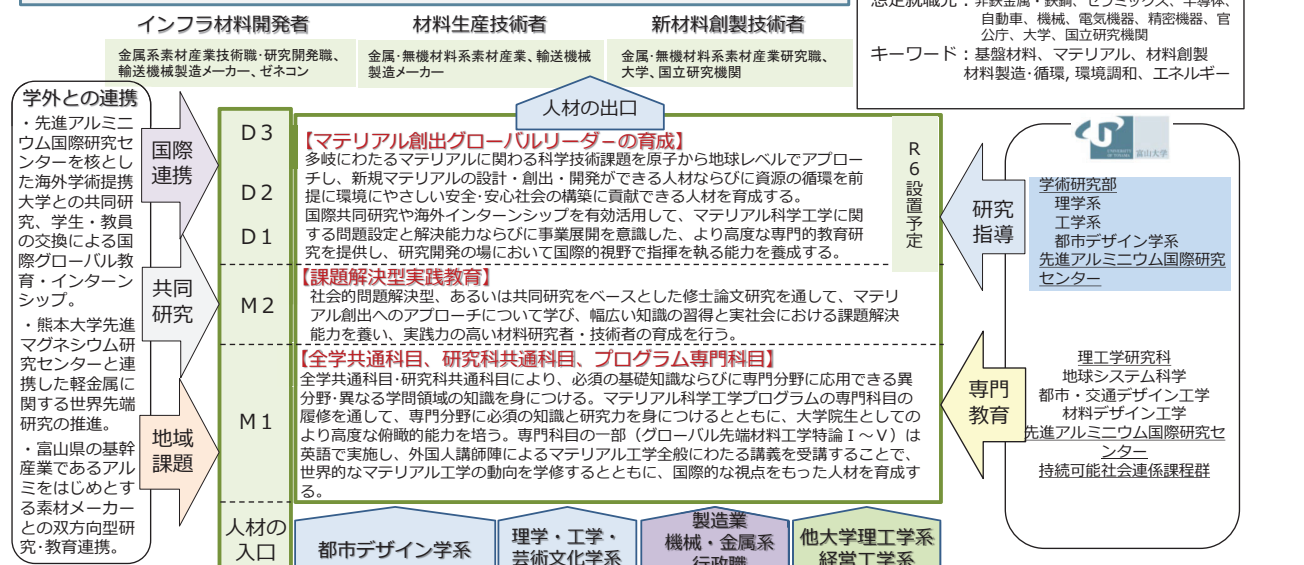


理工学研究科 マテリアル科学工学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、安全・安心社会を構築する材料研究・エンジニア、マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーを育成する

基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：材料系、素材産業、製造業
想定就職先：非鉄金属、鉄鋼、セラミックス、半導体、自動車、機械、電気機器、精密機器、官公庁、大学、国立研究機関
キーワード：基盤材料、マテリアル、材料創製、材料製造・循環、環境調和、エネルギー



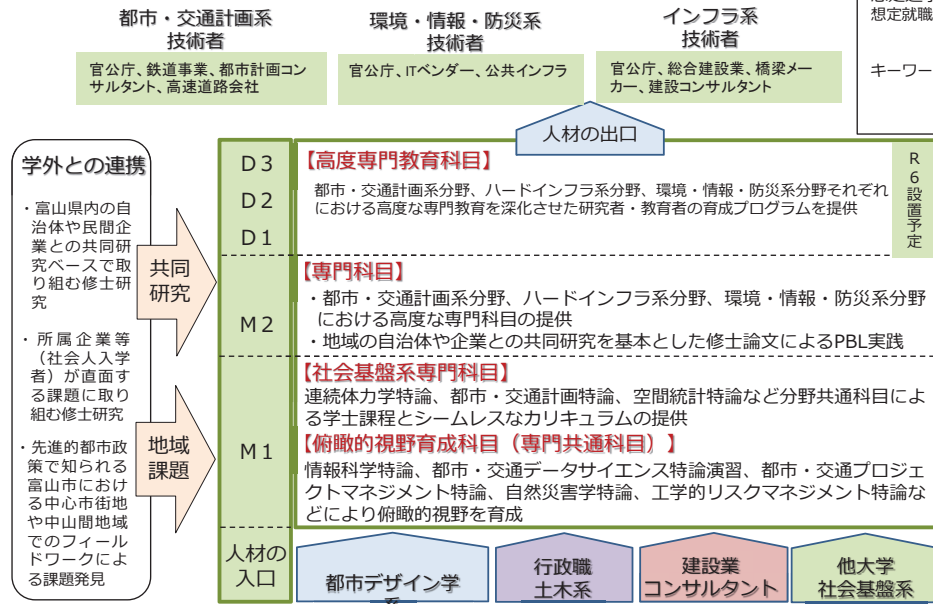
マテリアル革新力を支えるグローバルリーダーの育成

- プログラムの概要
 - ・ 金属・合金、セラミックス、半導体など、多岐にわたるマテリアルに関わる科学技術について原子から地球レベルの視点でアプローチを行い、「マテリアル」の革新により、AI、バイオ等の先端技術の革新やSociety 5.0及びSDGsの達成、環境・エネルギー等の国内外の重要課題の達成を支え、安全・安心な社会形成を目指して地域の経済・社会の発展に貢献し、世界を舞台にして活躍できる人材を育成する。
- プログラムの特色ある教育
 - ・ 外国人講師陣により専門科目の一部を英語で実施し、年次ごとに深化するグローバル化教育によって幅広い専門知識と国際的な視点を備えた人材を育成
 - ・ 先進アルミニウム国際研究センター及び企業との共同研究を通じた実際の研究ベースの課題解決型の実践的教育の提供。
 - ・ 富山県の基幹産業であるアルミをはじめとする素材メーカーとの双方向型問題解決授業の実施。
- 人と地の健康との関連
 - ・ マテリアル革新力により産業と技術革新の基盤づくりに貢献するとともに、安全・安心に住み続けられる都市インフラを実現する原動力となる。



理工学研究科 都市・交通デザイン学プログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対して、都市・地域創生をリードするスペシャリストを育成する



基本情報

授与学位：修士（工学）
博士（工学）
想定進学元：都市デザイン学系、行政職、建設業
想定就職先：官公庁、総合建設業、鉄道事業、高速道路会社、橋梁メーカー、建設・都市計画コンサルタント等
キーワード：都市・地域創生、情報・防災系基盤、実践的デザイン思考、リカレント教育対応

都市・地域創生を導く都市・交通デザイン学のスペシャリストを養成

○プログラムの概要

・中心市街地から中山間地域の広域における都市と交通に関する課題発見やその課題解決を真に導くことのできる高度な知識、判断力、創造力、感性などを有し、俯瞰的視点と専門的知見を以って都市・地域創生をリードする人材を育成することで、地域との連携を強化する

○プログラムの特色ある教育

・都市・交通計画系分野、インフラ系分野等の従来の社会基盤系専門教育に加え、情報学・データサイエンス・防災行動学を重視した専門教育プログラム
・理工学研究科のプログラム（地球生命環境科学P、マテリアル科学工学P）、持続可能社会連携課程群との連携による俯瞰的視点育成プログラムの提供
・先進的都市政策で知られる富山市における中心市街地や中山間地域でのフィールドワーク、共同研究ベースの修士研究による実践的デザイン思考教育・PBLの強化

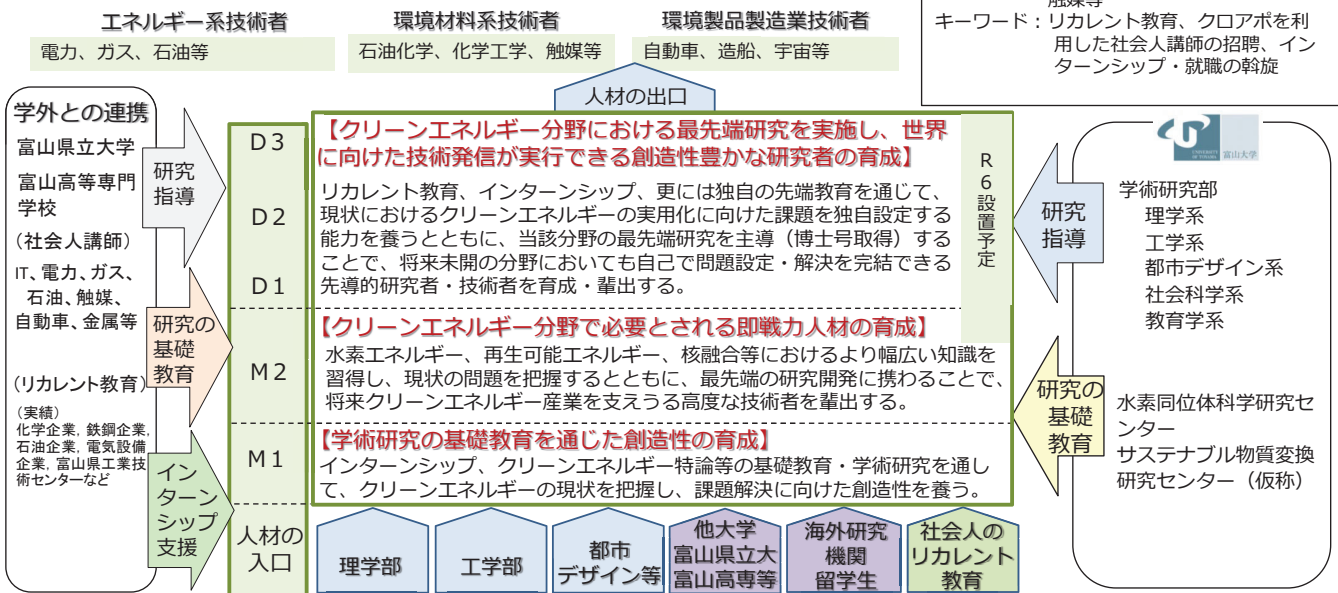
○人と地の健康との関連

俯瞰的視野と高度な専門知識を以って、社会インフラである（地）とそこで生活する（人）のハード・ソフトの両面から、安全・安心・快適な都市・地域の創生に貢献



理工学研究科 先端クリーンエネルギープログラムの構想概要

「人」と「地」の健康」に対し、クリーンエネルギー分野における最先端研究の推進と当該分野に秀でた即戦力となる人材を育成する



基本情報

授与学位：修士（理工学）
博士（理工学）
想定進学元：理学系、工学系等
想定就職先：電力、ガス、石油、自動車、触媒等
キーワード：リカレント教育、クオアポを利用した社会人講師の招聘、インターンシップ・就職の斡旋

環境・エネルギーに資する即戦力の人材育成

○プログラムの概要

・富山大学（とその近隣）の環境配慮型エネルギーの研究者を中心に、学術研究やインターンシップ等を重視した基礎から応用までを網羅した総合的な教育プログラムを行うことで、創造する力を有し、且つ環境・エネルギー分野を担う即戦力の人材を育成する。

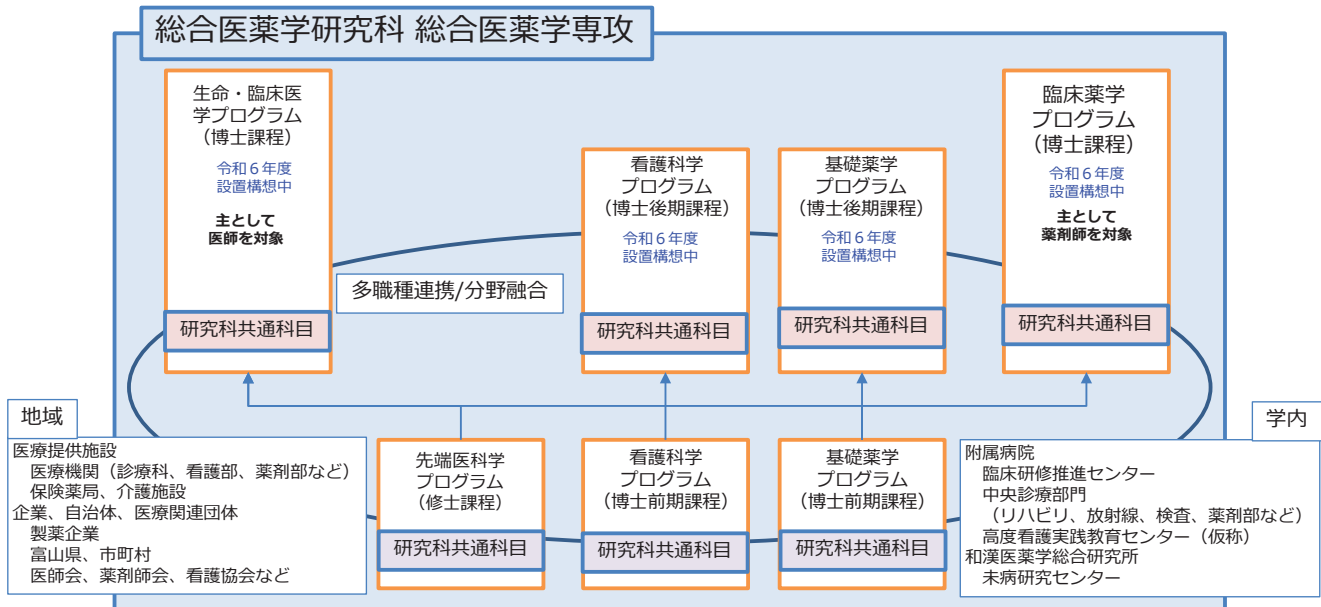
○プログラムの特色ある教育

・地元企業を含む国内外企業との委託、共同研究の推進
・リカレント教育による知識、技術の習得
・クオアポを利用した社会人講師の招聘
・分野の異なる主指導・副指導教員制による幅広い視野からの研究指導

○人と地の健康との関連

・クリーンエネルギー分野における最先端研究の即戦力となる人材を育成

- ・医療における幅広い研究ならびに高度な医療を提供できる人材を養成することを目的として、医学・薬学・看護学共通の科目を設ける。医学、薬学、看護学でそれぞれ実施している授業科目を見直し、大学院共通科目、研究科共通科目などを開設し、**学際的な総合力を育成**する。
- ・大学院改組により、融合型・分野横断的教育を目的として異なる学系分野を背景とする教員が一つの組織で大学院教育を実施することから、教員間の研究情報共有が進み新たな共同研究が生まれる可能性が高まり、その共同研究に大学院生が参加することで、学生及び教員の分野を超えた行き来が活発化する。
- ・医療系という大きな枠の中で融合的・分野横断的な環境の中で学修/研究することによって、**目まぐるしく変化する医療に対する社会的ニーズや研究分野の進歩に対応**できるようになる。
- ・医療従事者（看護師、検査技師、理学・作業療法士、放射線技師、臨床工学士など）は、学部卒業後に一旦医療現場に就職してから大学院に進学するケースが多い。それらのうち、看護師に対しては、看護学学位プログラムにおいて専門看護師CNS コースや診療看護師NP コースを設置し、より高度な看護の実践と教育ができる能力を身につけることができる。また、看護師以外のメディカルスタッフに対しては、医科学学位プログラムを通してそれぞれの分野での臨床問題の解決に向けた研究を行うことができる。
- ・教育や研究の成果を社会に還元し、イノベーションにつなげることのできる人材を育成するために、附属病院や臨床研究支援センターなどと共同して、**社会的ニーズの把握や研究開発と社会実装のプロセスを体験的に学修し、多職種連携や創薬/知財/臨床研究のプロセスなどの包括的な医療的素養**を身に付けさせる。
- ・本改組により、
 - ①AI やデータサイエンス等に基づく病態予測や薬の処方ができる高度な医師、看護師、薬剤師、医学・薬学研究者の養成
 - ②医薬品の物性、体内動態、作用機序等が理解できる「薬学的素養」を身に付けた修士/博士（医学、看護学、医科学）の養成
 - ③病気を深く理解し患者に寄り添うことのできる「医学的素養」を身に付けた修士/博士（薬学、薬科学）の養成
 が可能となり、「進化・深化したプロフェッショナリズム」を身に付けた医療人・研究者を輩出する。



他職種連携/分野融合を促進する共通科目

研究科共通科目（博士課程）：先端医薬学特論、創薬研究特論、腫瘍医薬学特論、和漢医薬学特論、エンドオブライフ学、統合医療ケア学
 研究科共通科目（修士課程）：臨床統計学基礎、臨床薬理学、病態生理学、心身健康科学、臨床研究計画法、公衆衛生学特論、研究倫理・研究方法論
 ＊上記科目を含む講義形式の授業は、社会人入学（リカレント）を考慮して、e-learningとウェブによる双方向性クラス形式で行う

総合医薬学研究科は各プログラムの出口が比較的明瞭であるため、多職種連携並びに分野融合を目的とした共通プログラムや教育体制、さらに学内並びに学外との連携を深めることで、医療に関する実践的な多職種連携とイノベーションに繋がる包括的な医療的素養を身につけた医療人の輩出を目指す。

医学・薬学・看護学分野における基盤的研究の深化とこれら分野間の連携・融合の更なる強化を図り、医学・薬学・看護分野の枠組みを超えて協同するため、医学・薬学・看護学分野を包括する医学薬学専攻を1専攻として組織し、専門分野（医科学、看護学、薬科学、医学、薬学）ごとに学位プログラムを設ける。

先端医科学プログラム（学位：医科学）

医薬看の分野横断的な専門知識と研究倫理を学び、幅広い医療の先端的知識と研究能力を基盤として、本学が目指す「人」と「地」の健康に医科学人材として貢献できる専門職医療人、医科学研究開発人材を育成する。

本プログラムの教育により、専門職医療人(臨床検査技師、理学療法士など)、医科学研究開発人材(創薬、臨床治験、企業等)を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、現職の専門職医療人等を受け入れて、能力向上を図る。

看護科学プログラム（学位：看護学）

現代社会の多様な要請に応えるために、**看護学専門領域における研究や学際的知見の成果を総合的に活用して、保健・医療・福祉の分野で活躍できる高度医療専門職業人又は教育研究者を育成する。**

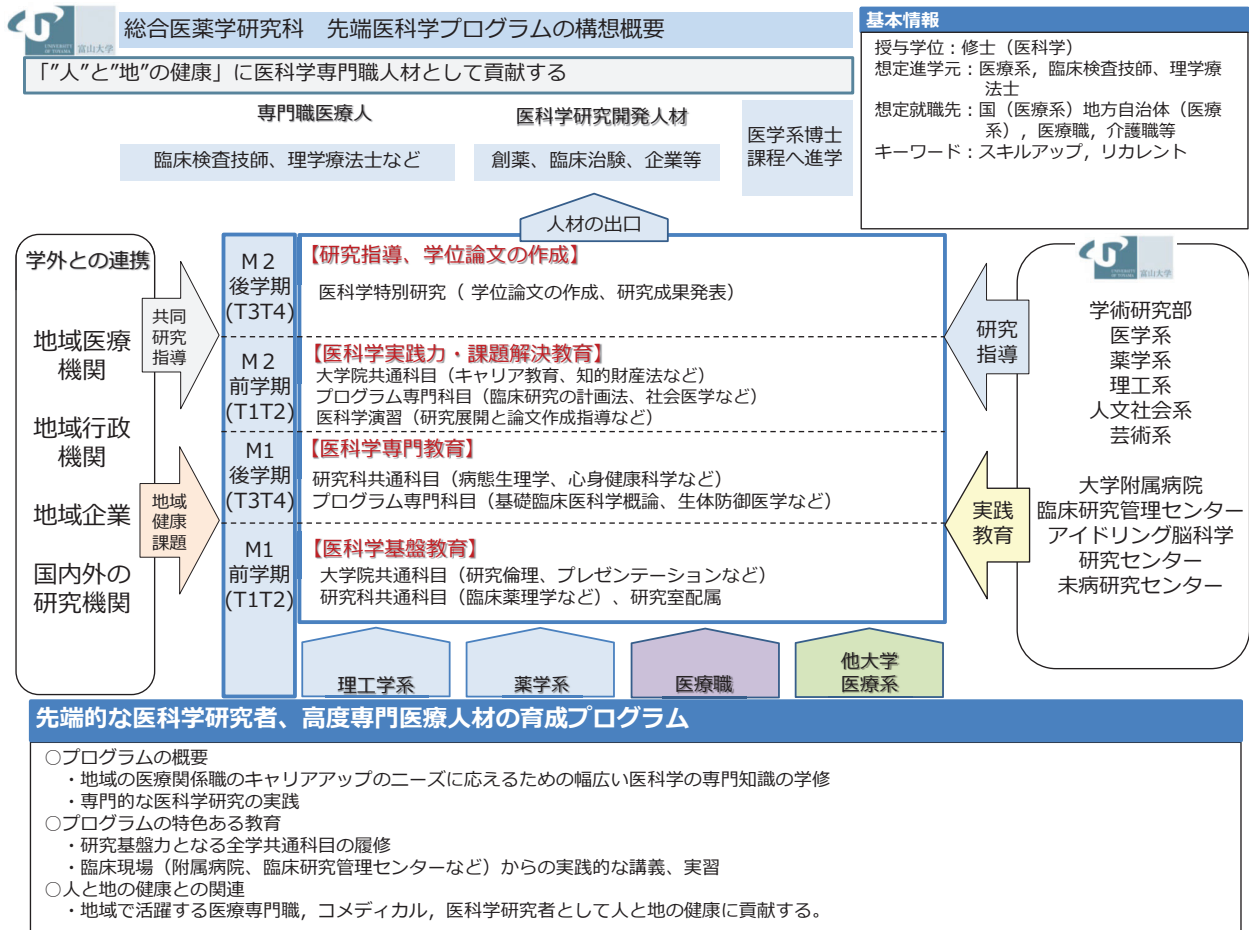
本プログラムの教育により、看護師指導者、保健所等行政機関における指導者、看護教育・研究者を社会に送り出す。

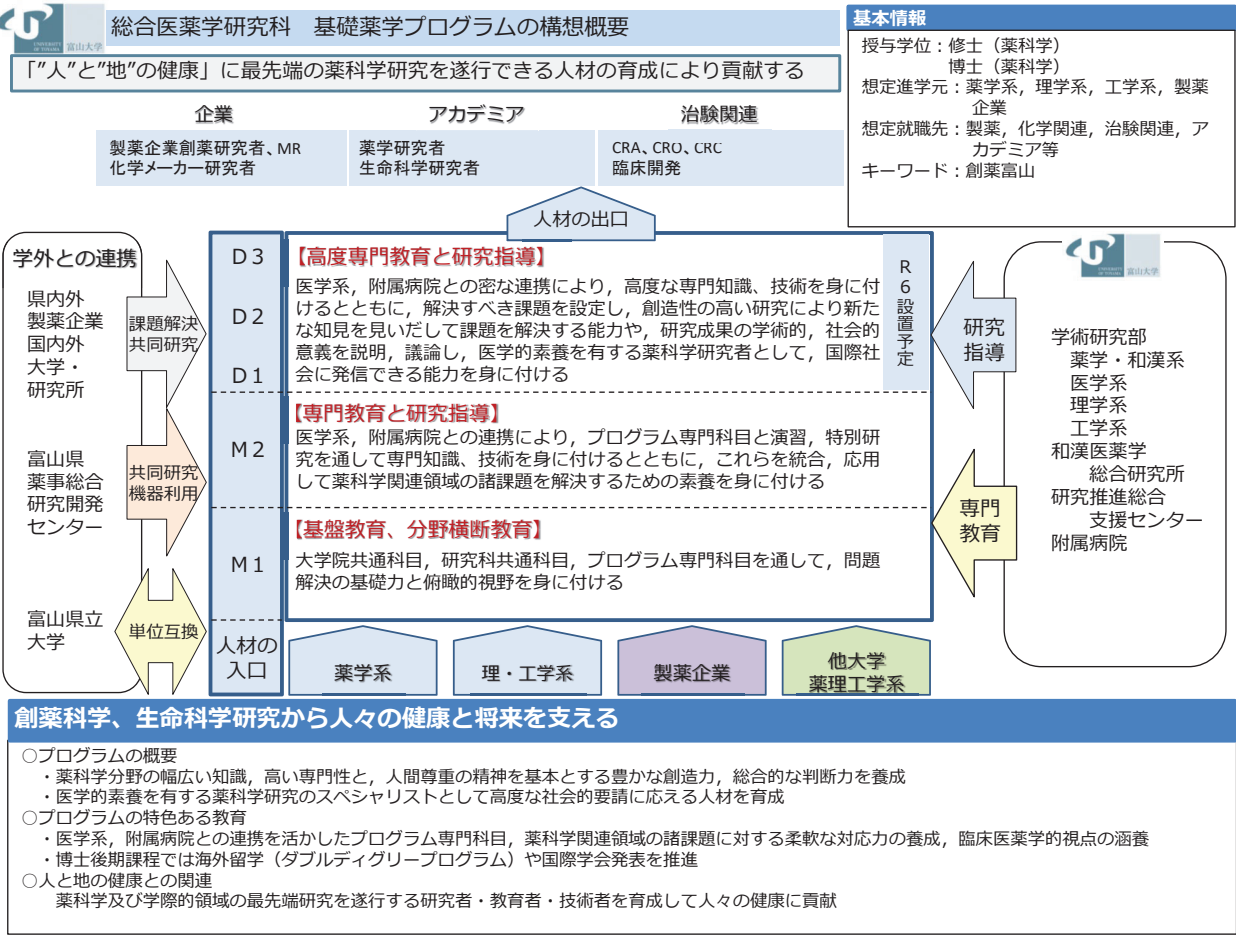
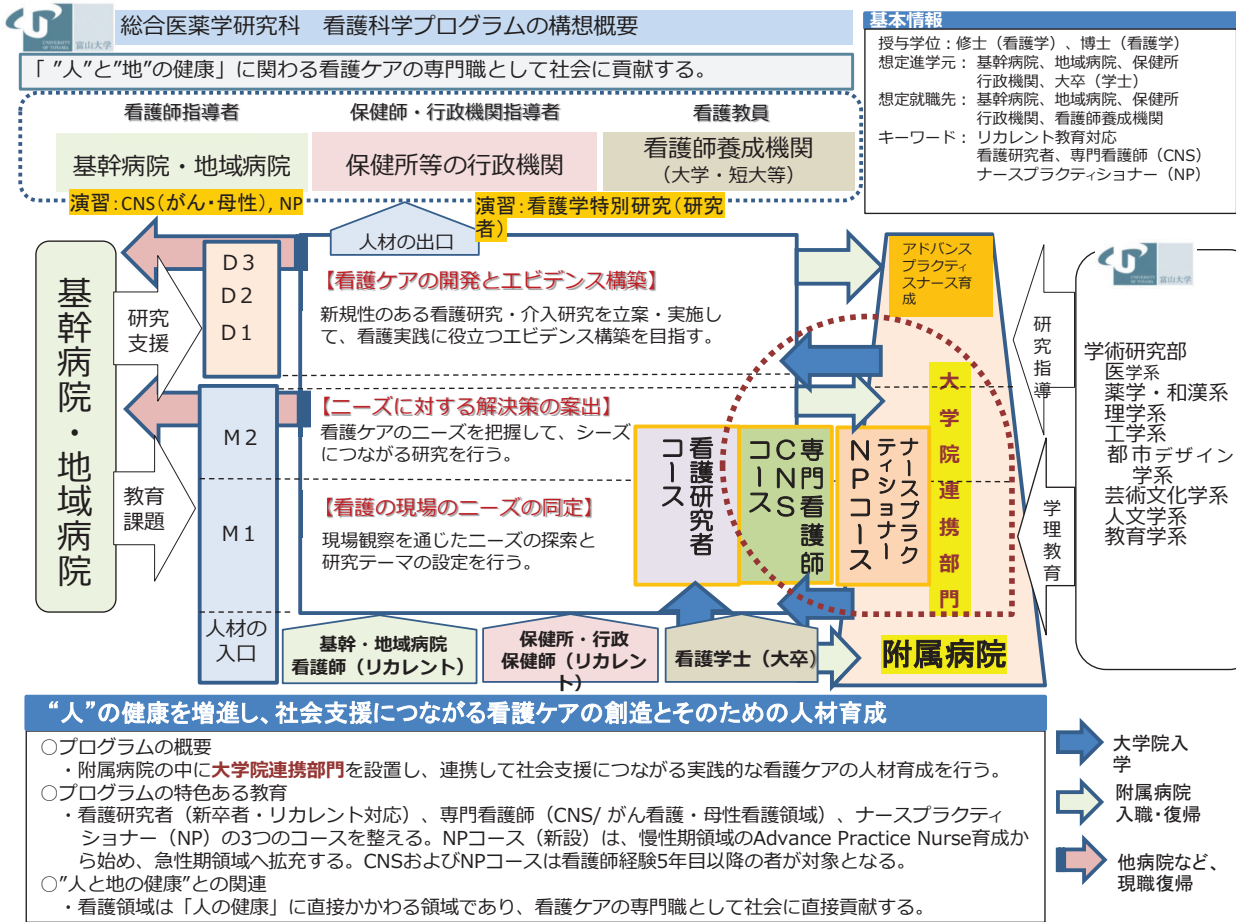
さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、専門看護師CNS コースやナースプラクティショナーNPコースを設け、看護師としての高い専門性を身に付けさせる。

基礎薬学プログラム（学位：薬科学）

幅広い知識を基盤とする高い専門性と、医学的素養を含む豊かな創造力、人間尊重の精神を基本とする総合的な判断力を培い、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成する。

本プログラムの教育により、企業(製薬企業創薬研究者、MR(製薬企業等の医薬情報担当者)、化学メーカー研究者)、アカデミア(薬学研究者、生命科学研究者)、治験関連(CRA(注 Clinical Research Associate, 臨床開発モニター)、CRO(注 医薬品開発業務受託機関(Contract Research Organization)), CRC(Clinical Research Coordinator, 治験コーディネーター)を社会に送り出す。





富山大学の特徴と強みである「創薬・製剤」、「和漢医薬学」、「脳神経科学」及び「メディカルデザイン」分野は、分野横断・融合的であるものの、特定の研究科・専攻等だけの教育に留まり、十分な教育体制であるとは言い難かった。そのため、総合医薬学研究科と理工学研究科が緊密に連携することにより、これら4分野の研究科等関係課程を新たに設ける。

創薬・製剤工学研究科関係課程（学位：薬科学）

理学・工学の化学的・生物学的な素養に加え、**医薬品開発・製剤の基礎**を身に付け、**医薬品開発の基礎から臨床応用まで幅広く学修し、製薬企業において即戦力として活躍できる人材を育成する。**

本課程の教育により、製薬企業の創薬部門における医薬品設計や製剤開発研究部門における製剤設計を担当できる研究者、専門的技術者を社会に送り出す。

応用和漢医薬学研究科関係課程（学位：薬科学）

医薬学と理工学の融合的教育により、**和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーション、分子から臓器連関までを網羅した病態解析に関する専門的知識**を身に付け、**俯瞰力、実践力、応用力を持つ人材を育成する。**

本課程の教育により、和漢医薬学研究に基づいた医薬品開発とレギュレーション、未病研究に基づいた健康・医療の創生などを行える薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び審査官（行政官）など、和漢医薬を含めた伝統医薬からの創薬と人々の健康維持、並びに学術研究の進歩に貢献できる人材を社会に送り出す。

認知・情動脳科学研究科関係課程（学位：神経科学）

脳科学研究分野における**基本的な情報収集、論理的思考、情報発信、英語論文の基本的な理解と概説、研究内容について他者との議論ができ、研究を支える基盤的能力を有し、同分野における知識や論文内容について理解し、他者と議論できる学識を身につけ、かつ専門研究分野の学会などにおいて、情報収集、議論、情報発信ができる専門的な学識を有し、生命倫理・研究者倫理を身に付け、社会規範に沿った適切な行動が取れる倫理観を有する人材を養成する。**

本課程の教育により、製薬企業で創薬、臨床治験等を担う医薬品開発者を社会に送り出す。

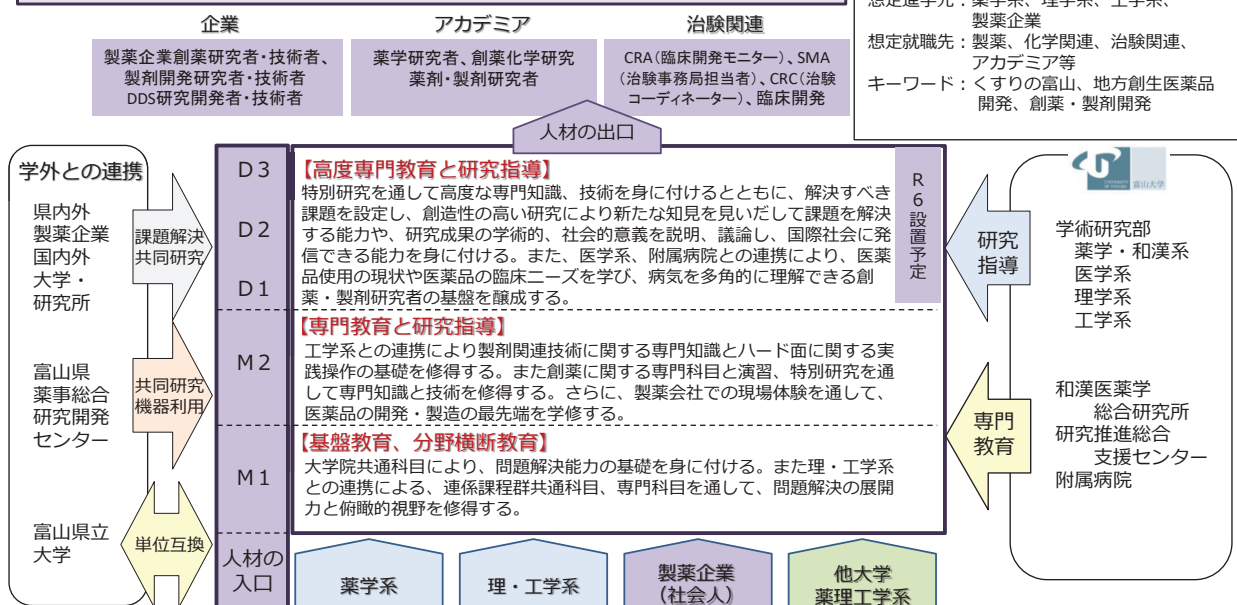
メディカルデザイン研究科関係課程（学位：医工学）

基礎から臨床・社会実装に至る幅広い観点から医学・福祉・看護学・理工学等の基礎的な考え方と知識、疾病の予防・病態解明・診断・治療・社会復帰に関する医工学の知識と研究手法を修得し、実践的な研究活動とプレゼンテーション能力を身に付け、医療・福祉の現場と企業を橋渡しして先端的な医療・福祉機器・サービスの研究開発を担うことができる人材を育成する。

本課程の教育により、ヘルスケア機器メーカーの開発エンジニア、ヘルスケアサービス企業のサービス・ビジネスモデルプランナー、医用・福祉工学の研究者などを社会に送り出す。

医薬理工関係課程群 創薬・製剤工学研究科関係課程の構想概要

「人」と「地」の健康」に創薬・製剤開発の次世代を担う人材の育成により貢献する



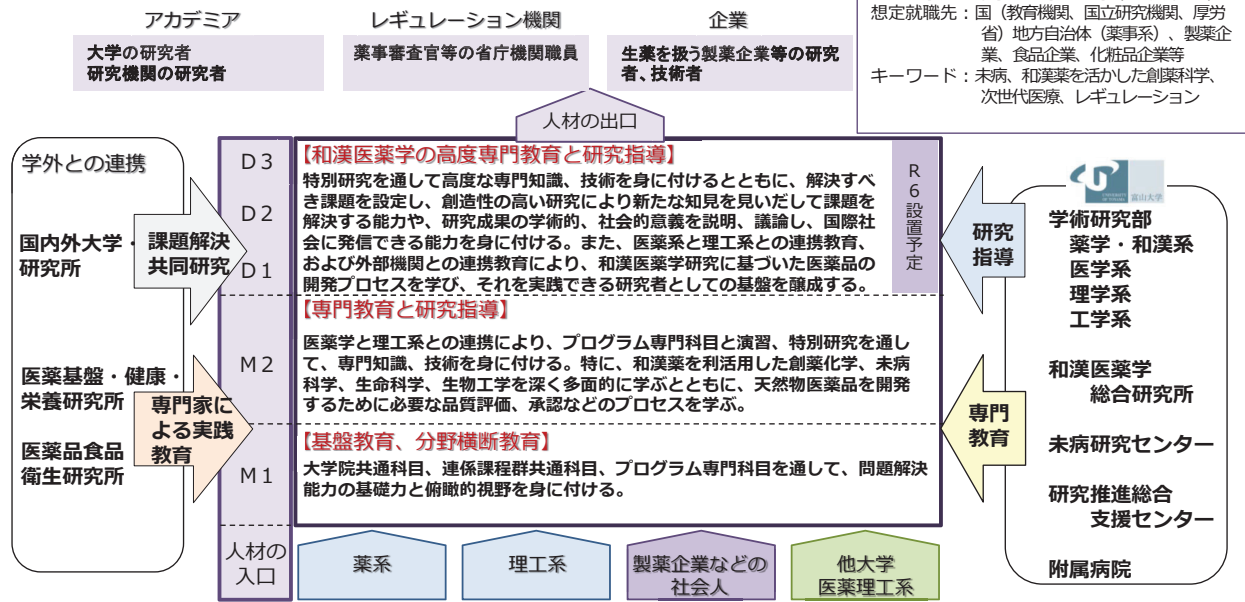
創薬・製剤開発の次世代を担う人材育成からくすりの富山を支える

- 研究科関係課程の概要
 - ・医薬品の開発には、薬を探索、創薬し、製剤化して最終的に臨床治験する必要がある。本関係課程は、医薬理工教員による医薬品研究開発プロセスを学び実践できる特別プログラムであり、疾病を多角的に理解できる**創薬・製剤研究者・技術者**を育成する。
- 研究科関係課程の特色ある教育
 - ・製薬会社のインターンシップにより創薬・製剤開発の実践を身に付けることができ、即戦力の**創薬・製剤研究者・技術者**を育成
 - ・富山県の製薬会社から社会人として入学できるような柔軟性を持たせたカリキュラム構築
 - ・博士後期課程では海外留学(ダブルディグリープログラム)や国際学会発表を推進
- 人と地の健康との関連
 - ・密に連携の取れた個別指導体制と多岐にわたる教育プログラムを通じくすりの富山に貢献できる人材輩出と医薬品開発の実践で人々の健康に貢献



医薬理工連係課程群 応用和漢医薬学研究科連係課程の構想概要

「人」と「地」の健康を支える次世代医療創生に挑戦する人材育成に貢献する



基本情報

授与学位：修士（薬科学）
博士（薬科学）
想定進学元：薬学・理学・工学系、製薬企業
想定就職先：国（教育機関、国立研究機関、厚労省）地方自治体（薬事系）、製薬企業、食品企業、化粧品企業等
キーワード：未病、和漢薬を活かした創薬科学、次世代医療、レギュレーション

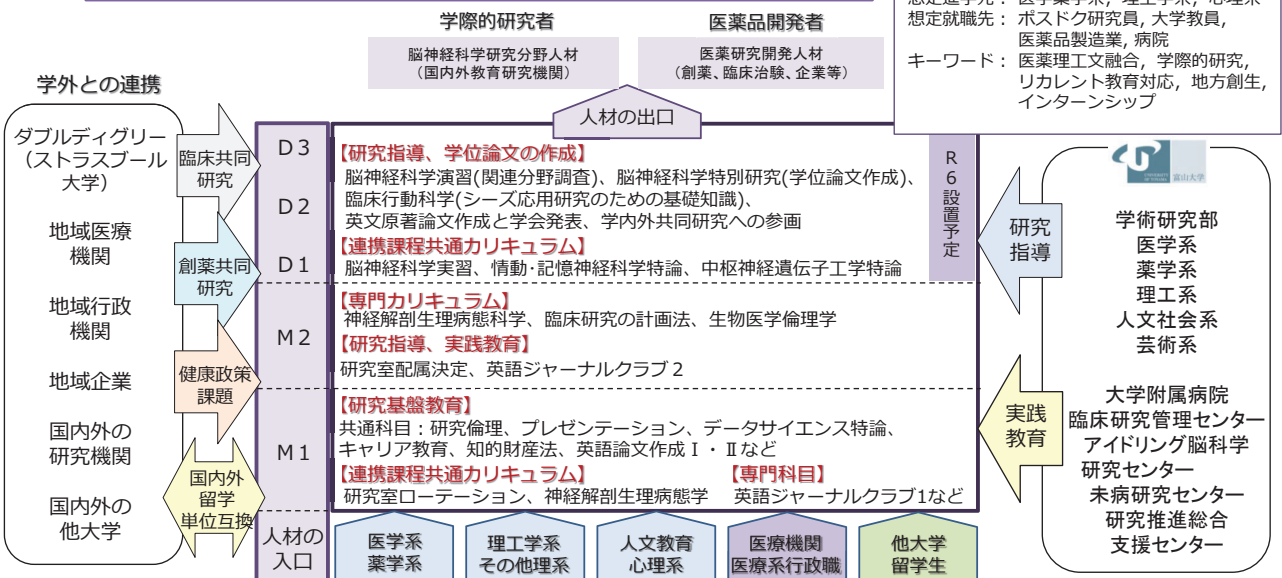
和漢医薬学と理工学の融合による予防と治療を目指した次世代医療創生を担う人材育成

- 研究科連係課程の概要
和漢医薬学の教育と研究を基盤にし、さらに理学・工学との融合的な教育を行うことにより、和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーションに貢献し、健康・医療を担う人材を育成する。医薬学、生命科学、創薬化学、生物工学等の先端技術と知識を学修するとともに、俯瞰力、実践力、応用力を養う。
- 研究科連係課程の特色ある教育
本課程では、和漢薬を活かした新しい医薬品の創生、創薬資源の開発、植物性医薬品等のレギュレーション、分子から臓器連関までを網羅した病態解析に関する特徴ある専門的教育を実施し、疾病の予防と治療を目指した応用和漢医薬学の基礎と実践を学修する。
- 人と地の健康との関連
未病を含む次世代医療のための和漢薬からの創薬、天然資源の持続的活用、医薬品のレギュレーションを遂行できる研究者、教育者及び技術者を育成することで、人と地の健康を支える。



医薬理工連係課程群 認知・情動脳科学研究科連係課程の構想概要

「人」と「地」の健康に最先端の脳科学研究人材を輩出することにより貢献する



基本情報

授与学位：修士（神経科学）
博士（神経科学）
想定進学元：医学薬学系、理工学系、心理学
想定就職先：ポスドク研究員、大学教員、医薬品製造業、病院
キーワード：医薬理工学融合、学際的研究、リカレント教育対応、地方創生、インターンシップ

学際的アプローチにより基礎と臨床から発展する脳神経科学

- 連係課程の概要：基礎医学、臨床医学、理工学、薬学、人文社会学など学際的・融合的なアプローチにより、先端的な脳神経科学者を育成する。人間らしさの科学（心の総合科学）の構築を目指し、医薬理工学の教員が集結して教育・研究を行う。
- 連係課程の特色ある教育
 - ・研究テーマに関連する臨床医学的知識習得や現場の見学などを通じて研究を進展させ、また学生のモチベーションを高める
 - ・臨床を含む医学、医薬品や装置の開発を含む薬理工、さらに異なる視点の人文心理系など、多分野の複数教員からの研究指導
 - ・当該連係課程担当教員を副指導とすることで希望するさまざまな学部卒業研究生の配属を促進し、早期からの研究活動への参加を可能とする
 - ・修士課程で研究室ローテーションを行い、認知・脳神経科学研究科連係課程等での博士課程進学を希望する場合は準備教育で単位の前倒し取得が可能
- 人と地の健康との関連
 - ・分野融合的な教育により基礎研究者が現場のニーズを、臨床研究者が基礎のシーズを把握することで最先端の研究成果を医薬品開発に繋げる

授与学位：修士（医工学）
 博士（医工学）
 想定進学元：理工系学部、民間企業、医療・福祉提供機関、他大学理工系学部
 想定就職先：ヘルスケア機器・サービス企業、医療・福祉提供機関、大学、研究機関等
 キーワード：リカレント教育対応、医療・福祉の現場観察、産学共同研究開発

「人」と「地」の健康」にヘルスケア機器・サービスの創造を通じて貢献する

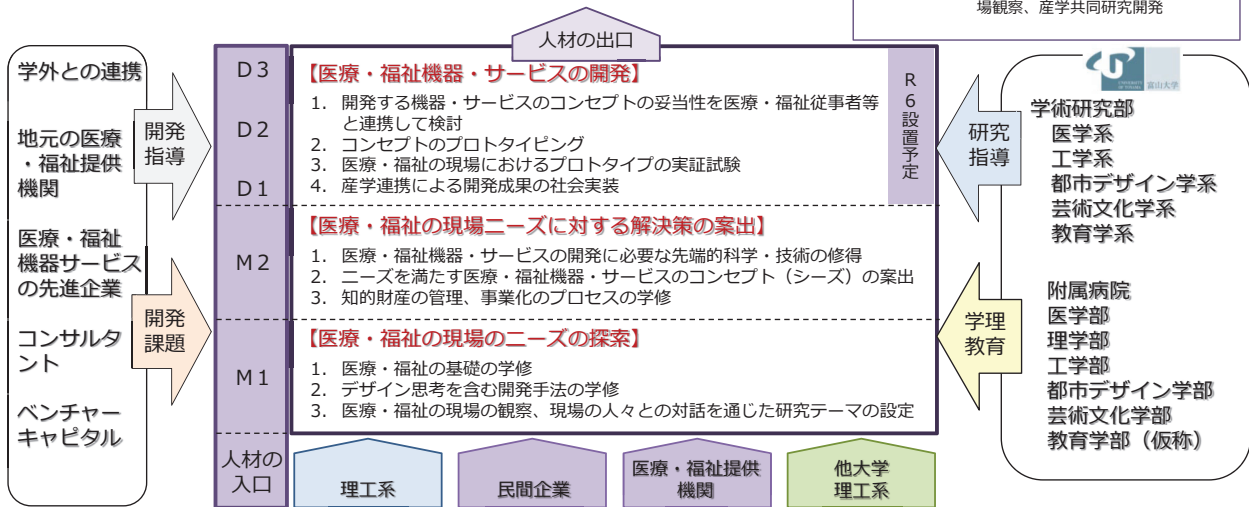
ヘルスケア機器・サービスを創造する人材

医用・福祉工学を推進する人材

ヘルスケア機器メーカーで機器を開発するエンジニア

ヘルスケアサービス企業でサービスやビジネスモデルを開発するプランナー

大学、研究機関で医用・福祉工学を研究する研究・教育者



未病を科学し、健康を増進するヘルスケア機器・サービスを創造

- 研究科関係課程の概要
 - ・医療・福祉分野の学問的基礎と関連する機械・情報・化学・生物・デザイン等の先端的科学技術を学際的に修得し、生涯現役社会の実現に寄与できるヘルスケア機器・サービスの開発者、研究者を育成する。
- 研究科関係課程の特色ある教育
 - ・医療・福祉の現場におけるニーズ探索を通じ、真に社会に役立つ研究テーマを設定する。
 - ・社会人大学院生が受講しやすいよう、遠隔・集中講義を充実させ、所属企業等の業務として研究開発を行うことを可能にする。
- 人と地の健康との関連
 - ・地元の医療・福祉の現場で見つけたニーズに対する解決策を研究開発し、地元の人々の健康増進に貢献する。

持続可能社会関係課程群の2つの研究科等関係課程

環境、経済、社会の課題は相互に絡み合っており、ひとつの課題に個別に対応するのではなく、ひとつの課題解決が他の課題解決にもつながるような取り組みが必要となる。このような課題解決についての大学院教育は、「専門性」を重視する個々の研究科では実施が困難であり、**文理の枠を超えて総合的・多角的に課題解決ができる人材の育成が必要**である。

「持続可能社会」を実現するためには、ひとつの生活の場である「地域」に加えて「地球規模」でも持続可能なものにしなければならない。富山県は、高低差4,000 mの変化に富んだ自然環境の中に小さな集落や中核市が存在する日本の縮図と言え、持続可能社会を考え、学修するフィールドとして高いポテンシャルを持っている。我が国において解消が進まない首都圏一極集中や高齢化により地方の活力が低下する中、**自らが築いてきた専門性（バックグラウンド）を活かして、データサイエンス、AIを活用して地域課題を解決できる高度人材の育成が必要**である。一方、地球温暖化、海洋汚染、地域間格差の解消、大規模感染症対策をはじめとする、大規模な課題解決には、「地域」、「地球規模」の両方の視点に加えて「国際的」視点を持ち、**様々な課題に対して柔軟に対応し、SDGs達成に貢献していく高度人材の育成が必要**である。

こうした背景から、人社芸術総合研究科と理工学研究科が緊密に連携することにより、これら2分野の研究科等関係課程を新たに設ける。

文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程（学位：学術）

現代社会にあふれるデータを適切に読み解くことで課題発見・解決できる能力を養うだけでなく、そこから新しい価値を創造し、地域活性化やSDGs達成に貢献できる人材を育成する。

この課程における教育により、地域の経済・公的機関・産業をデータサイエンスで支えるオールラウンド型の人材を社会へ送り出す。さらに、この課程はリカレント教育を重視し、地方公共団体の行政職や企業に在籍する社会人を受け入れ、地域や在籍企業が直面する実際の課題を修士論文テーマと位置付けて課題を発見・解決する教育を行う。

グローバルSDGs研究科関係課程（学位：サステナビリティ学）

持続可能な社会を構築するために解決が必要な諸課題について、自らが新たな知を創造し、その知から更なる価値を生み出す能力とグローバルに活躍するための基礎となる英語力を身に付け、社会が直面する様々な課題に新たな解決策を示すことができる人材を育成する。

この課程における教育により、国内外官公庁、国連・国際NGO等の国際機関、地方自治体、教育機関、多国籍製造業、金融業（ESG投資関連企業）、CSR企業、研究機関において活躍する人材を社会に送り出す。

さらに、この課程はリカレント教育を重視し、研究より知識・技能の習得に重点を置いたスペシャリスト・トラックを設ける。

※本アンケートの実施時点から、研究科等の名称を変更している。アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係は以下のとおり。

◆アンケート実施時の名称と現在の名称の対応関係

- | | | | |
|----------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 人社会術総合研究科 | → 人文社会芸術総合研究科 | 医薬理工関係課程群 | → 医薬理工学環 |
| 持続可能社会関係課程群 | → 持続可能社会創成学環 | 創薬・製剤工学研究科関係課程 | → 創薬・製剤工学プログラム |
| 文理融合型データサイエンス研究科関係課程 | → 社会データサイエンスプログラム | 応用和漢医薬学研究科関係課程 | → 応用和漢医薬学プログラム |
| グローバルSDGs研究科関係課程 | → グローバルSDGsプログラム | 認知・情動脳科学研究科関係課程 | → 認知・情動脳科学プログラム |
| | | メディカルデザイン研究科関係課程 | → メディカルデザインプログラム |

医療機関等を対象とした富山大学大学院修士課程（主に医療系大学院）に関するアンケート

結果

1. 調査の概要

(1) 調査の対象

32 機関

(2) 調査の方法

上記対象企業等に、質問及び構想に関する資料を送付し、インターネットを通じて回答を得た。

(3) 回答数・回答率

回答数：8 機関 回答率：25.0%

(4) 調査期間

令和 3 年 1 月 29 日～ 2 月 17 日

2. 調査結果

問 1. 機関等の概要

(1) 貴機関の属する業種について、次の中から該当ものを選択してください（主たるものを 1 つ）。

業種	回答数
医療, 福祉	8
合計	8

(2) 貴機関の従業員数について、該当するものを選択してください。

従業員数	回答数
5,000 人以上	0
2,000～5,000 人未満	0
1,000～2,000 人未満	2
300～1,000 人未満	4
100～300 人未満	2
50～100 人未満	0
50 人未満	0
合計	8

- (3) 貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

所在地	回答数
富山県	7
愛知県	1
合計	8

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

- (1) 貴機関において医療系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当するものを選択してください。

修士採用実績	回答数
採用実績あり	6
採用実績なし	2
合計	8

- (2) 貴機関が医療系の大学院修士課程を修了した職員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する回答を選択してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

	期待する	やや期待する	あまり期待しない	期待しない	合計
医学・医療分野における高度な専門知識と技術	8	0	0	0	8
最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力	6	2	0	0	8
専門職医療人（臨床検査技師、理学療法士など）や高度専門職業人（専門看護師、特定行為のできる看護師など）として必要な能力	3	5	0	0	8
論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力	4	3	1	0	8
自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力	4	3	1	0	8
自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力	4	3	1	0	8

高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力	3	4	1	0	8
チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力	5	3	0	0	8
リーダーとしてチームをマネジメントする能力	5	3	0	0	8
社会的・経済的・文化的価値を創出する能力	4	3	1	0	8
データ処理, 分析, 活用能力	4	4	0	0	8
研究者又は高度職業人にふさわしい倫理観	5	3	0	0	8

問3. 本学大学院の改革構想

- (1) 大学院総合医薬学研究科では、高度に専門化した医療現場において活躍できる多職種連携と相互理解、包括的かつ学際的な対応能力を持つ専門職医療人や高度専門職業人を育成するという目的を掲げています。そのような人材を養成することは評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	7
少し評価できる	1
どちらともいえない	0
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	8

- (2) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	5
少し評価できる	1
どちらともいえない	2
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	8

- (3) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当するものを選択してください。

評価	回答数
とても評価できる	4
少し評価できる	2
どちらともいえない	2
あまり評価できない	0
まったく評価できない	0
分からない	0
合計	8

問4. 社会人に対するリカレント教育

- (1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育として求める内容	回答数
特定の分野について、最新の知識を学修する内容	6
特定の分野について、深く追求し研究する内容	2
幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容	4
地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容	3
合計	15

- (2) リカレント教育の一環として、貴機関の職員等を大学院に入学させたいですか。該当するものを選択してください。

社員のリカレント教育	回答数
ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）	0
ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）	0
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）	1
本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）	7
必要性を感じない	0
わからない	0
その他	0
合計	8

- (3) 貴機関にとって、職員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当するものを選択してください。【複数選択可】

リカレント教育の障害	回答数
本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難	7
業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない	2
大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない	1
その他	1
合計	11

その他の回答

- ・ 欠員

問5. 大学院修士課程修了者の採用

- (1) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当するものを選択してください。

採用に関する意向	回答数
積極的に採用したい	1
どちらかといえば採用したい	6
採用したいとは思わない	0
分からない	1
合計	8

その他

- (1) 差し支えなければ、貴社・貴機関のお名前を記載してください。

富山県済生会富山病院

富山労災病院

射水市民病院

高岡市民病院

- (2) 最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

- ・ 早期の実現に期待します。

富山大学大学院修士課程（主に医療系大学院）に関するアンケート

このアンケートは、改組予定の富山大学大学院の修了者に関する社会的ニーズを把握し、今後の改組準備に役立てるために実施するものです。調査結果は、本学の大学院教育の改革に活用していくものになりますので、ぜひともご協力をお願いいたします。

なお、貴機関（貴事業所）からいただいた回答は統計的に処理し、個別の情報が公表されることはありません。

問1. 機関等の概要

貴機関の概要について教えてください。

(1) 貴機関の属する業種について、該当する番号を記載してください（主たるものを1つ）。

回答番号：()

1. 医療, 福祉
2. 複合サービス事業
3. サービス業（他に分類されないもの）
4. 公務（他に分類されるものを除く）
5. 上記以外 ()

※上記の分類は、日本標準産業分類（総務省）による分類です。

(2) 貴機関の従業員数について、該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 50 人未満
2. 50～100 人未満
3. 100～300 人未満
4. 300～1,000 人未満
5. 1,000～2,000 人未満
6. 2,000～5,000 人未満
7. 5,000 人以上

(3) 貴機関の所在地を都道府県で記載してください。貴機関が事業所ごとの採用を行っており、事業所において本調査に回答される場合は、当該事業所の所在地を都道府県で記載してください。

回答欄：()

問2. 大学院修士課程修了者に求める能力

(1) 貴機関において医療系の大学院修士課程を修了者の採用実績はありますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 採用実績あり
2. 採用実績なし

(2) 貴機関が医療系の大学院修士課程を修了した職員を採用する場合に、どのような能力を期待しますか。各能力について該当する番号を記載してください。修士を採用したことがない場合は、仮に採用する場合としてお答えください。

【知識】

- ・ 医学・医療分野における高度な専門知識と技術

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・ 最先端の知を幅広く理解し、常にアップデートする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・ 専門職医療人（臨床検査技師、理学療法士など）や高度専門職業人（専門看護師、特定行為のできる看護師など）として必要な能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【思考】

- ・ 論理性や批判的思考（根拠に基づき多角的に考え適切に分析する思考）に関する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・ 自ら課題を発見し、解決案を構築・検証する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【コミュニケーション】

- ・ 自らの考えを的確に分かりやすく伝える能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・ 高度な英語力と多文化(異文化)理解に基づくコミュニケーション能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・チームの一員として協働し積極的に目標の達成に寄与する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

- ・リーダーとしてチームをマネジメントする能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【創造力】

- ・社会的・経済的・文化的価値を創出する能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【高度スキル】

- ・データ処理, 分析, 活用能力

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【倫理】

- ・医療従事者又は研究者にふさわしい倫理観

回答番号：()

{1. 期待する, 2. やや期待する, 3. あまり期待しない, 4. 期待しない}

【その他, 貴機関がとくに重視したい能力がありましたら記載願います】

{ }

問3. 本学大学院の改革構想

大変お手数ですが、本設問は、別途添付している「富山大学大学院の改組構想」をご覧になった上で、ご回答ください。

(1) 大学院総合医薬学研究科は医学系と薬学系を統合した総合医薬学1専攻としました。特に大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し医学・薬学の連携を強化した教育システム構築を特徴としていますがこの取り組みは評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(2) 大学院総合医薬学研究科の改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

(3) 全体的な富山大学の大学院改組構想は、客観的に判断して評価できますか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. とても評価できる
2. すこし評価できる
3. どちらともいえない
4. あまり評価できない
5. まったく評価できない
6. 分からない

問4. 社会人に対するリカレント教育

用語説明：リカレント教育について

我が国は、健康寿命が世界有数の長寿社会を迎えており、人生100年時代を見据え、転職や起業を行う「人生の再設計」や技術革新に対応したスキル修得のための「学び直し」の重要性が、内閣府の経済財政報告など複数の政府・行政機関の報告等で指摘されています。

「リカレント教育」とは、「学校教育」を、人々の生涯にわたって、分散させようとする理念であり、理念が生まれた欧州における本来の意味は、「職業上必要な知識・技術」を修得するために、フルタイムの就学と、フルタイムの就職を繰り返して「学び直す」ことです。しかし、日本においては、長期雇用の慣行があることから、働きながら学び直すこともリカレント教育に含まれます。

(1) 大学院修士課程レベルのリカレント教育として、大学にどのような内容を求めますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 5)

1. 特定の分野について、最新の知識を学修する内容
2. 特定の分野について、深く追求し研究する内容
3. 幅広く仕事に活用できる技能（データ分析など）を習得できる内容
4. 地域や会社の問題解決など、実際の課題をテーマに、大学教員の指導・助言を得ながら解決に取り組む内容
5. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(2) リカレント教育の一環として、貴機関の職員等を大学院に入学させたいですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. ぜひ入学させたい（費用は会社等負担）
2. ぜひ入学させたい（費用は全部または一部を本人が負担）
3. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は会社等負担）
4. 本人の希望があれば入学させてもよい（費用は全部または一部を本人が負担）
5. 必要性を感じない
6. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

(3) 貴機関にとって、職員等がリカレント教育目的で大学院に入学することに関して何が障害と考えられますか。該当する番号を記載してください。【複数回答可】

回答番号：() 記載例：(1, 3, 4)

1. 本人の業務との大学院での学修の時間的両立が困難
2. 業務現場において本人の上司や同僚の理解が得られない
3. 大学院の学修内容は、業務現場において即座に活用できない
4. その他（以下に具体的にお書きください。）

()

問5. 大学院修士課程修了者の採用

(1) 大学院総合医薬学研究科が設置された場合、当該大学院の修了者の採用についてどうお考えですか。該当する番号を記載してください。

回答番号：()

1. 積極的に採用したい
2. どちらかといえば採用したい
3. 採用したいとは思わない
4. 分からない

差し支えなければ、貴機関のお名前を記載してください。

()

最後に、富山大学大学院の改組構想に関しまして、全体を通じてご意見がございましたらお聞かせください。

()

以上

富山大学大学院の 改革・再編の構想 (主に医療系)

令和3年1月



富山大学大学院 改革・再編の社会的背景

- ICT技術の高度な発展により，社会構造が変化し，超スマート社会（Society 5.0）が到来し，産業における価値の源泉が，“物”から“知識・情報”へとシフト
- 経済問題，気候変動，感染症といった課題が世界全体に連鎖する中，「持続可能な開発（Sustainable Development）」を達成するための目標（SDGs）が国際的に合意
- 日本全体での出生数低下，高齢化の進行による大幅な活力低下



広範かつ複雑な課題への対応や新たな社会的ニーズに応え得る人材を養成するためには，これまでの大学院組織（下記参照）・大学院教育では不十分

大学院人文科学研究科

大学院人間発達科学研究科

大学院経済学研究科

大学院芸術文化学研究科

大学院生命融合科学教育部

大学院医学薬学教育部

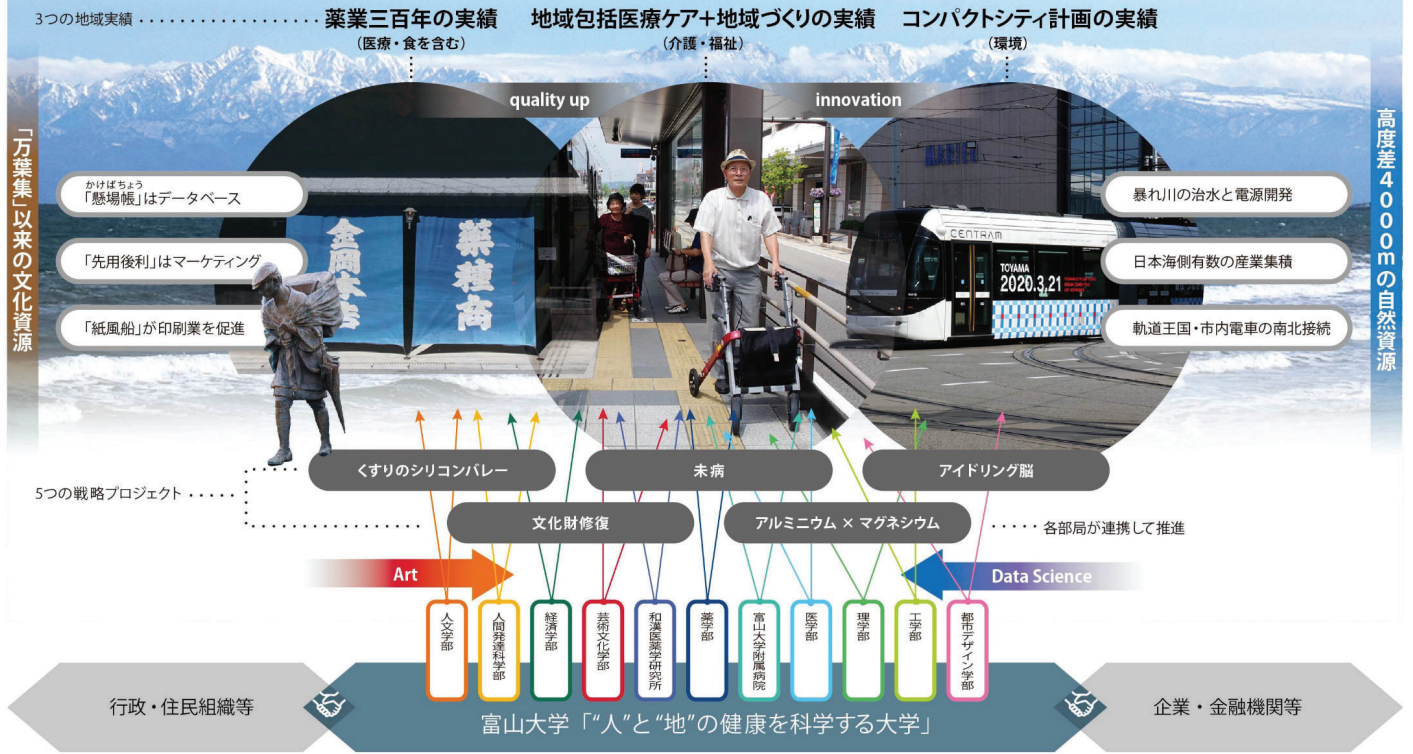
大学院理工学教育部



富山大学ならではの強みを生かしつつ新たな大学院教育が必要

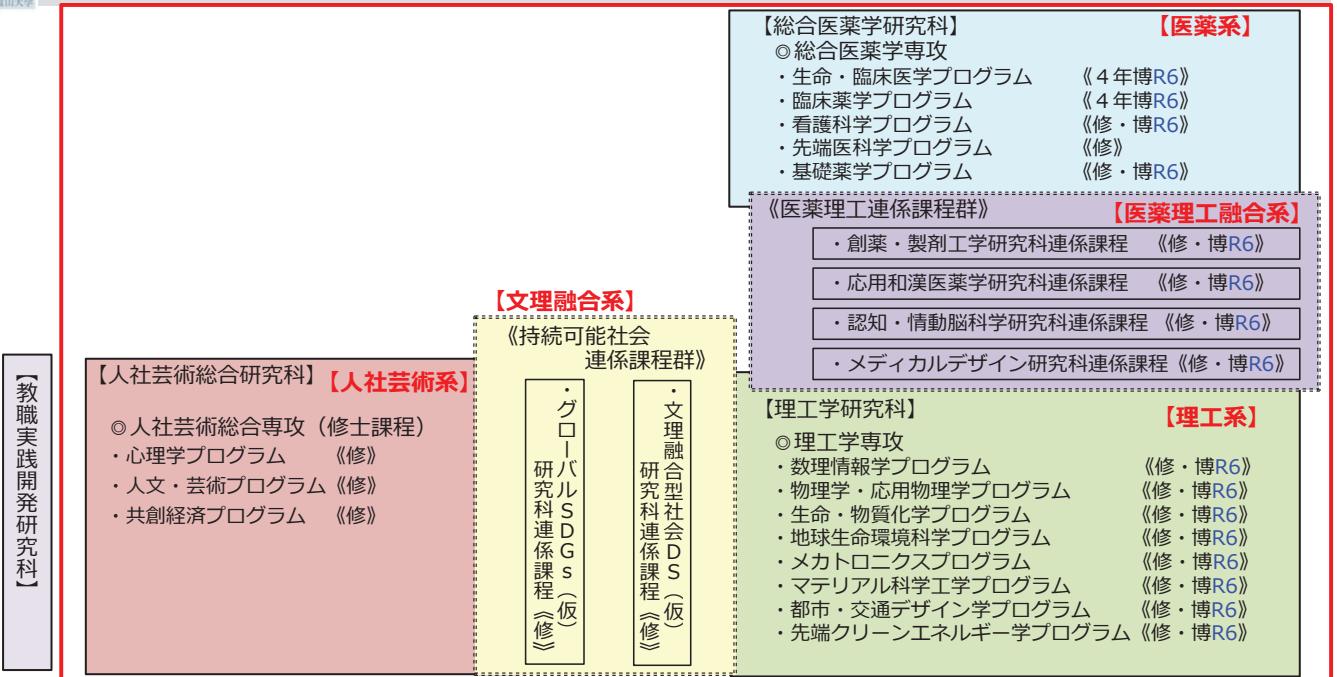
〔大目標〕 “人生百年時代のクリーンな社会モデルを構築”

〔具体的戦略〕 “地域医療包括ケアと環境都市との相乗”



令和4年度の新たな大学院組織のイメージ

大学院修士課程・博士課程



【人文学部】 ・人文学科	【教育学部】(仮称) ・共同教員養成課程(仮称)	【経済学部】 ・経済学科 ・経営法学科	【芸術文化学部】 ・芸術文化学科	【理学部】 ・数学科 ・物理学科 ・生物環境科学科	【都市デザイン学部】 ・都市・交通デザイン学科 ・地球システム科学科	【工学部】 ・工学科	【医学部】 ・看護学科	【薬学部】 ・創薬科学科 ・薬学科
-----------------	-----------------------------	---------------------------	---------------------	------------------------------------	--	---------------	----------------	-------------------------

※ 大学院修士課程・博士課程の組織名・プログラム名は全て仮称である。

○**人社芸術総合研究科**

人文科学，社会科学，芸術を融合させた学びを提供しつつ，現実の課題をテーマとし，課題解決を通じて，実践的能力を養う教育システムを構築。心理学プログラムは，公認心理師養成に対応。

○**総合医薬学研究科**

大学附属病院を教育の場として今まで以上に活用し，医学・薬学の連携を強化した教育システムを構築。

○**理工学研究科**

理工系の大学院が理学と工学を融合させ，各々の分野の特徴を相補的・相乗的に引き出せる人材を育成する教育システムを構築。

○**創薬・製剤工学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，医薬学系と工学系との連携により医薬品研究開発プロセスを学び，創薬から製剤開発までを幅広くカバーできる即戦力人材を育成。

○**応用和漢医薬学研究科関係課程**

富山県の地域産業である薬業について，理工学系，医薬学系との連携により，生命現象や創薬工学を深く多面的に学び，和漢医薬学を活用した東西医薬学融合による次世代医療創生ができる人材を育成。

○**認知・情動脳科学研究科関係課程**

神経科学での専門的知識だけでなく，理工学系，医薬学系との連携により，認知科学や人工知能，さらに中枢神経作用薬開発などを深く多面的に学び，医療やAI開発などで活躍できる人材を育成。

○**メディカルデザイン研究科関係課程**

医療・福祉機器・サービス開発に関する工学系の知識に加えて，医療・福祉に関する基礎知識を，医学・病院関係者の協力に基づく正規の教育課程として体系的に身に付け，ヘルスケア機器・サービスを創造できる人材を育成。

○**文理融合型社会データサイエンス研究科関係課程**

地域の自治体や企業が有するオープンデータを活用し，発見した地域課題を修士論文のテーマとして研究することにより，データサイエンスを活用して社会的課題を分析・解決できる人材を育成。

○**グローバルSDGs 研究科関係課程**

国際的な広い観点からSDGsを学び，研究分野横断的なアプローチによって問題解決能力を身に付け，持続可能社会の構築・SDGsの達成に貢献できる人材を育成。バイリンガル教育体制の構築により，英語だけで修了することも可能。

○高度な教養又は基盤的能力を身に付けるための大学院共通科目を提供

【授業科目】

研究倫理 必修
科学技術と社会 必修（グローバルSDGs研究科関係課程を除く）
地域共生社会特論
研究者としてのコミュニケーション：基礎と応用
アート・デザイン思考
英語論文作成Ⅰ
英語論文作成Ⅱ
データサイエンス特論
キャリア教育
知的財産法

※名称は、全て仮称

○専門分野の異なる複数の指導教員による指導・助言体制の構築

生命融合科学教育部及び理工学教育部の博士課程で行われてきた出身分野と異なる副指導教員を含む共同指導体制についても、取組を発展させる形で全学的に導入する。

客観的かつ異なる専門性の視点に基づく指導・助言体制を確立することで、新たな気づきの機会を得ることができる。

・医療における幅広い研究ならびに高度な医療を提供できる人材を養成することを目的として、医学・薬学・看護学共通の科目を設ける。医学、薬学、看護学でそれぞれ実施している授業科目を見直し、大学院共通科目、研究科共通科目などを開設し、**学際的な総合力を育成**する。

・大学院改組により、融合型・分野横断的教育を目的として異なる学系分野を背景とする教員が一つの組織で大学院教育を実施することから、教員間の研究情報共有が進み新たな共同研究が生まれる可能性が高まり、その共同研究に大学院生が参加することで、学生及び教員の分野を超えた行き来が活発化する。

・医療系という大きな枠の中で融合的・分野横断的な環境の中で学修/研究することによって、**目まぐるしく変化する医療に対する社会的ニーズや研究分野の進歩に対応**できるようになる。

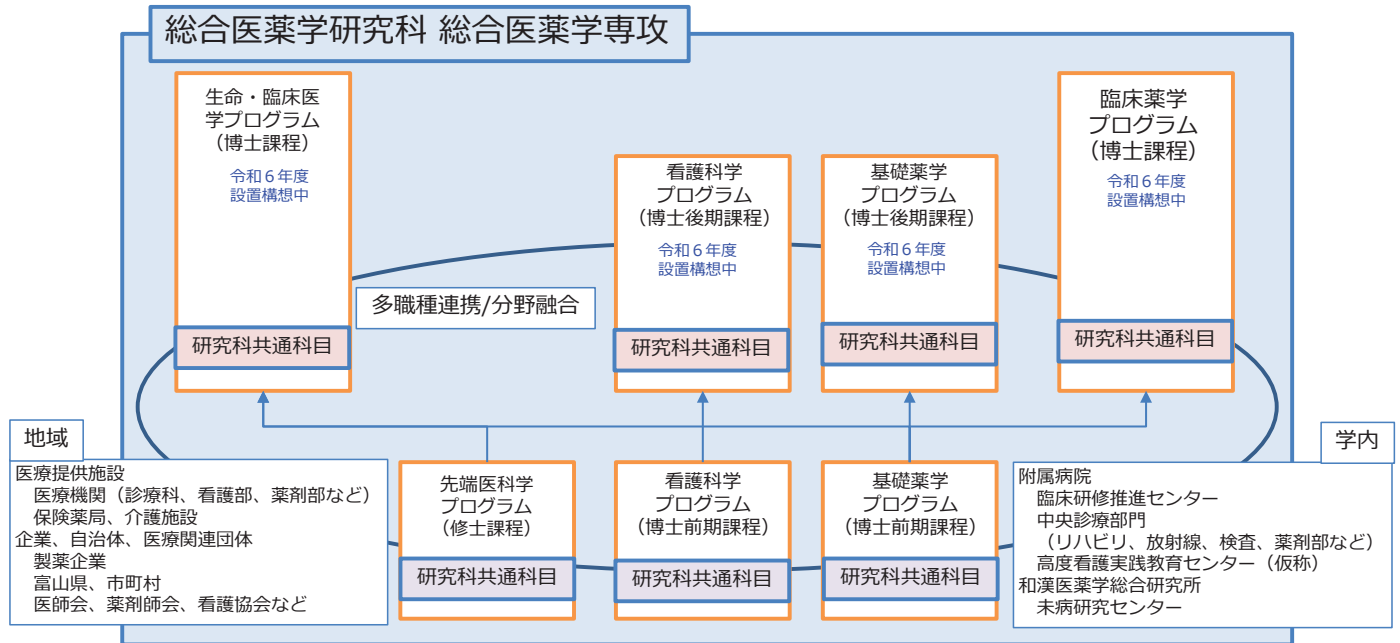
・医療従事者（看護師、検査技師、理学・作業療法士、放射線技師、臨床工学士など）は、学部卒業後に一旦医療現場に就職してから大学院に進学するケースが多い。それらのうち、看護師に対しては、看護学学位プログラムにおいて専門看護師CNS コースや診療看護師NP コースを設置し、より高度な看護の実践と教育ができる能力を身に付けることができる。また、看護師以外のメディカルスタッフに対しては、医科学学位プログラムを通してそれぞれの分野での臨床問題の解決に向けた研究を行うことができる。

・教育や研究の成果を社会に還元し、イノベーションにつなげることのできる人材を育成するために、附属病院や臨床研究支援センターなどと共同して、**社会的ニーズの把握や研究開発と社会実装のプロセスを体験的に学修し、多職種連携や創薬/知財/臨床研究のプロセスなどの包括的な医療的素養**を身に付けさせる。

・本改組により、

- ①AI やデータサイエンス等に基づく病態予測や薬の処方ができる高度な医師、看護師、薬剤師、医学・薬学研究者の養成
- ②医薬品の物性、体内動態、作用機序等が理解できる「薬学的素養」を身に付けた修士/博士（医学、看護学、医科学）の養成
- ③病気を深く理解し患者に寄り添うことのできる「医学的素養」を身に付けた修士/博士（薬学、薬科学）の養成

が可能となり、「進化・深化したプロフェッショナルリズム」を身に着けた医療人・研究者を輩出する。



他職種連携/分野融合を促進する共通科目

研究科共通科目（博士課程）：先端医薬学特論、創薬研究特論、腫瘍医薬学特論、和漢医薬学特論、エンドオブライフ学、統合医療ケア学
 研究科共通科目（修士課程）：臨床統計学基礎、臨床薬理学、病態生理学、心身健康科学、臨床研究計画法、公衆衛生学特論、研究倫理・研究方法論
 *上記科目を含む講義形式の授業は、社会人入学（リカレント）を考慮して、e-learningとウェブによる双方向性クラス形式で行う

総合医薬学研究科は各プログラムの出口が比較的明瞭であるため、多職種連携並びに分野融合を目的とした共通プログラムや教育体制、さらに学内並びに学外との連携を深めることで、医療に関する実践的な多職種連携とイノベーションに繋がる包括的な医療的素養を身につけた医療人の輩出を目指す。

総合医薬学研究科のプログラム

医学・薬学・看護学分野における基盤的研究の深化とこれら分野間の連携・融合の更なる強化を図り、医学・薬学・看護分野の枠組みを超えて協同するため、医学・薬学・看護学分野を包括する医学薬学専攻を1専攻として組織し、専門分野（医科学、看護学、薬科学、医学、薬学）ごとに学位プログラムを設ける。

先端医科学プログラム（学位：医科学）

医薬看の分野横断的な専門知識と研究倫理を学び、幅広い医療の先端的知識と研究能力を基盤として、本学が目指す「人」と「地」の健康に医科学人材として貢献できる専門職医療人、医科学研究開発人材を育成する。

本プログラムの教育により、専門職医療人(臨床検査技師, 理学療法士など), 医科学研究開発人材(創薬, 臨床治験, 企業等)を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、現職の専門職医療人等を受け入れて、能力向上を図る。

看護科学プログラム（学位：看護学）

現代社会の多様な要請に応えるために、看護学専門領域における研究や学際的知見の成果を総合的に活用して、保健・医療・福祉の分野で活躍できる高度医療専門職業人又は教育研究者を育成する。

本プログラムの教育により、看護師指導者、保健所等行政機関における指導者、看護教育・研究者を社会に送り出す。

さらに、このプログラムはリカレント教育を重視し、専門看護師CNS コースやナースプラクティショナーNPコースを設け、看護師としての高い専門性を身に付けさせる。

基礎薬学プログラム（学位：薬科学）

幅広い知識を基盤とする高い専門性と、医学的素養を含む豊かな創造力、人間尊重の精神を基本とする総合的な判断力を培い、薬科学関連領域の研究者・教育者・技術者、及び医薬品の開発や普及を担う専門家として、人々の健康と学術研究の進歩に貢献できる人材を育成する。

本プログラムの教育により、企業(製薬企業創薬研究者, MR(製薬企業等の医薬情報担当者), 化学メーカー研究者), アカデミア(薬学研究者, 生命科学研究者), 治験関連(CRA(注 Clinical Research Associate, 臨床開発モニター), CRO(注 医薬品開発業務受託機関 (Contract Research Organization)), CRC(Clinical Research Coordinator, 治験コーディネーター)を社会に送り出す。

富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラム(改組構想中)に関するアンケート調査

【調査の概要】

1. 調査目的

本アンケート調査は、医療機関等における大学院総合医薬学研究科看護科学プログラムへの看護職者の大学院進学や修了者の採用に対する考え方を把握することを目的に実施するものである。

2. 調査方法

Web 及び郵送による調査

3. 調査対象

- ・ 富山県内の公的病院の看護部長宛て 24 機関
- ・ 既存の看護学専攻における社会人進学者が勤務する医療・教育機関 4 機関

4. 回答数

17 機関 (アンケート送付数 28 機関 回答率 60.7%)

5. 調査期間

令和3年2月8日～2月19日

【調査結果】

1. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程を修了されている方についてお尋ねします。

修士課程修了者の人数	64
修士課程修了者の人数のうち、本学修士課程修了者の人数	34
博士課程修了者の人数	0

(人数は各機関の回答の合計)

2. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程に現在、在籍されている方についてお尋ねします。

修士課程修了者の人数	21
修士課程修了者の人数のうち、本学修士課程修了者の人数	8
博士課程修了者の人数	3

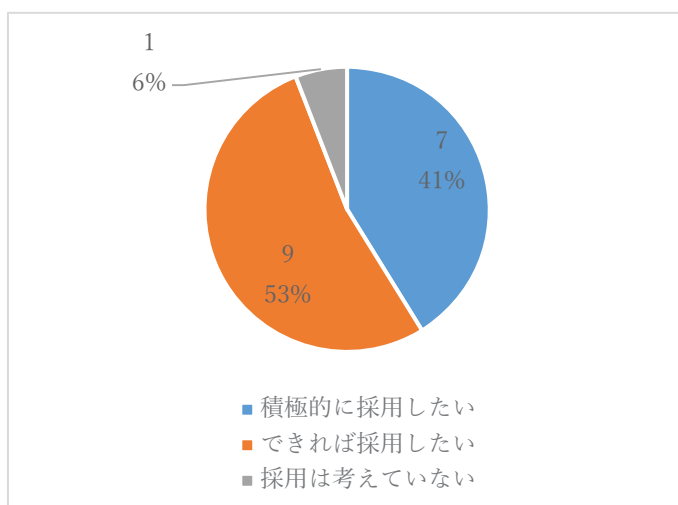
(人数は各機関の回答の合計)

3. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程を修了した方の現在の役職についてお尋ねします。

	修士修了	博士修了
看護部長	3	0
副看護部長	2	0
師長	9	0
副師長	15	0
スタッフ	35	0
その他(主任)	3	0

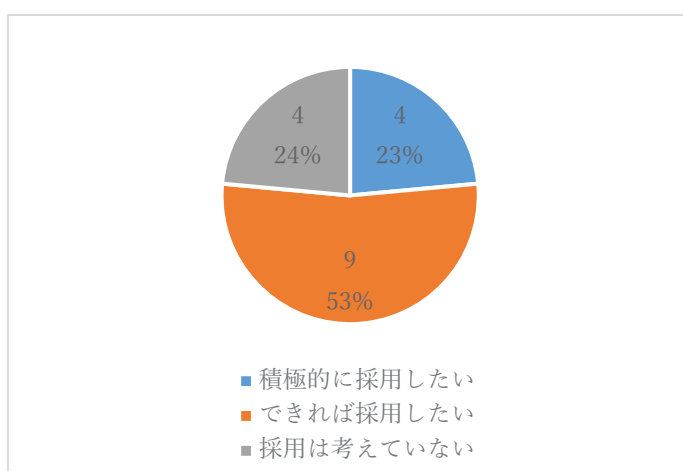
(人数は各機関の回答の合計)

4. 修士課程(研究者 or 専門看護師コース)修了者の採用希望についてお尋ねします。
 次の中から当てはまるものを選んでください。



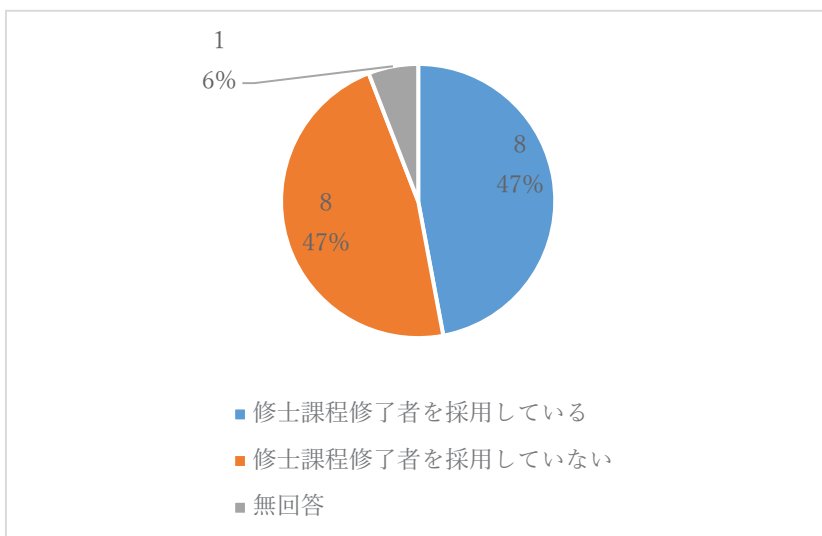
	回答数	割合
積極的に採用したい	7	41%
できれば採用したい	9	53%
採用は考えていない	1	6%

5. 博士課程修了者の採用希望についてお尋ねします。



	回答数	割合
積極的に採用したい	4	23%
できれば採用したい	9	53%
採用は考えていない	4	24%

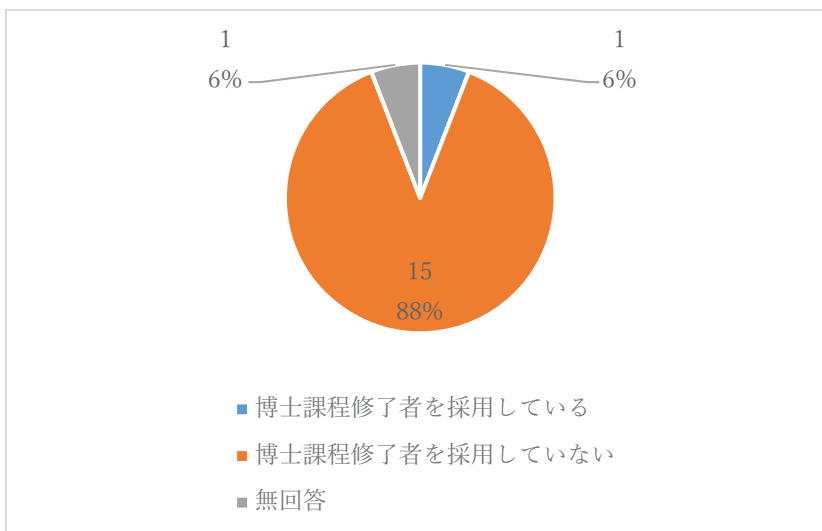
6-1. 過去5年間の修士課程修了者の採用状況についてお尋ねします。



	回答数	割合
修士課程修了者を採用している	8	47%
修士課程修了者を採用していない	8	47%
無回答	1	6%

採用している修士課程修了者のうち、専門看護師の人数 9人

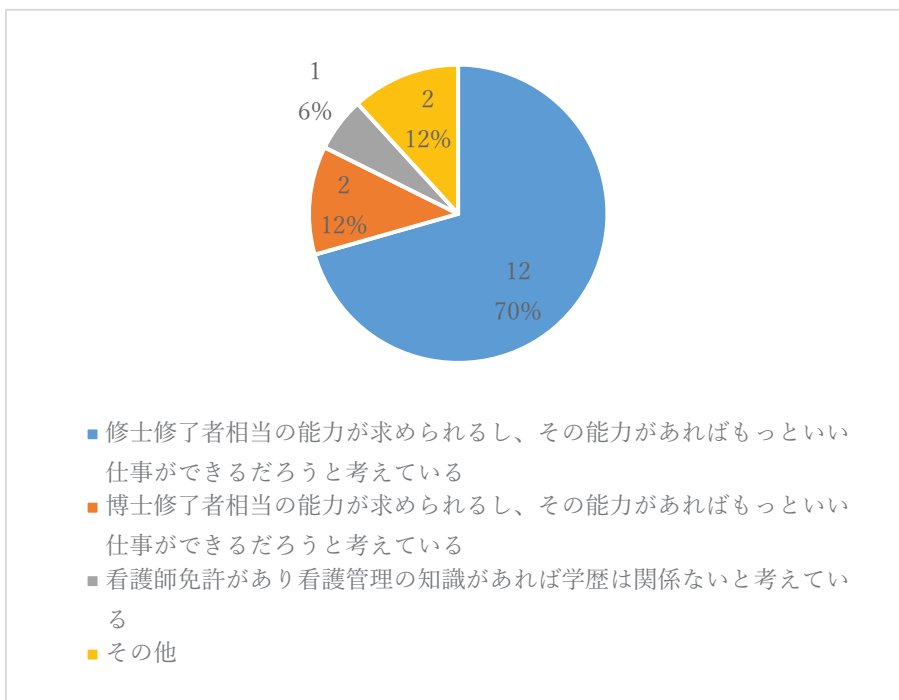
6-2. 過去5年間の博士課程修了者の採用状況についてお尋ねします。



	回答数	割合
博士課程修了者を採用している	1	6%
博士課程修了者を採用していない	15	88%
無回答	1	6%

採用している博士課程修了者のうち、専門看護師の人数 1人

7. 看護部長・副看護部長という職位を担うことに関してお尋ねします。

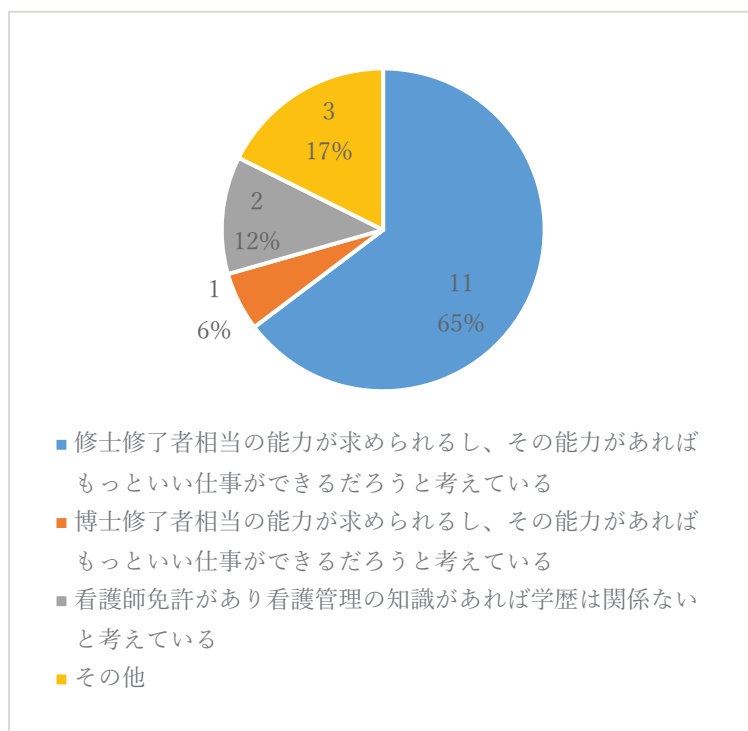


	回答数	割合
修士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている	12	70%
博士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている	2	12%
看護師免許があり看護管理の知識があれば学歴は関係ないと考えている	1	6%
その他	2	12%

その他の回答

修了者であるか否かではなく、その能力を発揮し、周囲が認める人材であることが必要

8. 師長・副師長という職位を担うことに関してお尋ねします。

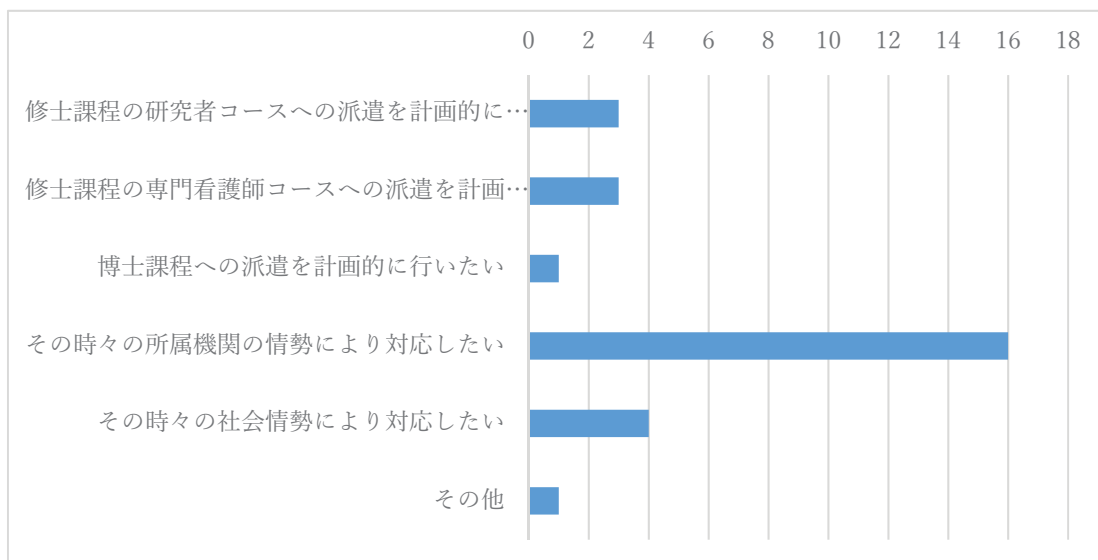


	回答数	割合
修士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている	11	65%
博士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている	1	6%
看護師免許があり看護管理の知識があれば学歴は関係ないと考えている	2	12%
その他	3	17%

その他の回答

- ・ 師長は修士相当が理想，副師長は看護管理知識があればよい
- ・ 修了者であるか否かではなく，その能力を発揮し，周囲が認める人材であることが必要

9. 看護系大学院への進学に対する施設の方針についてお尋ねします【複数回答】。

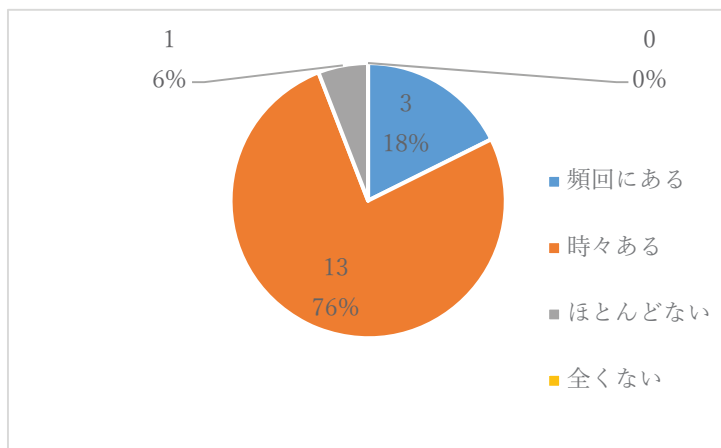


修士課程の研究者コースへの派遣を計画的に行いたい	3
修士課程の専門看護師コースへの派遣を計画的に行いたい	3
博士課程への派遣を計画的に行いたい	1
その時々所属機関の情勢により対応したい	16
その時々社会情勢により対応したい	4
その他	1

その他の回答

専門看護師のコースにより決定

10. 博士課程では「看護学という学問基盤の発展に寄与できる教育・研究者」, 「研究能力を備えた高度看護専門職業人」を育成するという目標を掲げています。現在, そのような人材の必要性を感じることはありますか。

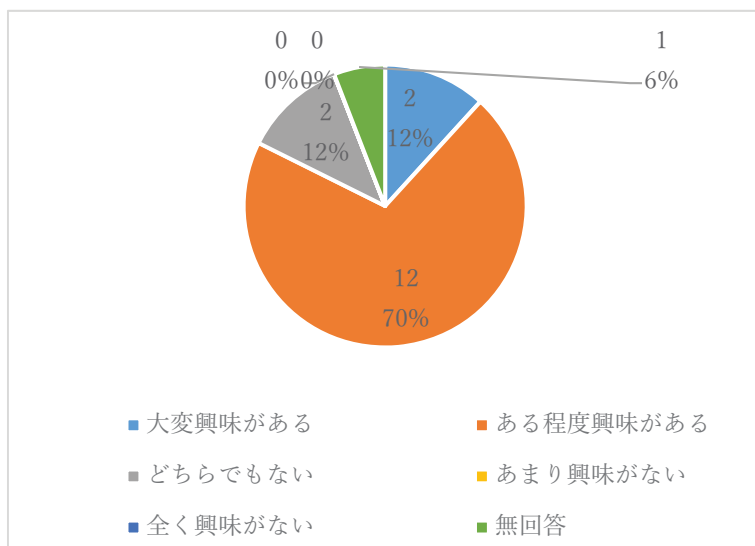


	回答数	割合
頻回にある	3	0%
時々ある	13	18%
ほとんどない	1	76%
全くない	0	6%

◎「頻回にある」「時々ある」と回答された方にお尋ねします。それはどのような時ですか。

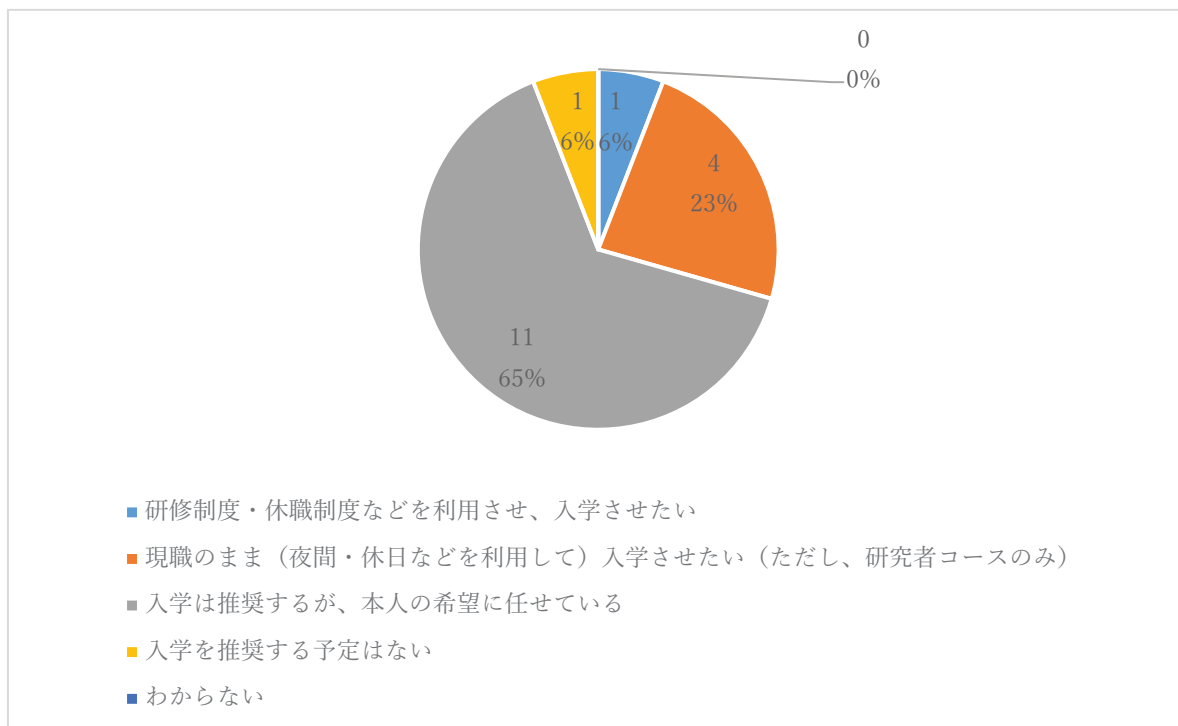
- ・看護学を論理的にスタッフに説明したい時
- ・学会発表や論文指導が必要な時
- ・病院長や事務部長と折衝する時
- ・チーム医療を進める中で看護師が根拠に基づいた看護を求められる場面
- ・研究や論文作成等や人材育成に関する時
- ・教育, 研究アドバイス必要時に能力を備えていればいいと思う
- ・看護研究支援者を育成を考える時
- ・看護研究の取り組むプロセス, データの分析, 文献検討
- ・理論の活用
- ・スタッフの研究視点の育成, 研究アドバイス, 文章指導
- ・研究活動を推進するにあたり, リーダーシップを図る人材の必要を感じる
- ・高齢化に伴い複数疾患を持ち患者が増加していること, また独居や認知症高齢夫婦の増加に伴い終末期の考え方や治療方針の決定など倫理的課題が日常的にあるため。
- ・看護を科学的に分析する機会(研究時)があった時
- ・教育あるいは研究的視点で思考ができることで, より深く看護者の育成に携わることができる
- ・看護研究の指導
- ・臨床研究の指導的役割を担える人材が必要だと思うとき
- ・日常業務に流されて, 実践の評価として客観的データを用いられていないとき等

11. 「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」が養成する人材（大学院修了生）に関して、貴施設での採用意欲についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。



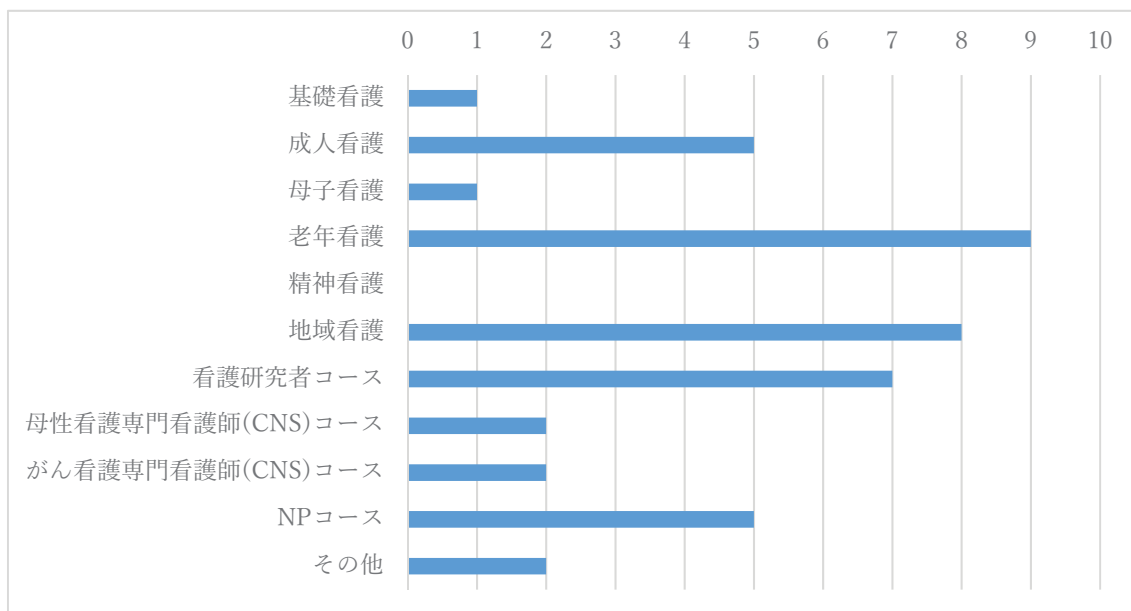
	回答数	割合
大変興味がある	2	12%
ある程度興味がある	12	70%
どちらでもない	2	12%
あまり興味がない	0	0%
全く興味がない	0	0%
無回答	1	6%

12. 貴施設で勤務されている看護職者を「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」に入学させる御意向についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。



	回答数	割合
研修制度・休職制度などを利用させ、入学させたい	1	6%
現職のまま（夜間・休日などを利用して）入学させたい（ただし、研究者コースのみ）	4	23%
入学は推奨するが、本人の希望に任せている	11	65%
入学を推奨する予定はない	1	6%
わからない	0	6%

13. 貴施設から「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」に入学した者に学んでほしいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

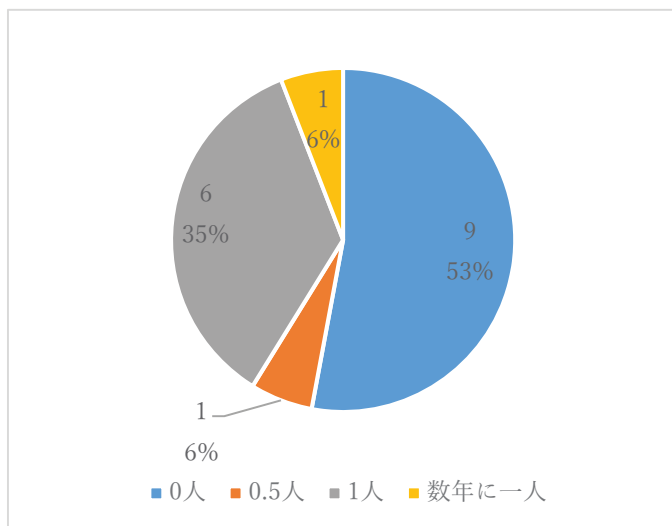


基礎看護	1
成人看護	5
母子看護	1
老年看護	9
精神看護	0
地域看護	8
看護研究者コース	7
母性看護専門看護師(CNS)コース	2
がん看護専門看護師(CNS)コース	2
NPコース	5
その他	2

その他の回答

- ・看護管理
- ・小児看護

14. 貴施設から入学可能な看護職者の人数に上限はありますか?or 上限を設けていますか?or 上限についてスタッフと合意されていますか?もしもありましたら, 1年間あたりの人数をご記入ください。



0人	9
0.5人	1
1人	6
数年に一人	1

15. その他, 構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」について, ご意見等があればご自由にお書きください。

- ・看護師に興味を持たせるように努力したい
- ・149床の病院の正職看護師77名の中から大学院への進学をした人が過去に1名いた。少人数の中で目指すものがあることは必要だと思うが, なかなか休職してまでの支援は難しい。本人の強い意思が必要となる。看護の質の向上には, つながるので, 必要とする人材であるとは考える。
- ・個人のキャリアを組織の目指す方向と合意形成を図りながら自律的に行動できる人材育成をお願いしたい。

看護部長・教育管理者の方へ

富山大学大学院総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）に関する アンケート調査

※ご回答に際しては、該当箇所に○または記載をお願いいたします。

1. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程を修了されている方についてお尋ねします。

- ◆ 修士課程修了者の人数（ 人）のうち、本学修士課程修了者の数（ 人）
- ◆ 博士課程修了者の人数（ 人）

2. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程に現在、在籍されている方についてお尋ねします。

- ◆ 修士課程在籍者の人数（ 人）のうち、本学修士課程在籍者の数（ 人）
- ◆ 博士課程在籍者の人数（ 人）

3. 貴施設の看護職者で、修士・博士課程を修了した方の現在の役職についてお尋ねします。

役職	看護部長	修士修了(人)	博士修了(人)
	副看護部長	修士修了(人)	博士修了(人)
	師長	修士修了(人)	博士修了(人)
	副師長	修士修了(人)	博士修了(人)
	スタッフ	修士修了(人)	博士修了(人)
	その他()	修士修了(人)	博士修了(人)

4. 修士課程(研究者 or 専門看護師コース)修了者の採用希望についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。

- ◆ 積極的に採用したい ()
- ◆ できれば採用したい ()
- ◆ 採用は考えていない ()

5. 博士課程修了者の採用希望についてお尋ねします。

- ◆ 積極的に採用したい ()
- ◆ できれば採用したい ()
- ◆ 採用は考えていない ()

6. 過去5年間の修士・博士課程修了者の採用状況についてお尋ねします【複数回答】。

- ◆ 修士課程修了者を採用している () →うち専門看護師 () 人
- ◆ 修士課程修了者を採用していない ()
- ◆ 博士課程修了者を採用している () →うち専門看護師 () 人
- ◆ 博士課程修了者を採用していない ()

7. 看護部長・副看護部長という職位を担うことに関してお尋ねします。

- ◆ 修士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている ()
- ◆ 博士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている ()
- ◆ 看護師免許があり看護管理の知識があれば学歴は関係ないと考えている ()
- ◆ その他 ()

8. 師長・副師長という職位を担うことに関してお尋ねします。

- ◆ 修士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている ()
- ◆ 博士修了者相当の能力が求められるし、その能力があればもっといい仕事ができるだろうと考えている ()
- ◆ 看護師免許があり看護管理の知識があれば学歴は関係ないと考えている ()
- ◆ その他 ()

9. 看護系大学院への進学に対する施設の方針についてお尋ねします【複数回答】。

- ◆ 修士課程の研究者コースへの派遣を計画的に行いたい ()
- ◆ 修士課程の専門看護師コースへの派遣を計画的に行いたい ()
- ◆ 博士課程への派遣を計画的に行いたい ()
- ◆ その時々所属機関の情勢により対応したい ()
- ◆ その時々社会情勢により対応したい ()
- ◆ その他 ()

10. 博士課程では「看護学という学問基盤の発展に寄与できる教育・研究者」、「研究能力を備えた

高度看護専門職業人」を育成するという目標を掲げています。現在、そのような人材の必要性を感じることはありますか。

頻回にある() 時々ある() ほとんどない() 全くない()

「頻回にある」「時々ある」と回答された方にお尋ねします。それはどのようなときですか

()

11. 「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」が養成する人材（大学院修了生）に関して、貴施設での採用意欲についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。
- 大変興味がある() ある程度興味がある() どちらでもない()
あまり興味がない() 全く興味がない()

12. 貴施設で勤務されている看護職者を「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」に入学させる御意向についてお尋ねします。次の中から当てはまるものを選んでください。

- ① () 研修制度・休職制度などを利用させ、入学させたい。
② () 現職のまま（夜間・休日などを利用して）入学させたい
(ただし、研究者コースのみ)
③ () 入学は推奨するが、本人の希望に任せている
④ () 入学を推奨する予定はない
⑤ () わからない

①～③を選ばれた場合は問 13 へお進みください。

④か⑤を選ばれた場合は問 15 へお進みください。

13. 問 12 で 1 ～ 3 を選ばれた方にお尋ねします。貴施設から「総合医薬学研究科看護科学プログラム（改組構想中）」に入学した者に学んでほしいと考えている分野はどれですか。3つ選んでください。

- 1 基礎看護 2 成人看護 3 母子看護
4 老年看護 5 精神看護 6 地域看護
7 看護研究者コース 8 母性看護専門看護師(CNS)コース
9 がん看護専門看護師(CNS)コース
10 NP コース
11 その他（具体的に)

()

()

()

NP : ナースプラクティショナー (Nurse Practitioner)

「医師の手順書により特定行為が実施できる看護師」のこと

14. 貴施設から入学可能な看護職者の人数に上限はありますか?or 上限を設けていますか?or 上限についてスタッフと合意されていますか?もしもありましたら、1年間あたりの人数をご記入ください。

(1年間あたりの人数)

人/年間

15. その他、構想中の「総合医薬学研究科看護科学プログラム」について、ご意見等があればご自由にお書きください。

16. 可能であれば、所属の病院名、施設名を教えてください (自由記載)。

アンケートは以上です。ご協力いただきありがとうございました。

「人」と「地」の健康に関わる看護ケアの専門職として社会に貢献する

富山大学大学院 総合医薬学研究科 看護科学プログラム (R4年4月改組)

基本情報

開設時期 : 令和4年4月(予定)
 修業年限 : 2年
 募集人員 : 8名(予定)
 学位 : 修士(看護学)

教育の特色

“人”の健康を増進し、社会支援につながる看護ケアの創造とそのための人材育成

○プログラム概要

附属病院の中に大学院連携部門を設置し、連携して社会支援につながる実践的な看護ケアの人材育成を行います。

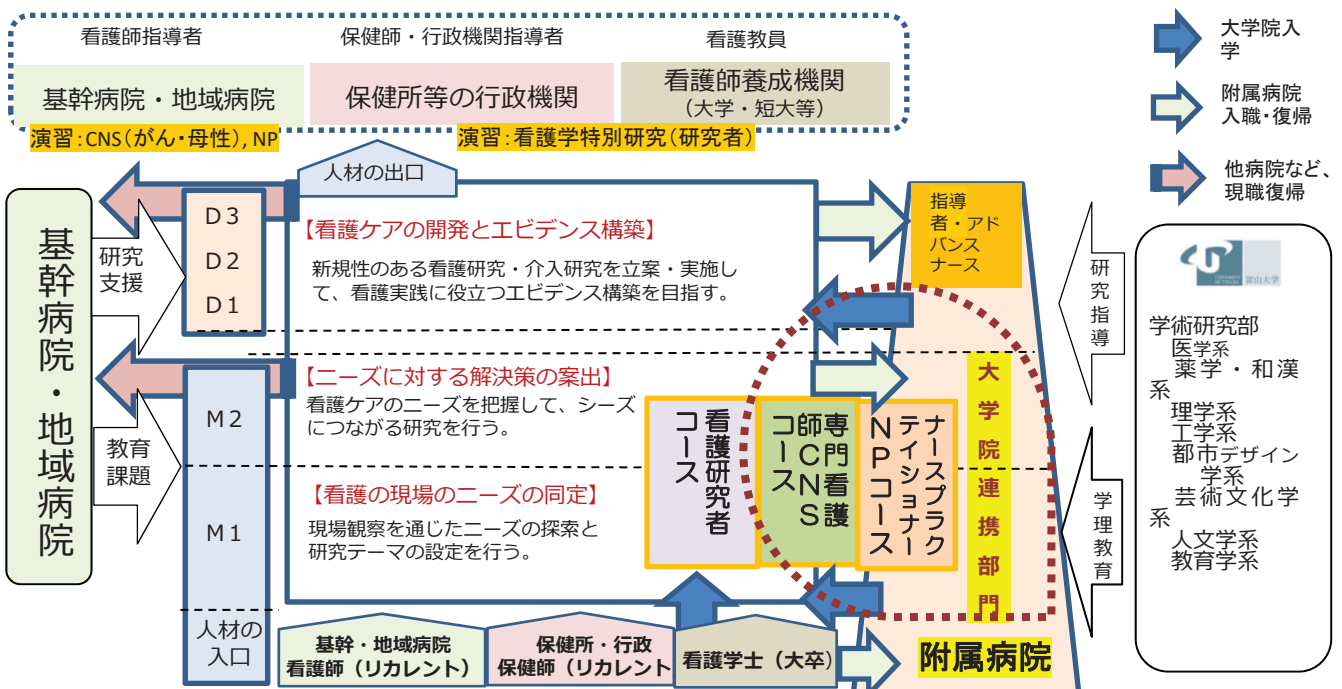
○プログラムの特色ある教育

従来から設置されている看護研究者コース、専門看護師(CNS 2領域/がん看護・母性看護)コースに加えて、新たに「医師の手順書により特定行為が実施できる看護師のコース(ナースプラクティショナー NPコース)」を設置(準備中)し、あわせて3つのコースを用意します。

修了後の進路

想定就職先 : 基幹病院、地域病院
 保健所等の行政機関
 看護師養成機関

構想のイメージ



富山大学薬学部の改革に向けたアンケート

結果報告書

【製薬企業対象調査】

製薬企業対象 調査概要

1 調査目的

令和4年4月から新たな教育体制に移行予定の富山大学薬学部改革構想に関して、富山県内製薬企業のニーズを把握する。

2 調査概要

製薬企業対象調査	
調査対象	一般社団法人 富山県薬業連合会 会員のうち、医薬品製造業者
調査エリア	富山県
調査方法	留め置き調査
有効回収数	44社
調査時期	2020年7月9日（木）～2020年8月3日（月）

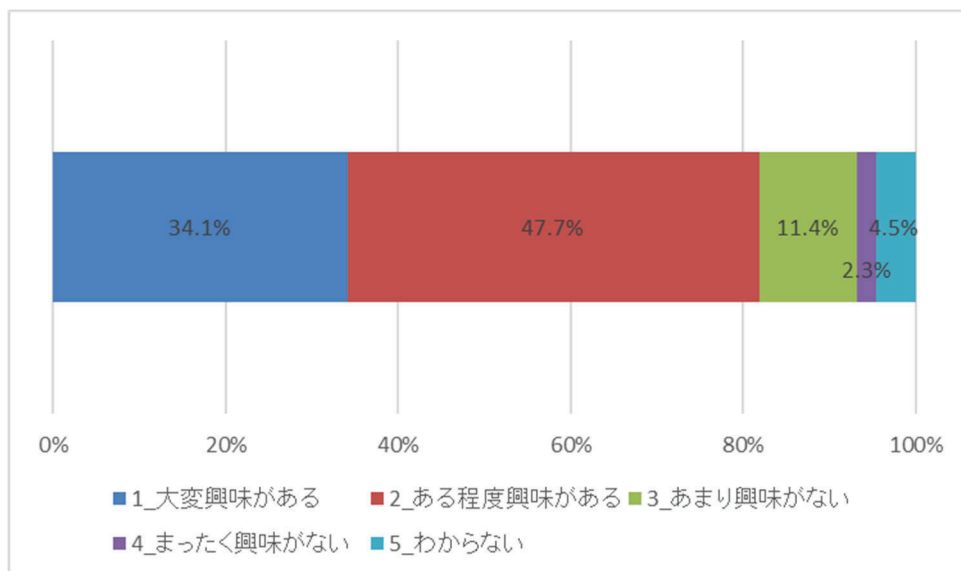
3 調査項目

製薬企業対象調査
<ul style="list-style-type: none">・採用したい学問系統・薬学部創薬科学科卒業生に対する採用意欲・薬学部創薬科学科におけるコースの特色に対する魅力度・薬学部薬学科卒業生に対する採用意欲・大学院博士前期課程（2年制）修了生に対する採用意欲・大学院博士後期課程（3年制）修了生に対する採用意欲・大学院博士課程（4年制）修了生に対する採用意欲

製薬企業対象 調査結果

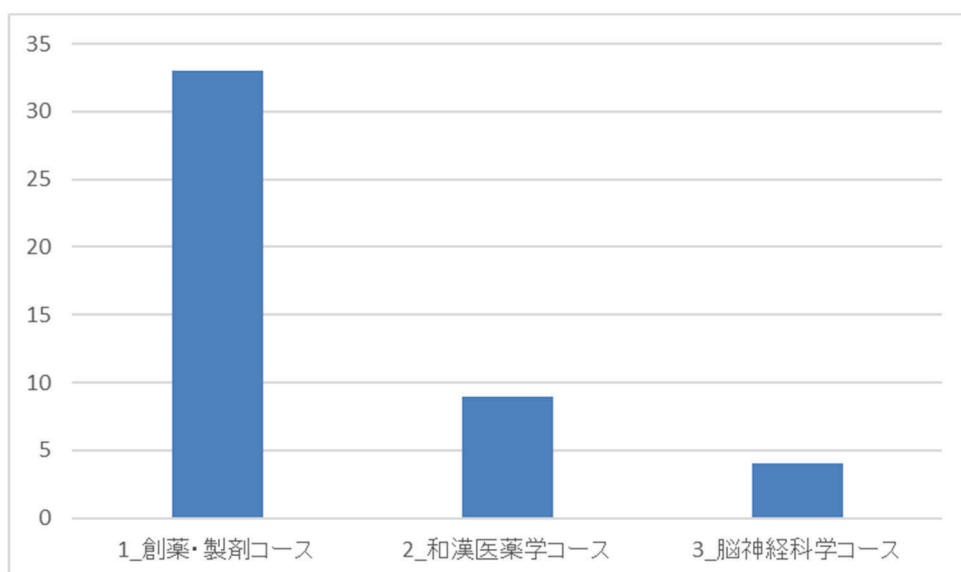
① 貴社は、創薬科学科が改革された場合、新しい創薬科学科生の採用に興味がありますか。（あてはまる番号1つに○）

回答	
【1】	15
【2】	21
【3】	5
【4】	1
【5】	2
計	44



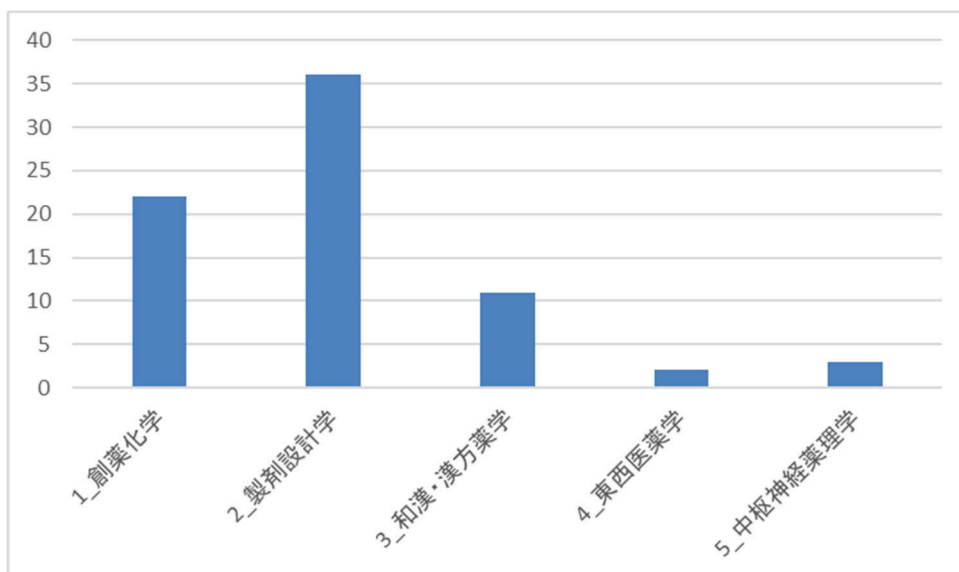
「大変興味がある」「ある程度興味がある」を選択した場合は、どのコースに関心がありますか。（あてはまる番号すべてに○）

回答	
【1】	33
【2】	9
【3】	4
計	46



② 貴社の求める「創薬科学科」の学生に対して、大学時代に、特にどのような専門科目を履修して欲しいとお考えでしょうか。(あてはまる番号すべてに○)

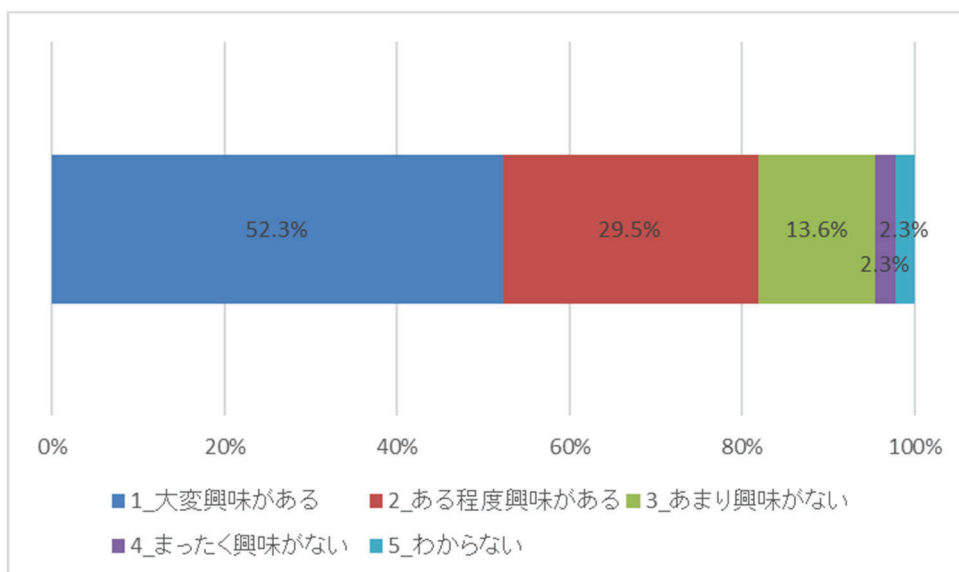
回答	
【1】	22
【2】	36
【3】	11
【4】	2
【5】	3
計	74



③ 貴社は、薬学科が改革された場合、新しい薬学科生の採用に興味がありますか。

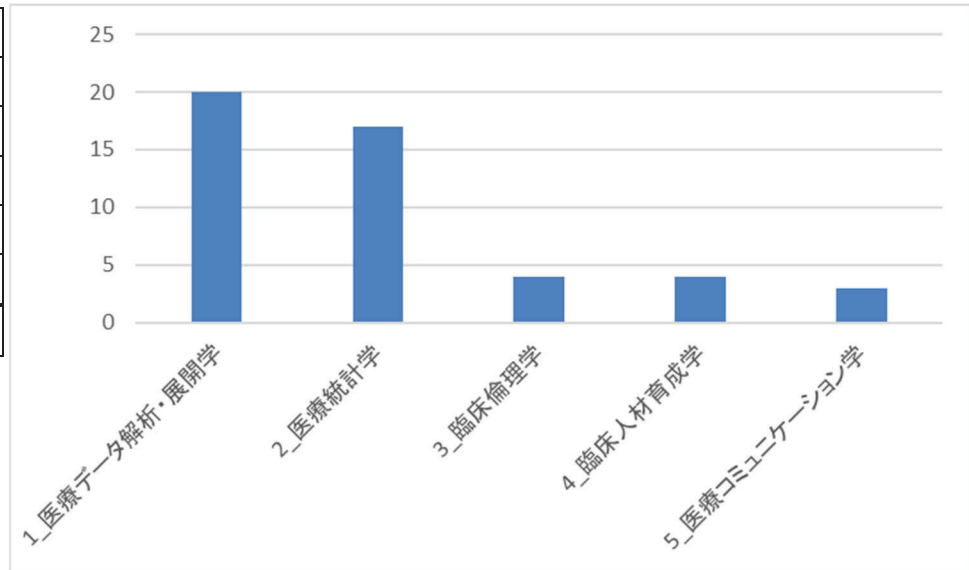
(あてはまる番号1つに○)

回答	
【1】	23
【2】	13
【3】	6
【4】	1
【5】	1
計	44



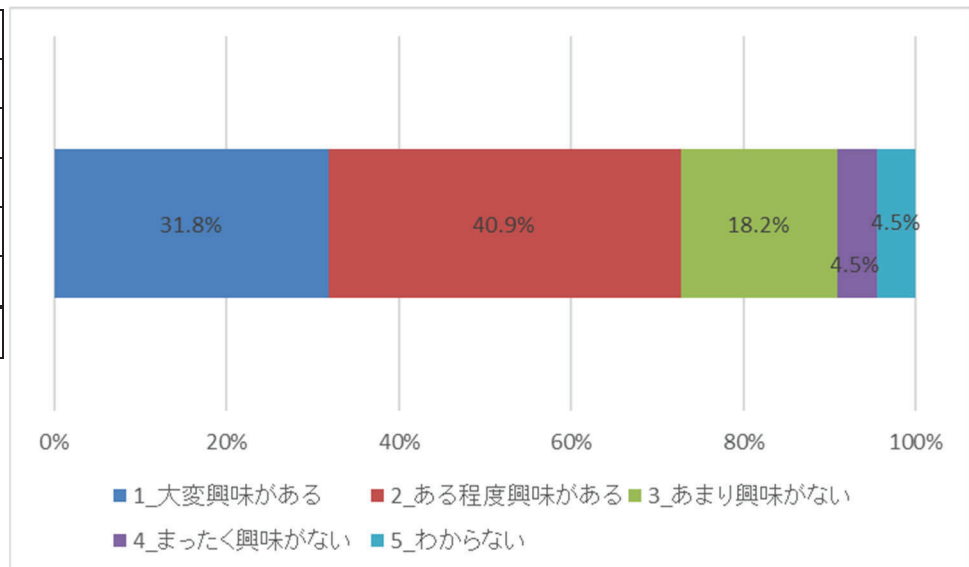
④ 貴社の求める「薬学科」の学生に対して、大学時代に、特にどのような専門科目を履修して欲しいとお考えでしょうか。(あてはまる番号すべてに○)

回答	
【1】	20
【2】	17
【3】	4
【4】	4
【5】	3
計	48



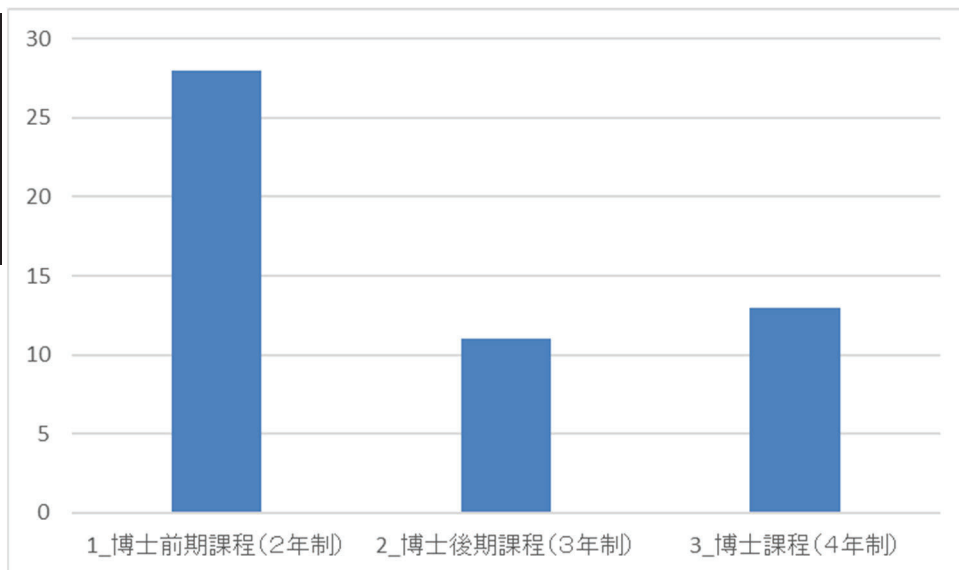
⑤ 貴社は、大学院修了生の採用に興味がありますか。(あてはまる番号1つに○)

回答	
【1】	14
【2】	18
【3】	8
【4】	2
【5】	2
計	44



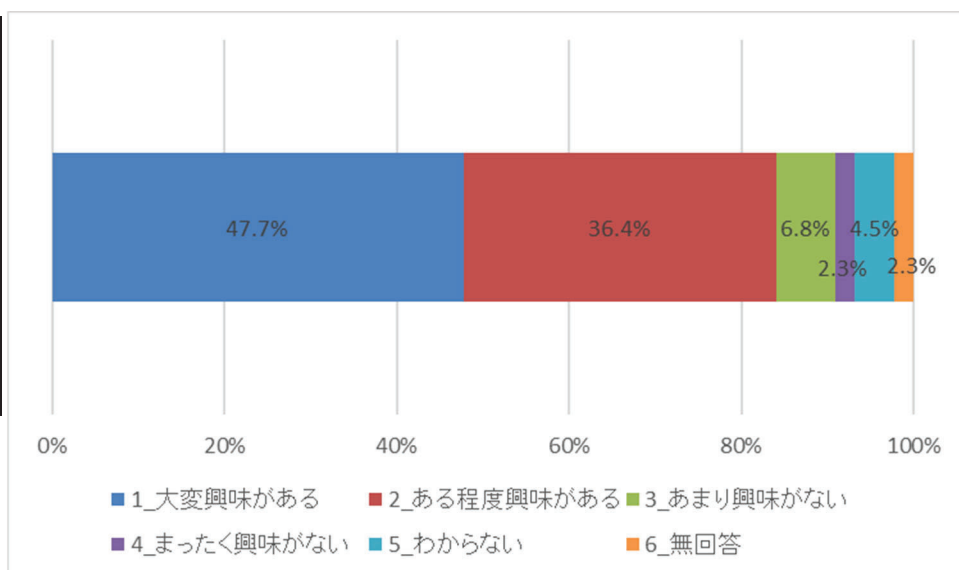
「大変興味がある」「ある程度興味がある」を選択した場合は、どの課程に関心がありますか。(あてはまる番号すべてに○)

回答	
【1】	28
【2】	11
【3】	13
計	52



⑥ 貴社は、薬学科卒業生又は博士課程修了生の、将来的な管理薬剤師候補者としての採用に興味がありますか。(あてはまる番号1つに○)

回答	
【1】	21
【2】	16
【3】	3
【4】	1
【5】	2
【6】	1
計	44



【調査結果としては学内資料のみ記載(一部「調査結果まとめ」に記載)】

⑦ 富山大学薬学部の改革に関して、ご意見やご希望等がありましたらぜひお書きください。

- ・コース別にすることにより、より専門性の高い教育が期待されます。
- ・富山大学薬学部には、和漢医薬学総合研究所や薬草園等があり、生薬、漢方、和漢薬に特化されているので、生薬の知識をもった薬剤師およびその方面に力を入れた教育を期待しています。
- ・医薬品製造業に興味をもつカリキュラムの構築を期待します。
- ・弊社の事業形態は「ジェネリック医薬品の開発・生産・販売」にあり、目的とする先発医薬品の品質を上回るジェネリック医薬品の開発のため、最先端の製剤設計手法と評価系を取り入れることが重要と考えております。
- ・ジェネリックメーカーである弊社としては、現状、臨床統計や臨床薬理などの知識を活かした新薬開発を希望する学生よりも、より実務的かつ工学的な製剤技術者や分析技術者を希望する学生を必要としております。
- ・大学院の授業科目の先行履修や地域企業等との連携によって、早期に専門性を身につけることも可能になると思われます。
- ・富山県内企業への卒業生の就職を増やすために、富山県出身者の入学が多くなるような施策が必要と思われます。
- ・今後とも、富山県の発展の為に、県外ではなく県内就職へのご支援頂けましたら幸いです。
- ・製薬会社では、「薬剤師免許を保有していなければならない」役職があります。
- ・医薬品製造業は薬剤師免許所有者が必須条件であるが、薬学科卒業者の多くが、医療機関や医療の現場へ進むものと推察しており、小規模業な医薬品製造業者にあっては、依然薬剤師の確保が難しい状況となっています。薬学科の学生に対しても、「製造管理」、「品質管理」、「ものづくり」、「中小企業の（大手会社にはない）魅力」などを key word としてメーカーに就職する道も伝えていただけることを期待します
- ・薬学科においても製薬企業での薬剤師の就業の意義の理解、経験の場の創出を積極的に進めていただきたい。
- ・多くの製薬企業としては管理薬剤師候補の確保に苦難を強いられています。大手企業の影響は少ないかもしれませんが、中小企業にとっては近年顕著であると感じています。また以前は製造管理者のみが薬剤師要件であったのに対し、現在では総括製造管理責任者と製造管理者の2名が必要となっており、経営に近い立場での発言が求められています。
- ・企業側のPRももちろん重要ではありますが、薬学部生の就職先として製薬メーカーへの志向はあまり高くないと感じられます。企業側でも管理薬剤師として薬学部生は必要としており、学業の中においても、その必要性や製薬メーカーで働くことを教えていただければと思います。
- ・管理薬剤師育成を踏まえた企業インターンシップの実施は、当社のような中小原薬メーカーにとってご検討いただきたい内容です。
- ・将来的な管理薬剤師候補者の育成につきましても、弊社の生産・営業拠点において必要な人材となりますことから、貴学卒業生に活躍の場を提供できるものと考えます。
- ・管理薬剤師としての知見は勿論のこと、社会全体における企業、特に医薬品製造業の業界情報等の講義があれば就活時に具体的な活動に繋がるのではないのでしょうか。

以下、製薬関連企業宛アンケート様式

製薬関連企業の皆様方各位

貴社には、日頃より富山大学薬学部の教育研究に格段のご配慮をいただいております、本当にありがとうございます。改めて感謝を申し上げます。

昨今の新型コロナウイルスの影響により、大変な社会状況にあるなか、ご面倒をおかけすることになり申し訳ありませんが、富山大学薬学部のアンケートにご回答いただきたくお願い申し上げます。このアンケートは、今後の富山大学薬学部の改革に必要であり、ご配慮をいただけますと大変にありがたく存じます。

皆様方ご存知のように、富山大学薬学部には、4年制の「創薬科学科」と6年制の「薬学科」の2学科がございます。現在、創薬科学科では、「生体メカニズムや疾患に関連する現象に対する探究心を醸成し、将来、創薬研究者・技術者として活躍できる人材を養成すること」を目的としています。一方、薬学科では、「医薬品や臨床分野に対する探究心を醸成し、将来、質の高い薬剤師として活躍できる人材を養成すること」を目的としています。

私どもは、富山大学が「くすりの富山」に根差している利点、ならびに富山大学薬学部の特長をますます活かすことにより、今後薬学部を改革、充実させ、県内の企業様に向けてより一層優秀な人材を輩出したいと考えております。

具体的には、創薬科学科(4年制)において、「創薬・製剤コース」、「和漢医薬学コース」、「脳神経科学コース」を新たに導入して、大学院修士課程(2年制)との一貫教育をはかる予定です。修士課程の後には、製薬企業等で活躍できる人材、博士課程(3年制)へ進学して創薬研究のプロフェッショナルとして多方面で活躍できる人材の輩出を目指します。

一方、薬学科においては、「医療データサイエンス教育」を実施し、薬剤師として病院、薬局、企業で活躍する人材や、AIによる患者さんの病態予測、大規模データ解析による薬の有効性・安全性の検証、医師主導治験に対する薬学的支援など、医療現場を基盤とした薬学研究を行う人材を養成し、さらに博士課程(4年制)で卓越した専門性を修得できるようにします。

つきましては、別紙のアンケートにご回答をいただきたく、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

富山大学 薬学部長

酒井 秀紀

富山大学薬学部の改革に向けたアンケート

貴社名: _____

以下、該当する番号を丸で囲んでください。カッコ内には数字をご記入ください

① 貴社は、創薬科学科が改革された場合、新しい創薬科学科生の採用に興味がありますか。

(あてはまる番号1つに○)

1.大変興味がある 2.ある程度興味がある 3.あまり興味がない 4.全く興味がない 5.わからない

「大変興味がある」「ある程度興味がある」を選択した場合は、どのコースに関心がありますか。

(あてはまる番号すべてに○)

1.創薬・製剤コース 2.和漢医薬学コース 3.脳神経科学コース

② 貴社の求める「創薬科学科」の学生に対して、大学時代に、特にどのような専門科目を履修し

て欲しいとお考えでしょうか。(あてはまる番号すべてに○)

1.創薬化学 2.製剤設計学 3.和漢・漢方薬学 4.東西医薬学 5.中枢神経薬理学
6.その他()

③ 貴社は、薬学科が改革された場合、新しい薬学科生の採用に興味がありますか。

(あてはまる番号1つに○)

1.大変興味がある 2.ある程度興味がある 3.あまり興味がない 4.全く興味がない 5.わからない

④ 貴社の求める「薬学科」の学生に対して、大学時代に、特にどのような専門科目を履修して

欲しいとお考えでしょうか。(あてはまる番号すべてに○)

1.臨床データ解析・展開学 2.医療統計学 3.臨床倫理学 4.臨床人材育成学
5.医療コミュニケーション学 6.その他()

* 次ページに続きます

⑤ 貴社は、大学院修了生の採用に興味がありますか。（あてはまる番号1つに○）

1.大変興味がある 2.ある程度興味がある 3.あまり興味がない 4.全く興味がない 5.わからない

「大変興味がある」「ある程度興味がある」を選択した場合は、どの課程に関心がありますか。

（あてはまる番号すべてに○）

1.創薬科学科卒業後の博士前期課程(2年制) 2.博士前期課程修了後の博士後期課程(3年制)
3.薬学科卒業後の博士課程(4年制)

⑥ 貴社は、薬学科卒業生又は博士課程修了生の、将来的な管理薬剤師候補者としての採用に興味がありますか。（あてはまる番号1つに○）

1.大変興味がある 2.ある程度興味がある 3.あまり興味がない 4.全く興味がない 5.わからない

⑦ 富山大学薬学部の改革に関して、ご意見やご希望等がありましたらぜひお書きください。

ご協力をいただき、本当にありがとうございました

現在本学薬学部においては、社会・地域ニーズを踏まえ、社会的リーダーとして薬学関連分野の第一線で活躍できる人材の養成と輩出を担うことのできる改革構想について以下のとおり検討を進めております。

今回のアンケート調査で、富山県における医薬品製造関連企業様の本学教育へのニーズや採用に係るニーズを把握するとともに、今後の改革構想検討にあたり、いただいたご意見を活かしていきたいと考えております。

【創薬科学科（４年制）】

- 「創薬・製剤コース」, 「和漢医薬学コース」, 「脳神経科学コース」を新たに導入し, 大学院修士課程（２年制）との一貫教育を実施
- 卒業研究開始時期の早期化（３年次後期→３年次前期）
- 医学部・附属病院・和漢医薬学総合研究所等との連携指導の実施
- 各研究室をローテーションし, 幅広い知見を得る特別専門実習を実施
- 疾病を理解した上で新薬開発に携わる創薬研究者を輩出
 - ・大学院において, 成績優秀者に対しては, 修業年限を短縮するシステムを適用（現在の大学院における修業年限５年を１～２年短縮可能とするシステムの構築）

【薬学科（６年制）】

- 総合型選抜等により, 研究志向の学生等多様な人材の受け入れ
- 医療統計学や AI による患者さんの病態予測や大規模データ解析による薬の有効性・安全性を検証, 医師主導治験に対する薬学的支援等を学ぶ「医療データサイエンス教育」を実施
- 管理薬剤師育成を踏まえた企業インターンシップの実施
- 医学部・附属病院・和漢医薬学総合研究所等との連携指導の実施
- 医療薬学研究者, 管理薬剤師, 臨床薬剤師等を輩出（薬剤師免許を取得した上で, 病院・薬局・企業への幅広い進路を提示）
 - ・大学院博士課程教育の強化

富山大学薬学部の改革構想

記載の内容は現在構想中の予定であり、変更される可能性があります。

社会的リーダーとして薬学関連分野の第一線で活躍できる人材の養成と輩出

人材輩出像

医療薬学研究者の輩出

管理薬剤師 (企業) の輩出

臨床薬剤師 (病院・薬局) の輩出



疾病を理解した上で新薬開発に携わる創薬研究者の輩出

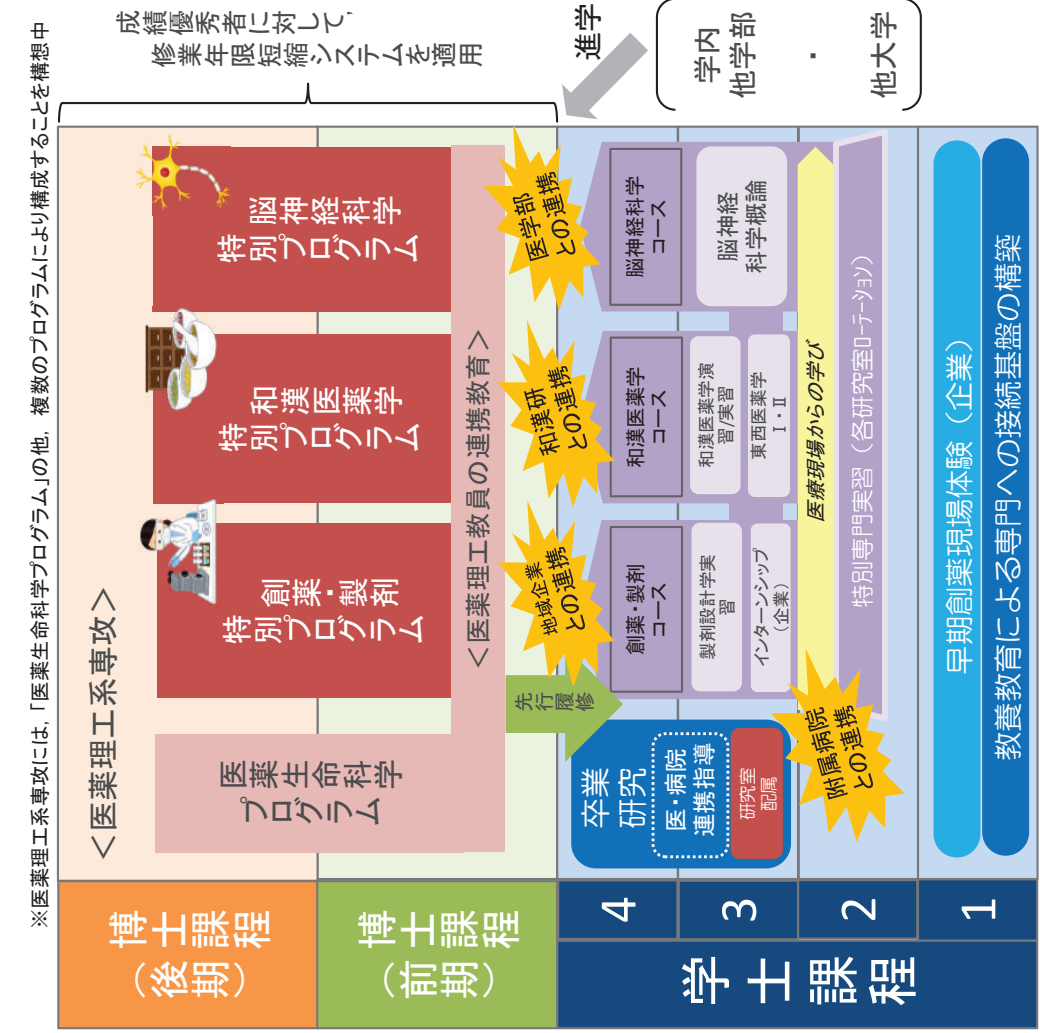
“医薬密接連携型”薬剤師の養成

“医薬密接連携型”創薬研究者の養成



一般選抜 / 総合型選抜 / 学校推薦型選抜

＜薬学部＞薬学科



一般選抜 / 総合型選抜 / 学校推薦型選抜

＜薬学部＞創薬科学科

※医薬理工系専攻には、「医薬生命科学プログラム」の他、複数のプログラムにより構成することを構想中

成績優秀者に対して、修業年限短縮システムを適用

進学

学内他学部

他大学